

---

# 瀬戸市公共交通に関する 市民アンケート業務委託

---

—報告書—

平成28年12月

瀬戸市地域公共交通会議



# 目 次

<b>1. アンケート調査</b>	<b>1</b>
1) 調査実施概要	1
2) アンケートの集計結果	14
<b>2. 公共交通の課題整理</b>	<b>131</b>
1) 瀬戸市の公共交通利用実態・ニーズのまとめ	131
2) 瀬戸市の公共交通の課題と対応方針	133
<b>参考 アンケート結果における菱野団地詳細分析</b>	<b>135</b>
1) 対象地域	135
2) アンケートの集計結果	136





# 1. アンケート調査

## 1) 調査実施概要

### (1) 調査の目的

瀬戸市では、長期的な視点から目指すべき公共交通の姿を明確にするとともに、これを維持していくための具体的施策を示した「瀬戸市地域公共交通総合連携計画（平成 21 年度～28 年度）」を策定し、バス路線の見直しや運行本数・運行時間帯の拡大など、各種利用促進に取り組んできた。

しかし、人口減少や少子高齢化、自家用車への依存の高まりなどにより、バスの利用者は減少を続け、バス路線維持に対する国や市の財政負担が増加している傾向にある。その一方で、自動車を運転できない高齢者や子供などの生活交通手段として、公共交通に対する必要性は高まっている。

そこで、現在の交通行動実態や、今後の公共交通のあり方など、公共交通のより良い利用環境を創出する上で必要となる基礎指標の把握を目的として、調査を実施した。

### (2) 調査実施概要及び回収結果

項目	内容
調査対象	15 歳以上の市民 3,000 人
調査方法	郵送配布、郵送回収
調査時期	平成 28 年 7 月 27 日（水）～8 月 10 日（水）
回収票数	1,087 票（回収率：36.2%）（相対誤差は±3.0%）

### (3) 数値の統計的な取り扱いについて

比率はすべて百分率（%）で表し、小数点以下 2 位を四捨五入した数値で表示しているため、合計が 100%を前後する場合がある。また、各設問の結果のコメントについては、便宜的に“約 70%”などと、小数点以下 1 位を四捨五入した整数値で表記する。

設問に対する回答者の母数は“n=〇”として掲載し、各比率は n を 100%として算出する。

#### (4) 年齢階層別集計と地域別集計について

年齢や地域の違いによる傾向やニーズを把握・分析するために、一部の設問について年齢階層別の集計または地域別の集計を行う。地域別の集計にあたっては、瀬戸市都市計画マスタープランで示す5つの地域区分を採用する。



(5) 調査票

## 瀬戸市公共交通に関する市民アンケートのお願い

日頃から、本市の交通政策にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

本市では、長期的な視点から目指すべき公共交通の姿を明確にするとともに、これを維持していくための具体的施策を示した「瀬戸市地域公共交通総合連携計画（平成21年度～28年度）」を策定し、バス路線の見直しや運行本数・運行時間帯の拡大など、各種利用促進に取り組んできました。

しかし、人口減少や少子高齢化、自家用車への依存の高まりなどにより、バスの利用者は減少を続け、バス路線維持に対する国や市の財政負担が増加している傾向にあります。その一方で、自動車を運転できない高齢者や子供などの生活交通手段として、公共交通に対する必要性は高まっています。

そこで、現在の交通行動実態や、今後の公共交通のあり方など、公共交通のより良い利用環境を創出する上で必要となる基礎指標の把握を目的として、アンケートを実施させていただくこととしました。

アンケートは、市内在住の15歳以上の方から3,000人の方を無作為に抽出し、実施させていただいております。

ご多用のところ恐縮でございますが、アンケート実施の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

平成28年7月

瀬戸市長

瀬戸市地域公共交通会議会長

伊藤 保徳

### <アンケート調査票ご記入に当たっての注意事項>

1. ご回答は、設問ごとに該当する番号に○をつけるか、必要事項をご記入ください。  
なお、ご回答は差支えの無い範囲でお答えください。
2. ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、8月10日（水）までにお近くのポストに投函してください。
3. ご回答いただいた結果は、統計的に処理し、本調査の目的以外には使用しません。

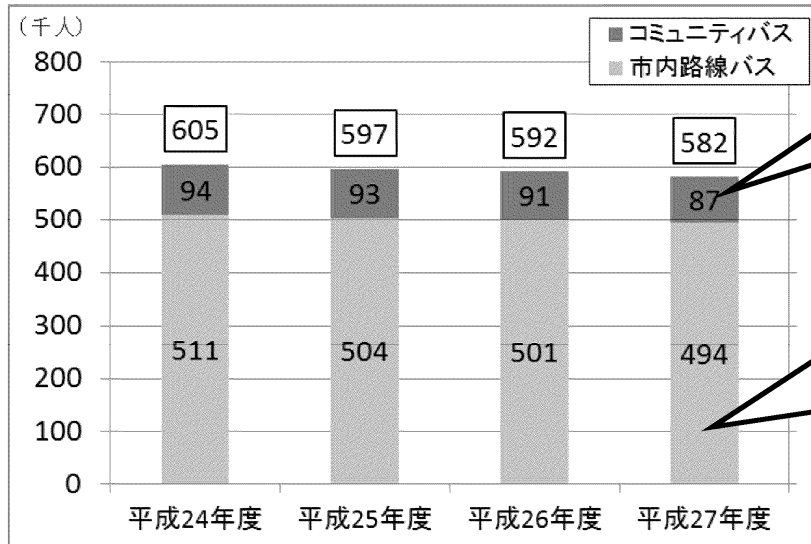
### 〔アンケートに関するお問い合わせ〕

瀬戸市役所 都市整備部 都市計画課 (0561-88-2666)

# 瀬戸市公共交通に関する市民アンケートのお願い

## 【 市内のバス交通の利用状況と運行経費について 】

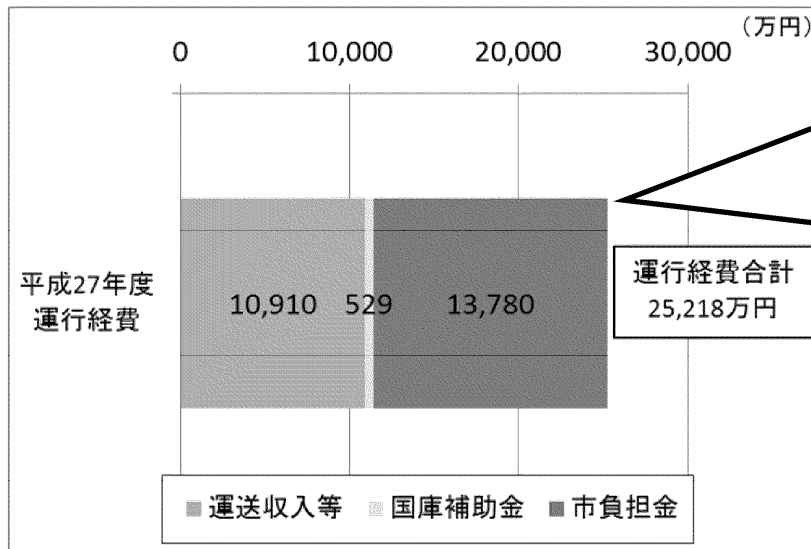
図 市内を運行するバス路線の利用者数推移（千人）



コミュニティバスの利用者数は年間約 8.7 万人

瀬戸市が補助金を負担する市内路線バスの利用者数は年間約 49.4 万人

図 市内を運行するバス路線の運行経費（万円）



年間運行経費のうち、市が年間に約 1 億 3,780 万円  
 路線バスに約 8,392 万円  
 コミュニティバスに約 5,388 万円  
 を負担

市民一人当たり年間約 1,000 円の負担

※各項目単位未満を四捨五入して表示しているため、合計が一致しない場合があります。

### ◆瀬戸市内を運行するバスの種類

**路線バス**：名鉄バスや東鉄バスが運行するバス路線のこと。市内の鉄道駅と主要な施設などを結ぶ

**コミュニティバス**：瀬戸市が主体となって運行するバス路線のこと。きめの細かいルート設定で住宅地や集落と主要な施設を結ぶ

裏面に、市内を運行する路線バス、コミュニティバスの「市内公共交通路線図」を掲載しています。



# 瀬戸市公共交通に関する市民アンケート調査票

## ■あなた自身のことについて

問1 あなた自身のことについて、各項目で該当する番号に○をつけてください。

① 性別 (1つに○)	1. 男性      2. 女性
② 年齢 (1つに○)	1. 10歳代    2. 20歳代    3. 30歳代    4. 40歳代 5. 50歳代    6. 60歳代    7. 70歳代以上
③ 職業 (1つに○)	1. 会社員・公務員・団体職員    2. 自営業・自由業    3. 学生 4. パート・アルバイト    5. 専業主婦(主夫)    6. 無職・その他
④ お住まい (町丁目を記入)	お住まいの町丁目：(記入例) <u>陶原町1丁目</u>  ( )
⑤ 自動車の利用状況 (2つまで○)	1. 自分で自動車をよく運転している 2. 家族等が送迎する自動車をよく利用している 3. 自動車を利用することはあまりない 4. 自動車を利用しない
50歳以上の方のみ	⑥ 運転免許証を返納しようと思う年齢 (1つに○)
	⑦ 運転免許証を返納した後に利用している又は利用したい主な移動手段 (1つに○)
	1. 60歳頃    2. 65歳頃    3. 70歳頃    4. 75歳頃 5. 80歳頃    6. 85歳頃    7. 90歳頃 8. 運転免許証は返納しない    9. 運転免許証を持っていない(返納した)
	1. 鉄道      2. バス      3. タクシー    4. 自転車 5. 徒歩      6. その他 ( )

## ■バスの認知度について

問2 あなたがバスについて知っていることを教えてください。

該当する番号全てに○をつけてください。

1. 市内を路線バスが走っていること	2. 市内をコミュニティバスが走っていること
3. 自宅近くのバス停の位置	4. 自宅近くのバス停の名前
5. 自宅近くを走るバスのダイヤ(時刻表)	6. 自宅近くを走るバスの運行経路(ルート)
7. 自宅近くを走るバスで行くことのできる施設	8. 自宅近くを走るバスの運賃
9. バスのことは何も知らない	

## ■ 普段の外出について

問3 あなたは日頃どのような“外出”をされていますか。最も多く外出すること、次いで多く外出することについて、それぞれ内容を教えてください。

※目的地の施設名は差支えの無い範囲でお答えください。

※外出しない方、外出できない方は空欄で結構です。

	最も多く外出すること	次いで多く外出すること
① 目的 (1つに○)	1. 通勤    2. 通学    3. 買物 4. 通院    5. 業務 6. 飲食・趣味・娯楽 7. 観光・レクリエーション 8. 送迎    9. その他 (_____)	1. 通勤    2. 通学    3. 買物 4. 通院    5. 業務 6. 飲食・趣味・娯楽 7. 観光・レクリエーション 8. 送迎    9. その他 (_____)
② 目的地 (1つに○ ・記入)	1. 市内 施設名：(_____) 2. 市外 市町村名：(_____)	1. 市内 施設名：(_____) 2. 市外 市町村名：(_____)
③ 頻度 (1つに○)	1. ほぼ毎日            2. 平日のみ 3. 休日のみ            4. 週に数日程度 5. 月に数日程度	1. ほぼ毎日            2. 平日のみ 3. 休日のみ            4. 週に数日程度 5. 月に数日程度
④ 移動手段 (利用する ものすべて に○)	1. 名鉄瀬戸線 2. 愛知環状鉄道 3. 路線バス 4. 瀬戸市コミュニティバス 5. タクシー 6. 自動車(自分で運転) 7. 自動車(他の人が運転) 8. 原付・バイク 9. 自転車 10. 徒歩 11. その他 (_____)	1. 名鉄瀬戸線 2. 愛知環状鉄道 3. 路線バス 4. 瀬戸市コミュニティバス 5. タクシー 6. 自動車(自分で運転) 7. 自動車(他の人が運転) 8. 原付・バイク 9. 自転車 10. 徒歩 11. その他 (_____)

## ■ 公共交通に対する満足度について

問4 現在の瀬戸市内の鉄道やバスなどの公共交通は、日常生活を送るうえで満足できる交通手段だと思いますか。(1つに○)

1. 思う            2. やや思う            3. あまり思わない            4. 思わない

## ■鉄道の利用について

問5 あなたはこの1年間に名鉄瀬戸線を利用しましたか。最も多く利用した目的について、その内容を教えてください。

① 利用した目的 (1つに○)	1. 通勤      2. 通学      3. 買物      4. 通院      5. 業務 6. 飲食・趣味・娯楽      7. 観光・レクリエーション 8. その他 ( _____ ) 9. 利用していない(⇒問6へ)
② 利用した駅名(記入)	名鉄(乗車: _____) 駅 ・ (降車: _____) 駅
③ 利用の最終目的地 (1つに○・記入)	1. 市内: 施設名 ( _____ ) 2. 市外: 市町村名 ( _____ )
④ 利用した頻度 (1つに○)	1. ほぼ毎日      2. 平日のみ      3. 休日のみ 4. 週に数日程度      5. 月に数日程度      6. 年に数日程度
⑤ 自宅から利用した駅 までの移動手段 (1つに○)	1. 路線バス      2. 瀬戸市コミュニティバス      3. タクシー 4. 自動車(自分で運転)      5. 自動車(他の人が運転) 6. 原付・バイク      7. 自転車      8. 徒歩      9. その他 ( _____ )
⑥ 利用のしやすさ (1つに○)	1. 満足      2. やや満足      3. やや不満      4. 不満
	選択した理由を { _____ } 具体的に記入

問6 あなたはこの1年間に愛知環状鉄道を利用しましたか。最も多く利用した目的について、その内容を教えてください。

① 利用した目的 (1つに○)	1. 通勤      2. 通学      3. 買物      4. 通院      5. 業務 6. 飲食・趣味・娯楽      7. 観光・レクリエーション 8. その他 ( _____ ) 9. 利用していない(⇒問7へ)
② 利用した駅名(記入)	愛環(乗車: _____) 駅 ・ (降車: _____) 駅
③ 利用の最終目的地 (1つに○・記入)	1. 市内: 施設名 ( _____ ) 2. 市外: 市町村名 ( _____ )
④ 利用した頻度 (1つに○)	1. ほぼ毎日      2. 平日のみ      3. 休日のみ 4. 週に数日程度      5. 月に数日程度      6. 年に数日程度
⑤ 自宅から利用した駅 までの移動手段 (1つに○)	1. 路線バス      2. 瀬戸市コミュニティバス      3. タクシー 4. 自動車(自分で運転)      5. 自動車(他の人が運転) 6. 原付・バイク      7. 自転車      8. 徒歩      9. その他 ( _____ )
⑥ 利用のしやすさ (1つに○)	1. 満足      2. やや満足      3. やや不満      4. 不満
	選択した理由を { _____ } 具体的に記入



■路線バスの利用について

問7 あなたはこの1年間に市内で路線バスを利用しましたか。最も多く利用した目的について、その内容を教えてください。

① 利用した目的 (1つに○)	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 業務 6. 飲食・趣味・娯楽 7. 観光・レクリエーション 8. その他( ) 9. 利用していない(⇒問8①へ)
② 利用したバス停 (記入)	(乗車: _____バス停)・(降車: _____バス停)
③ 利用の最終目的地 (1つに○・記入)	1. 市内:施設名( ) 2. 市外:市町村名( )
④ 利用した頻度 (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ 4. 週に数日程度 5. 月に数日程度 6. 年に数日程度
⑤ 自宅から利用した バス停までの移動 手段(1つに○)	1. タクシー 2. 自動車(自分で運転) 3. 自動車(他の人が運転) 4. 原付・バイク 5. 自転車 6. 徒歩 7. その他( )
⑥ 乗り継ぎの有無 (1つに○)	1. 乗り継ぎした 2. 乗り継ぎしない ↳ 【乗り継ぎ先の移動手段】 1. 鉄道 2. バス
⑦ 利用のしやすさ (1つに○)	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 (問9へ) (問8①へ)

問8① この1年間に市内で路線バスを利用していない方、または、問7⑦を「やや不満」「不満」と回答した方にお聞きします。

利用しない理由、または、不満な理由は次のうちどれですか。(3つまで○・記入)

1. 運行本数が少ない ⇒ およそ ( ) 分に1本運行してほしい
2. 始発時間が遅く、終発時間が早い ⇒ 始発:( : )頃、終発:( : )頃がよい
3. 鉄道や他のバスとの乗り継ぎが悪い ⇒ 乗り継ぎ時間は ( ) 分以内がよい
4. 遅延がある
5. 車内が混んでいる
6. 自宅や目的地などから最寄りバス停まで遠い
7. 行きたい施設を経由する路線がない
8. 市街地を巡回する路線がない
9. バス停にベンチや屋根がない
10. 運賃の割引制度がない
11. バスのダイヤやルートなどの情報が分からない
12. その他 ( )

問8② 問8①で回答した項目が改善された場合、利用意向はどうなりますか。(1つに○)

1. 今まで以上に利用したい	2. 現在と同程度で利用したい
3. 新たに利用したい	4. 改善されても利用しない

## ■コミュニティバスの利用について

問9 あなたはこの1年間に市内でコミュニティバスを利用しましたか。最も多く利用した目的について、その内容を教えてください。

① 利用した目的 (1つに○)	1. 通勤 2. 通学 3. 買物 4. 通院 5. 業務 6. 飲食・趣味・娯楽 7. 観光・レクリエーション 8. その他 ( ) 9. 利用していない(⇒問10①へ)
② 利用したバス停 (記入)	(乗車: _____バス停)・(降車: _____バス停)
③ 利用の最終目的地 (1つに○・記入)	1. 市内: 施設名 ( ) 2. 市外: 市町村名 ( )
④ 利用した頻度 (1つに○)	1. ほぼ毎日 2. 平日のみ 3. 休日のみ 4. 週に数日程度 5. 月に数日程度 6. 年に数日程度
⑤ 自宅から利用した バス停までの移動 手段(1つに○)	1. タクシー 2. 自動車(自分で運転) 3. 自動車(他の人が運転) 4. 原付・バイク 5. 自転車 6. 徒歩 7. その他 ( )
⑥ 乗り継ぎの有無 (1つに○)	1. 乗り継ぎする 2. 乗り継ぎしない ↳ 【乗り継ぎ先の移動手段】 1. 鉄道 2. バス
⑦ 利用のしやすさ (1つに○)	1. 満足 2. やや満足 3. やや不満 4. 不満 ┌──────────┴──────────┐ (問11へ) (問10①へ)

問10① この1年間に市内でコミュニティバスを利用していない方、または、問9⑦を「やや不満」「不満」と回答した方にお聞きします。

利用しない理由、または、不満な理由は次のうちどれですか。(3つまで○・記入)

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 運行本数が少ない ⇒ およそ ( ) 分に1本運行してほしい</li> <li>2. 始発時間が遅く、終発時間が早い ⇒ 始発: ( : ) 頃、終発: ( : ) 頃がよい</li> <li>3. 鉄道や他のバスとの乗り継ぎが悪い ⇒ 乗り継ぎ時間は ( ) 分以内がよい</li> <li>4. 遅延がある</li> <li>5. 車内が混んでいる</li> <li>6. 自宅や目的地などから最寄りバス停まで遠い</li> <li>7. 行きたい施設を経由する路線がない</li> <li>8. 目的地まで最短ルートで運行する路線がない</li> <li>9. 予約すると自宅や目的地まで迎えに来てくれる路線がない</li> <li>10. バス停にベンチや屋根がない</li> <li>11. 運賃の割引制度がない</li> <li>12. バスのダイヤやルートなどの情報が分からない</li> <li>13. その他 ( )</li> </ul>
--

問10② 問10①で回答した項目が改善された場合、利用意向はどのようになりますか。(1つに○)

<ul style="list-style-type: none"> <li>1. 今まで以上に利用したい</li> <li>2. 現在と同程度で利用したい</li> <li>3. 新たに利用したい</li> <li>4. 改善されても利用しない</li> </ul>
--

## ■バスの意義について

問 11 市内を運行するバスについて、あなたはどのような意義があると思いますか。

①～⑫の設問ごとに あなたの考えに該当する番号 1 つに○を付けてください。

バスの意義		そう思う	ややそう思う	あまり思わない	そう思わない
例	⑫ 市外から来訪する人にとって重要な移動手段である	4	③	2	1
①	あなた自身が、通勤や通学のために利用する重要な移動手段である	4	3	2	1
②	あなた自身が、買物や通院のために利用する重要な移動手段である	4	3	2	1
③	あなた自身が、普段利用することは少ない（または無い）が、もしものためにあって欲しい移動手段である	4	3	2	1
④	あなたの家族・知人が通勤や通学のために利用する重要な移動手段である	4	3	2	1
⑤	あなたの家族・知人が買い物や通院のために利用する重要な移動手段である	4	3	2	1
⑥	あなたの家族・知人が普段利用することは少ない（または無い）が、もしものためにあって欲しい移動手段である	4	3	2	1
⑦	市内にお住まいの子供や高齢者にとって重要な移動手段である	4	3	2	1
⑧	市内の地域間での交流が生まれ、まちが活性化する	4	3	2	1
⑨	市内の中心部へ行くバスがあることで、駅や市内の公共施設へ行きやすくなる	4	3	2	1
⑩	市内の交通の不便な地域へ行くバスがあることで、地域の拠点や主要なバス停へ行きやすくなる	4	3	2	1
⑪	隣接市へ行くバスがあることで、広域的な移動がしやすくなる	4	3	2	1
⑫	市外から来訪する人にとって重要な移動手段である	4	3	2	1

## ■駅やバス停の利便性について

問 12 徒歩圏（無理なく歩ける距離）とは、駅およびバス停から自宅まで、何分くらいだと思いますか。「駅」、「バス停」それぞれについて該当する番号 1 つに○をつけてください。

駅 から	徒歩圏		バス 停 から	徒歩圏	
	1. 1分程度	2. 3分程度		1. 1分程度	2. 3分程度
	3. 5分程度	4. 7分程度		3. 5分程度	4. 7分程度
	5. 10分程度	6. 15分程度		5. 10分程度	6. 15分程度
	7. 20分程度	8. 25分以上		7. 20分程度	8. 25分以上

問13 最寄りの「駅」や「バス停周辺」にあるとよいと思う施設やサービスは何ですか。  
それぞれ下記の選択肢から3つ選び、重視する順に番号を記入してください。

駅にあるとよい施設やサービス	バス停周辺にあるとよい施設やサービス
1位 [ ] 2位 [ ] 3位 [ ]	1位 [ ] 2位 [ ] 3位 [ ]

<b>【 選 択 肢 】</b>	1. 公共交通の運行情報	2. 周辺施設の案内情報
	3. 雨風が防げる待合施設	4. 駐輪場や駐車場の充実
	5. 病院や医療サービス	6. 介護施設や介護支援サービス
	7. 保育園や子育て支援サービス	8. 図書館や文化施設
	9. 交流広場などのオープンスペース	10. スーパーやコンビニ
	11. 銀行や郵便局	12. 支所等の公共施設や行政サービス
	13. イベントやクラブ活動の開催	14. その他 ( )

**■バスで行きたい、または行ってほしい施設について**

問 14 バスで行きたい、または行ってほしい市内及び隣接市の施設（具体的な施設名称）をそれぞれ3つまで記入してください。

バスで行きたいまたは行ってほしい施設の具体的な施設名		バスで行けるようになった場合の施設の訪問頻度
例	具体的な施設名 { △△△スーパー〇〇店 } * 〇〇店などの具体的な名称まで記入してください。	1. ほぼ毎日 ② 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度
市内	① 具体的な施設名 { }	1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度
	② 具体的な施設名 { }	1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度
	③ 具体的な施設名 { }	1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度
隣接市	① ( ) 市 具体的な施設名 { }	1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度
	② ( ) 市 具体的な施設名 { }	1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度
	③ ( ) 市 具体的な施設名 { }	1. ほぼ毎日 2. 週に数日程度 3. 月に数日程度 4. 年に数日程度

## ■公共交通の費用負担と維持のあり方について

問 15 現在、市内の路線バス及びコミュニティバスは年間約 58 万人の方が利用しています。バスを運行するため、市は年間 約 1 億 3,780 万円（市民一人当たり約 1,000 円）を負担しています。今後、バスを運行するための費用負担に対して、あなたの考えに該当する番号 1 つに○をつけてください。

1. 現在よりも便利にするため、市の負担を増やすべき
2. 現在の運行を維持するため、市の負担は現状程度でよい
3. 現在よりも運行日数や運行本数を減らし、市の負担を減らすべき
4. 運賃を値上げして、市の負担を減らすべき

問 16 コミュニティバスを利用する場合、あなたが負担してもよいと思う 1 乗車あたりの運賃を教えてください。あなたの考えに該当する番号 1 つに○をつけてください。

1. 0 円    2. 100 円（現行と同じ）    3. 200 円    4. 300 円    5. 400 円    6. 500 円

問 17 地域の公共交通を維持するために、あなたが取り組んだり、参加してもよいと思うものは何ですか。該当する番号全てに○をつけてください。

1. 公共交通を積極的に利用する
2. 地域が開催する公共交通を活用したイベントに参加する
3. 地域住民で協賛金（募金など）を募り、収入を増やす
4. 企業の協賛金や広告費などを募り、収入を増やす
5. 地域で公共交通について話し合う場や組織に参加する
6. 地域が主体となり、地域の特性やニーズに応じた新たな公共交通を運行する
7. その他（\_\_\_\_\_）

## ■公共交通に対する考えやアイデアについて

問 18 こんなバスがあったら便利！ こんなイベントを行えば公共交通の利用が増える！など、公共交通の利便性を高めるアイデアを自由に記入してください。

<自由意見欄>（記入例）土曜日と日曜日は、森林公園に行けるバスを運行して欲しい。

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。このアンケート調査票は同封の返信用封筒（切手不要）に入れ、8月10日（水）までにお近くのポストに投函してください。

## 2) アンケートの集計結果

### (1) あなた自身のことについて

#### 【問1① 性別】

- ・男性と女性が概ね半数となっている。

#### 【問1② 年齢】

- ・60歳代が約20%と最も多く、70歳代以上と合わせて約38%となっている。40歳代も約19%と多い。

#### 【問1③ 職業】

- ・会社員等が約35%と最も多い。専業主婦（主夫）、無職・その他も合わせて約34%と多い。

#### 【問1④ 居住地】

- ・約50%が中央地域となっている。

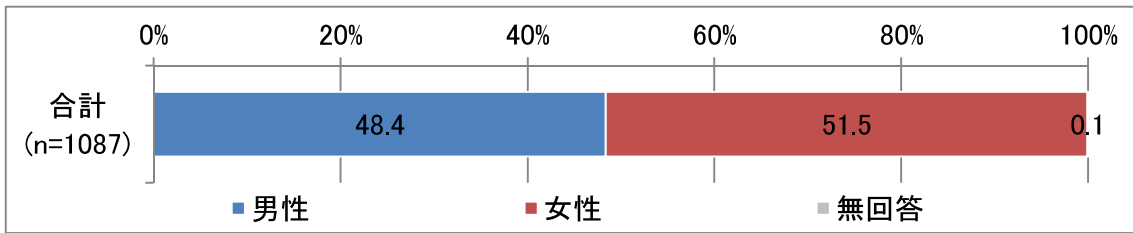
#### 【問1⑤ 自動車の利用状況】

- ・ほとんどの人が「自分でよく運転」している（約73%）。
- ・60歳以上の高齢者に限定しても、「自分でよく運転」する人が約68%と多い。

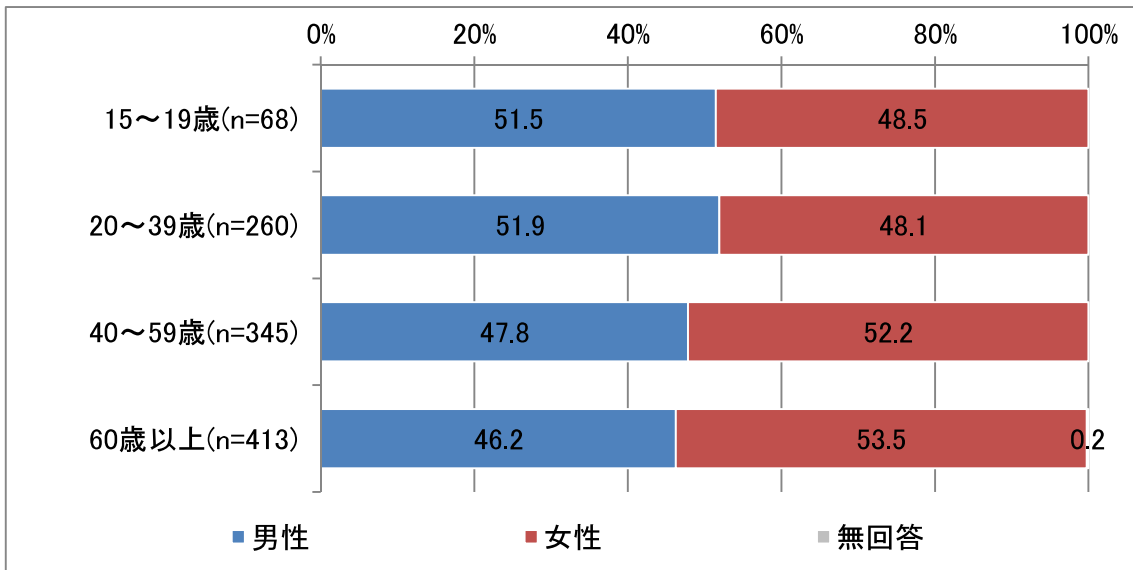
#### 【問1⑥ 運転免許の返納】

- ・運転免許の返納しようと思う年齢については、75～80歳頃が多く、80歳頃は約30%、75歳頃は約23%、合わせて約52%となっている。
- ・免許返納後の移動手段については、バスが約44%と最も多く、第2位の鉄道の約3倍となっている。

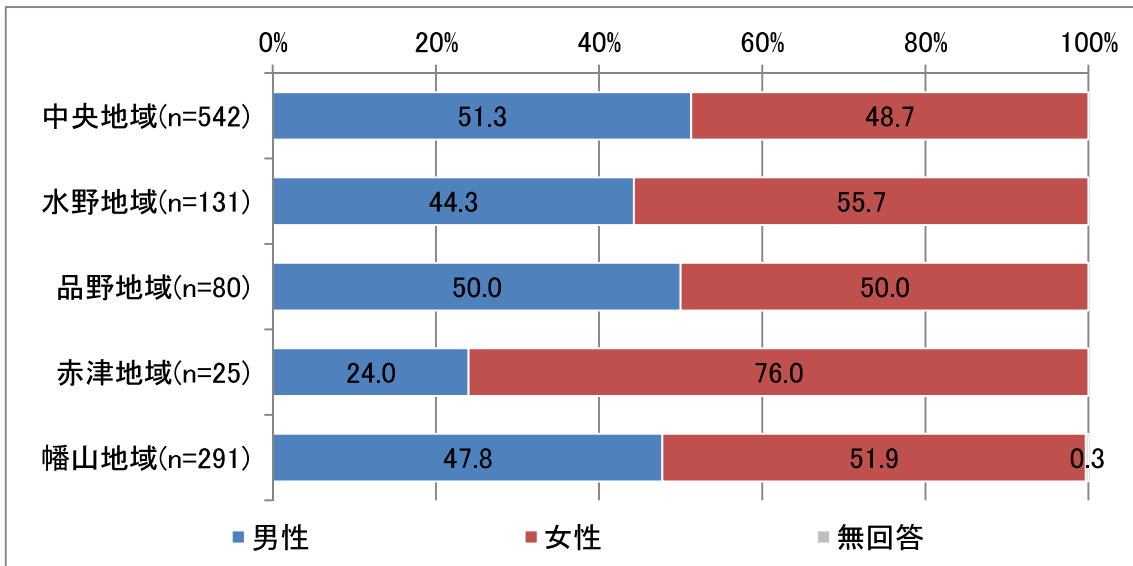
【問1①】性別



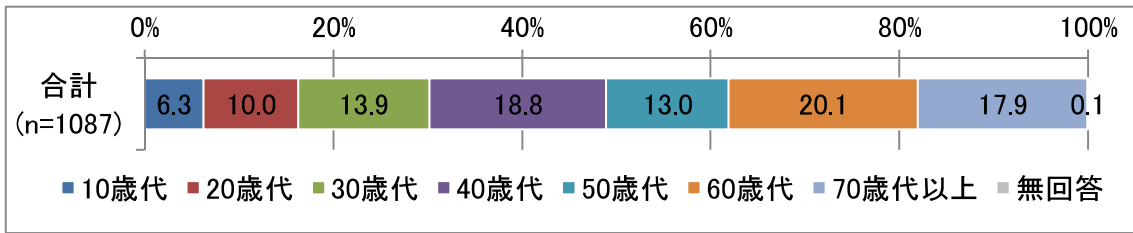
<年齢階層別>



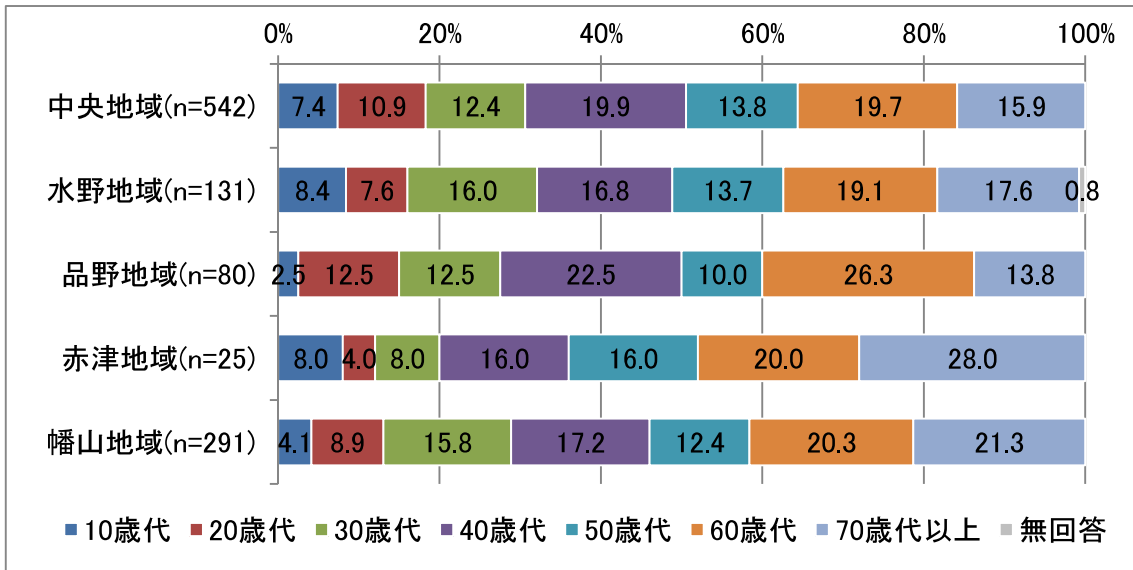
<地域別>



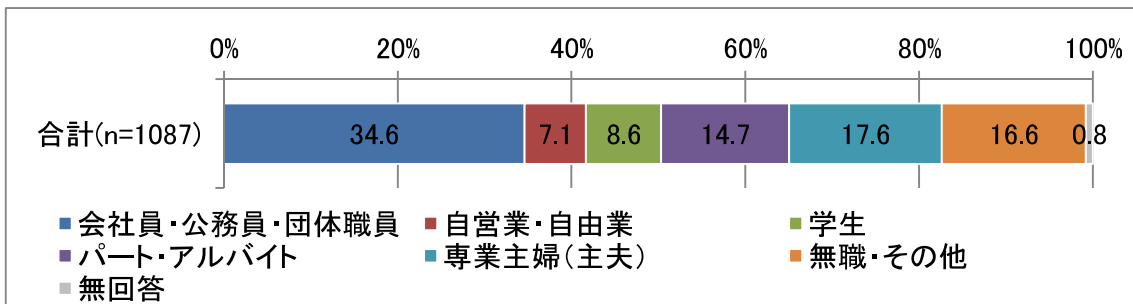
【問 1 ②】 年齢



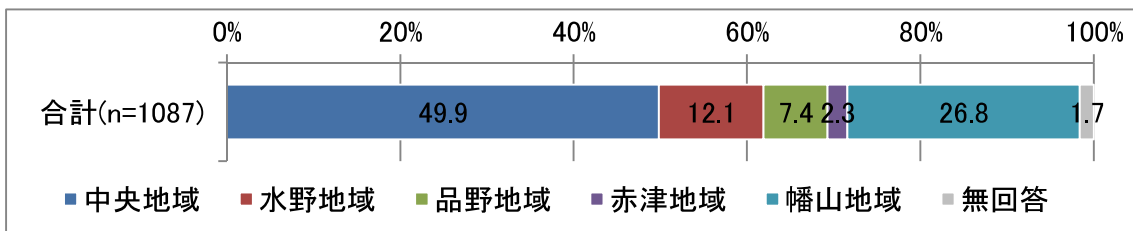
<地域別>



【問 1 ③】 職業

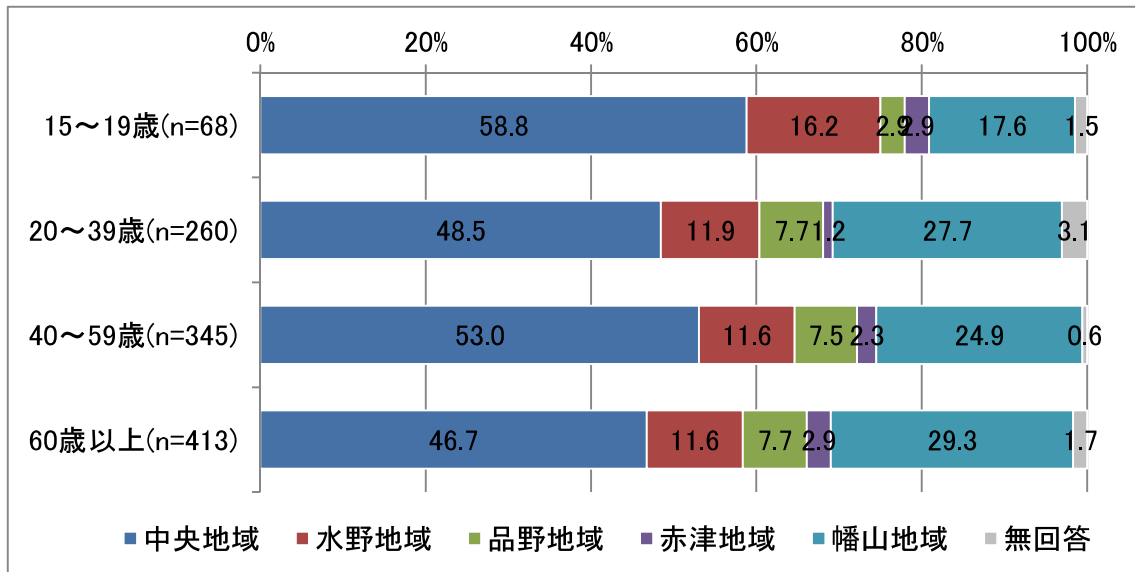


【問 1 ④】 お住まい

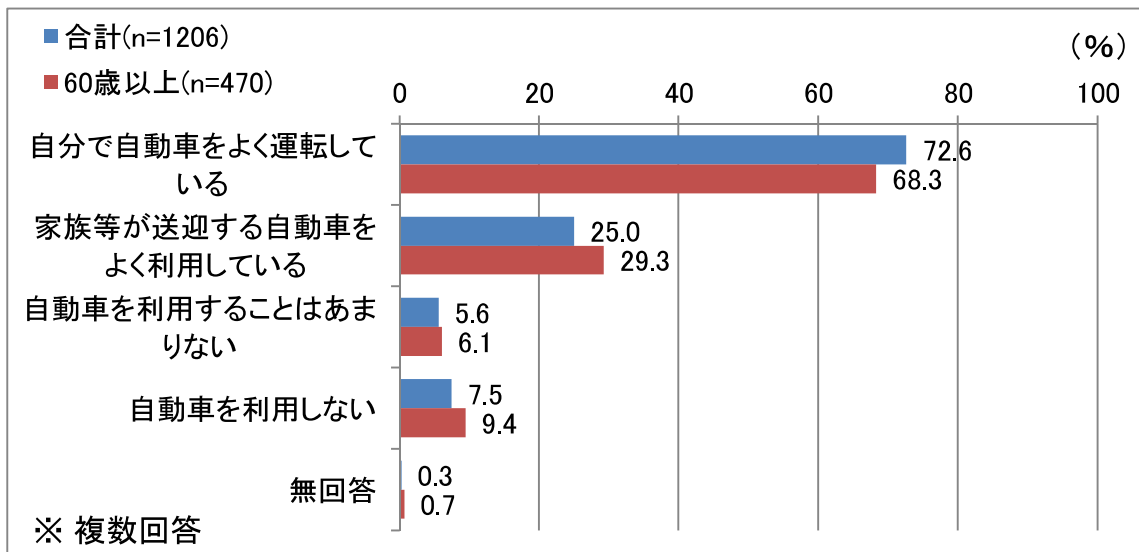




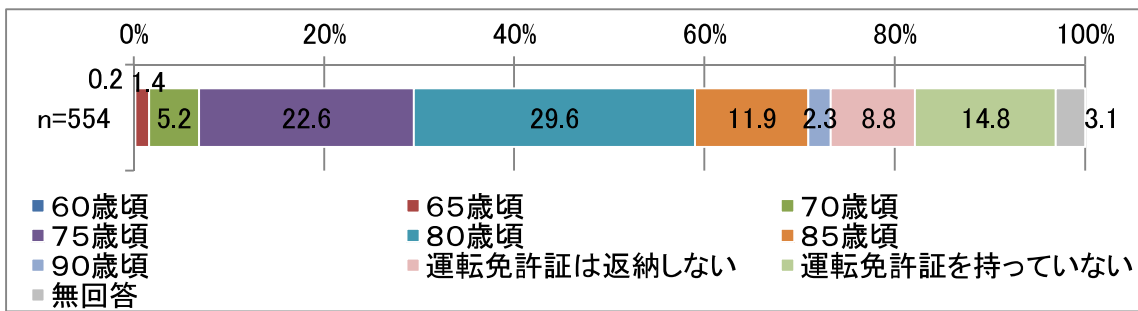
<年齢階層別>



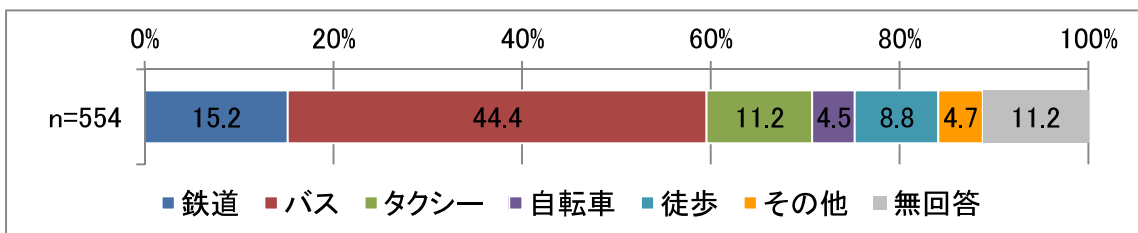
【問 1 ⑤】 自動車の利用状況



【問 1 ⑥】 運転免許証を返納しようと思う年齢（50 歳以上の方のみ）



【問 1 ⑥】 運転免許証を返納した後に利用している又は利用したい主な移動手段（50 歳以上の方のみ）

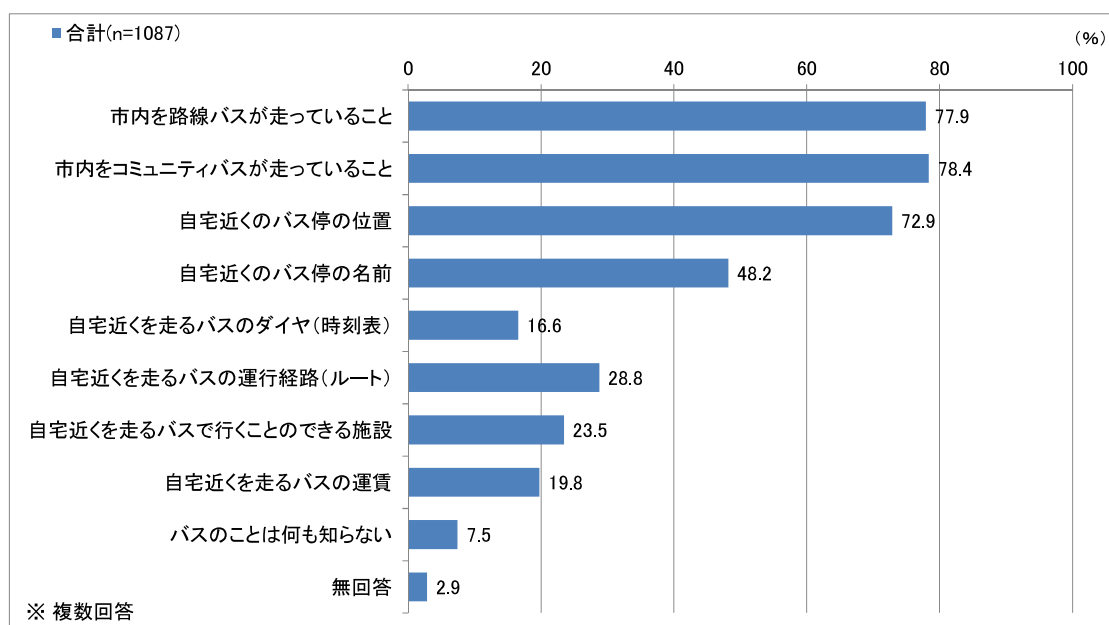


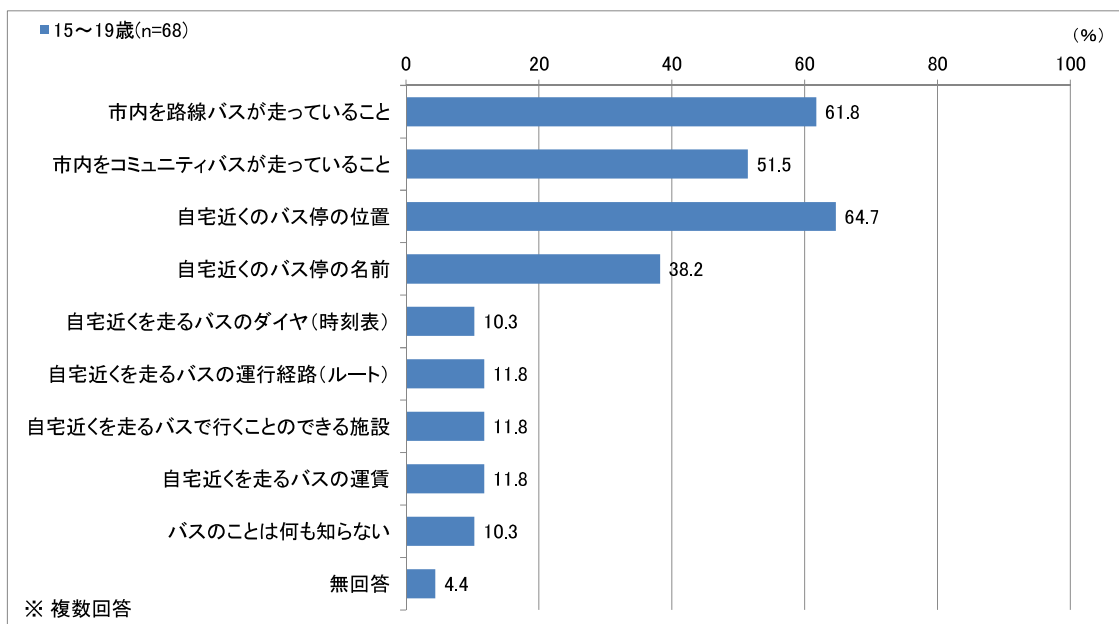
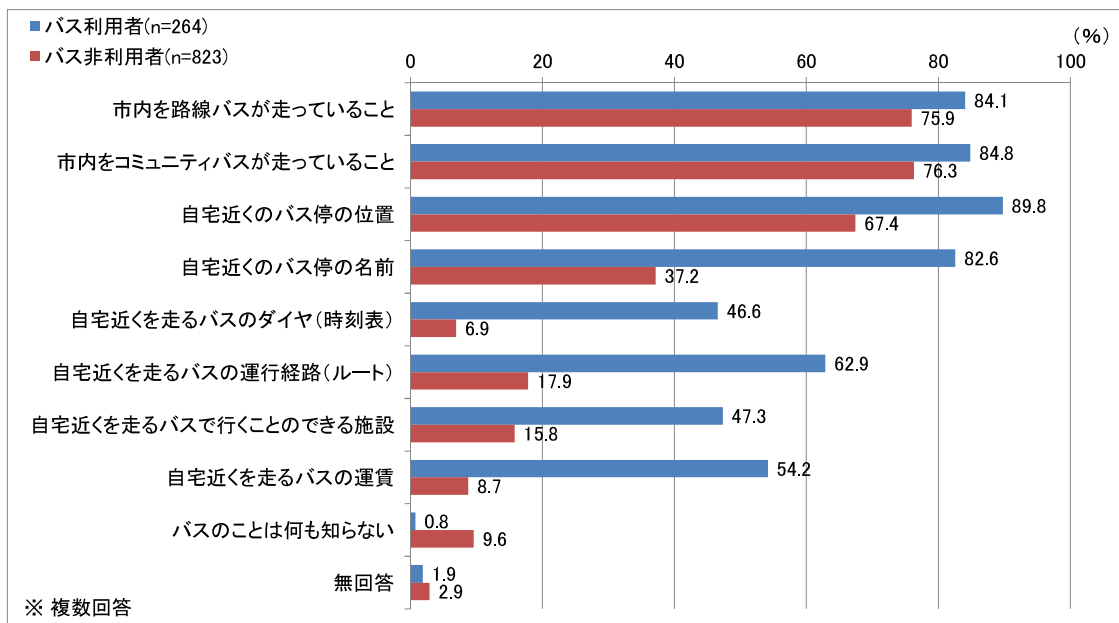
## (2) バスの認知度について

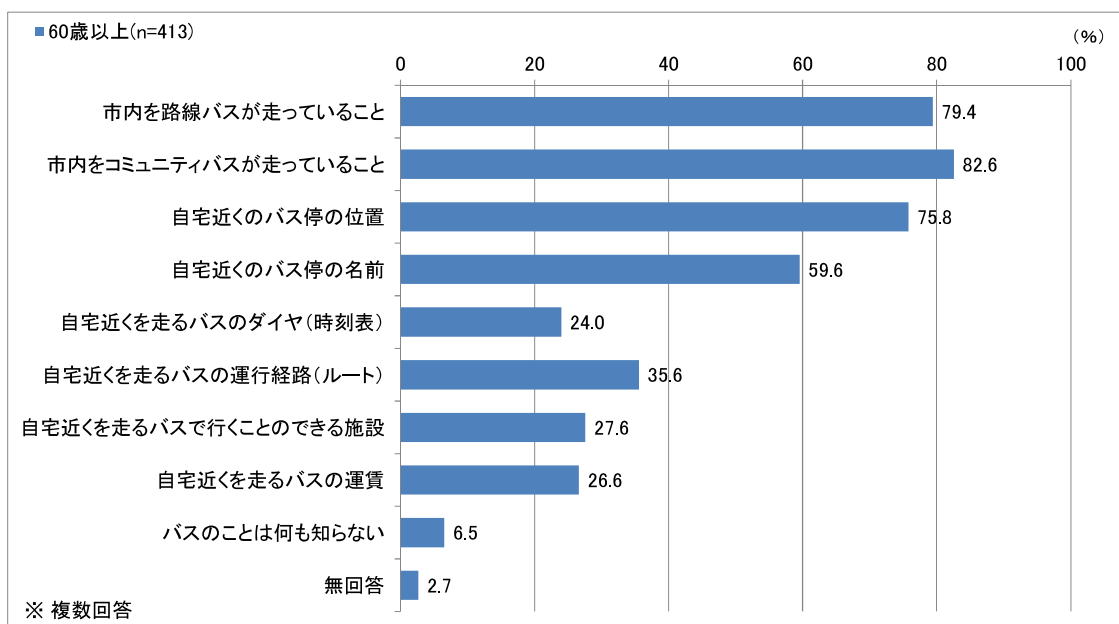
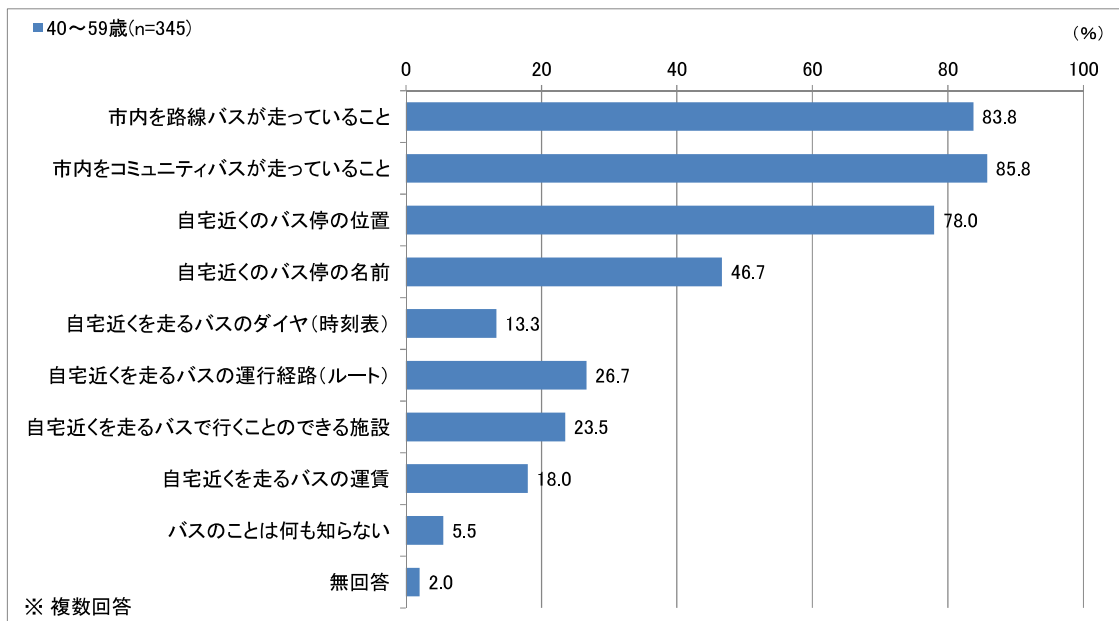
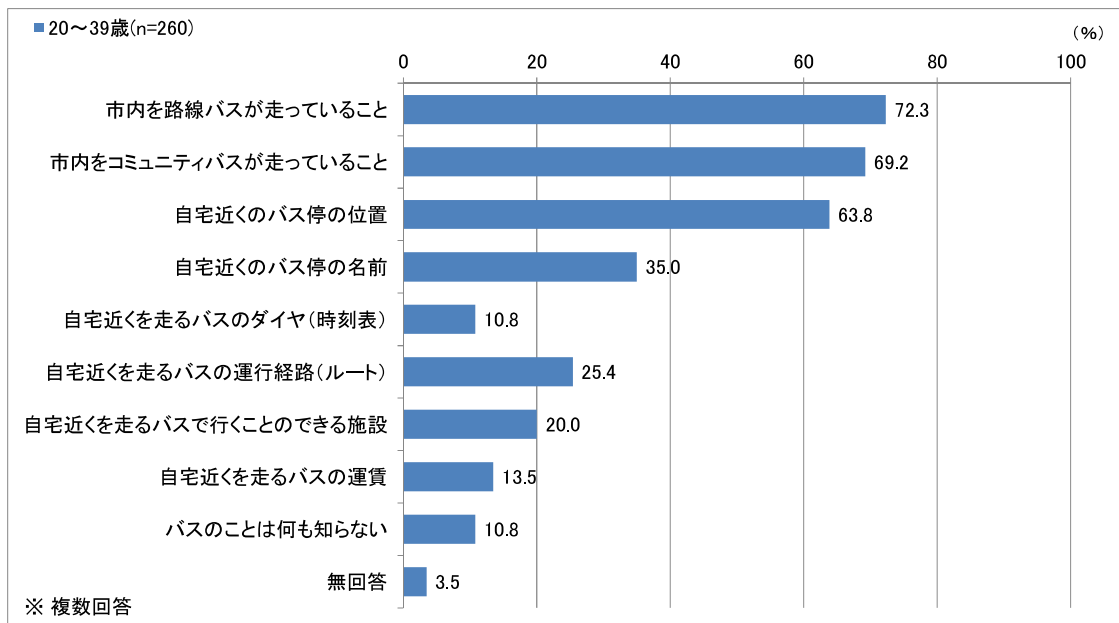
### 【問2 バスについて知っていること】

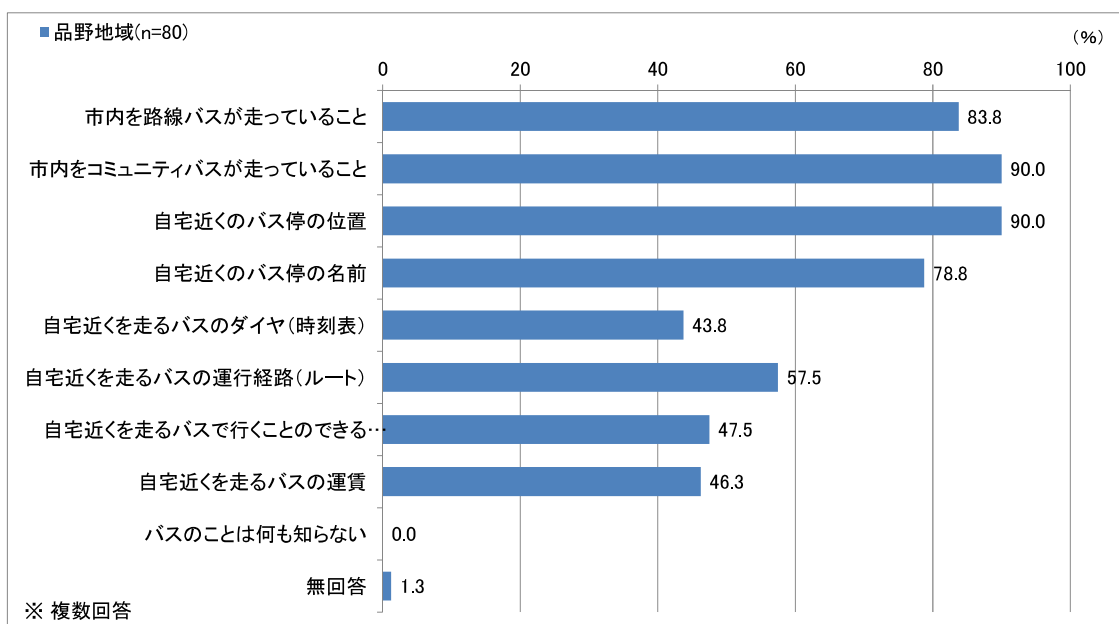
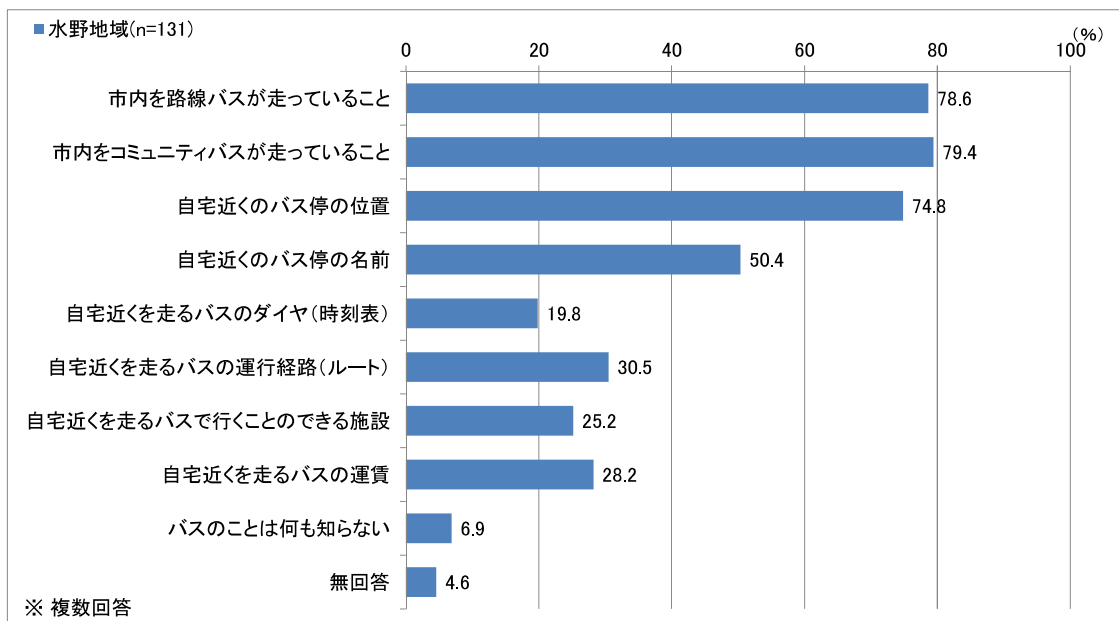
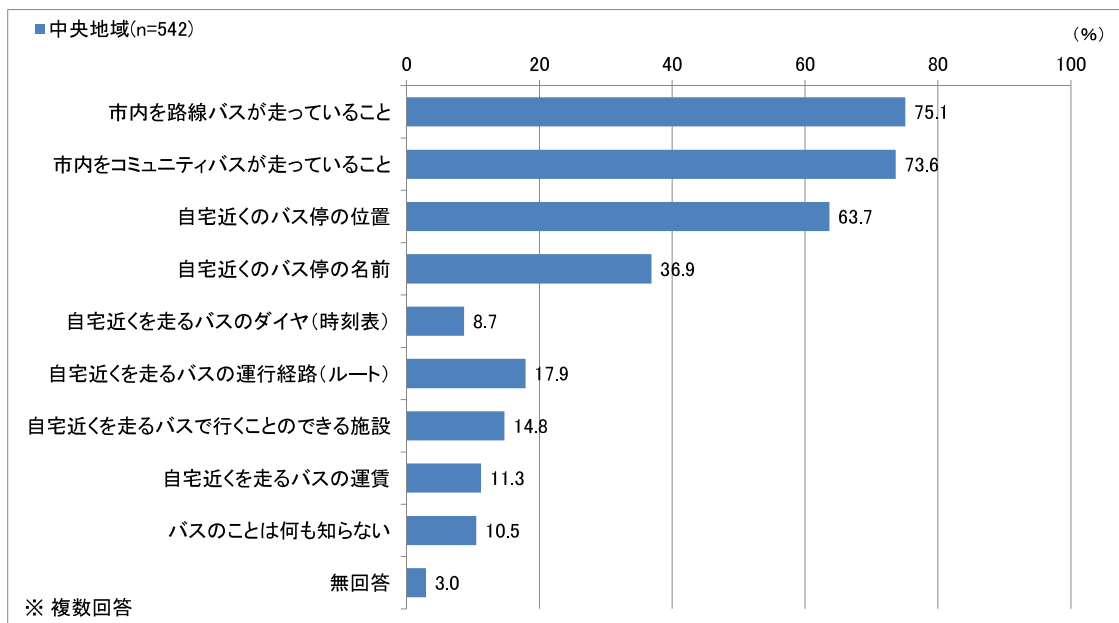
- ・「コミュニティバスが走っていること」、「路線バスが走っていること」、「自宅近くのバス停の位置」については、70%以上の人が知っている。
- ・「自宅近くを走るバスのダイヤ」、「自宅近くを走るバスの運賃」については、知っている人が少なく、20%を下回っている。また、「バスのことは何も知らない」人が約8%存在している。
- ・バスの非利用者では、「自宅近くのバス停の名前」から「自宅近くを走るバスの運賃」までの具体的な情報について、市合計よりも32~46ポイント低くなっている。
- ・年齢階層別にみると、「自宅近くのバス停の名前」から「自宅近くを走るバスの運賃」までの具体的な情報については、60歳以上の高齢者において他の年齢階層よりも知っている人が多い。
- ・品野地域、赤津地域においては各項目とも知っている人が多い。一方、中央地域において各項目とも知っている人が少ない。

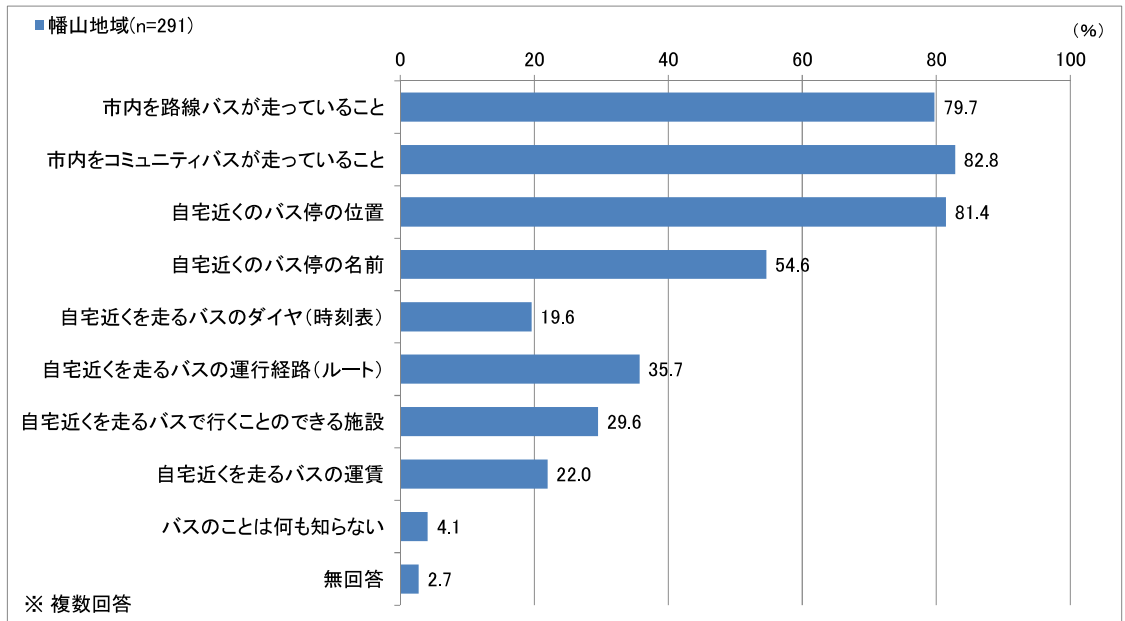
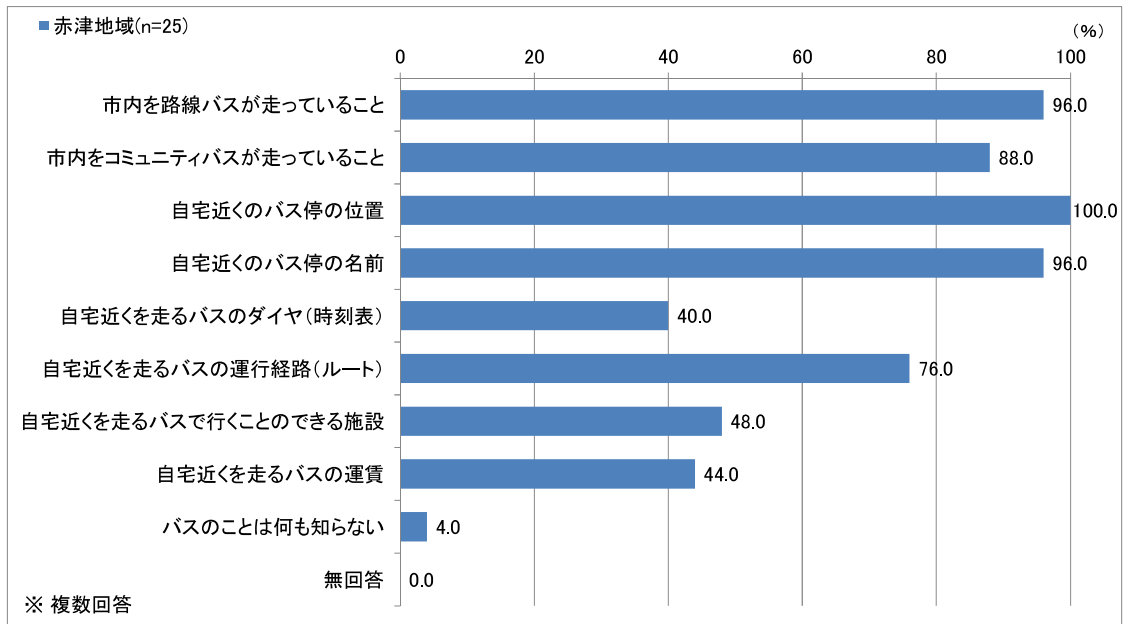
### 【問2】バスについて知っていること











### (3) 普段の外出について（※最大2つの目的について回答）

#### 【問3① 外出する主な目的】

- ・買物が約35%で最も多く、次いで通勤が約26%となっている。  
最も多い外出では通勤が約48%で、次いで多い外出でみると買物が約43%で最も多い。

#### 【問3② 目的地】

- ・市内が約51%、市外が約35%となっている。  
市内の行き先施設は商業施設、勤務先（会社）、医療施設が多い。  
市外の外出先は名古屋市が約43%と最も多く、次いで尾張旭市（約13%）、長久手市（約10%）となっている。
- ・目的別にみると、通勤・通学では市外の割合が高く、50%を超えている。
- ・地域別にみると、赤津地域では、他の地域よりも市内の割合が高く、60%を超えている。

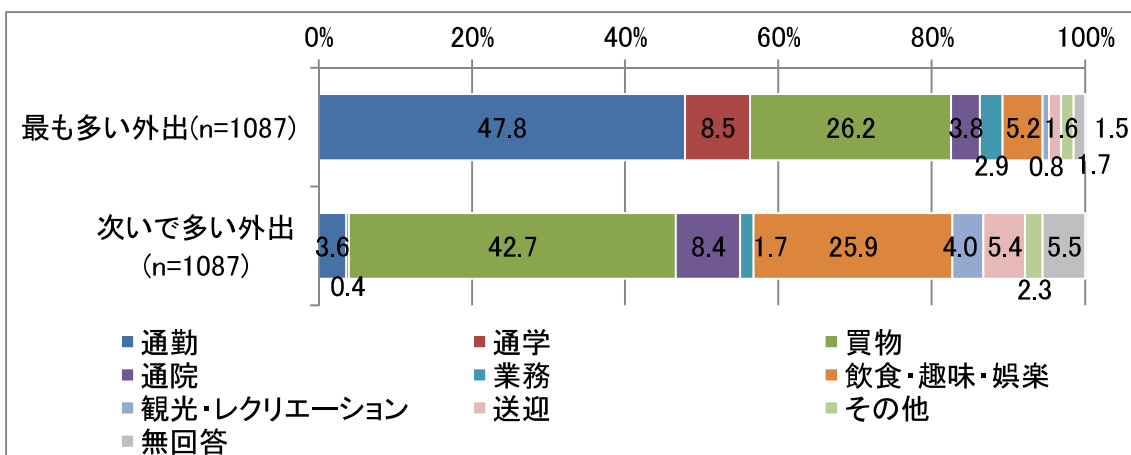
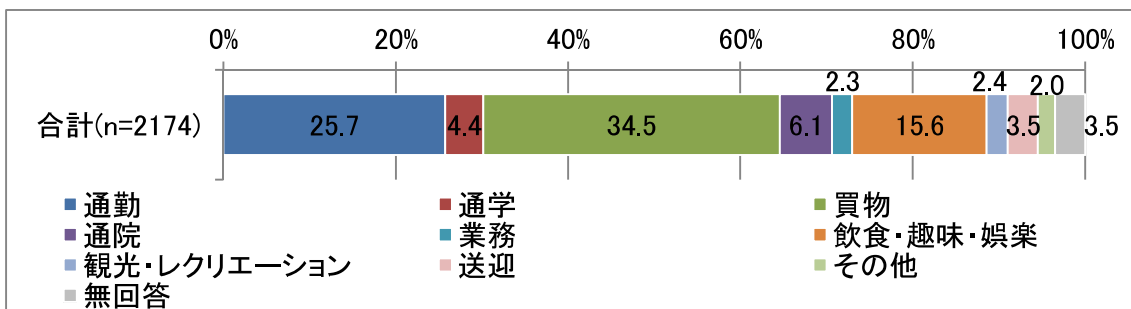
#### 【問3③ 外出頻度】

- ・約25%が「ほぼ毎日」外出している。「週に数日程度」の外出も約25%と多い。
- ・目的別にみると、買物では「週に数日程度」が約40%、通院では「月に数日程度」が約56%で最も多い。

#### 【問3④ 外出する際の移動手段】

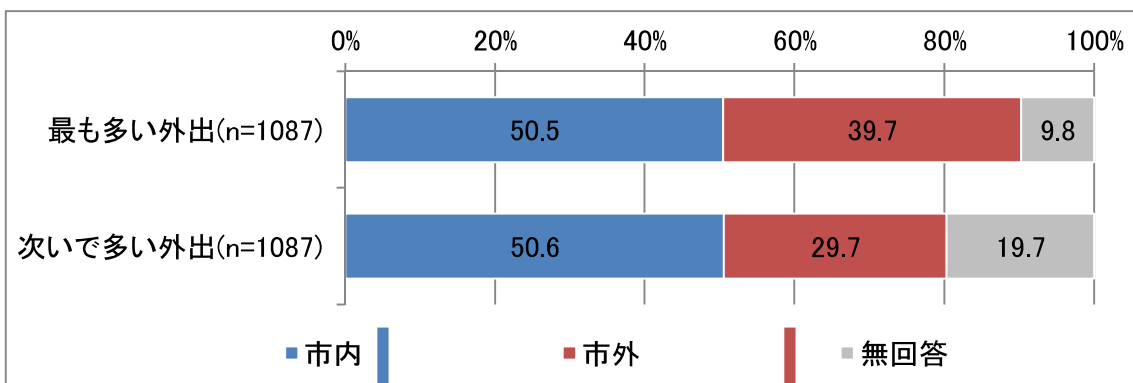
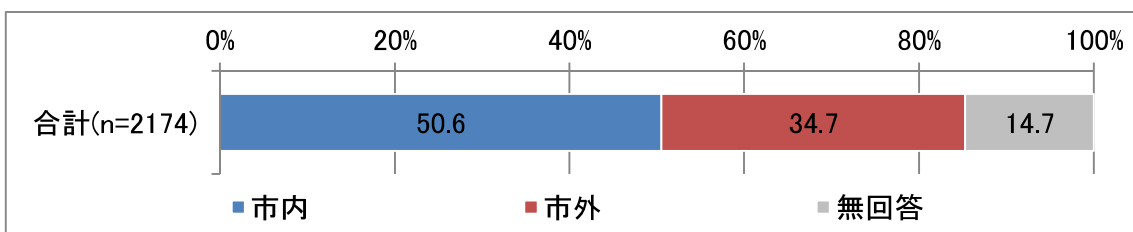
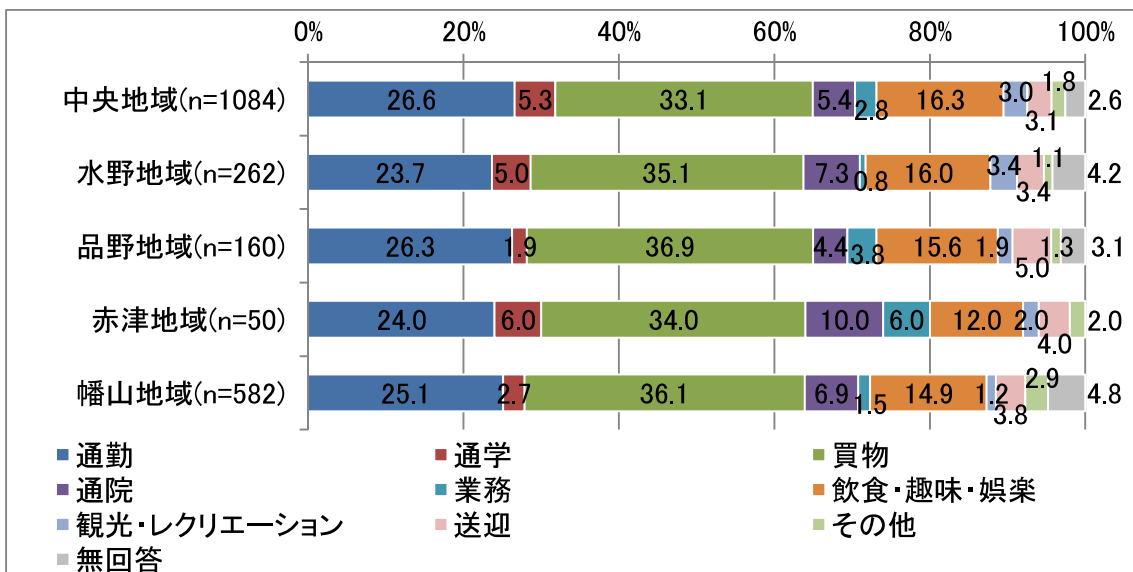
- ・約61%が自動車（自分で運転）を利用している。  
公共交通では、名鉄瀬戸線（約26%）、愛知環状鉄道（約13%）、路線バス（約10%）、コミュニティバス（約3%）の順となっている。
- ・目的別にみると、通院では路線バス、タクシーを利用する人が多く、21%以上となっている。
- ・地域別にみると、品野地域と赤津地域で路線バスを利用する割合が高く約20%となっている。また、赤津地域では自動車（他の人が運転）が他の地域よりも高く、30%を超えている。

【問3①】外出する主な目的

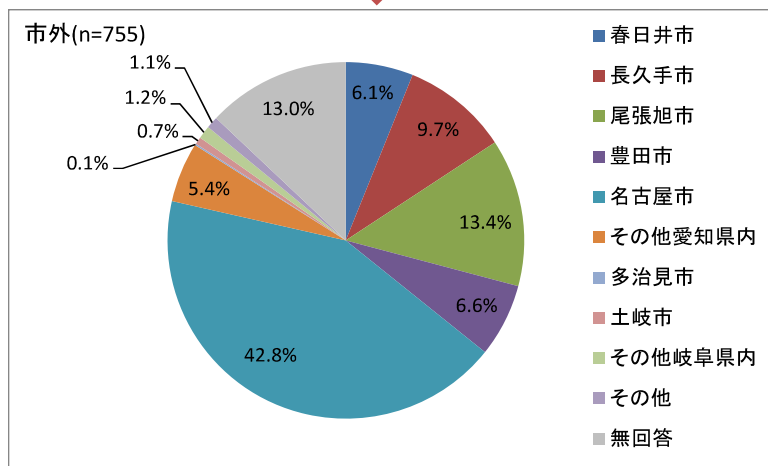




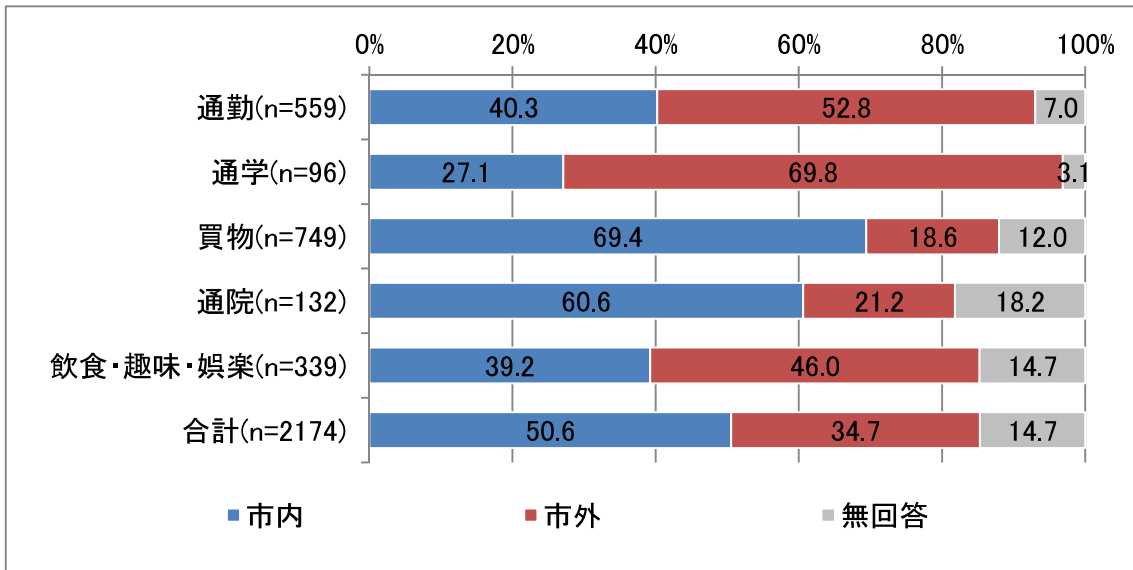
<地域別>



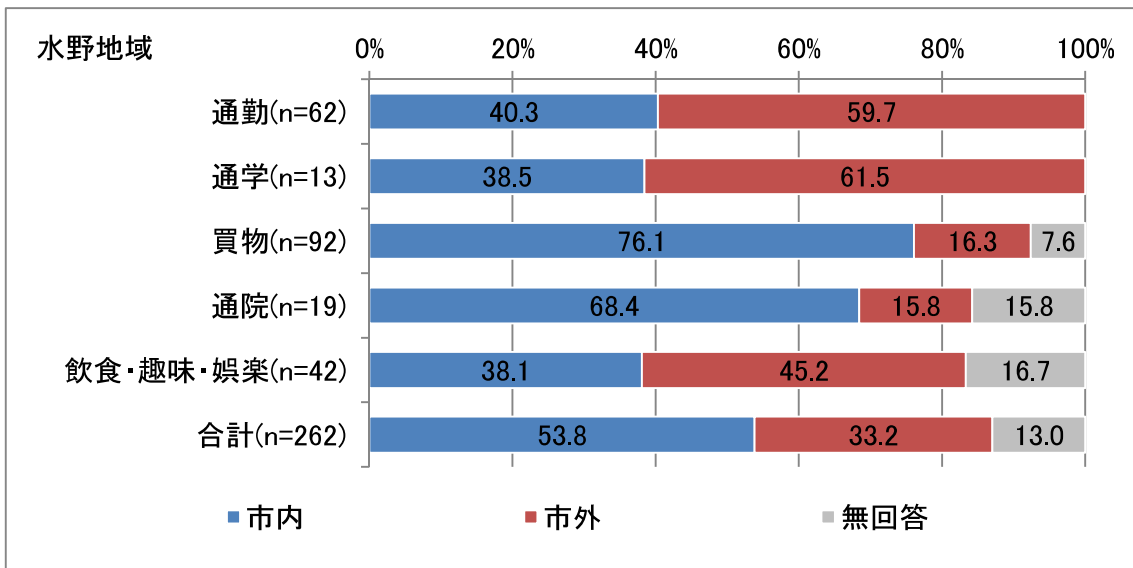
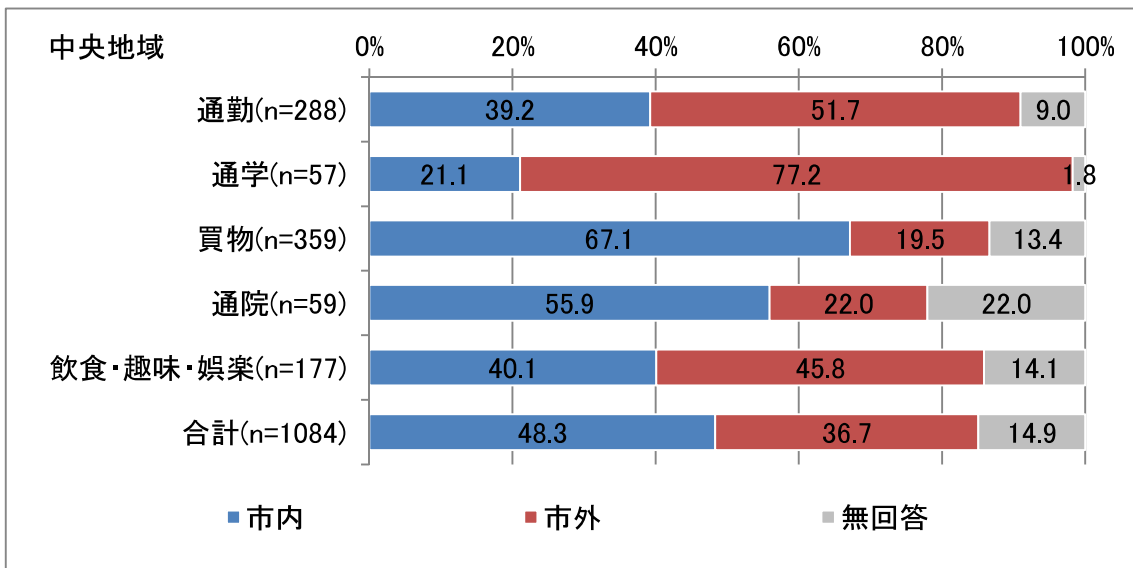
市内施設 (上位 10 位)	回答者数
イオン瀬戸みずの店	96
スーパー	91
アピタ	58
会社	48
陶生病院	40
バロー	39
ピアゴ	18
医療施設	17
フィール瀬戸店	16

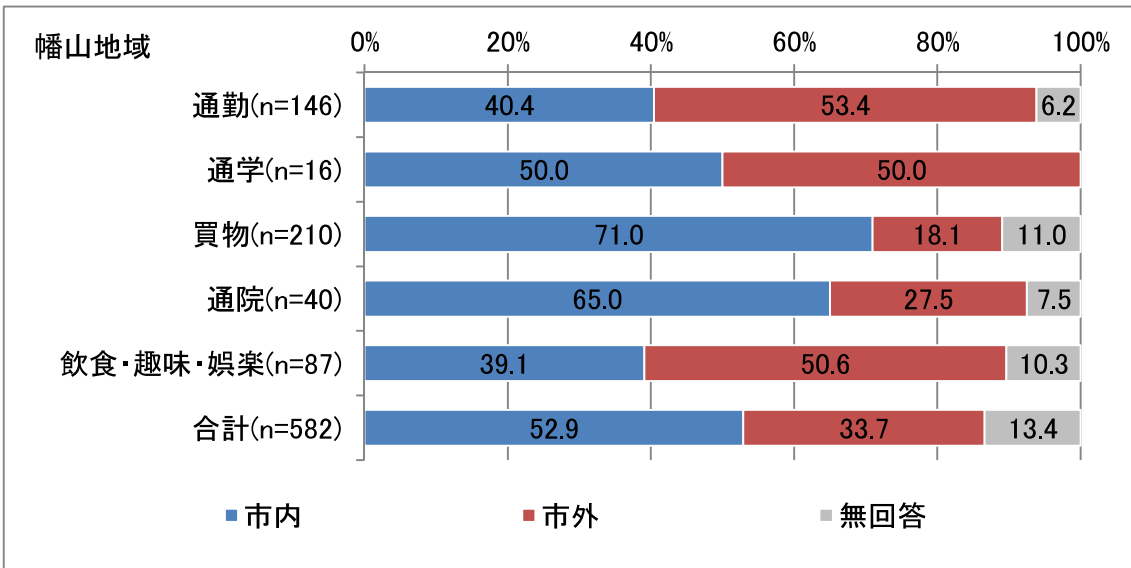
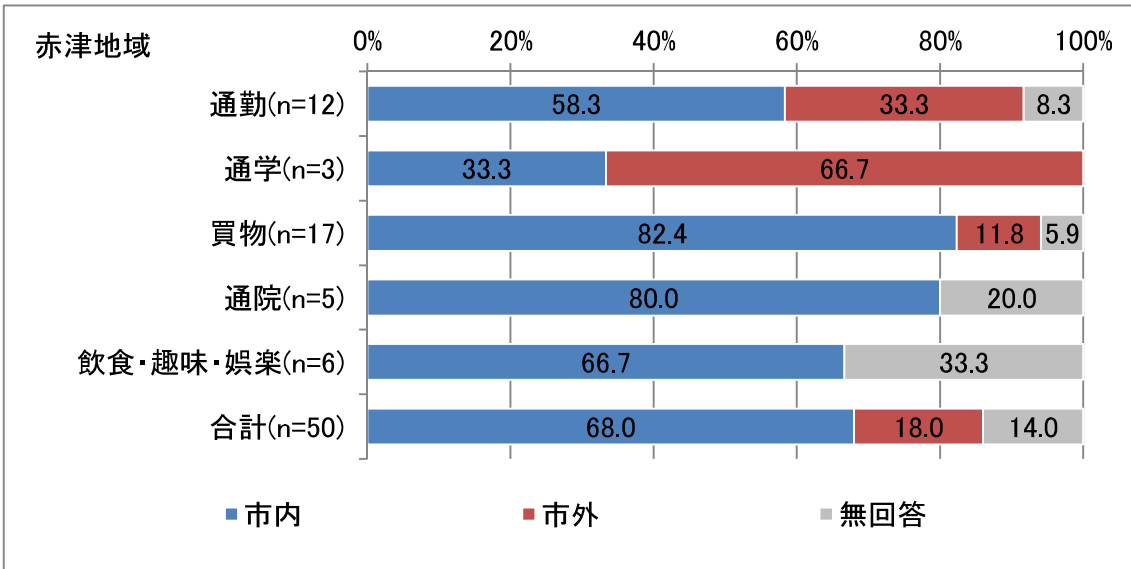
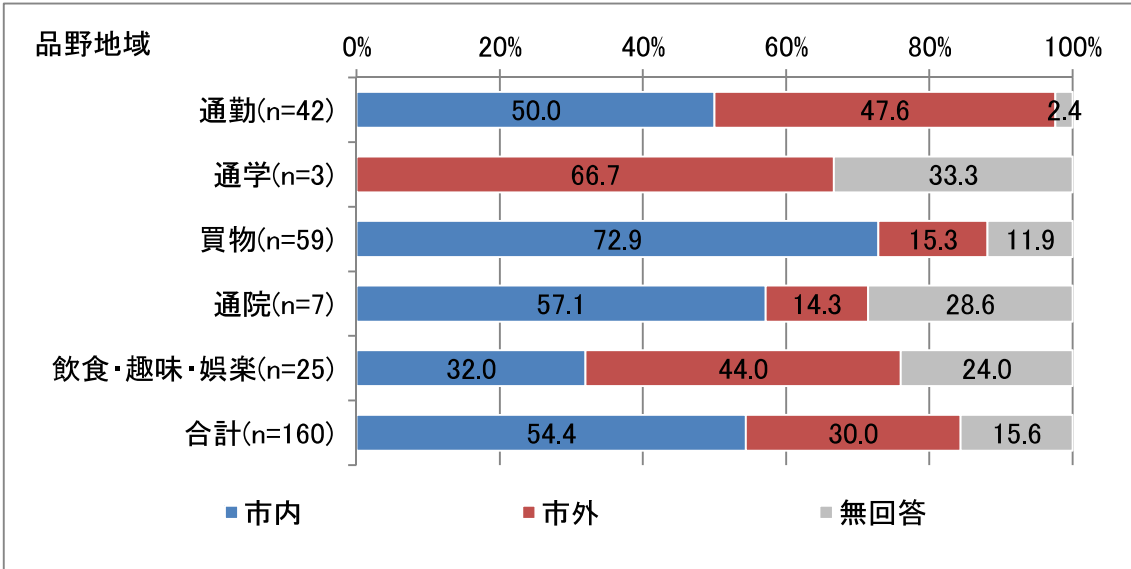


<目的別>

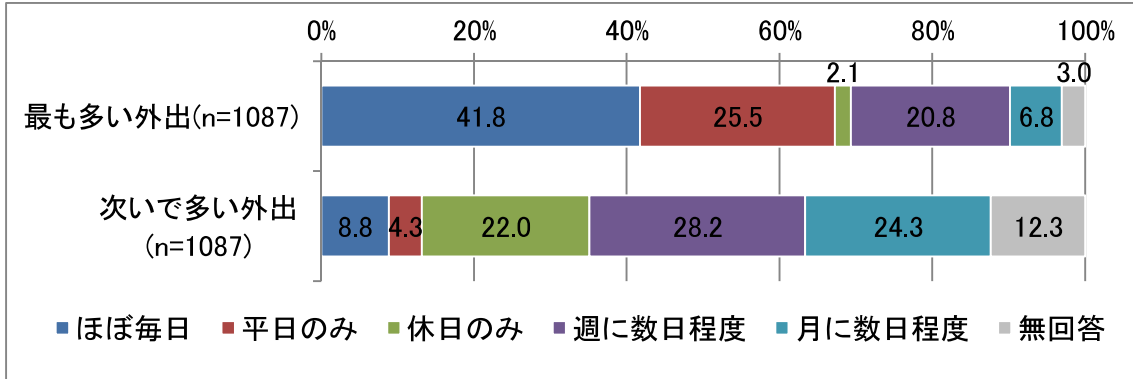
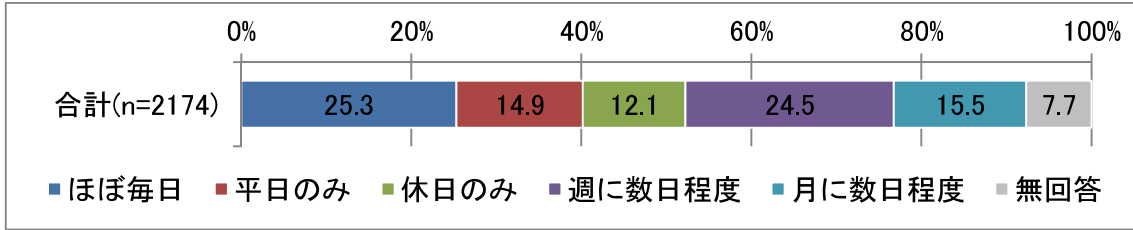


<地域別>

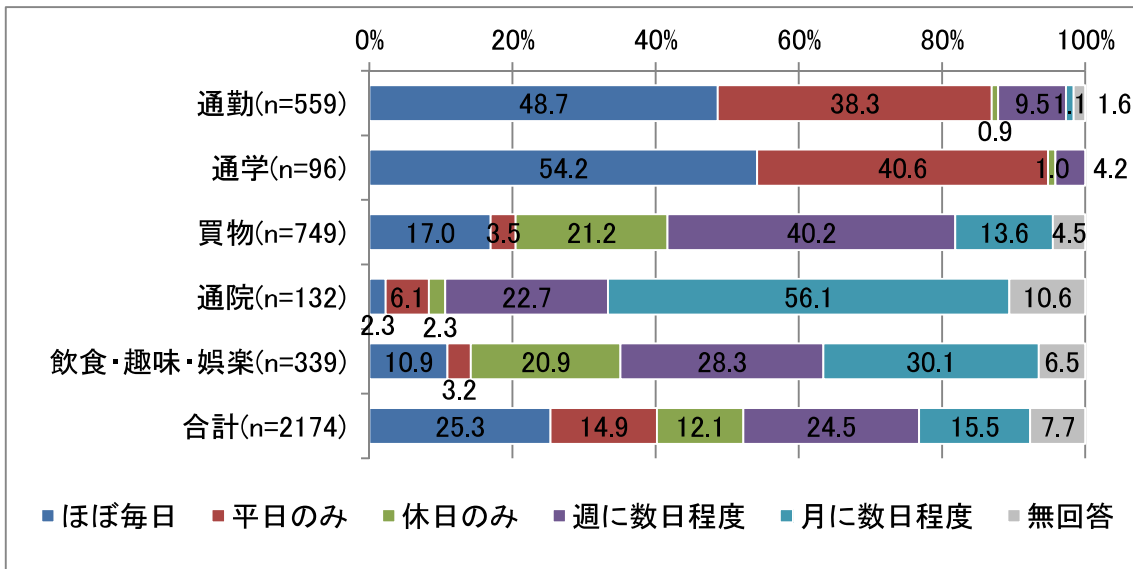




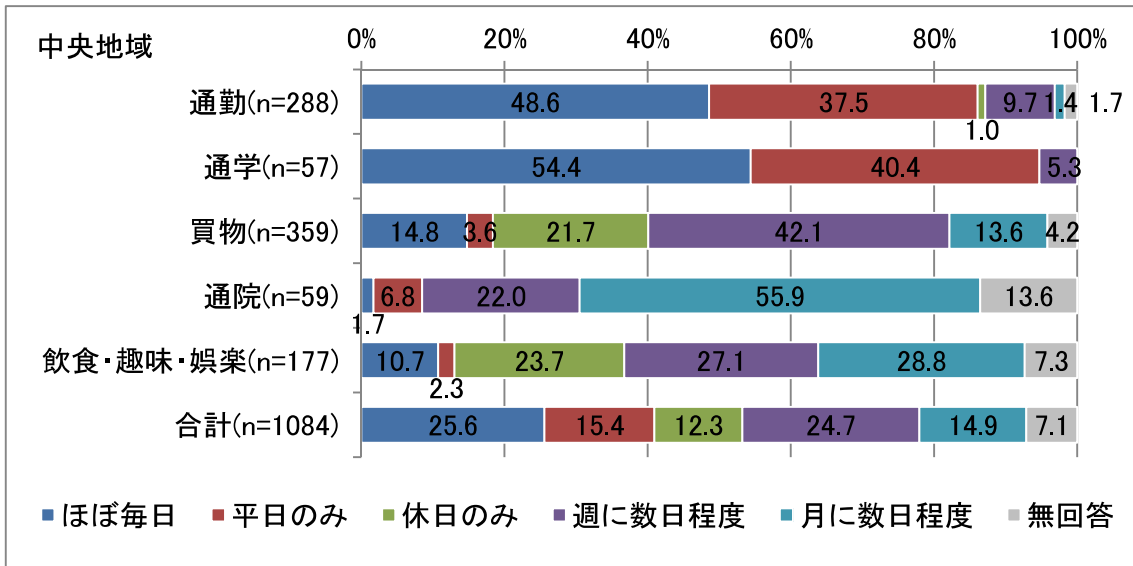
【問3③】外出頻度

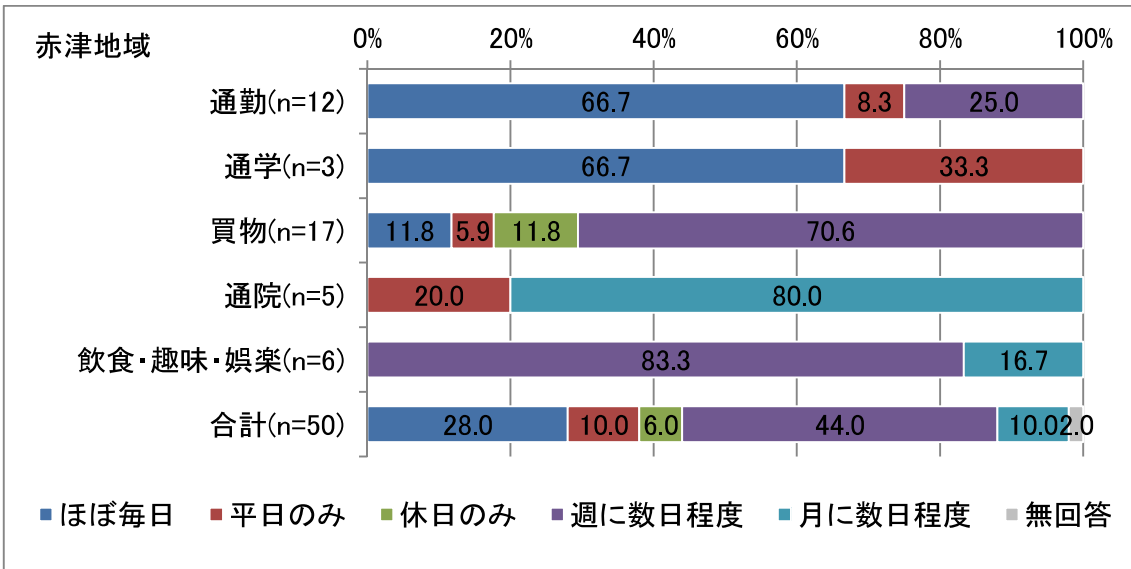
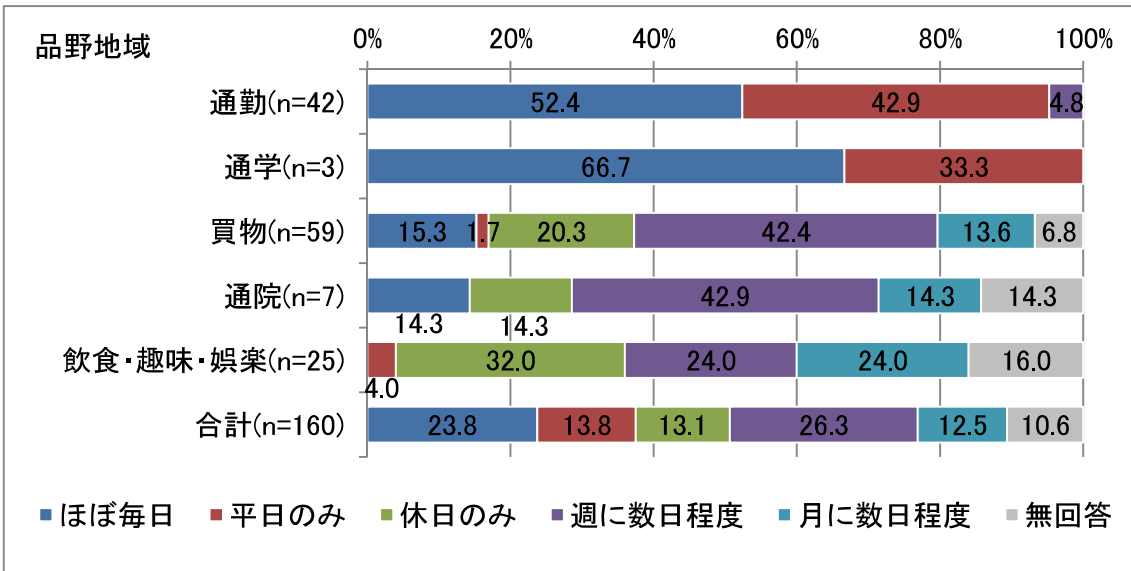
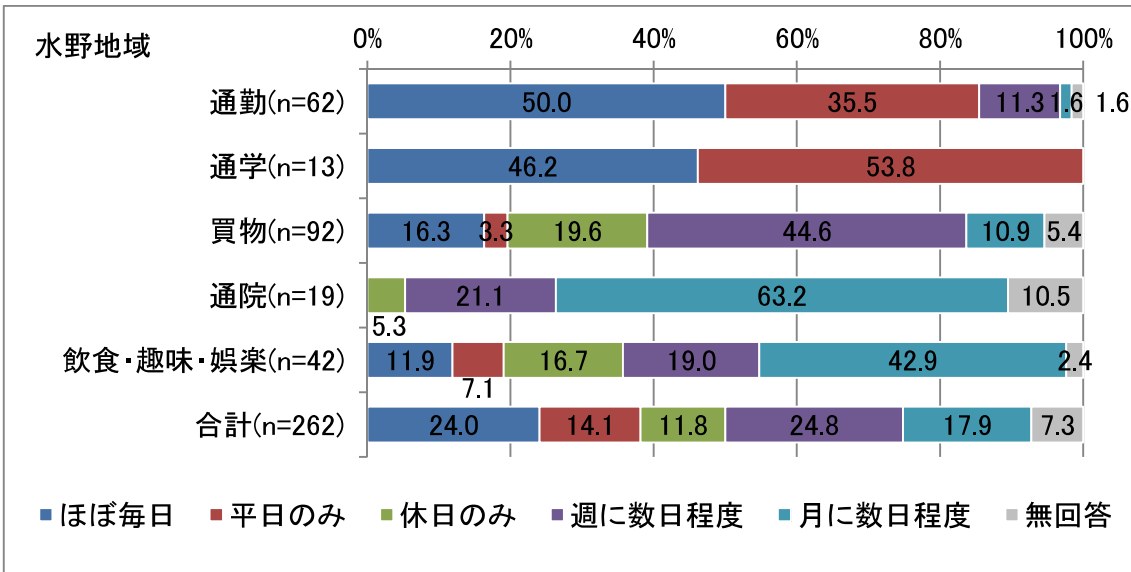


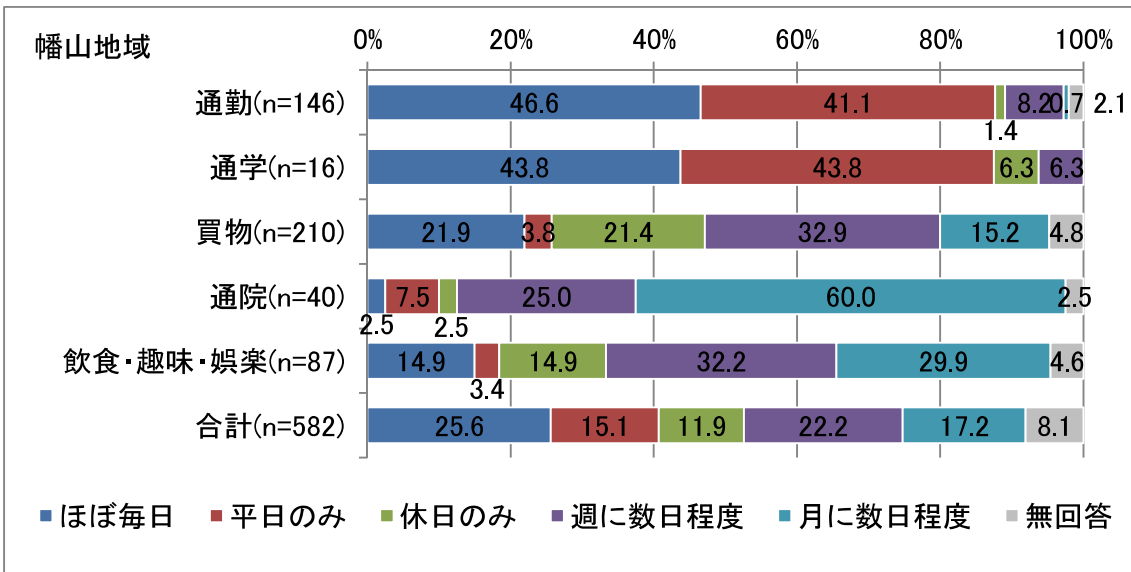
<目的別>



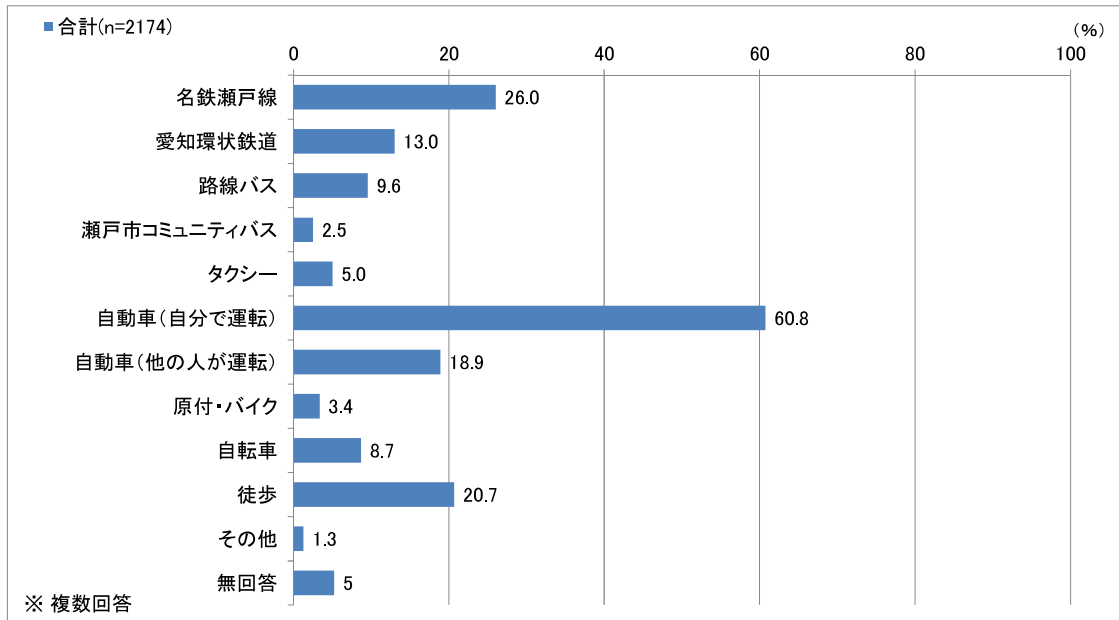
<地域別>

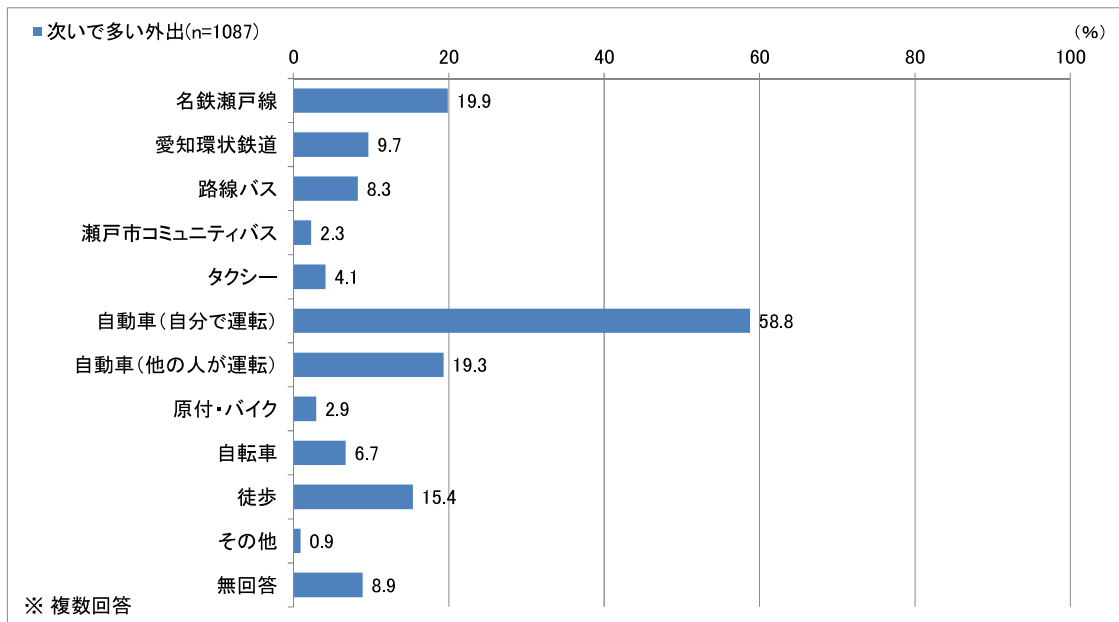
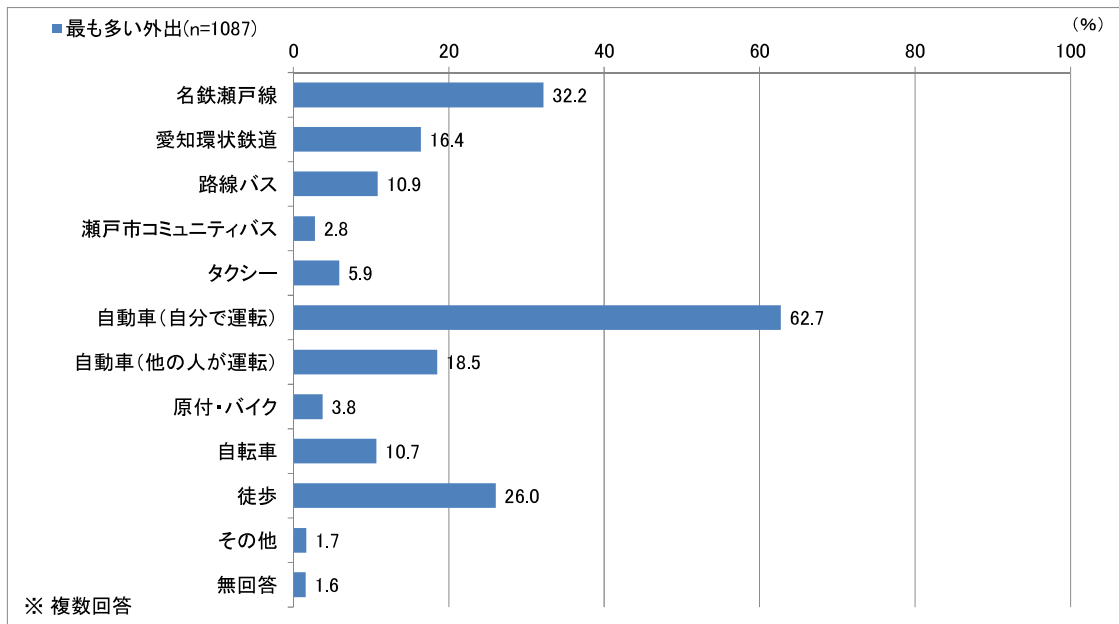




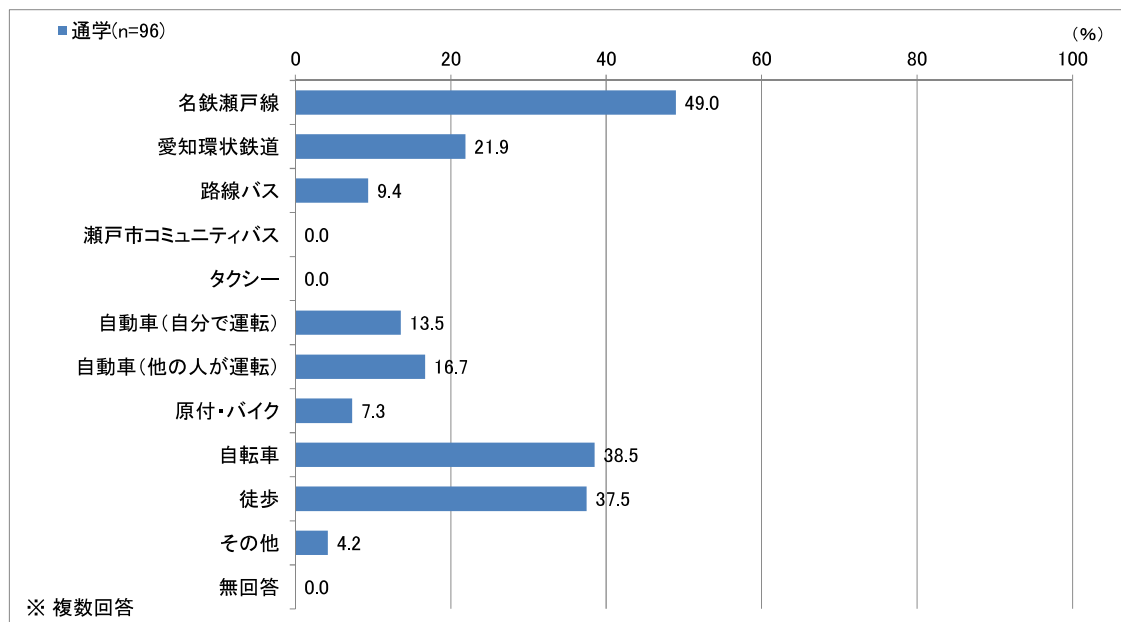
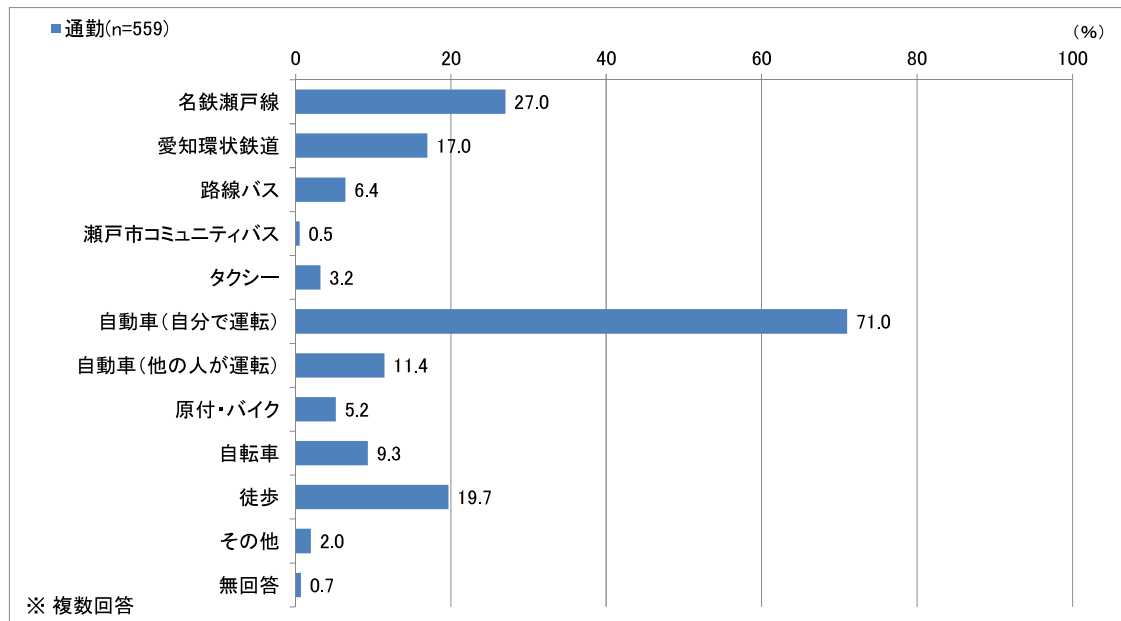


【問3④】外出する際の主な移動手段

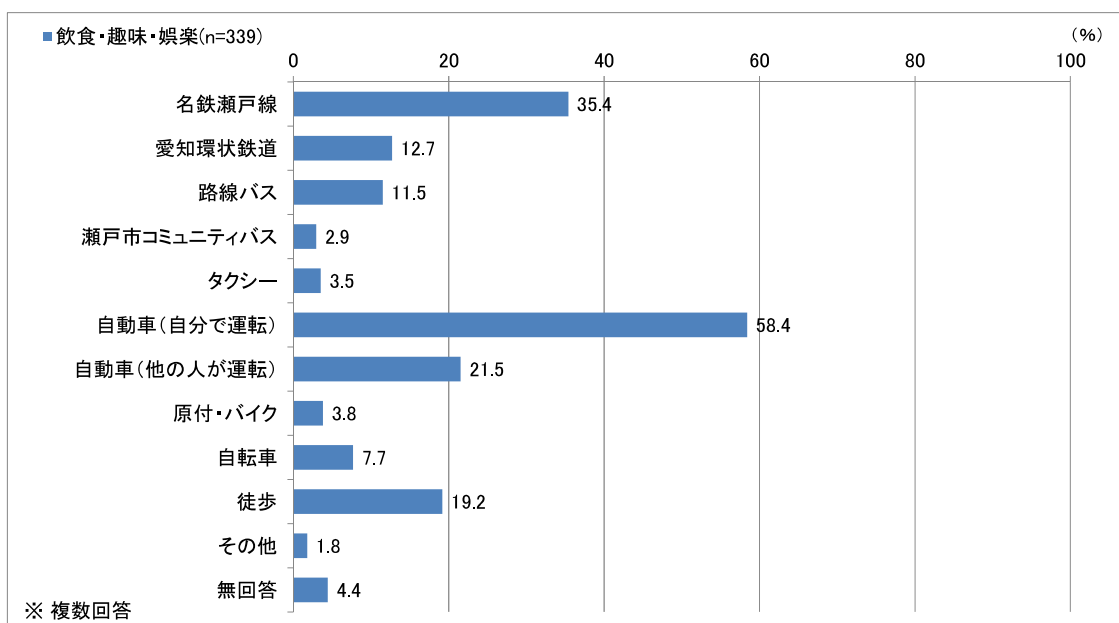
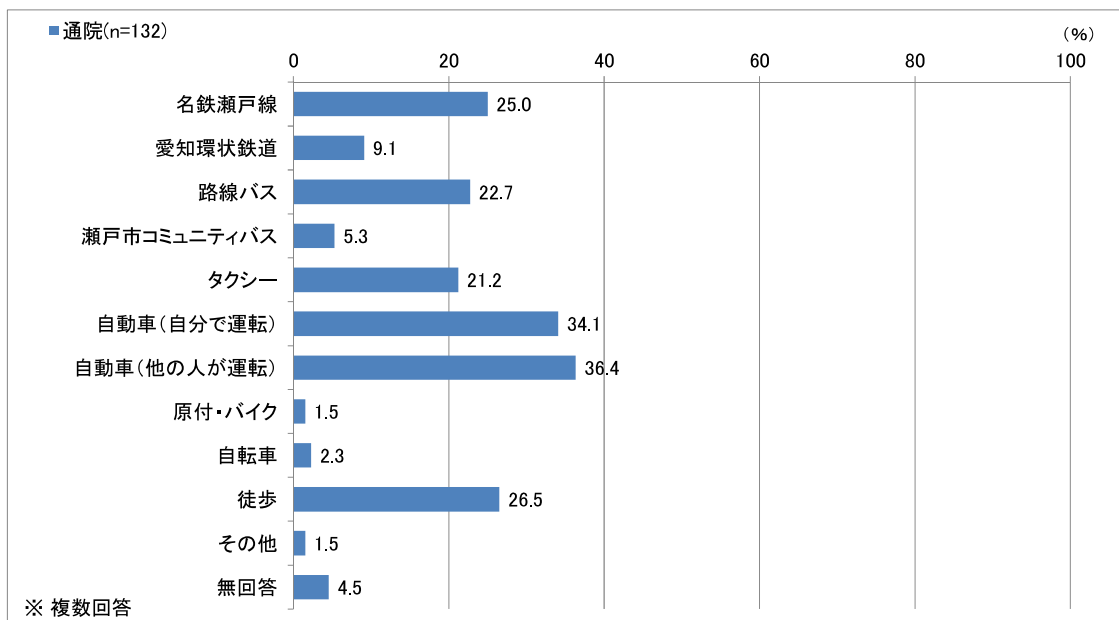
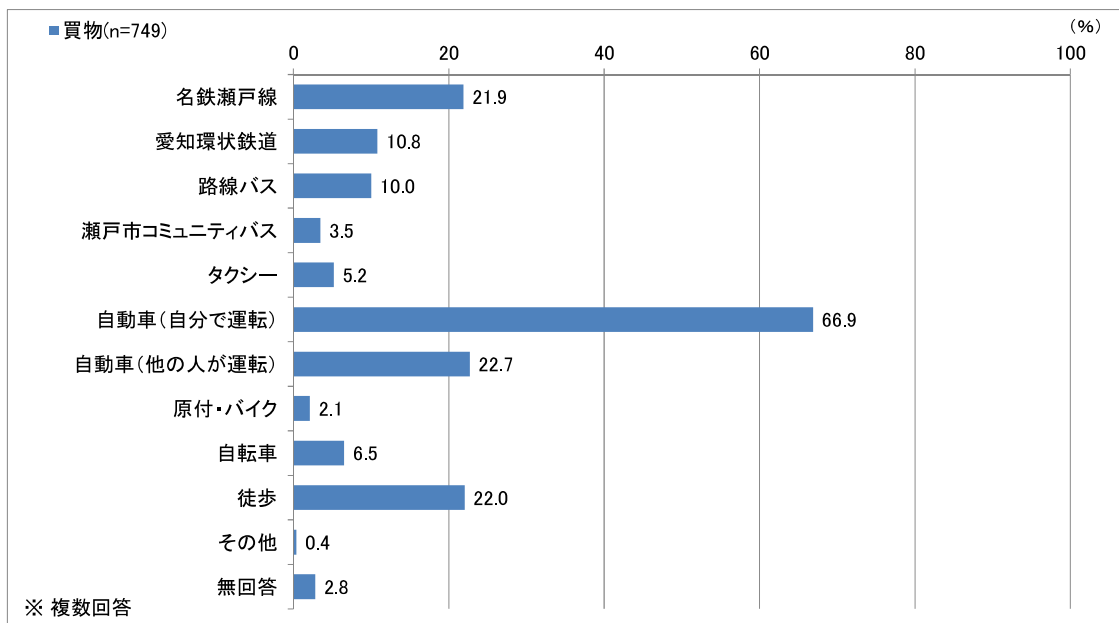


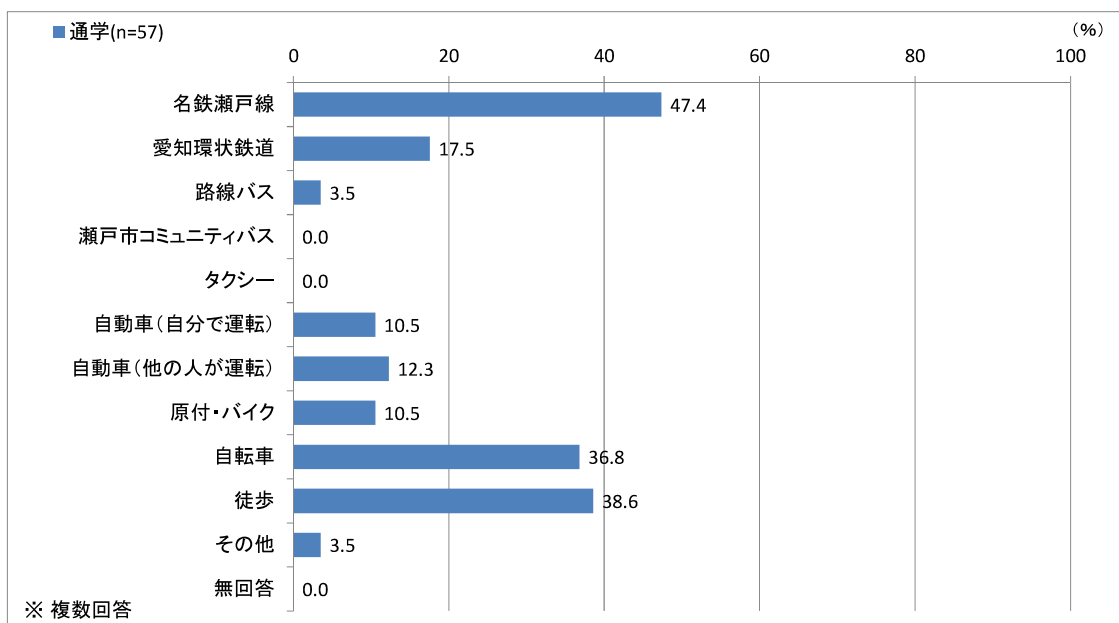
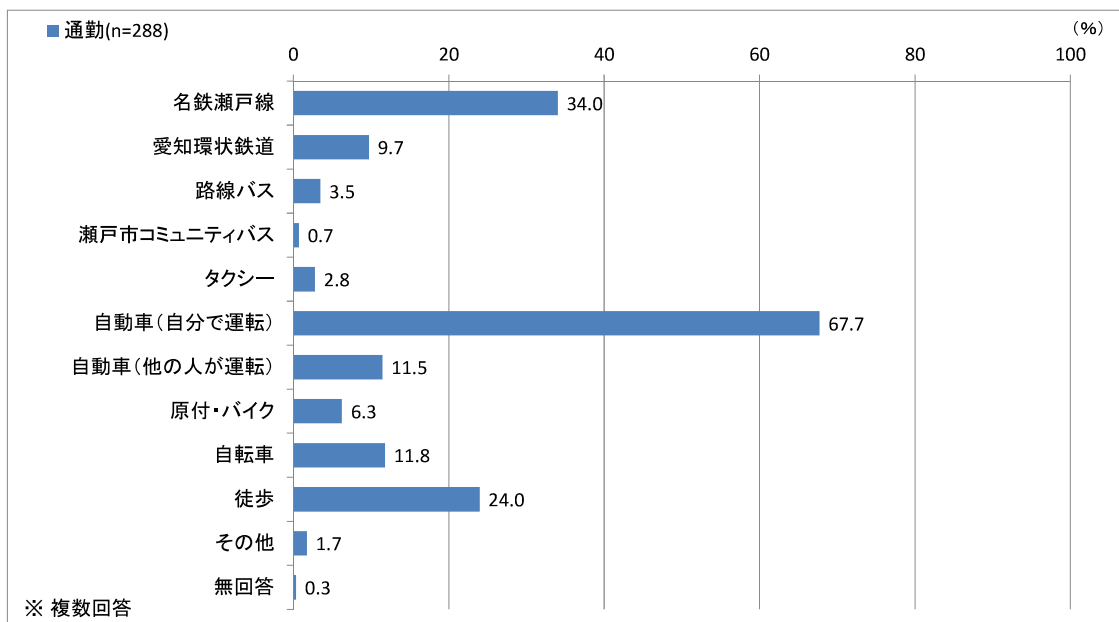
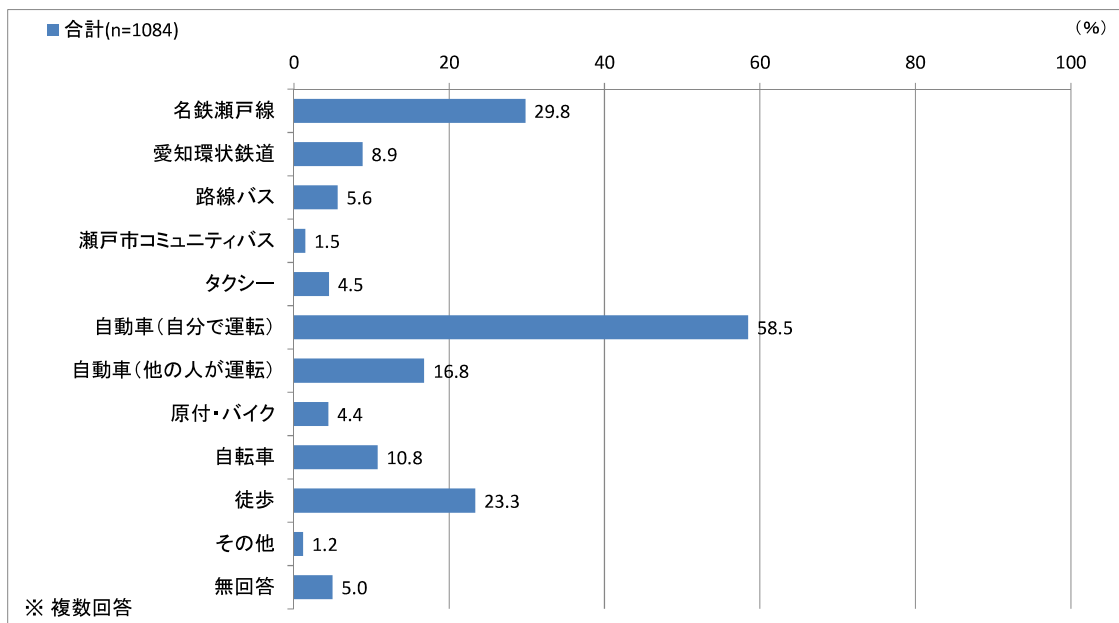


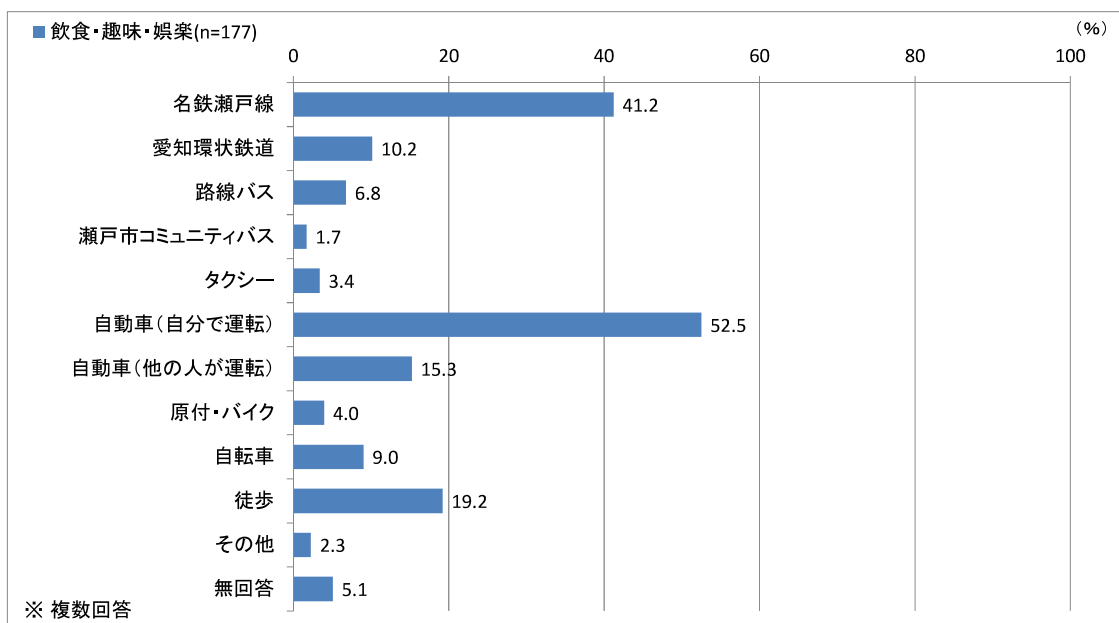
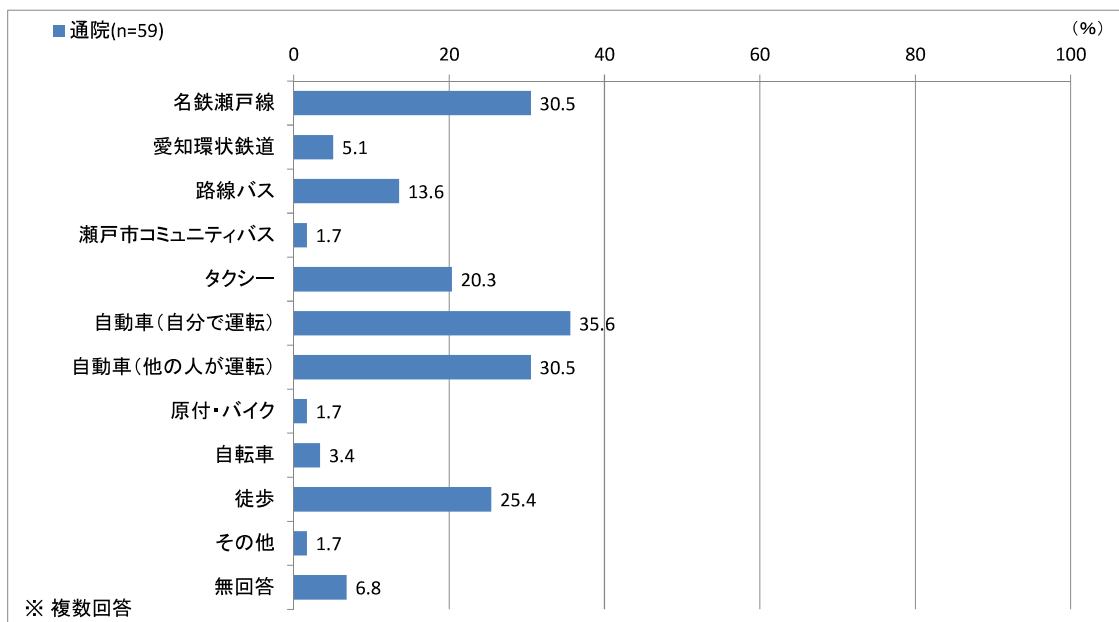
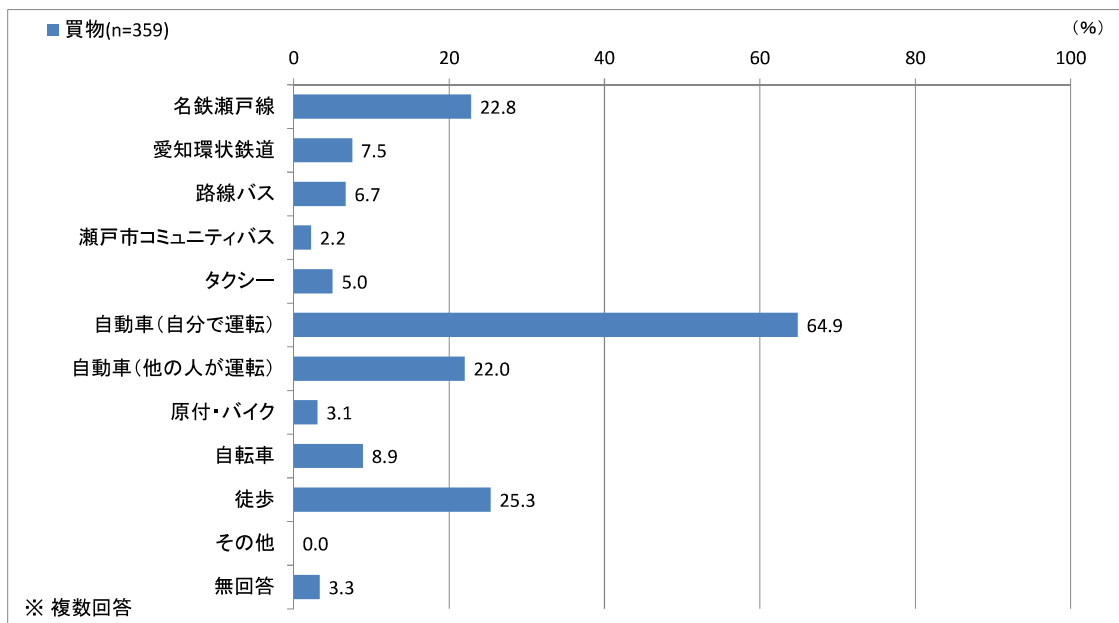
### <目的別>



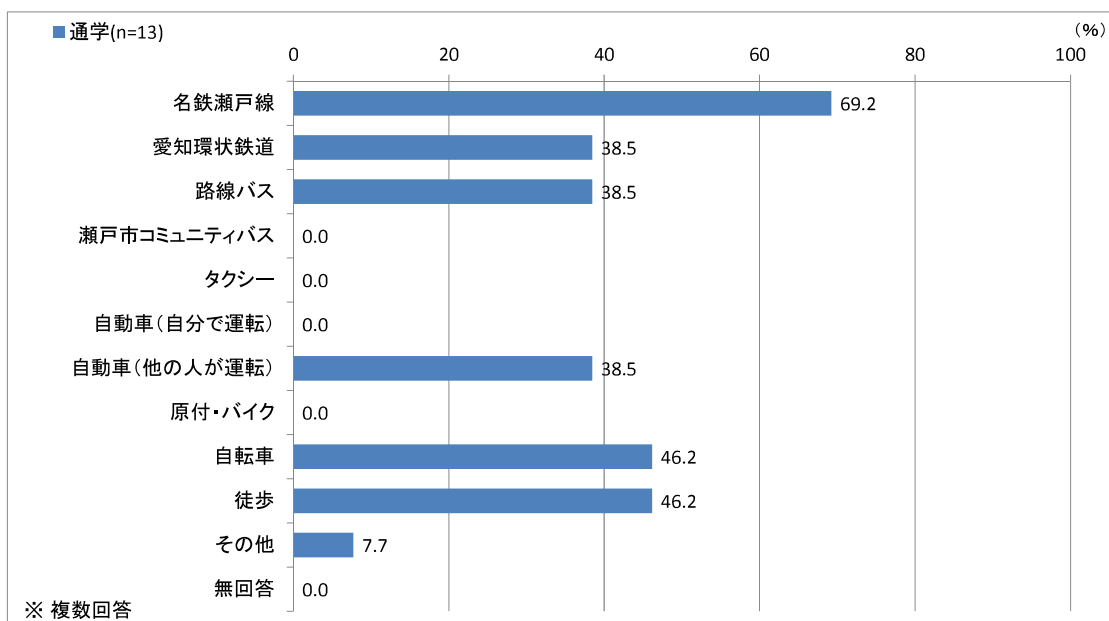
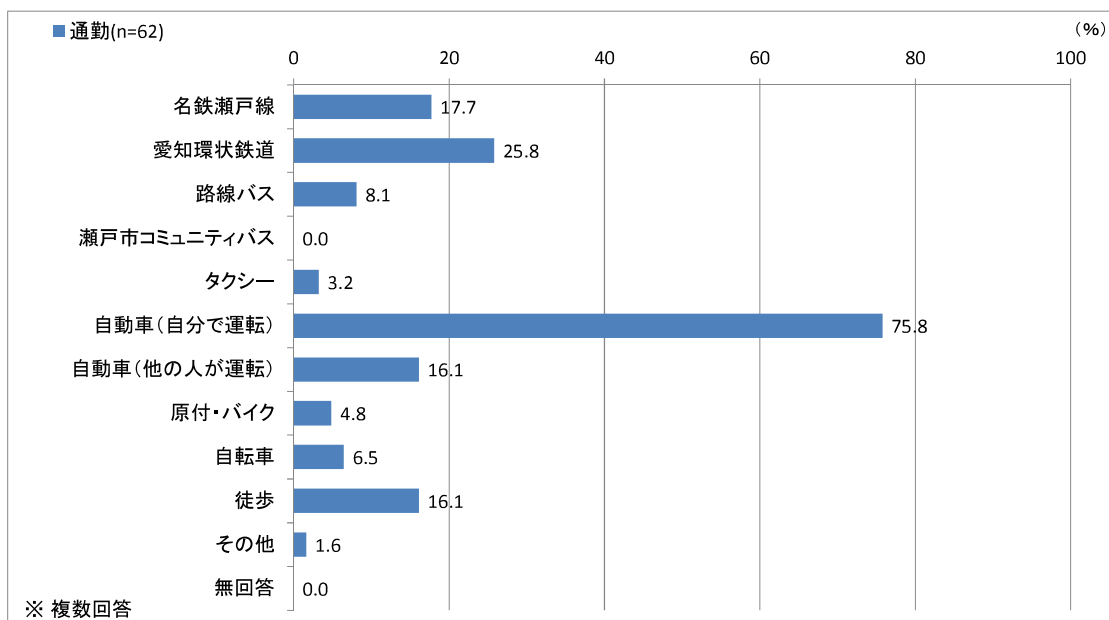
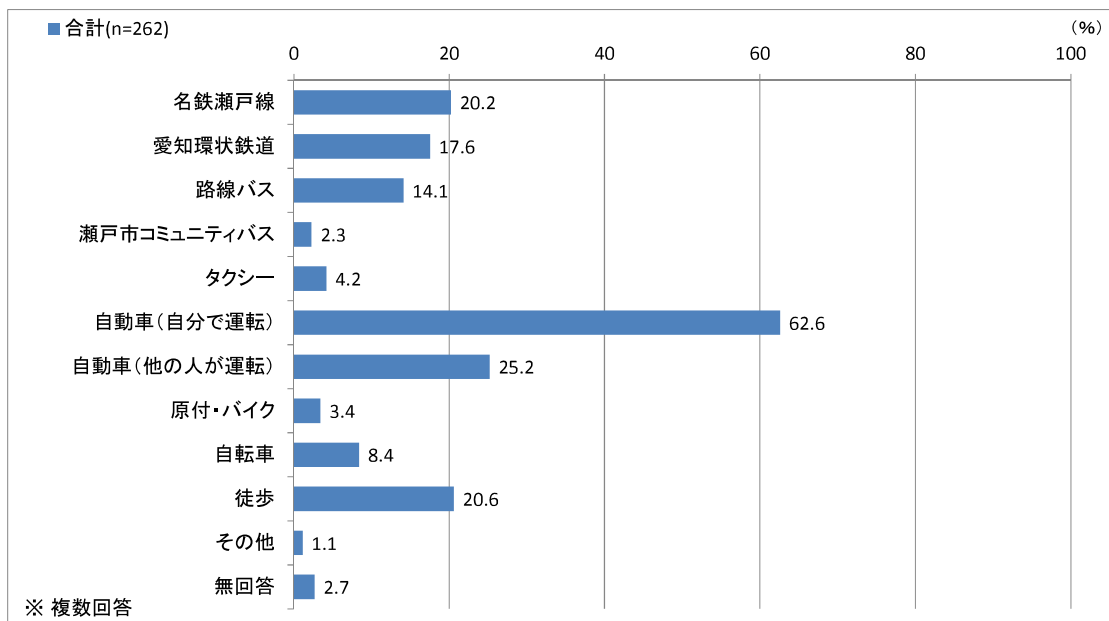


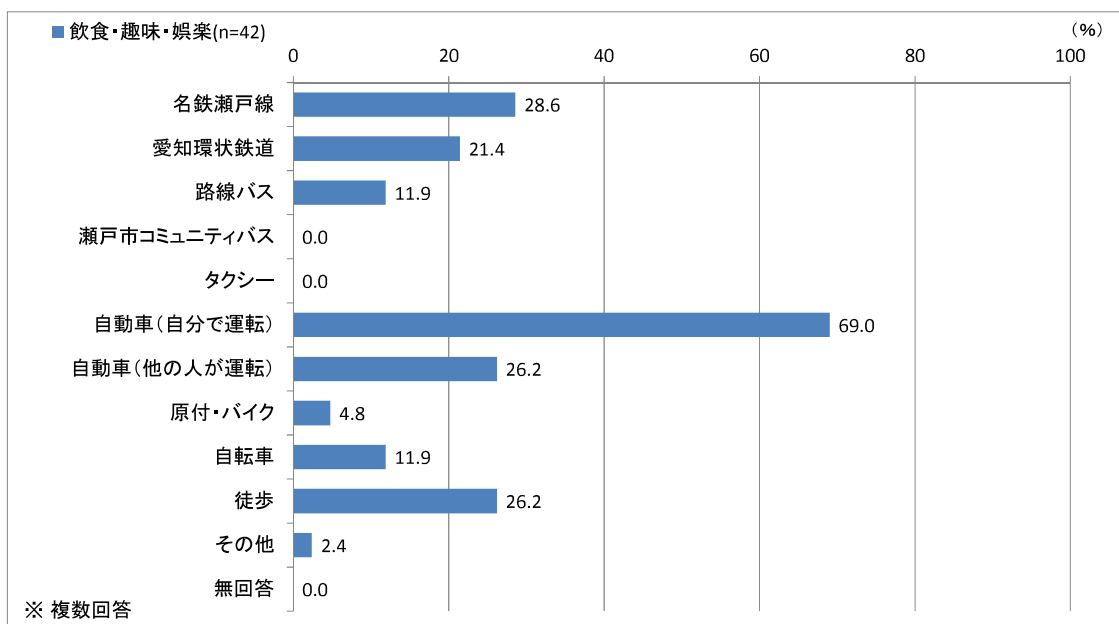
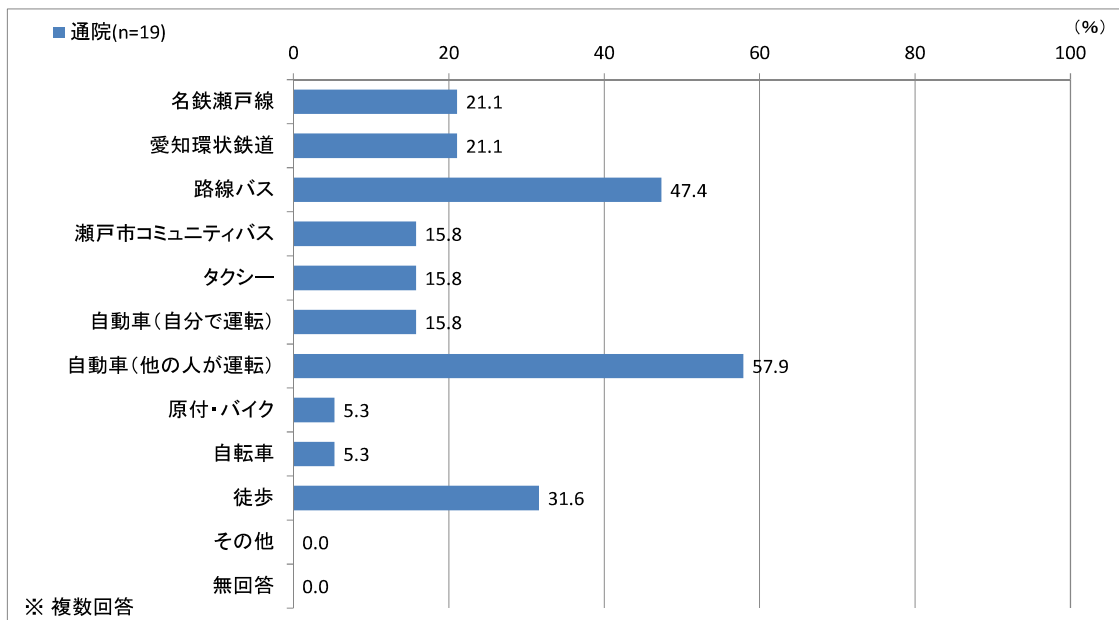
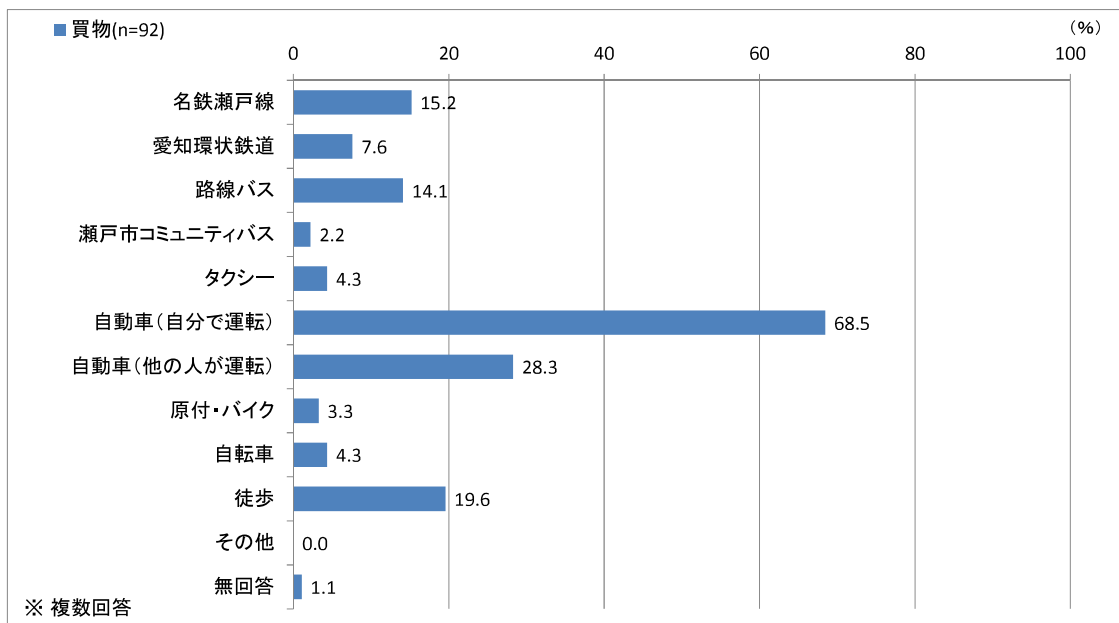




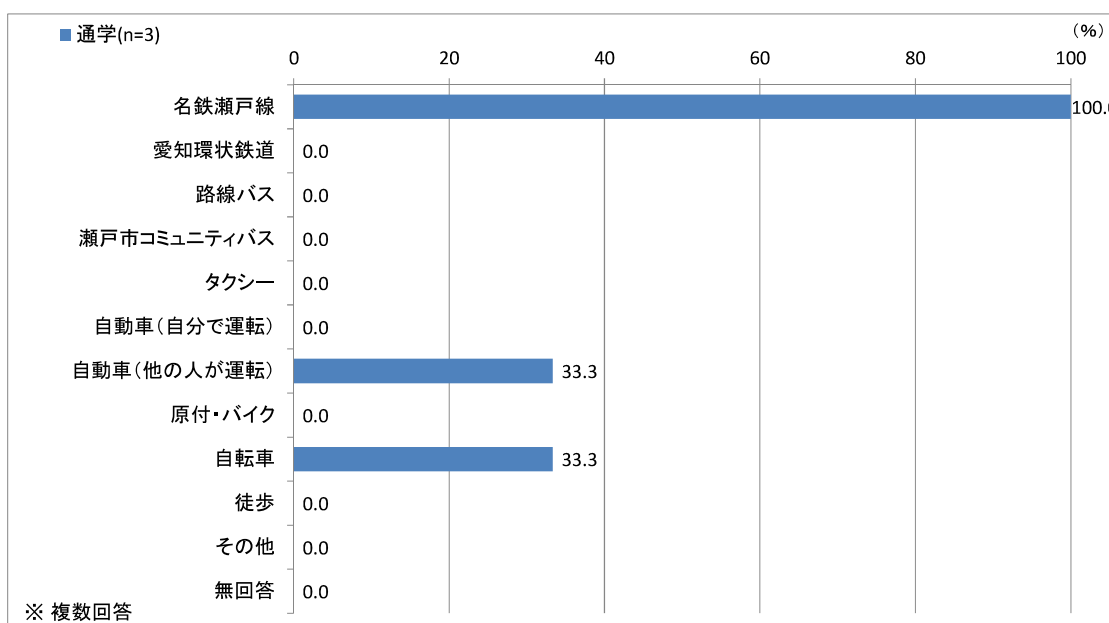
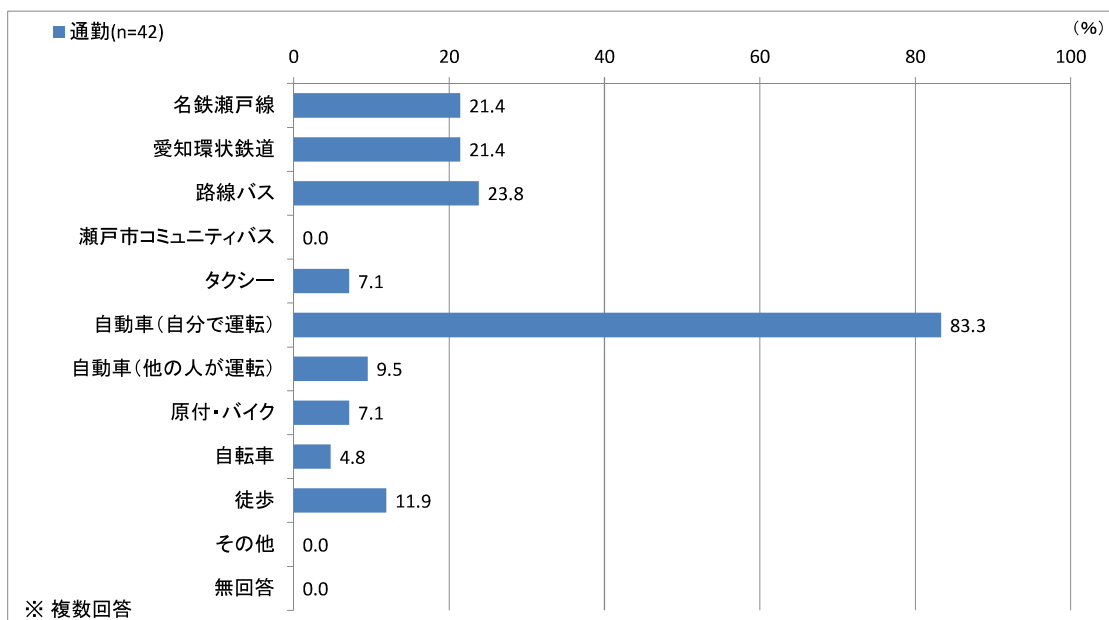
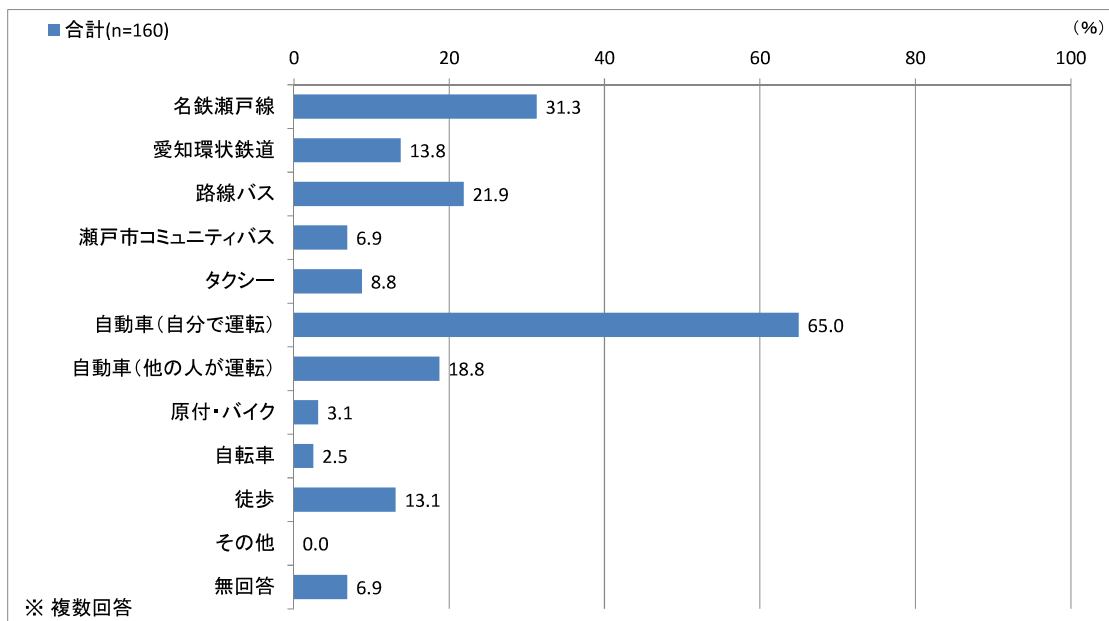


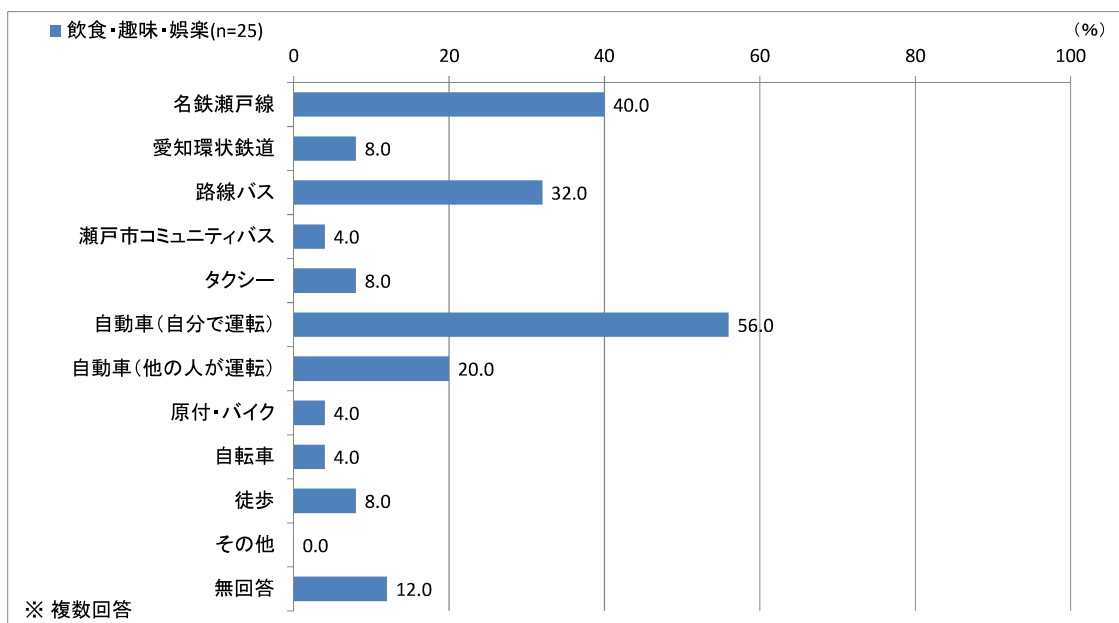
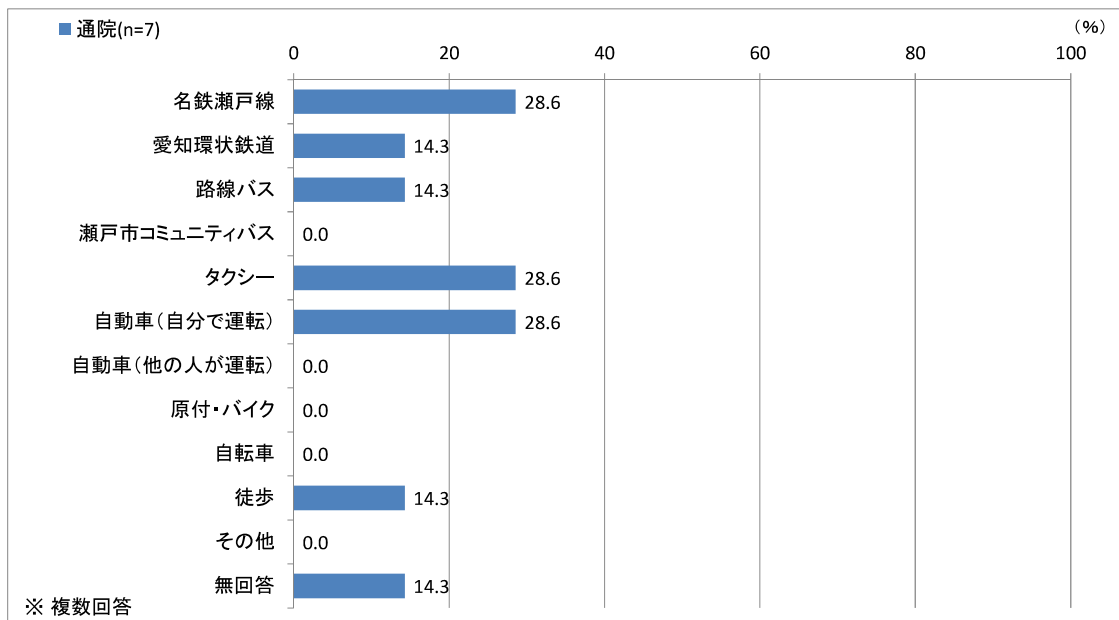
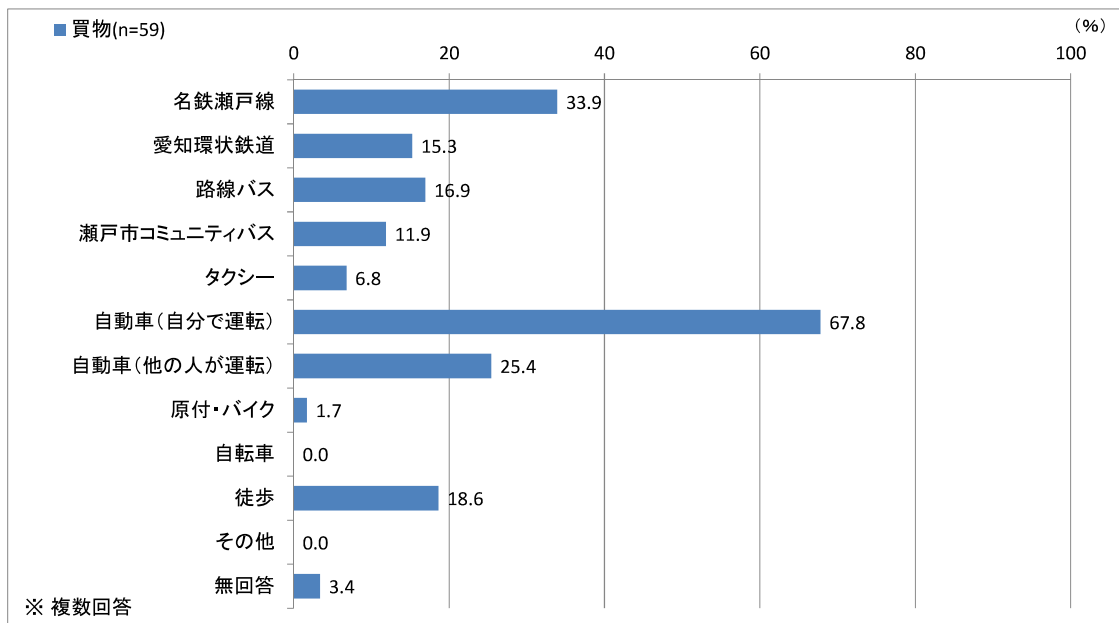
<地域別・水野地域>



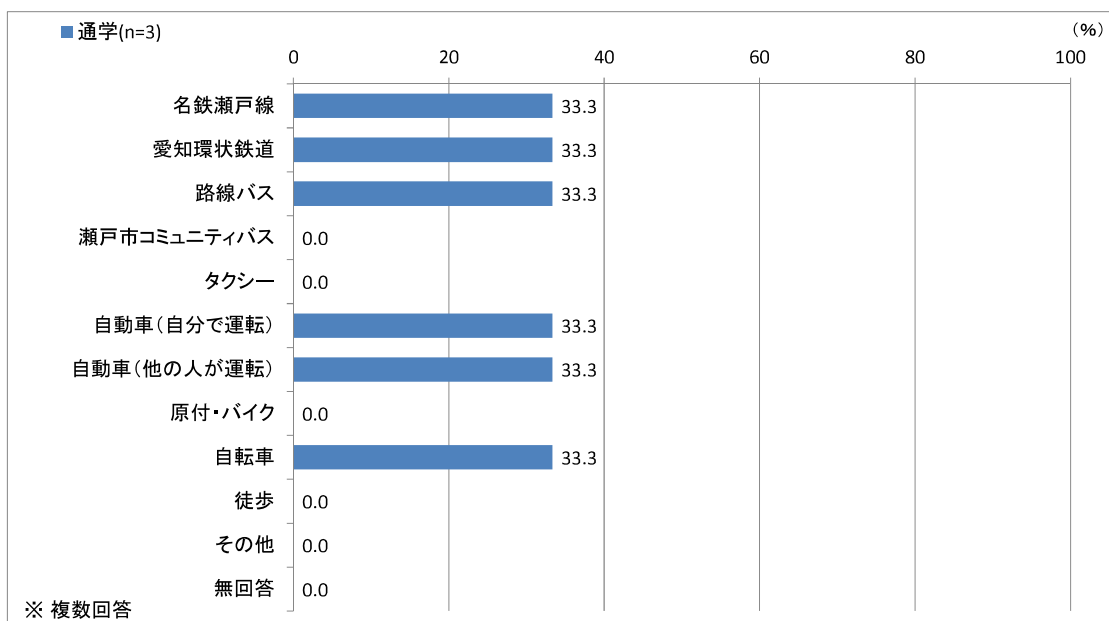
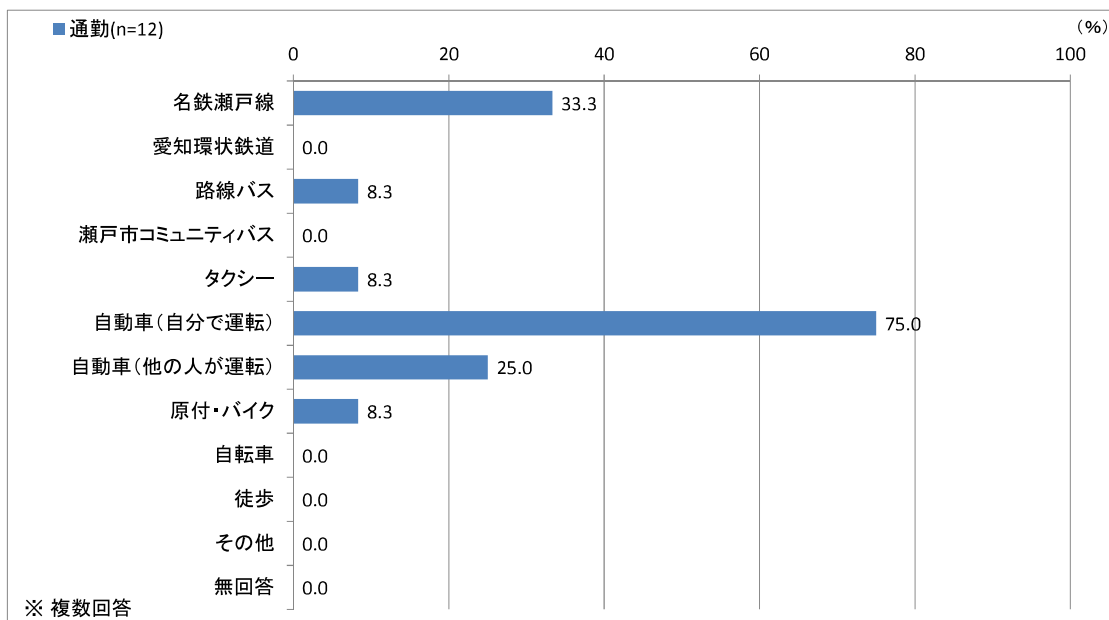
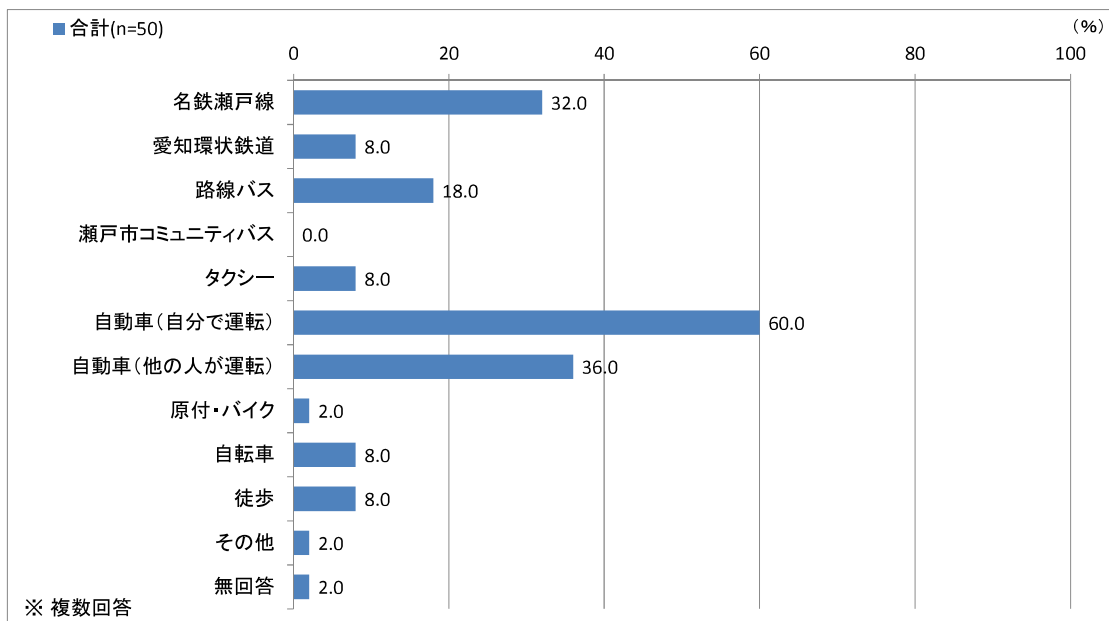


<地域別・品野地域>

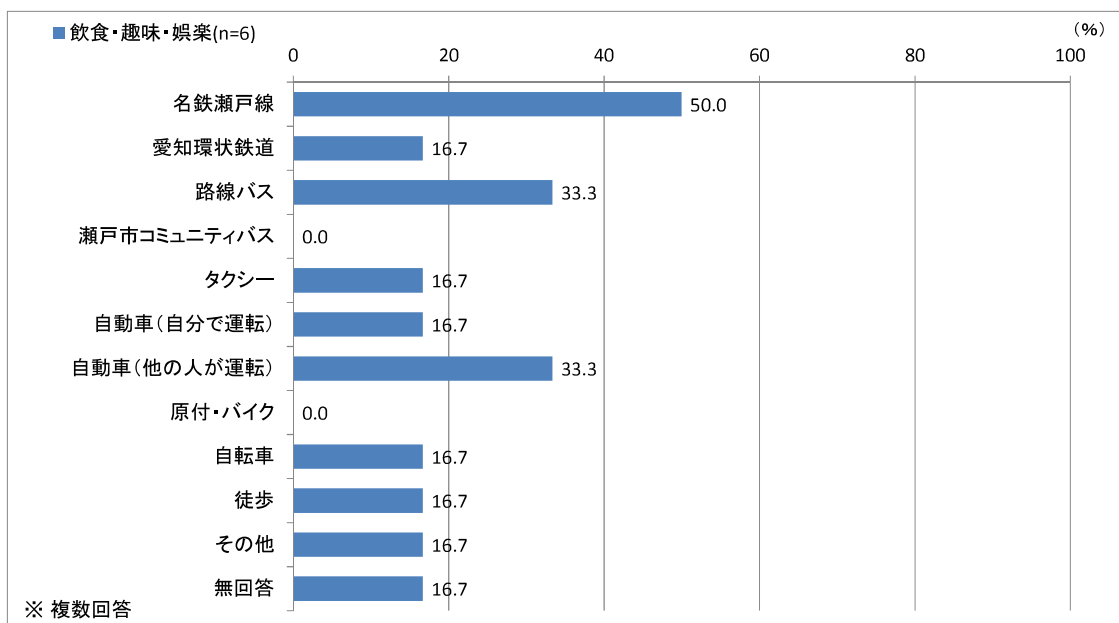
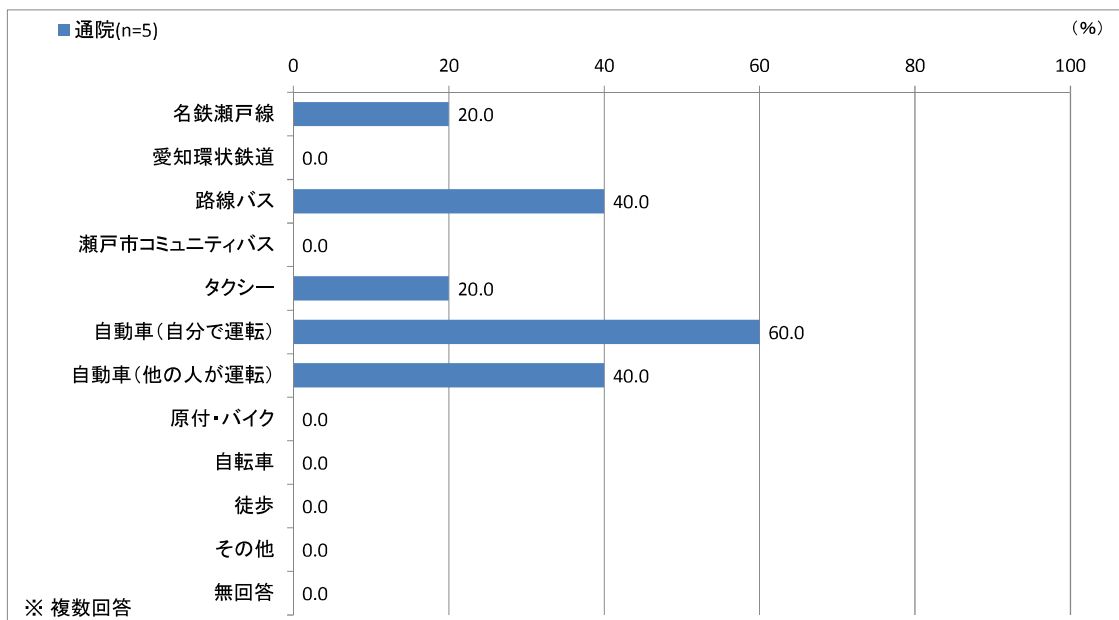
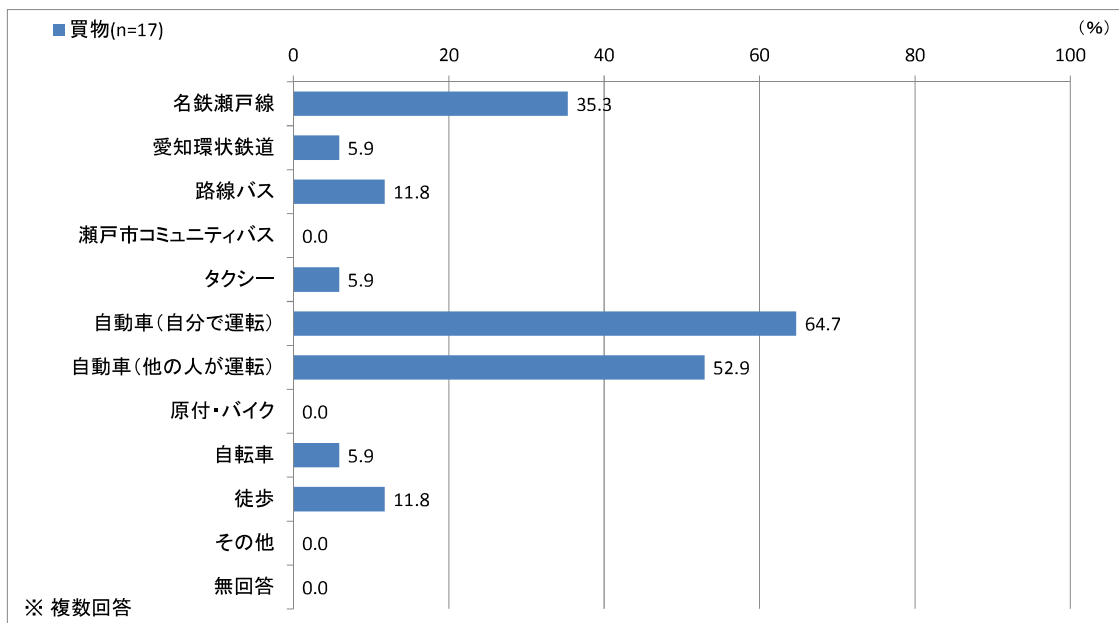




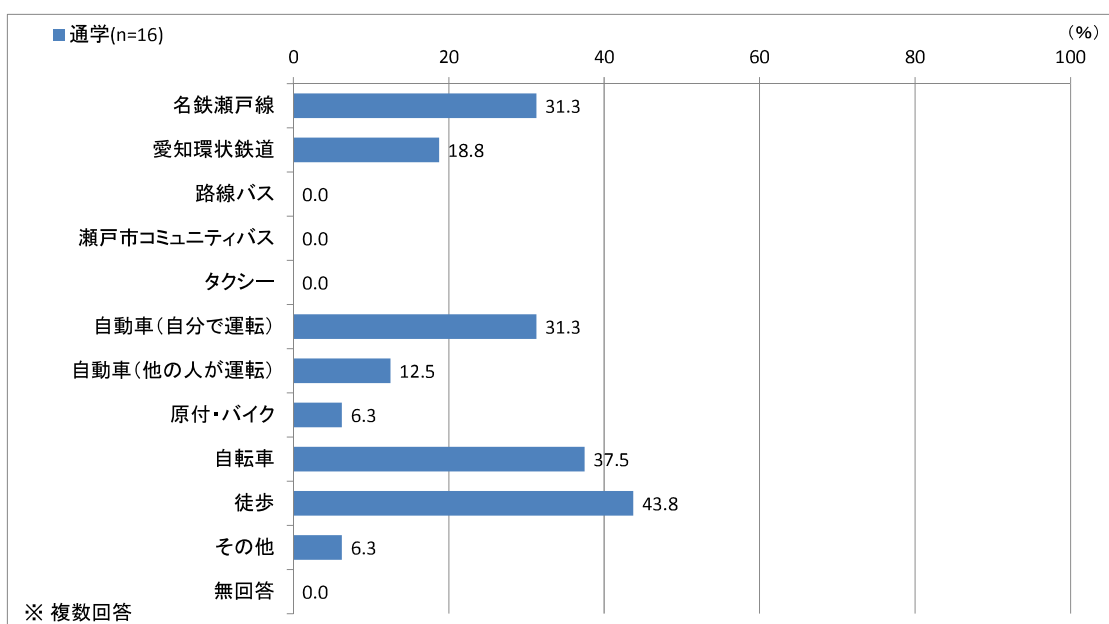
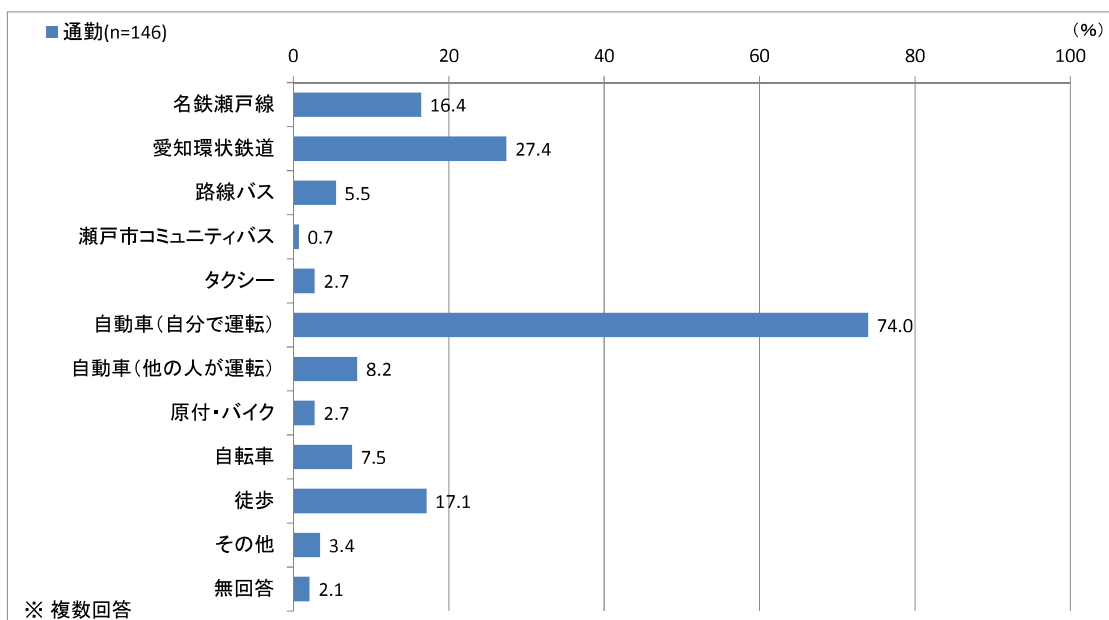
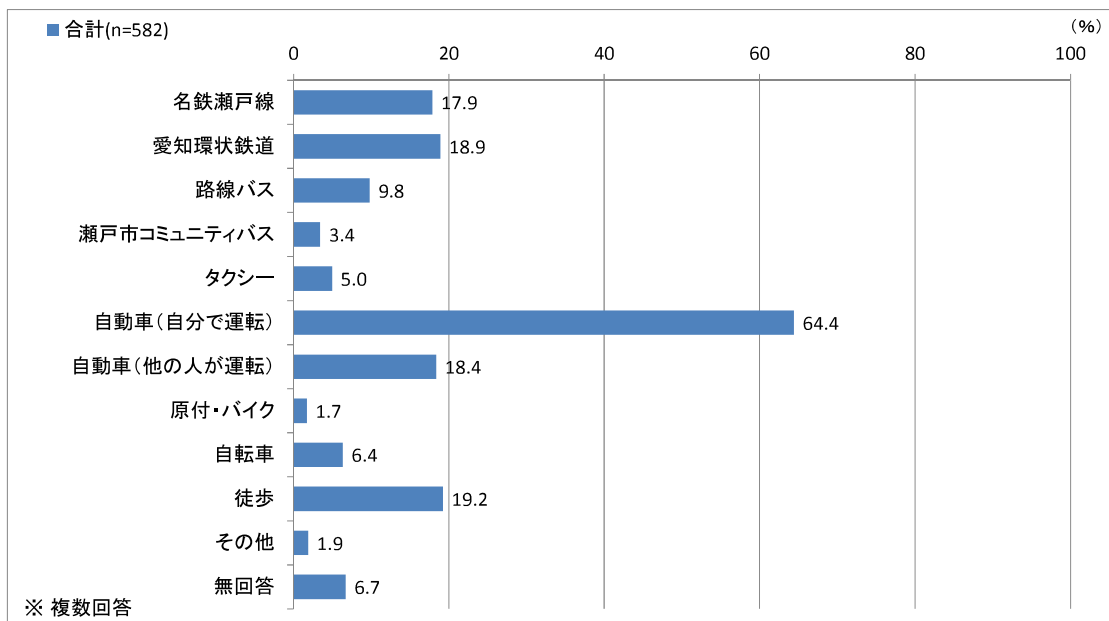
<地域別・赤津地域>

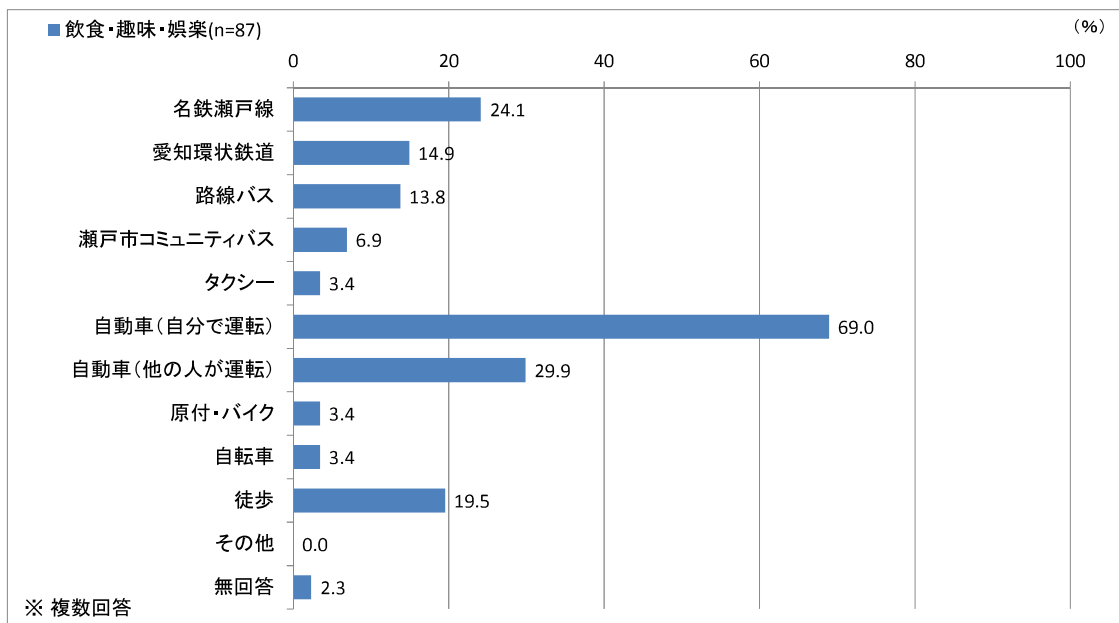
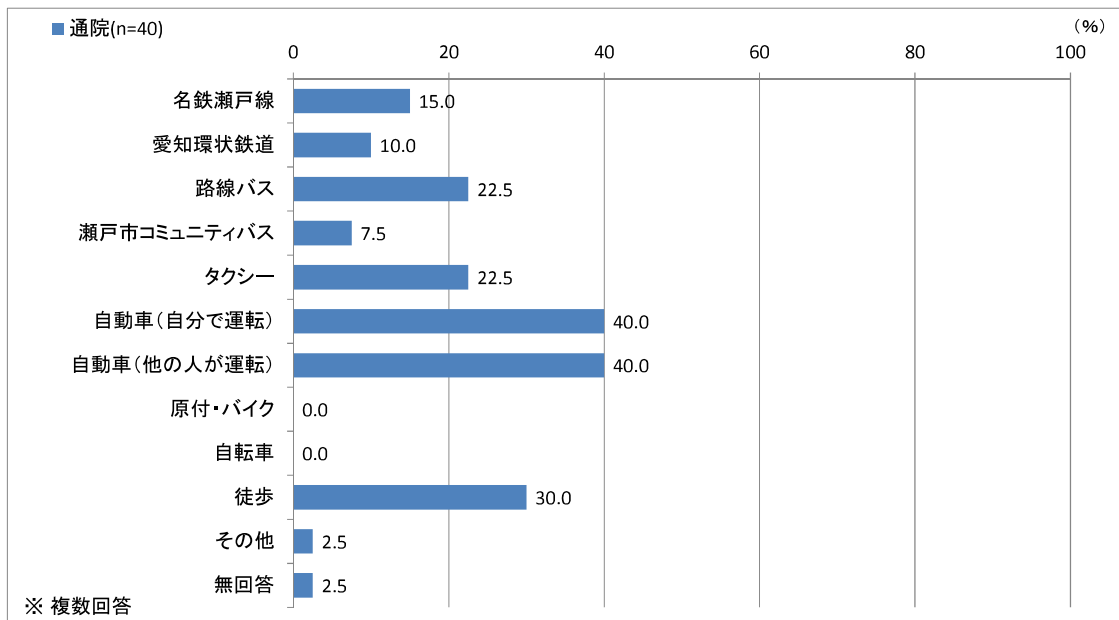
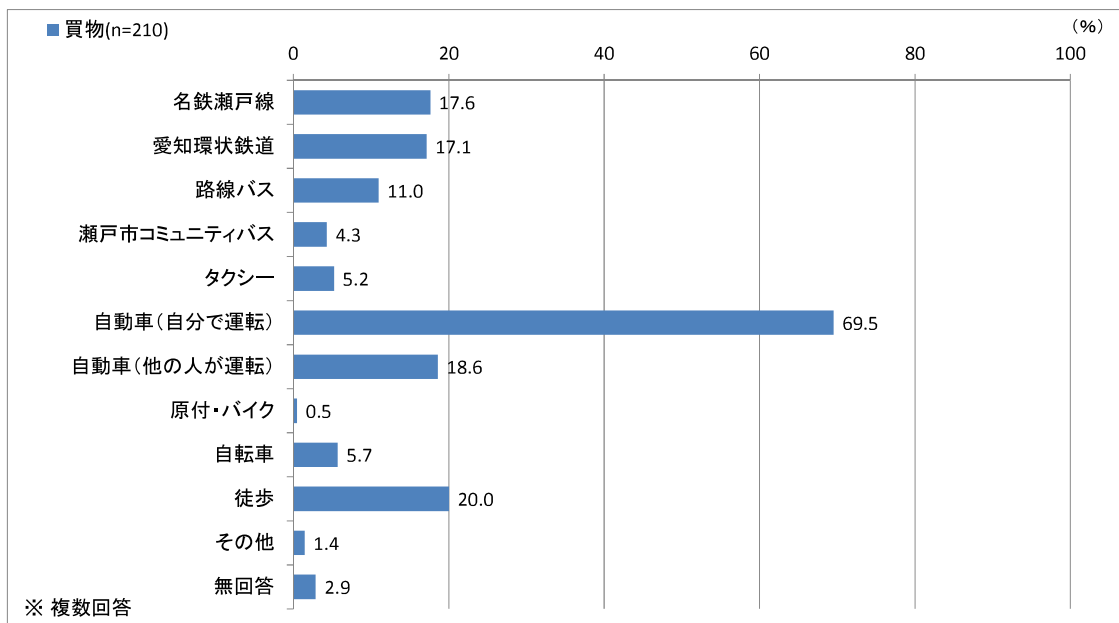






<地域別・幡山地域>



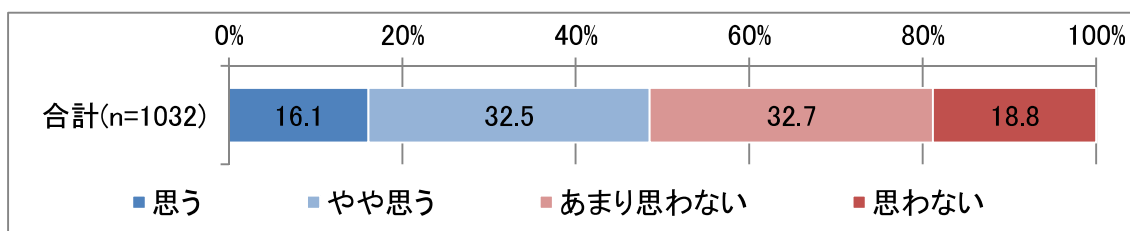


#### (4) 公共交通に対する満足度について

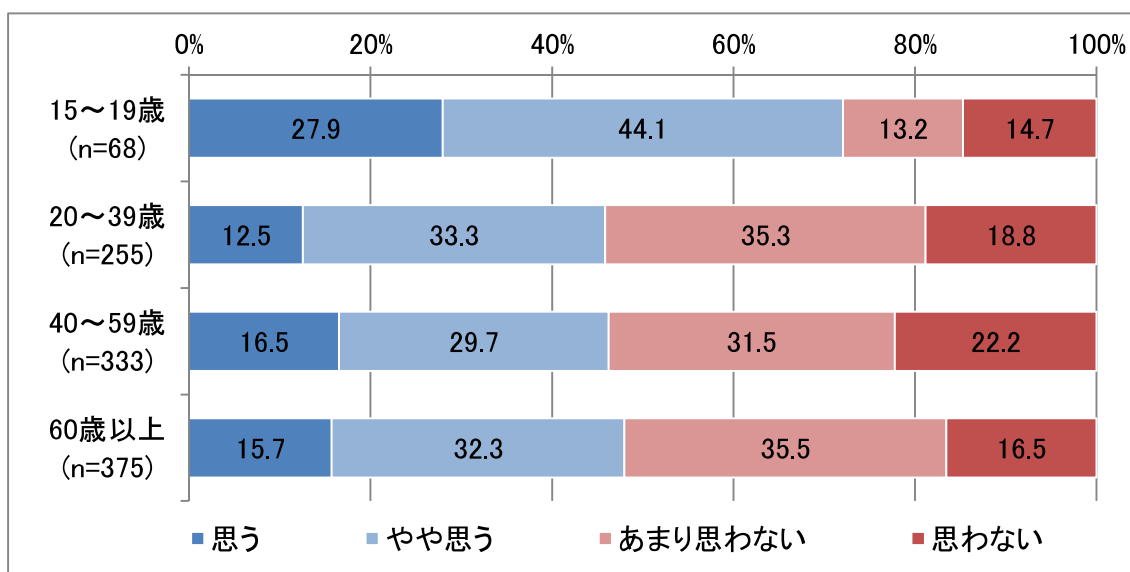
##### 【問4】公共交通に対する満足度

- ・市全体で約49%の人が満足している（思う+やや思う）。
- ・年齢階層別にみると、15～19歳において満足度がとても高いものの、それ以外の年齢層においては大きな差はみられない。
- ・地域別にみても、幡山地域が約39%と低いことをのぞき、似た傾向となっている。
- ・公共交通の利用状況別にみると、公共交通利用者では満足している（思う+やや思う）が約51%と半数を占めている。一方、公共交通非利用者では満足している（思う+やや思う）が約39%となっている。
- ・バスに関する認知状況別にみると、利用情報認知では満足している（思う+やや思う）が半数を超えている。一方、存在認知と非認知では満足していない（あまり思わない+思わない）が半数を超えている。
- ・最も多く外出することの外出目的別にみると、通学において満足している（思う+やや思う）が高くなっており、約68%を占めている。

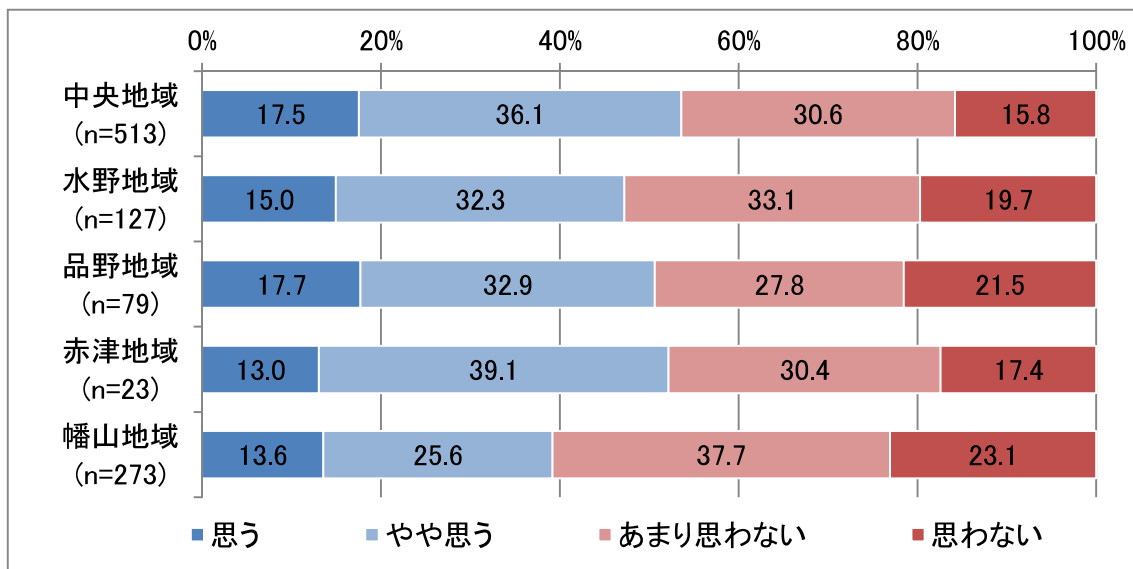
##### 【問4】公共交通に対する満足度（無回答を除く）



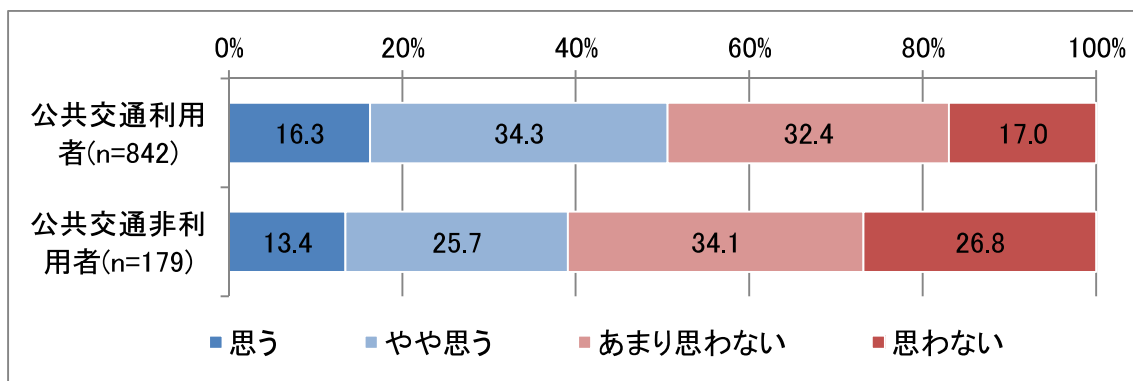
##### <年齢階層別>



<地域別>

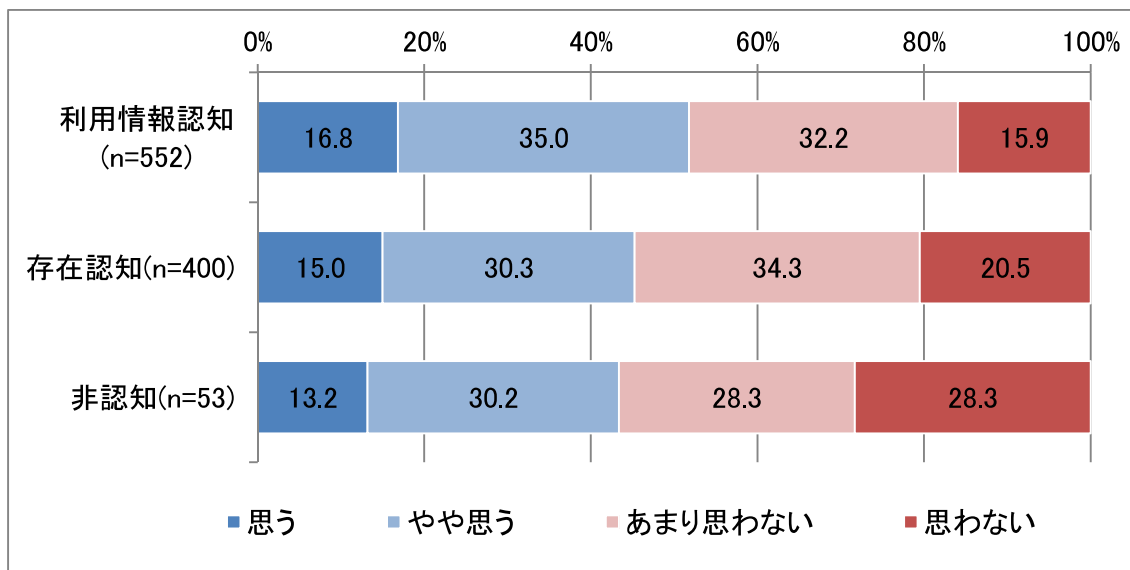


<公共交通利用状況別>



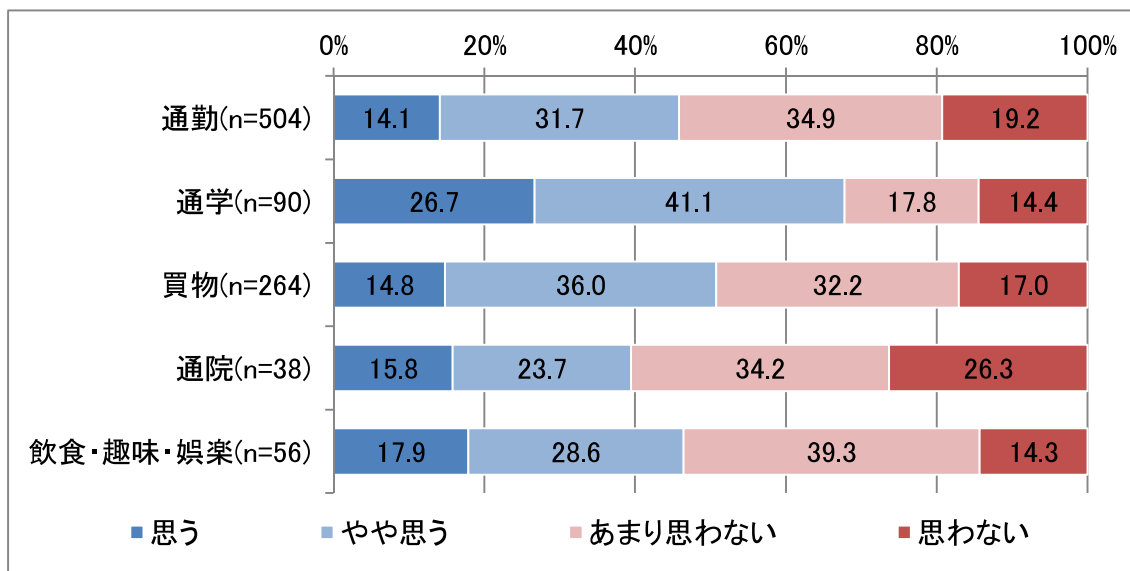
※名鉄瀬戸線、愛知環状鉄道、路線バス、コミュニティバスのいずれかを利用している回答者を「公共交通利用者」、すべて利用していない回答者を「公共交通非利用者」とする。

<バスに関する認知状況別>



※問2バスについて知っていることについて「1~3」のいずれかを選択している方を「存在認知」、「4~8」のいずれかを選択している方を「利用情報認知」、「9」を選択している方を「非認知」とする。

<最も多く外出することの外出目的別>



## (5) 鉄道利用について

### 1) 名鉄瀬戸線

#### ○利用実態

##### 【問5① 利用目的】

- ・名鉄瀬戸線については、約73%の人が利用している。  
利用目的をみると、飲食・趣味・娯楽が約33%と最も多く、次いで買物が約21%と多い。  
年齢階層別にみると、19歳以下では通学を中心に利用率が高い。一方、通勤目的の移動が減少する60歳以上では、利用率が低下している。

##### 【問5② 利用駅】

- ・乗車駅では新瀬戸駅、尾張瀬戸駅が多く、降車駅では栄町駅が多い。

##### 【問5③ 最終目的地】

- ・最終目的地の約74%が市外であり、行き先はほとんどが名古屋市（約79%）となっている。

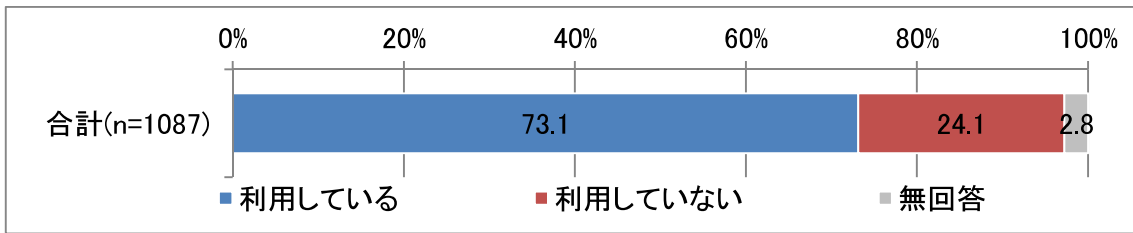
##### 【問5④ 利用頻度】

- ・利用頻度をみると、「年に数日程度」の利用が約50%を占めている。

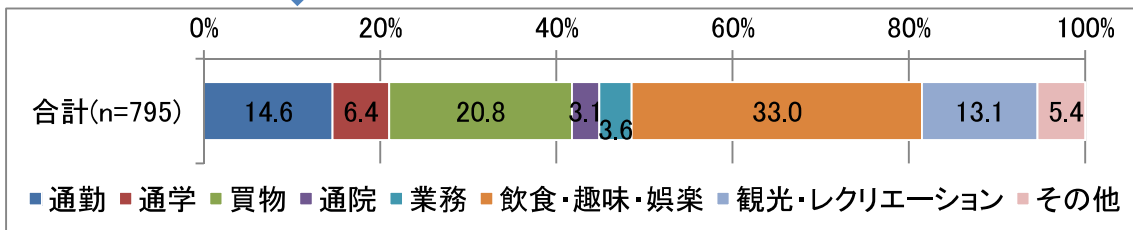
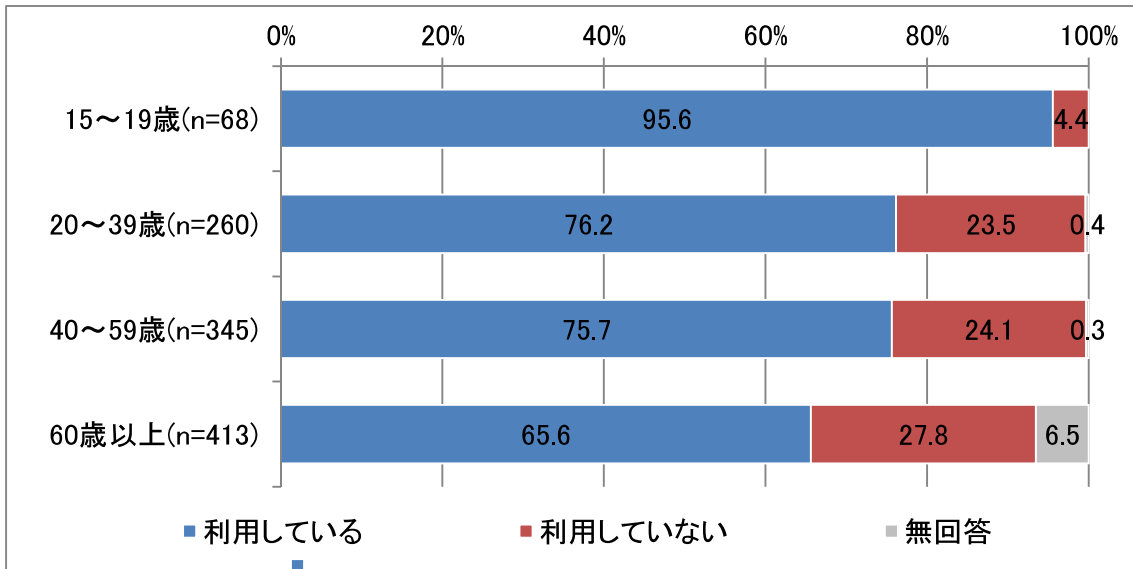
##### 【問5⑤ 自宅から駅までの移動手段】

- ・徒歩が約39%を占めている。徒歩以外では自動車が約36%（自分で運転+他の人が運転）と多く、公共交通では路線バスが約10%と多い。

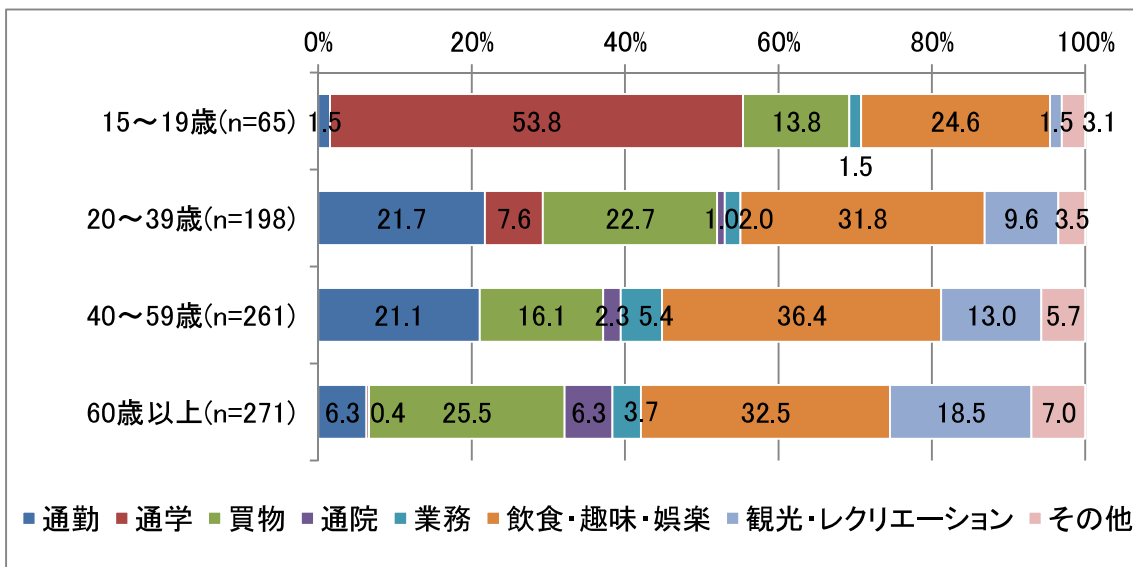
【問5①】利用目的



<年齢階層別>

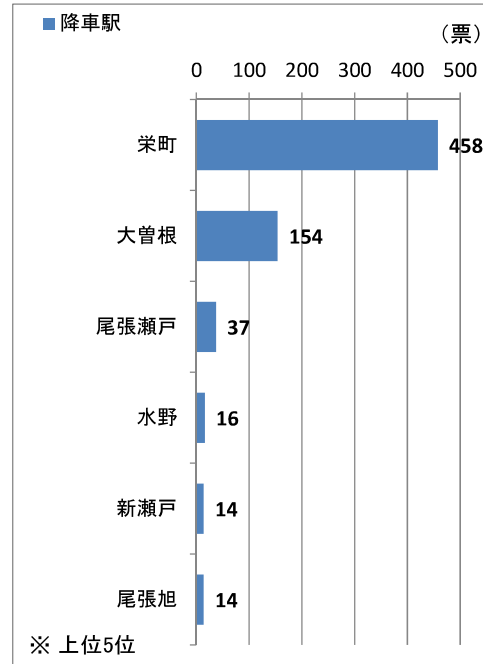
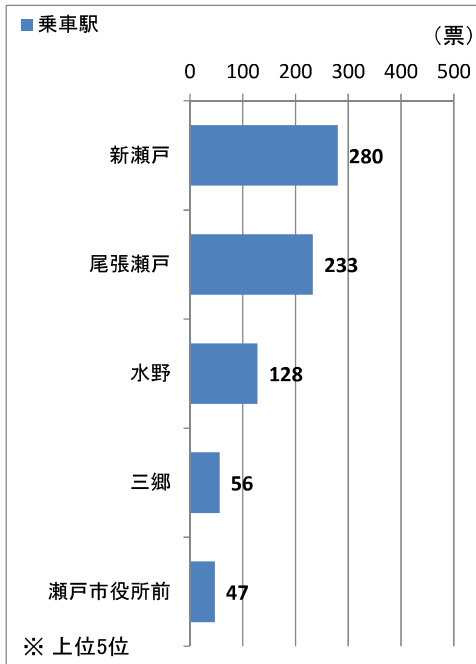


<年齢階層別>

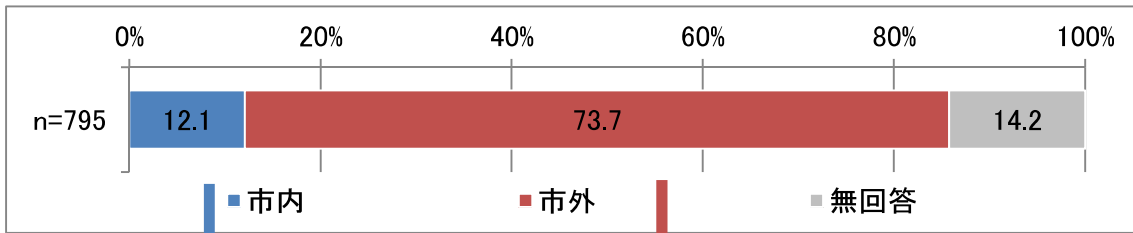




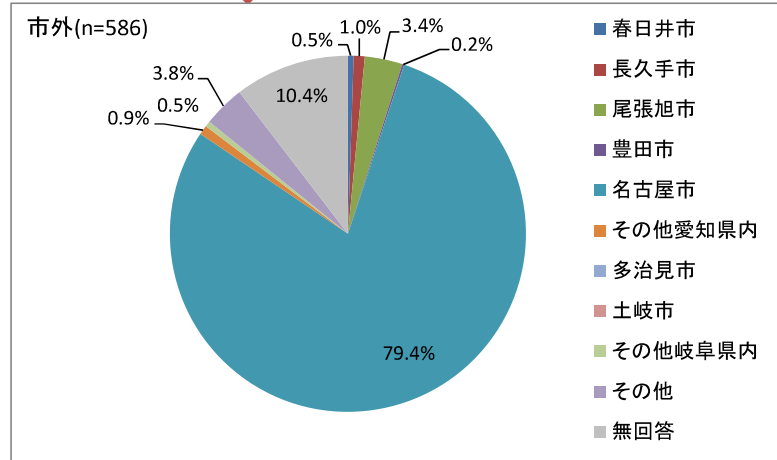
【問5②】利用駅（利用者のみ）（上位5位）



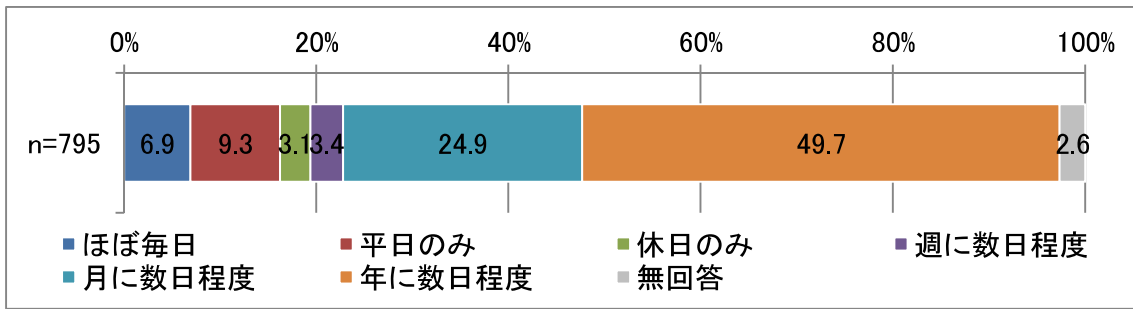
【問5③】最終目的地（利用者のみ）



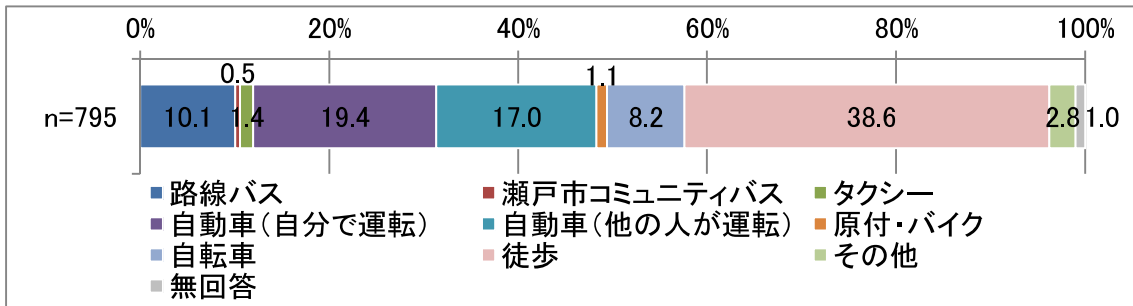
市内施設 (上位5位)	回答者数
瀬戸蔵	6
デパート	5
パルティセと	5
せともの祭	4
陶生病院	3
尾張瀬戸駅	3



【問5④】利用頻度（利用者のみ）



【問5⑤】自宅から駅までの移動手段（利用者のみ）

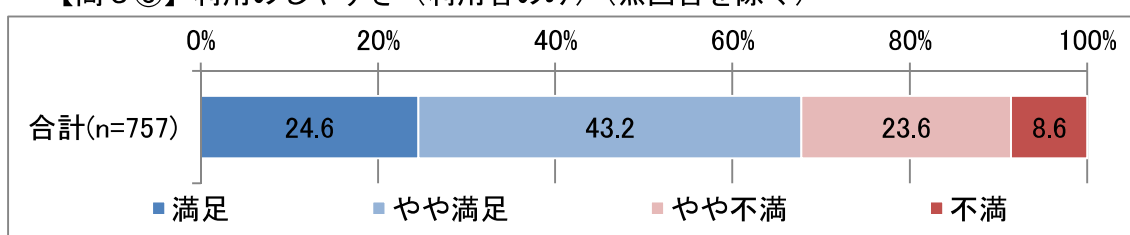


## ○利用ニーズ

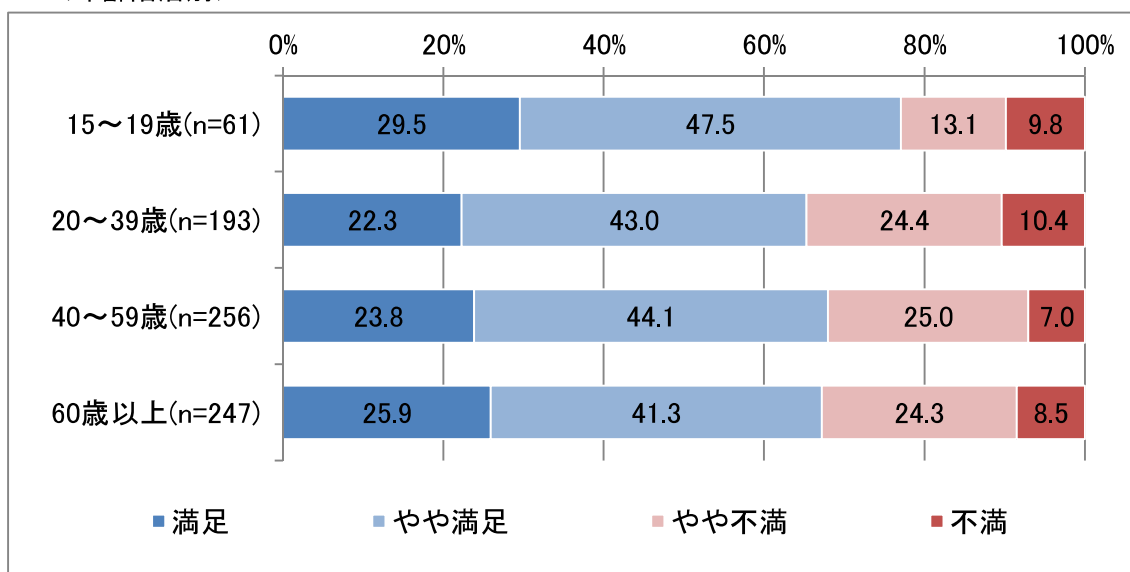
### 【問5⑥】利用のしやすさ

- ・利用のしやすさをみると、利用者の約68%が満足している（満足+やや満足）。
- ・年齢階層別にみても、利用率が高い19歳以下では満足度も高い。
- ・地域別にみると、幡山地域では満足している人が少ない。
- ・満足の理由をみると、「自宅や目的などから最寄り駅まで近い」「運行本数が多い」が多く、10%を超えている。
- ・不満の理由をみると、「駅まで遠い」が約25%で最も多い。次いで「バスが不便」、「運行本数が少ない」が多く、10%を超えている。

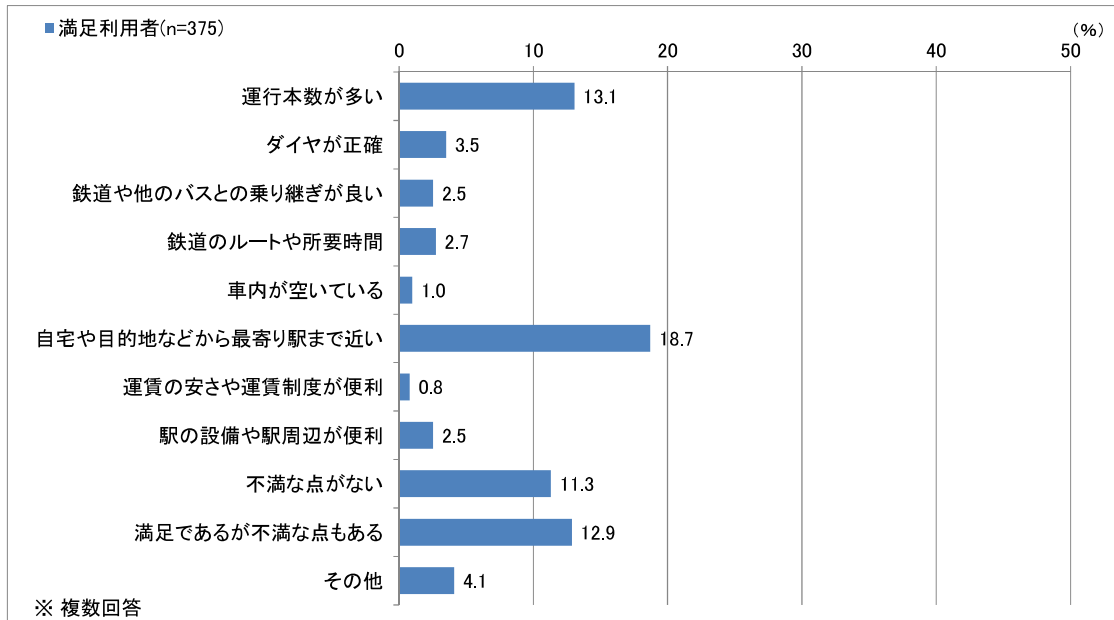
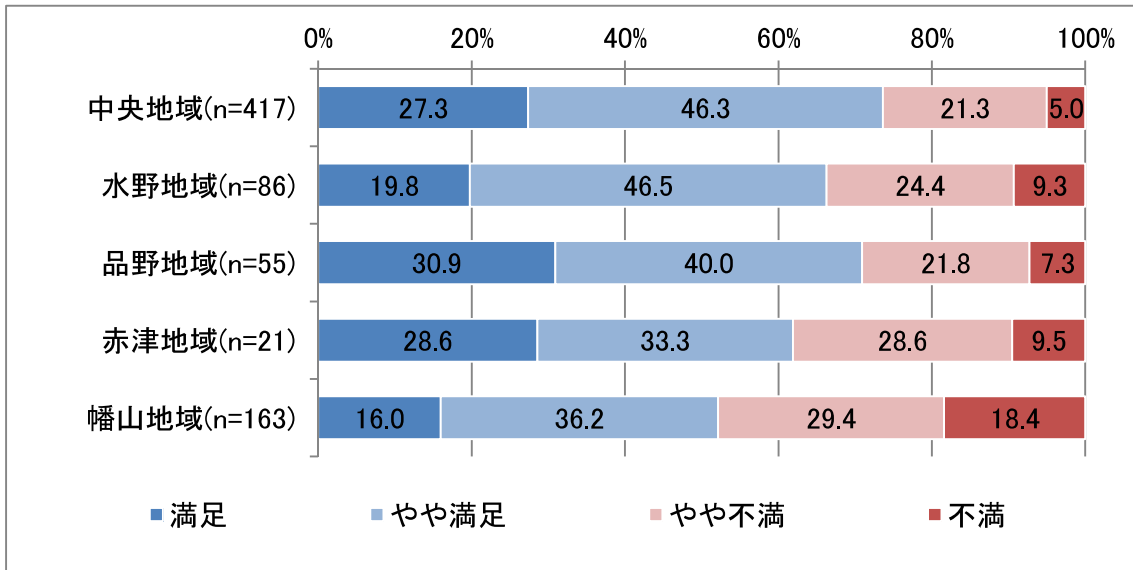
### 【問5⑥】利用のしやすさ（利用者のみ）（無回答を除く）



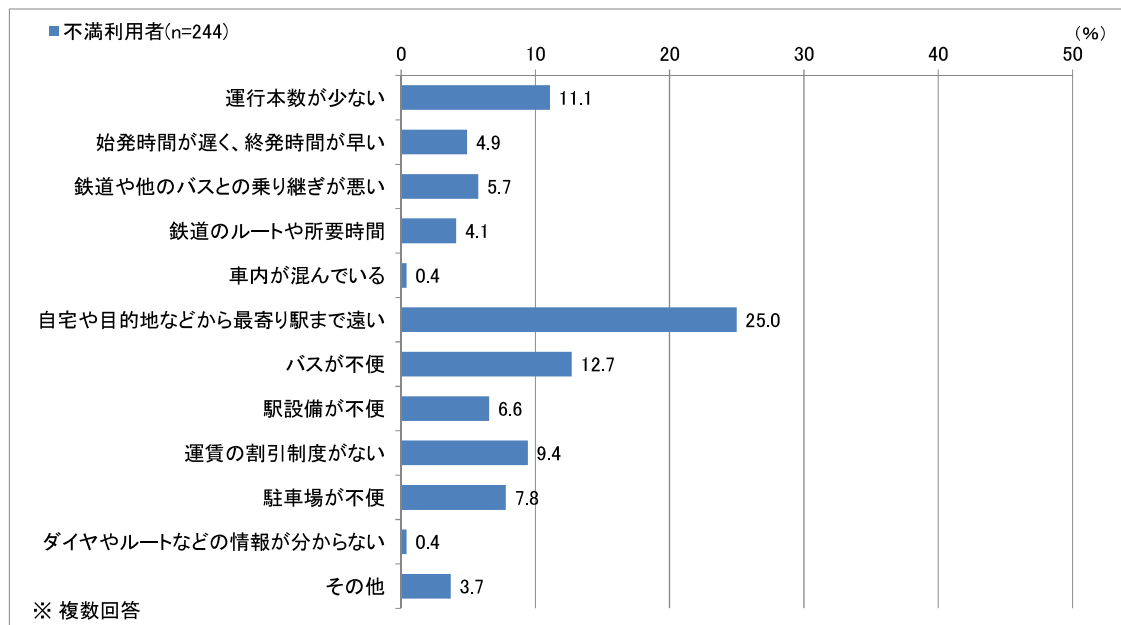
#### <年齢階層別>



<地域別>



### <不満の理由>



## 2) 愛知環状鉄道

### ○利用実態

#### 【問6① 利用目的】

- ・愛知環状鉄道を利用している人は約46%であり、名鉄瀬戸線よりも27ポイント少ない。
- ・利用目的をみると、飲食・趣味・娯楽が約30%と最も多く、次いで観光・レクリエーションが約21%、通勤が約18%と多い。
- ・年齢階層別にみると、年齢が高いほど利用率が低下している。

#### 【問6② 利用駅】

- ・乗車駅では瀬戸市駅が多く、降車駅では高蔵寺駅が多い。

#### 【問6③ 最終目的地】

- ・約76%が市外であり、行き先は名古屋市が約24%で最も多く、次いで豊田市の（約13%）、春日井市の（約7%）となっている。

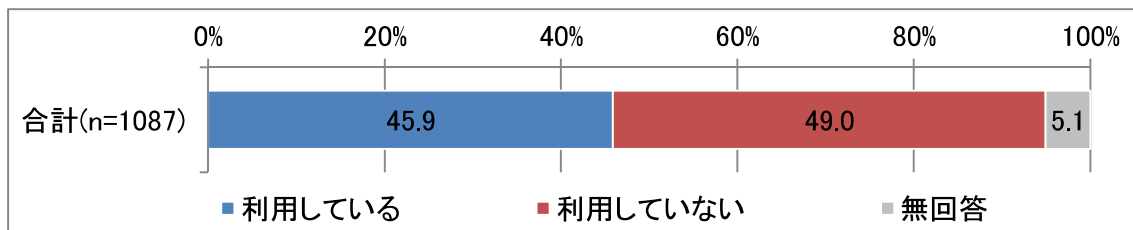
#### 【問6④ 利用頻度】

- ・「年に数日程度」の利用が約63%を占めている。

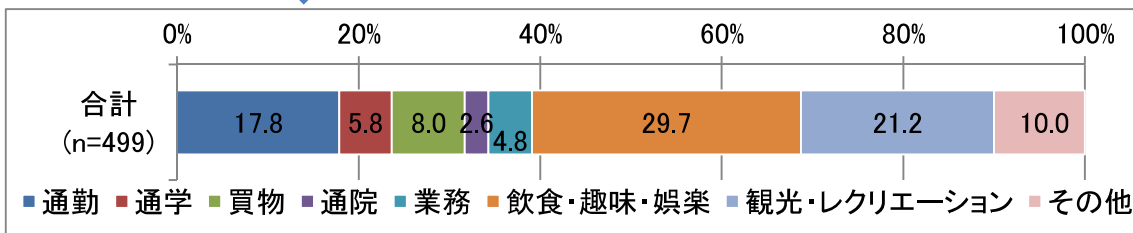
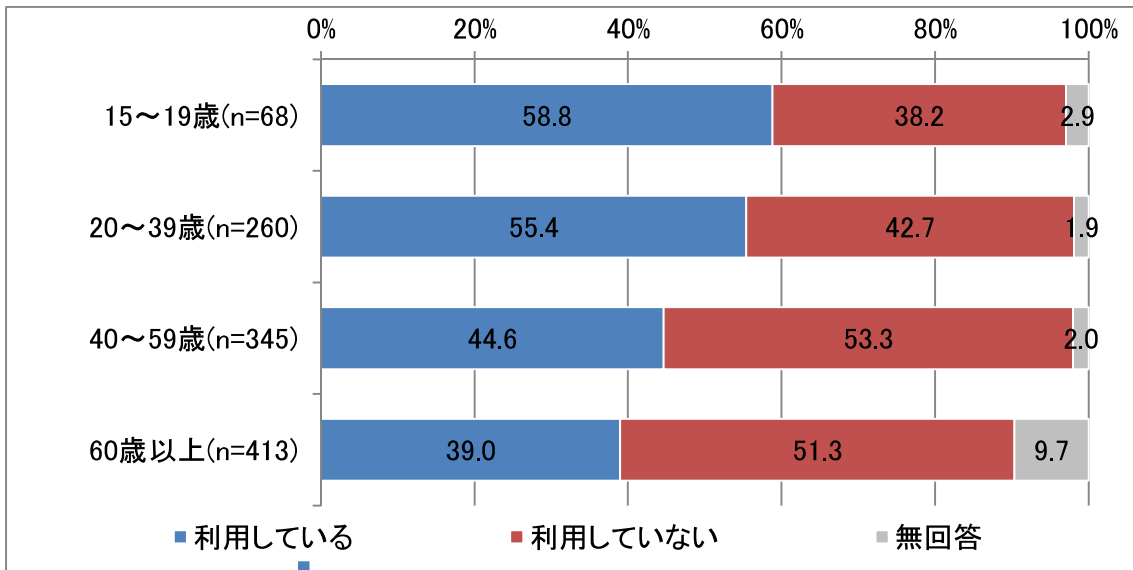
#### 【問6⑤ 自宅から駅までの移動手段】

- ・徒歩が約46%を占めている。徒歩以外では自動車が約30%（自分で運転+他の人が運転）と多い。公共交通では路線バスが約5%であるが、自転車の約10%を下回っている。

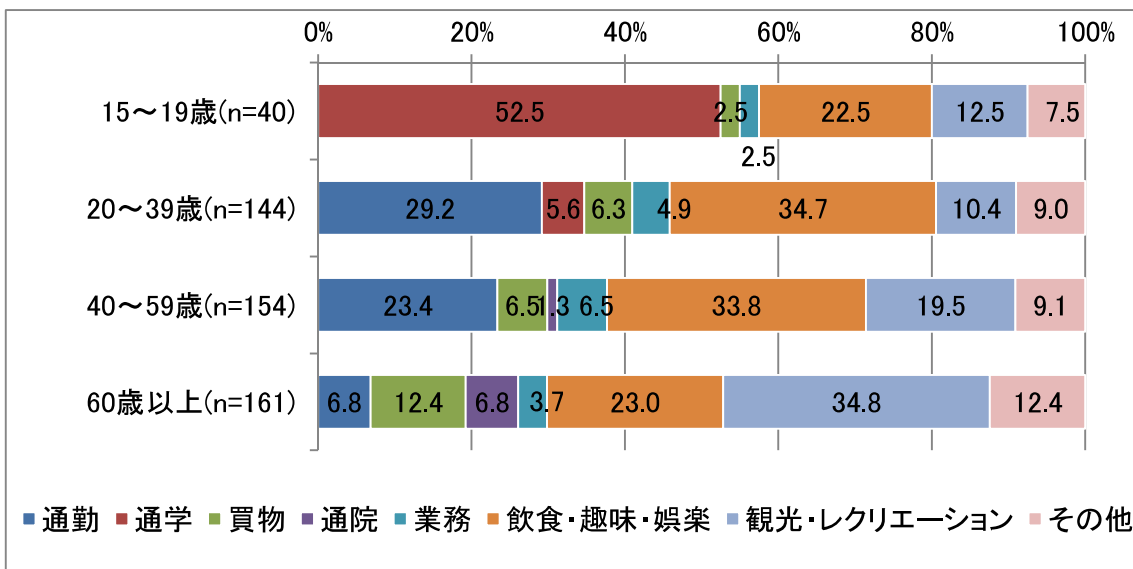
#### 【問6①】 利用目的



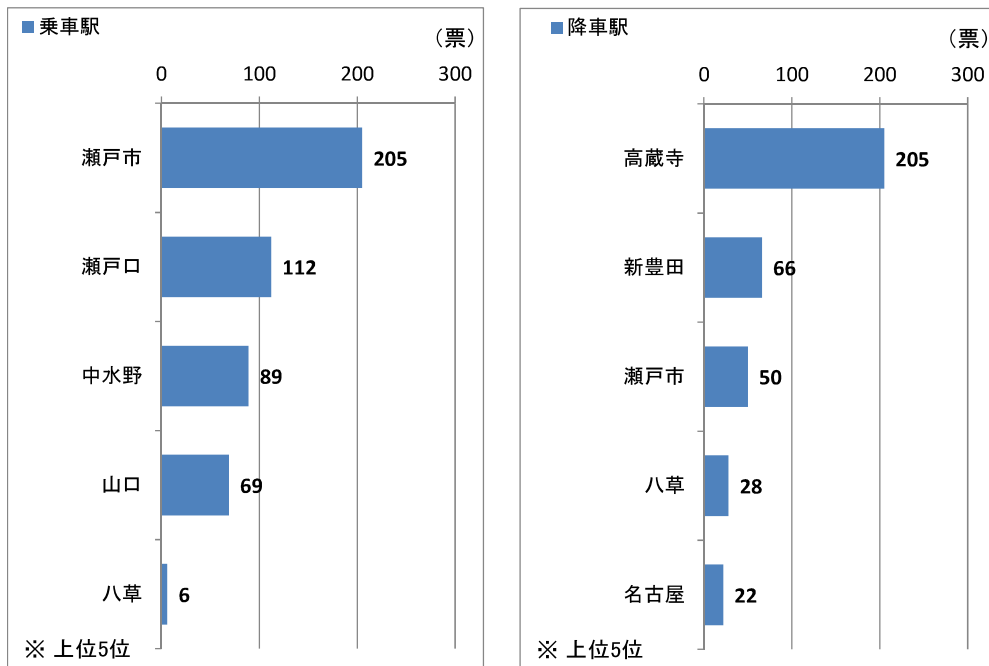
<年齢階層別>



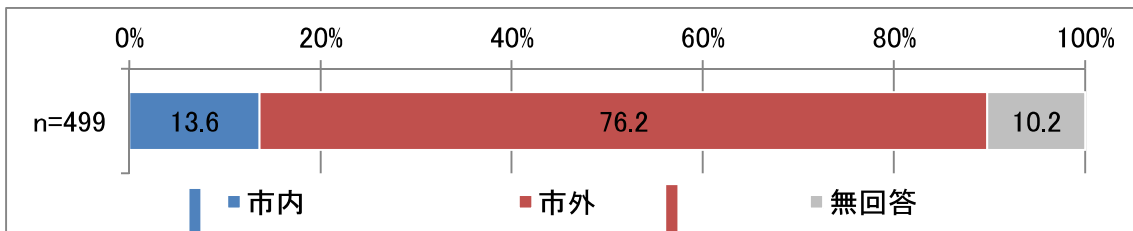
<年齢階層別>



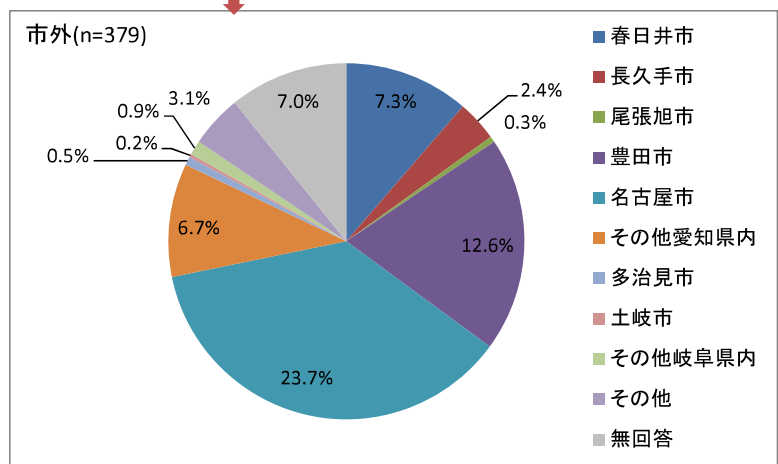
【問6②】利用駅（利用者のみ）（上位5位）



【問6③】最終目的地（利用者のみ）

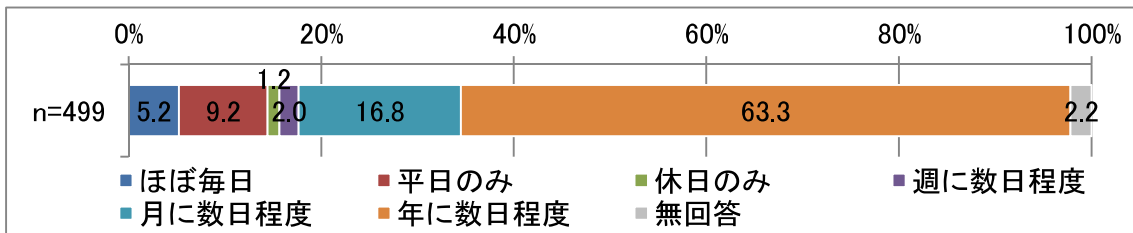


市内施設 (上位5位)	回答者数
会社	7
陶生病院	5
病院	3
名鉄瀬戸線	3
飲食店	3

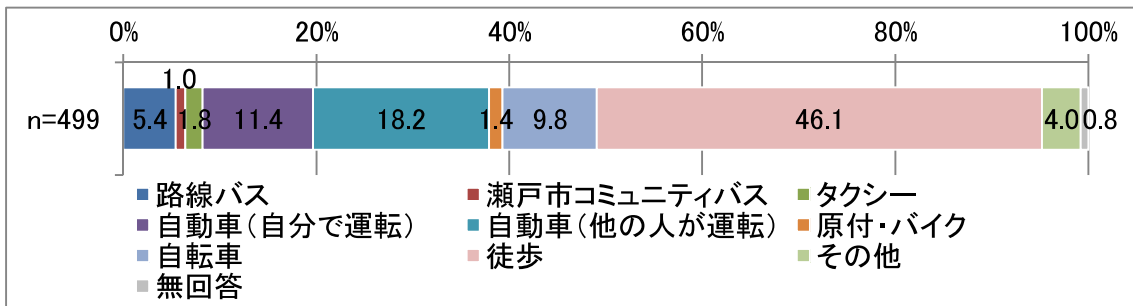




【問6④】利用頻度（利用者のみ）



【問6⑤】自宅から駅までの移動手段（利用者のみ）

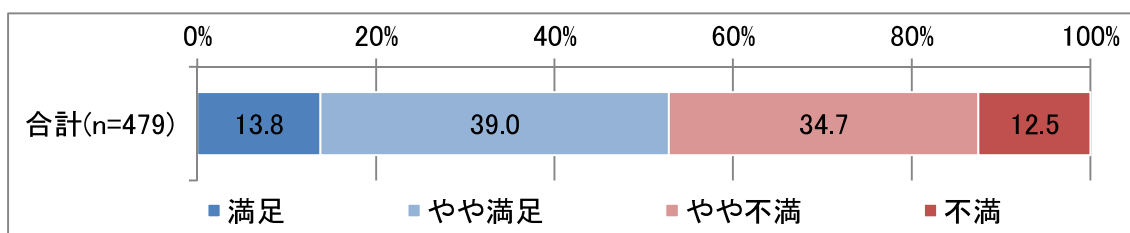


## ○利用ニーズ

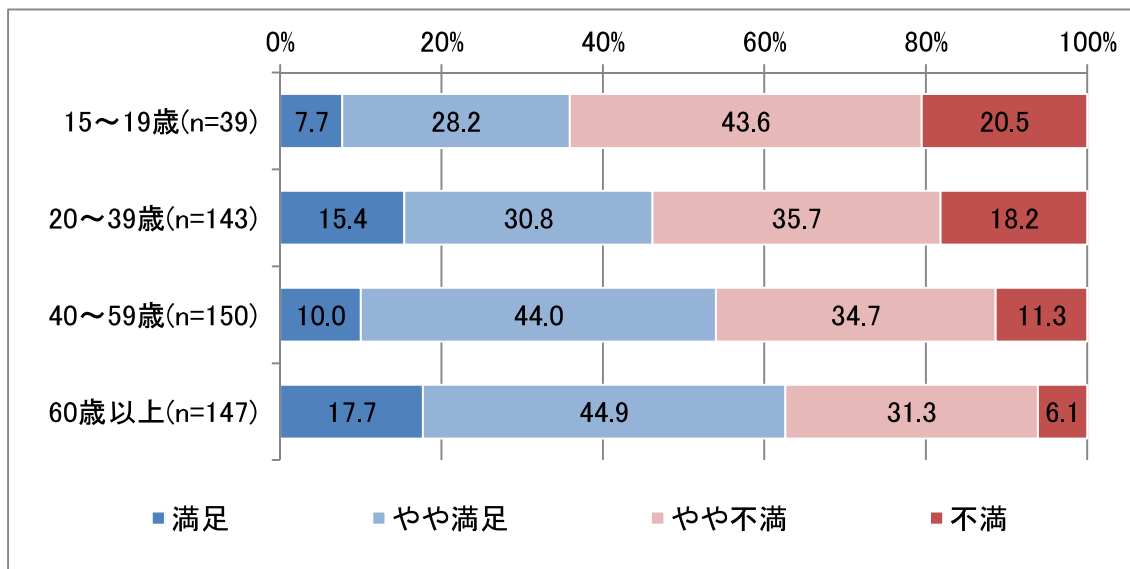
### 【問6⑥ 利用のしやすさ】

- ・満足している利用者は約53%であり（満足+やや満足）、名鉄瀬戸線より15ポイント少ない。
- ・年齢階層別にみると、年齢階層が高くなるほど、満足する人が多くなっている。
- ・地域別にみると、品野地域、赤津地域では満足している人が少ない。
- ・不満の理由をみると、「運行本数が少ない」が約32%で最も多く、次いで「運賃が高い」の約22%となっている。

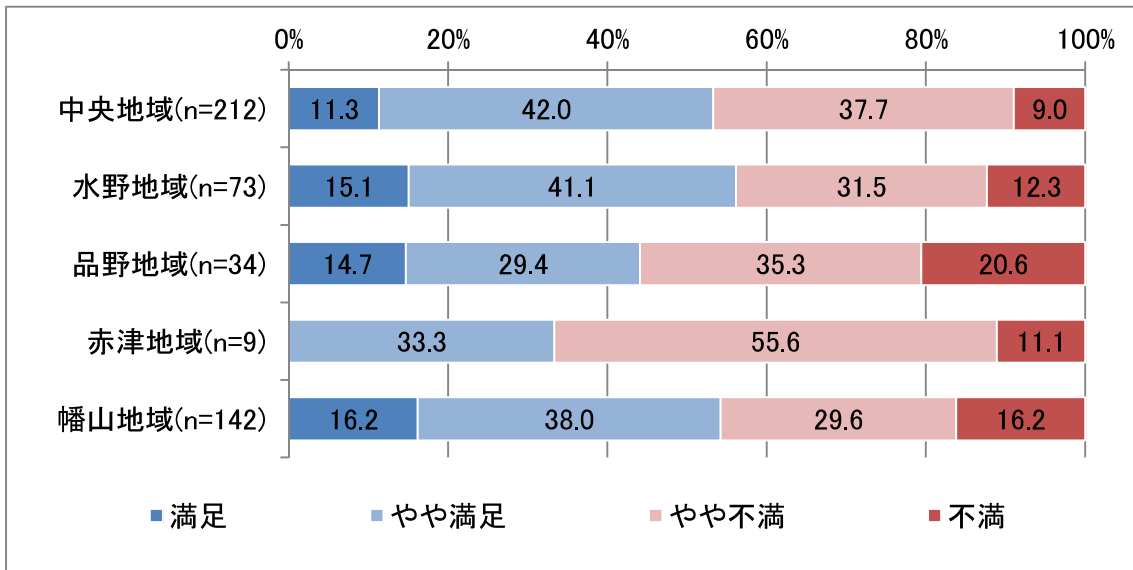
### 【問6⑥】利用のしやすさ（利用者のみ）（無回答を除く）



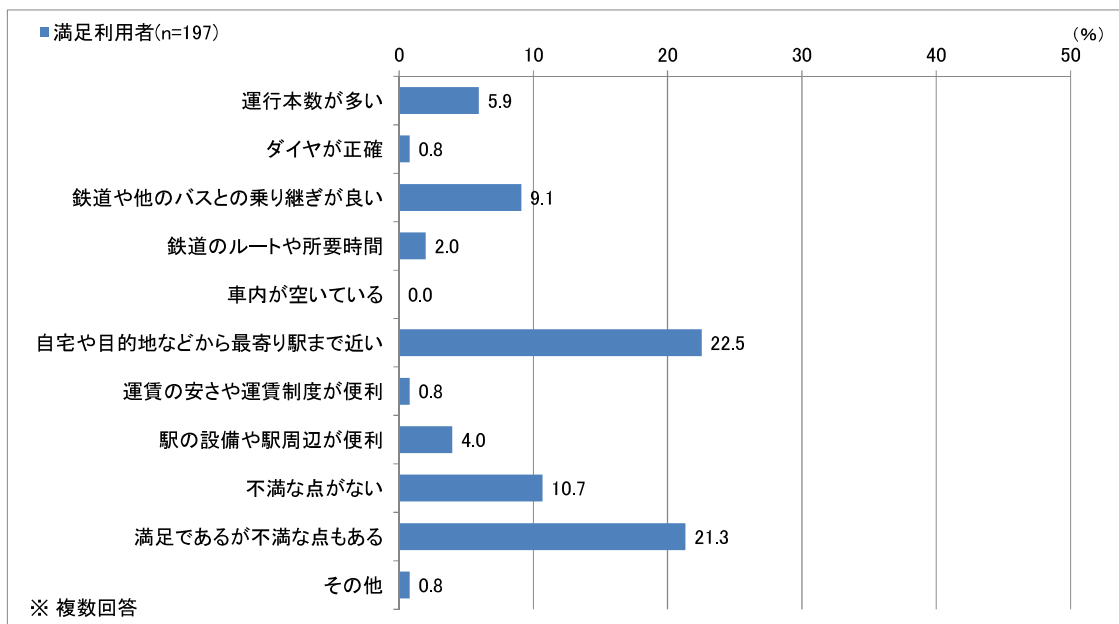
### <年齢階層別>



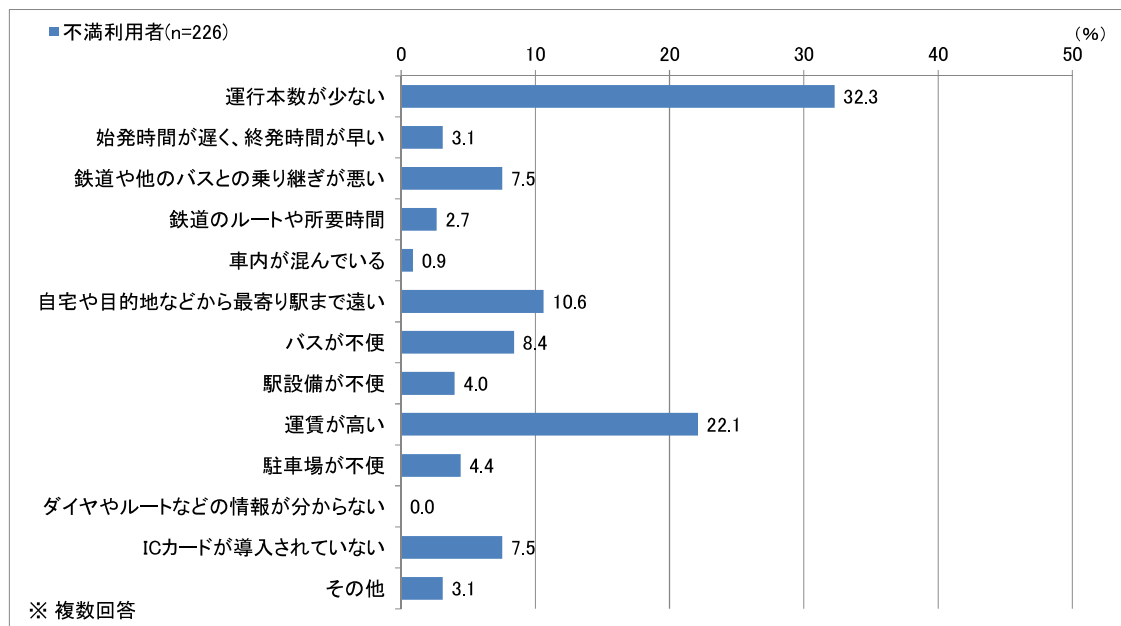
<地域別>



<満足の理由>



### <不満の理由>



## (6) 路線バスの利用について

### ○利用実態

#### 【問7① 利用目的】

- ・路線バスについては、利用している人が約21%となっている。
- ・飲食・趣味・娯楽が約26%と最も多く、次いで通勤が約21%と多い。
- ・年齢階層別にみると、年齢階層が高くなるほど利用する人が多くなる。

#### 【問7② 利用したバス停】

- ・駅で降車している人が多い。特に、尾張瀬戸駅（瀬戸駅前）、新瀬戸駅、藤が丘駅での降車が多い。

#### 【問7③ 最終目的地】

- ・約49%が市外であり、鉄道よりは低いものの、約半分を占めている。  
市外の行き先としては、ほとんどが名古屋市（約79%）となっている。

#### 【問7④ 利用頻度】

- ・「年に数日程度の利用」が約43%で最も多いが、鉄道と比較して「月に数日程度」も約34%と多い。

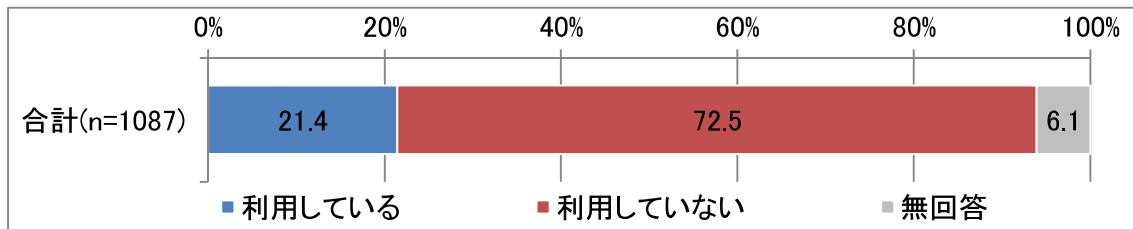
#### 【問7⑤ 自宅からバス停までの移動手段】

- ・ほとんどが徒歩（約88%）となっている。

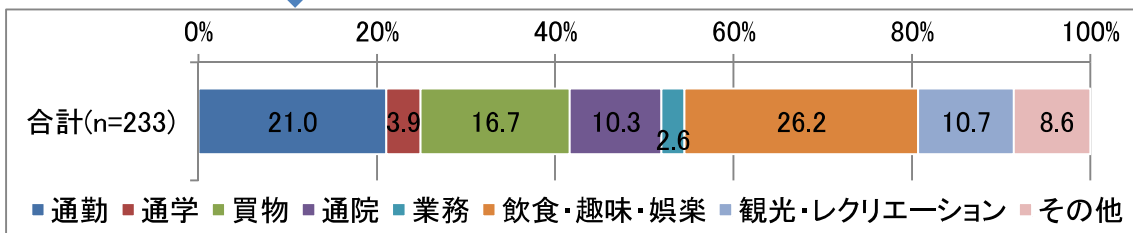
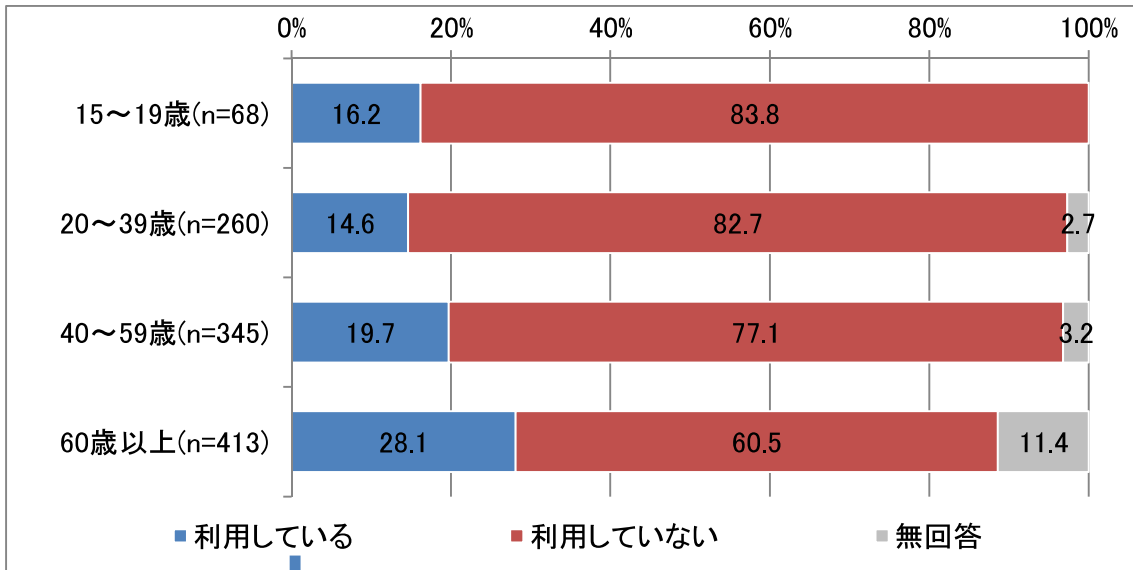
#### 【問7⑥ 他の交通機関への乗り継ぎについて】

- ・利用者の約39%が乗り継ぎをしており、乗り継ぎ先の約86%は鉄道となっている。バスからバスへの乗り継ぎも約10%みられる。

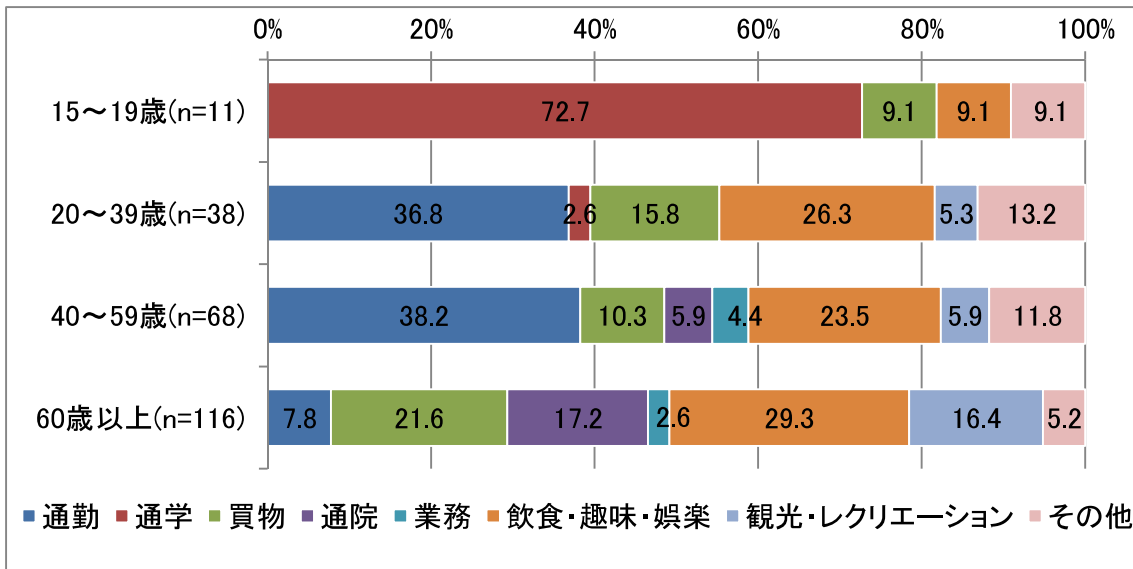
【問7①】 利用目的



<年齢階層別>



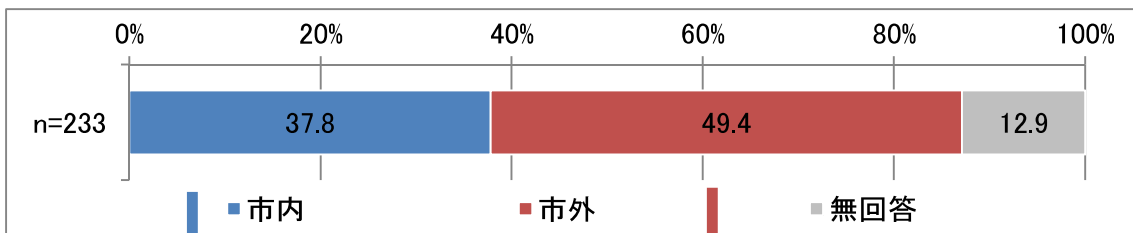
<年齢階層別>



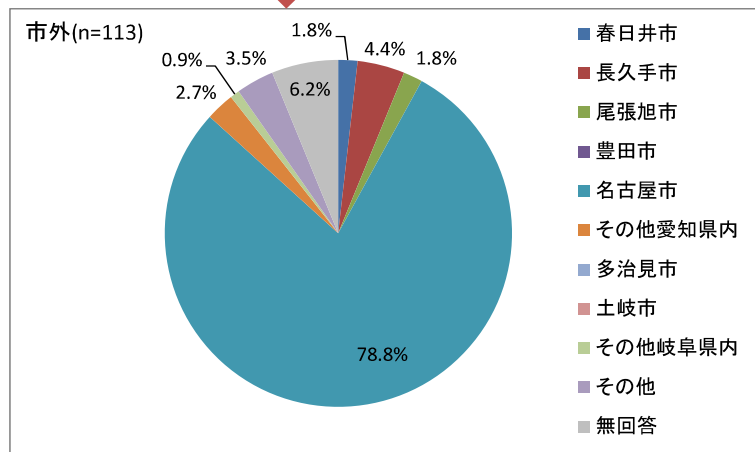
【問7②】利用したバス停（利用者のみ）（上位5位）

乗車バス停	回答者数	降車バス停	回答者数
瀬戸駅前	19	瀬戸駅前	82
しなのバスセンター	9	新瀬戸駅	35
五位塚	8	藤が丘	27
品野本町	8	名鉄バスセンター	7
新瀬戸駅	7	陶生病院前	6

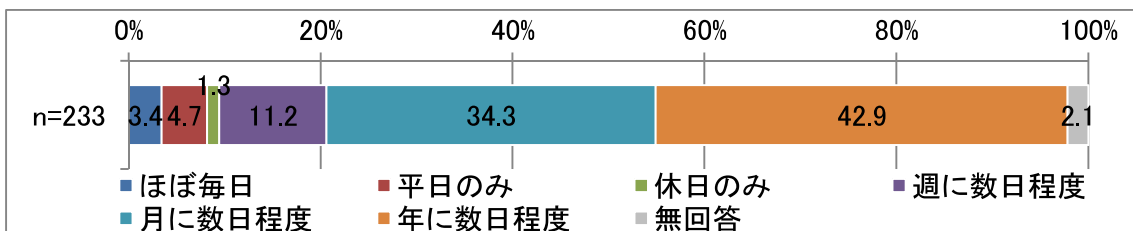
【問7③】最終目的地（利用者のみ）



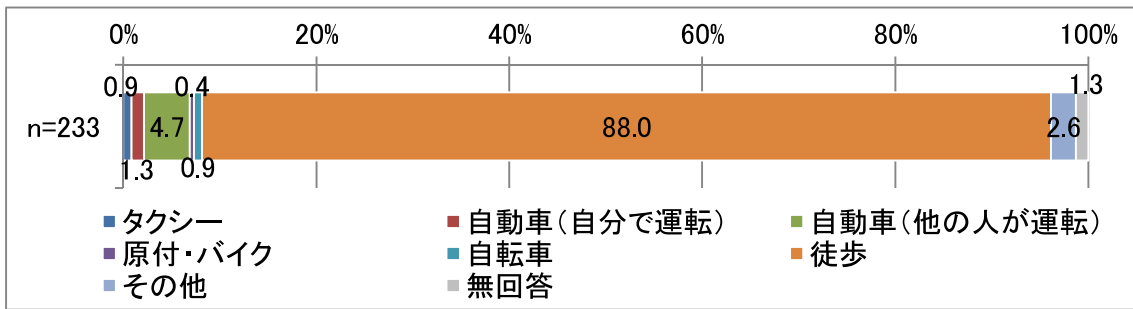
市内施設 (上位5位)	回答者数
陶生病院	7
尾張瀬戸駅	7
アピタ	5
パルティセと	5
自宅	4
病院	4



【問7④】利用頻度（利用者のみ）



【問7⑤】自宅からバス停までの移動手段（利用者のみ）



【問7⑥】他の交通機関への乗り継ぎについて（利用者のみ）

図 乗り継ぎの有無

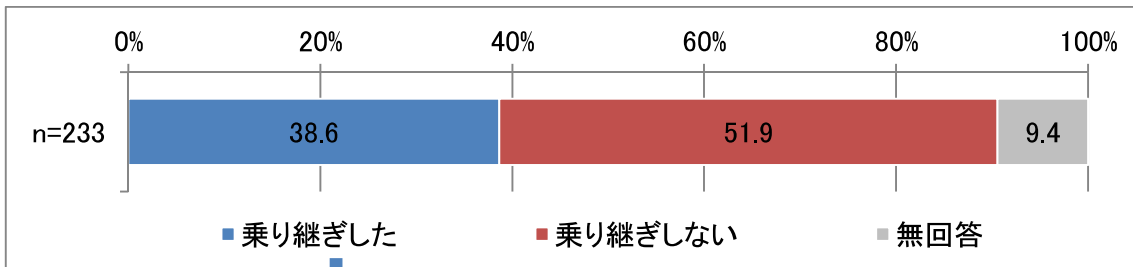
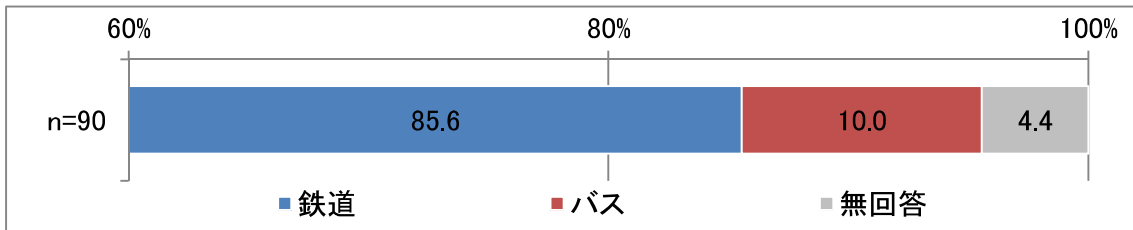


図 乗り継ぎ先の移動手段（乗継利用者）





## ○利用ニーズ

### 【問7⑦ 利用のしやすさ】

- ・満足している利用者は約46%となっている（満足+やや満足）。
- ・年齢階層別にみると、年齢階層が高くなるほど満足する人が多くなっている。
- ・地域別にみると、水野地域、赤津地域で満足する人が少なく、40%を下回っている。

### 【問8① 路線バスの不満な理由・利用しない理由】

- ・利用者の不満点をみると、「運行本数が少ない」を挙げる人が約74%で最も多い。次いで、「鉄道や他のバスとの乗り継ぎが悪い」、「遅延がある」、「始発時間が遅く、終発時間が早い」が多く、それぞれ20%を超えている。

年齢階層別にみると、60歳以上の高齢者では他の年齢階層に比較して、「行きたい施設を経由する路線がない」、「市街地を巡回する路線がない」が多い。

- ・非利用者の利用しない理由をみると、「運行本数が少ない」ことに加えて、「最寄りバス停まで遠い」、「行きたい施設を経由する路線がない」、「ダイヤやルートがわからない」ことを挙げる人が多く、それぞれ20%を超えている。

年齢階層別にみると、60歳以上の高齢者では他の年齢階層に比較して、「運行本数が少ない」、「ダイヤやルートがわからない」が比較的少ない。

地域別にみると、品野地域と赤津地域では他の地域と比較して、「鉄道や他のバスとの乗り継ぎが悪い」が多く、中央地域と水野地域では他の地域と比較して、「バスのダイヤやルートなどの情報がわからない」が多い。

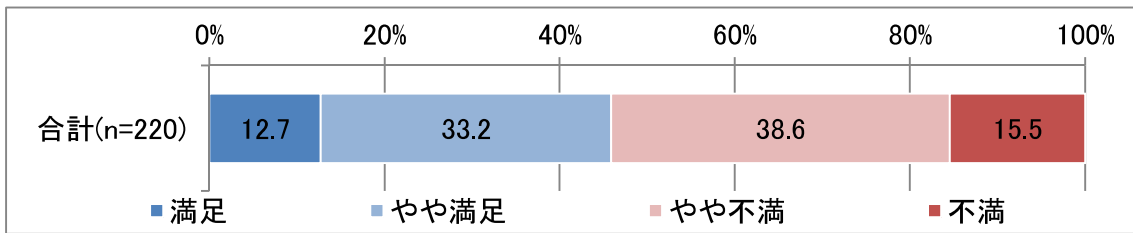
- ・運行間隔に関する希望をみると、不満利用者、非利用者とも15分間隔、30分間隔が多い。希望始発時間では5時台が16人、希望終発時間では24時以降が17人みられる（不満利用者+非利用者）。乗り継ぎ時間では10分が24人と最も多い（不満利用者+非利用者）。
- ・不満点が改善された場合、利用者の約54%が「今まで以上に利用したい」と回答している。

この利用意向は、バスの利用が少ない20～39歳において高い。

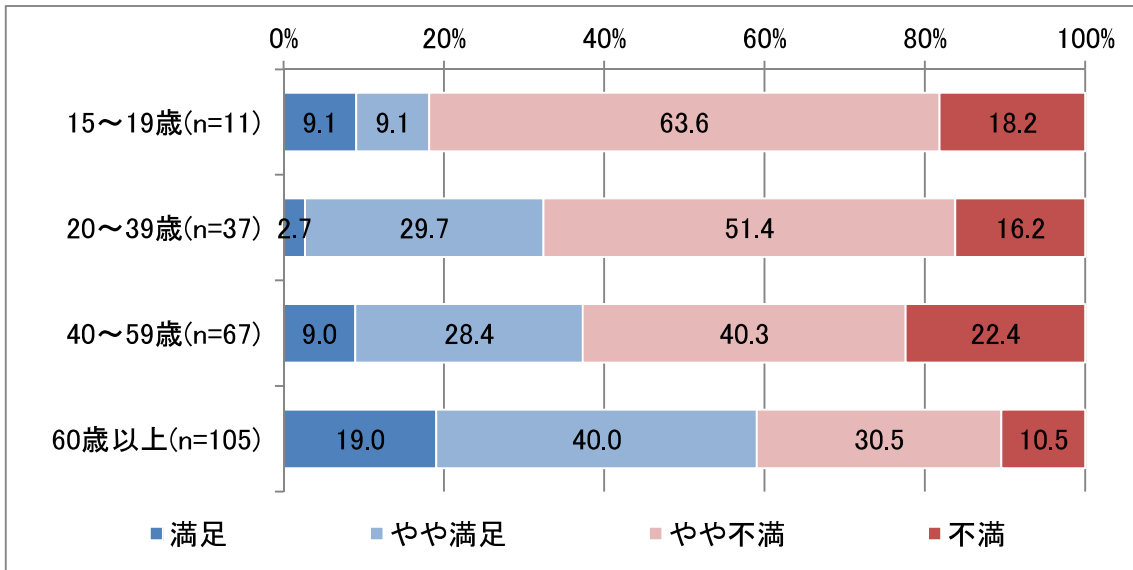
非利用者を見ると、条件が改善された場合、約36%の人が「新たに利用したい」と回答している。しかし、利用意向（今まで以上に利用したい+現在と同程度で利用したい+新たに利用したい）が無い人も36%程度もいる。

この利用意向（今まで以上に利用したい+現在と同程度で利用したい+新たに利用したい）は、60歳以上よりも60歳未満において高い。

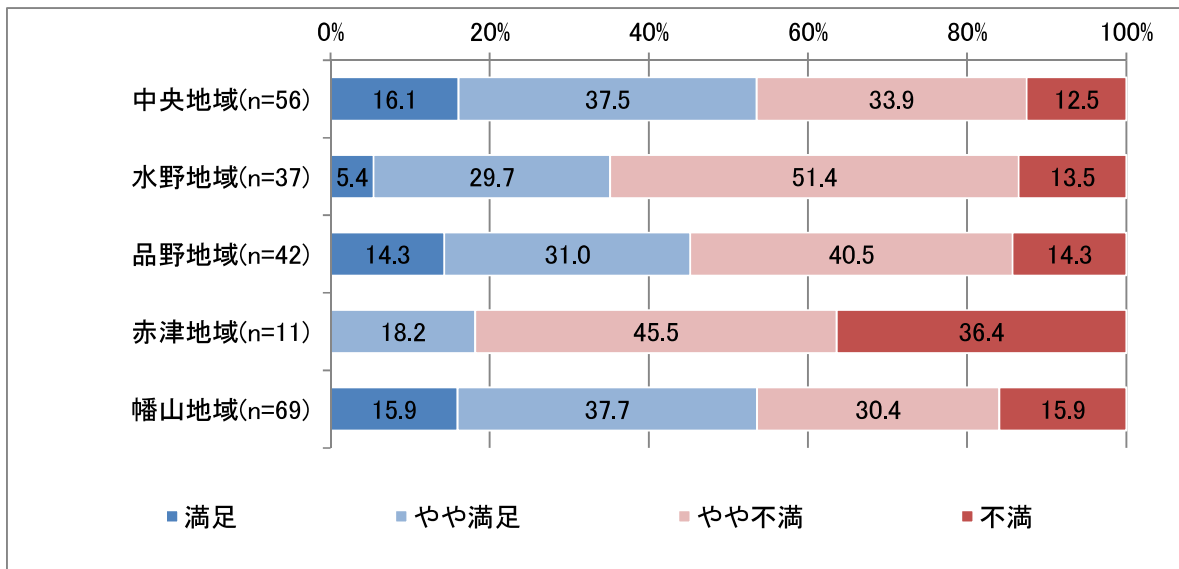
【問7⑦】利用のしやすさ（利用者のみ）（無回答を除く）



<年齢階層別>

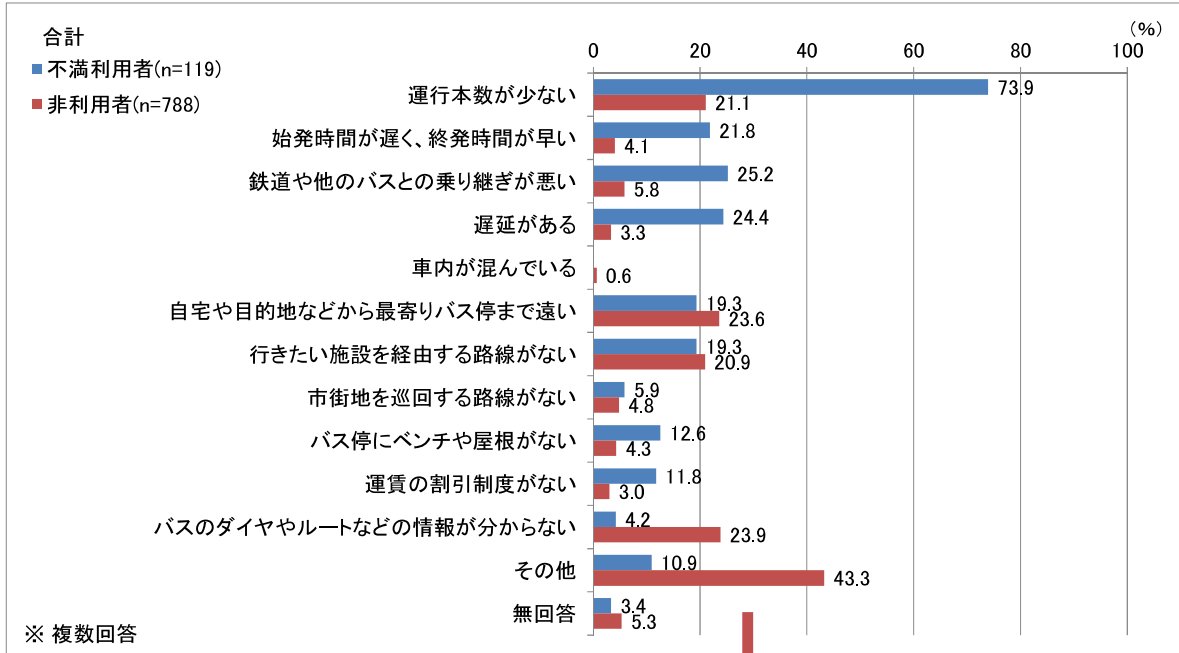


<地域別>

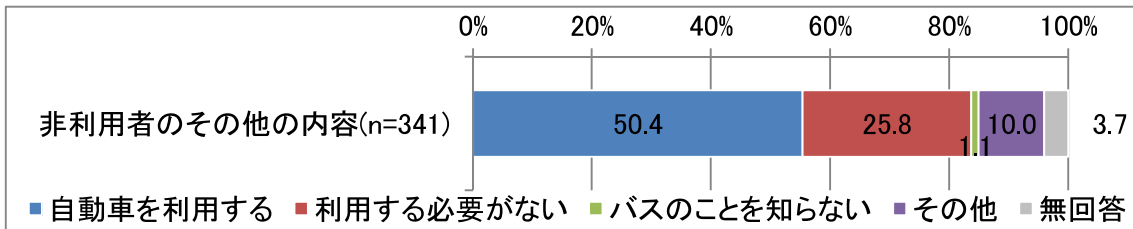


【問8①】路線バスの不満な理由・利用しない理由

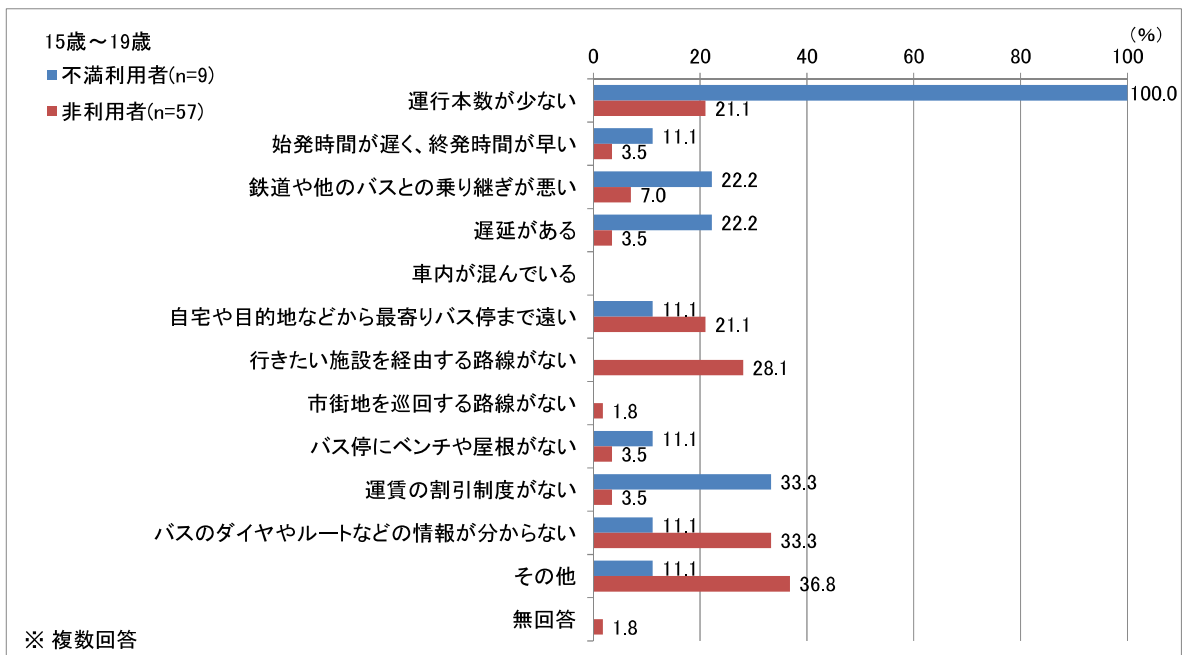
図 不満な理由（不満利用者）・利用しない理由（非利用者）



【非利用者のその他の内容】



<年齢階層別>



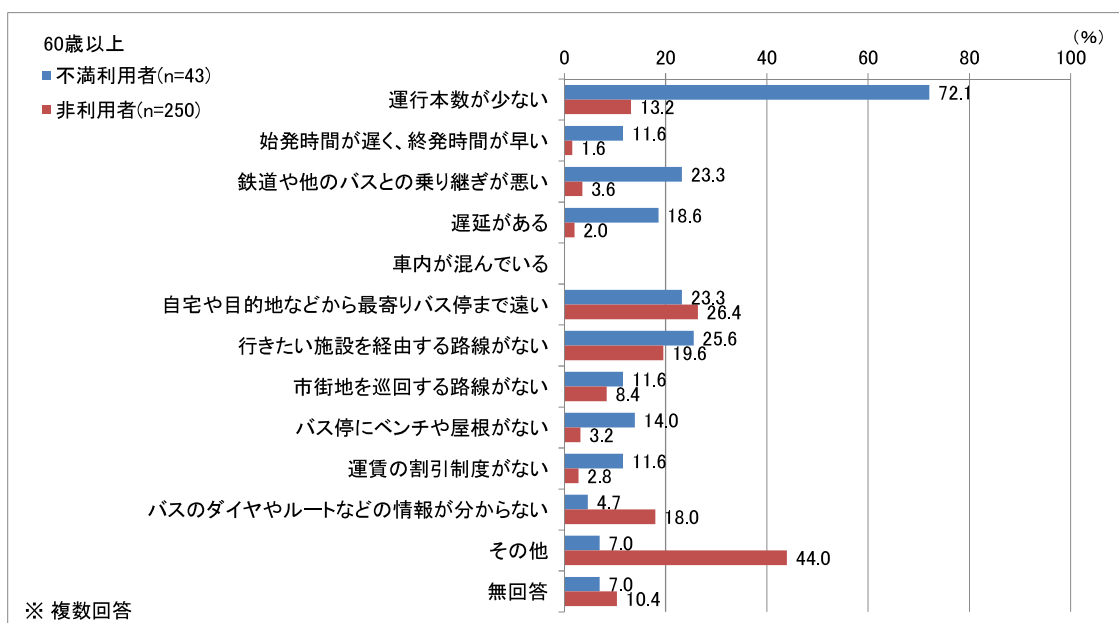
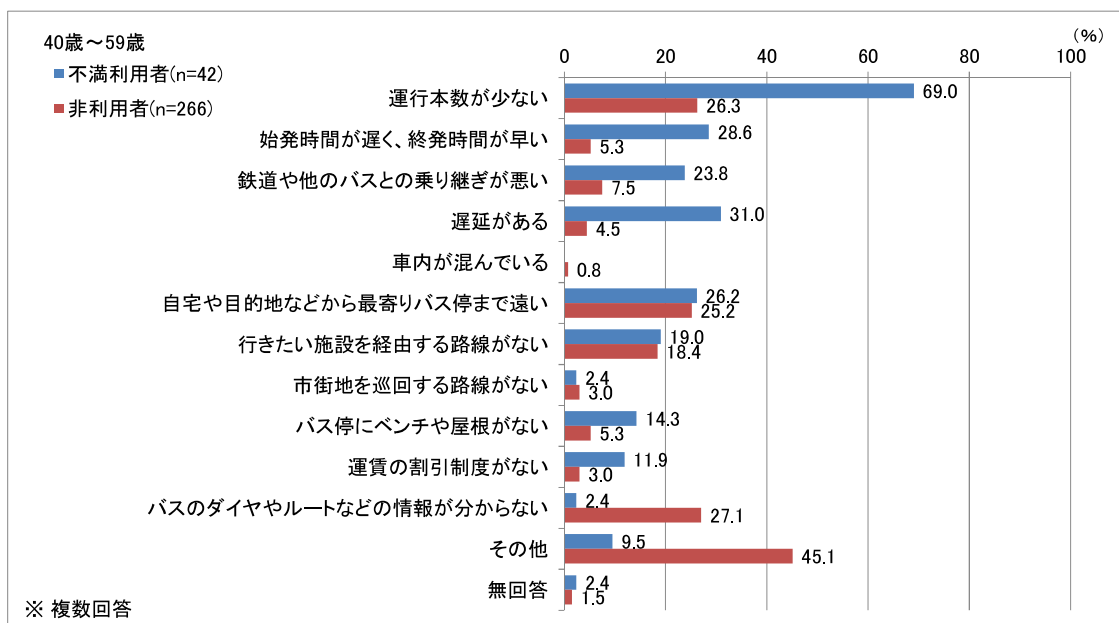
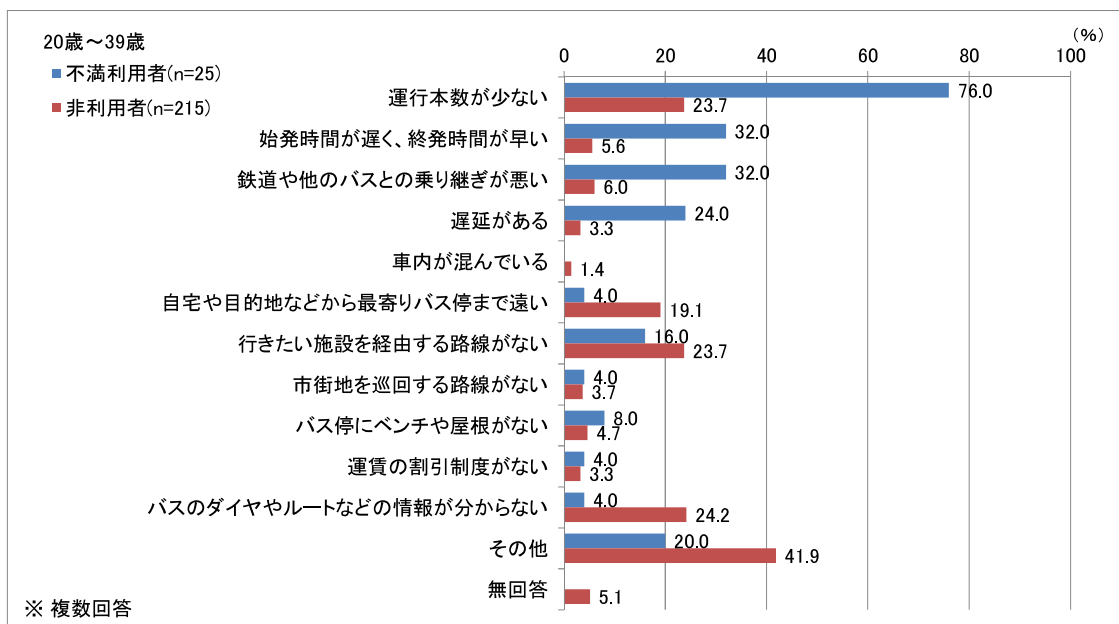
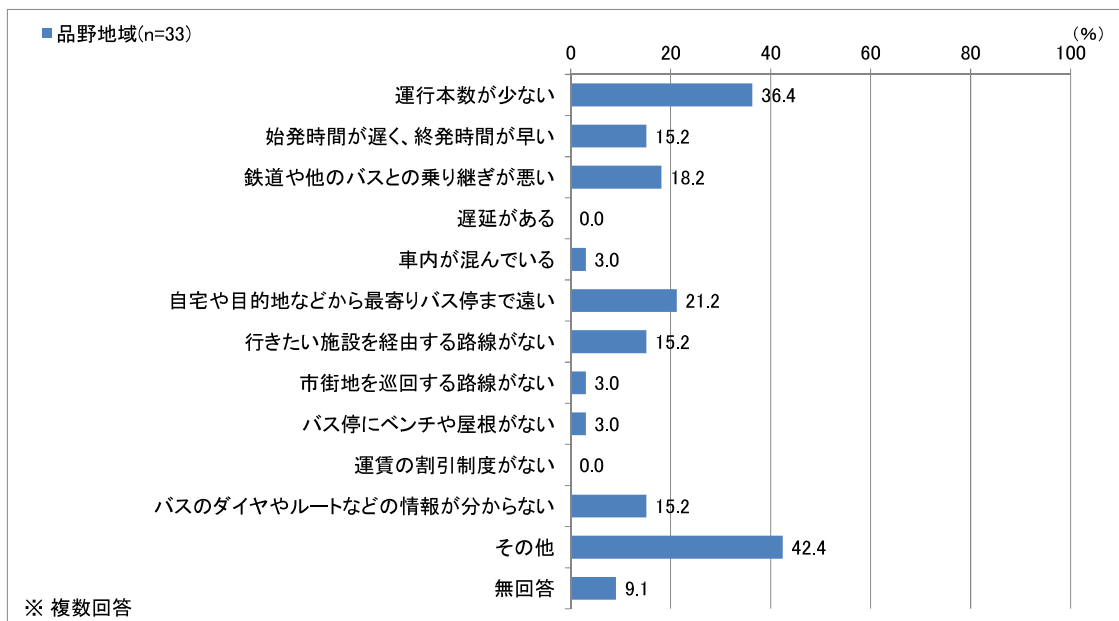
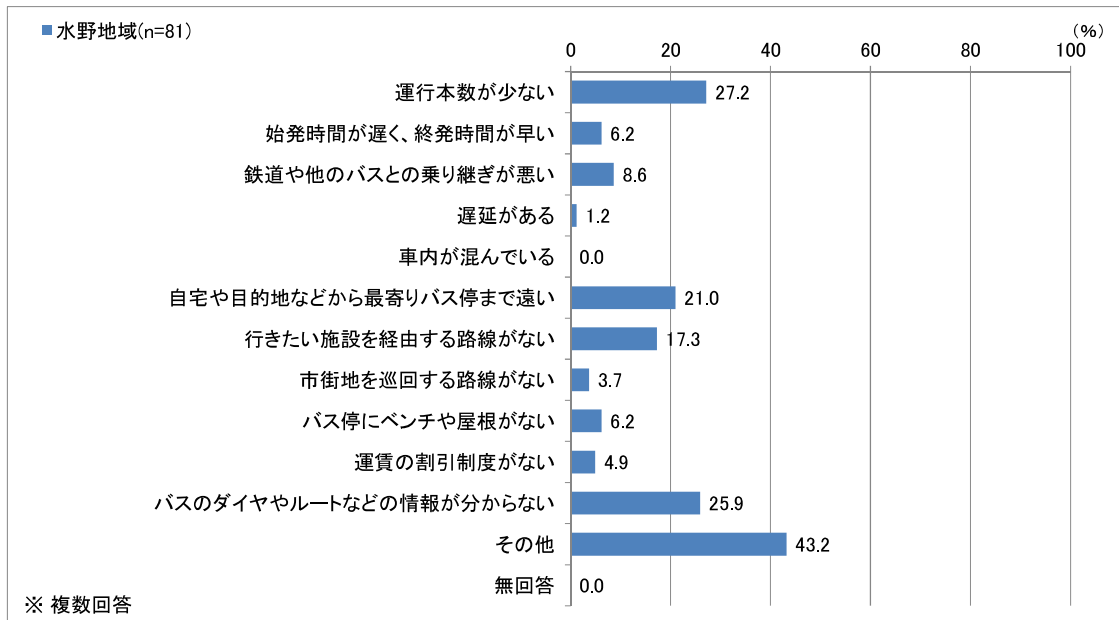
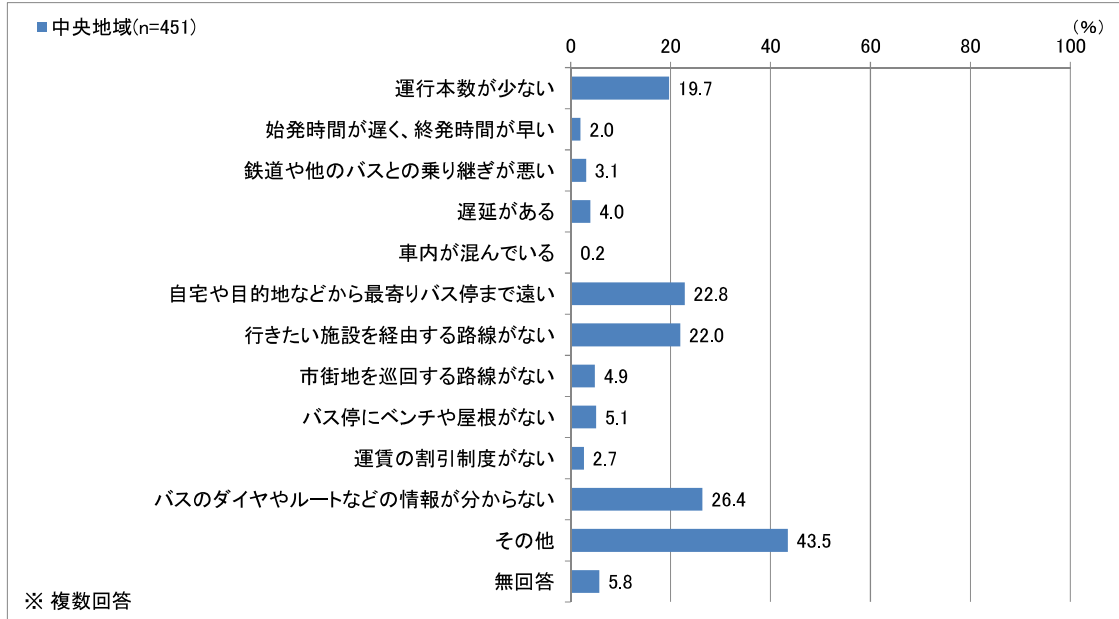
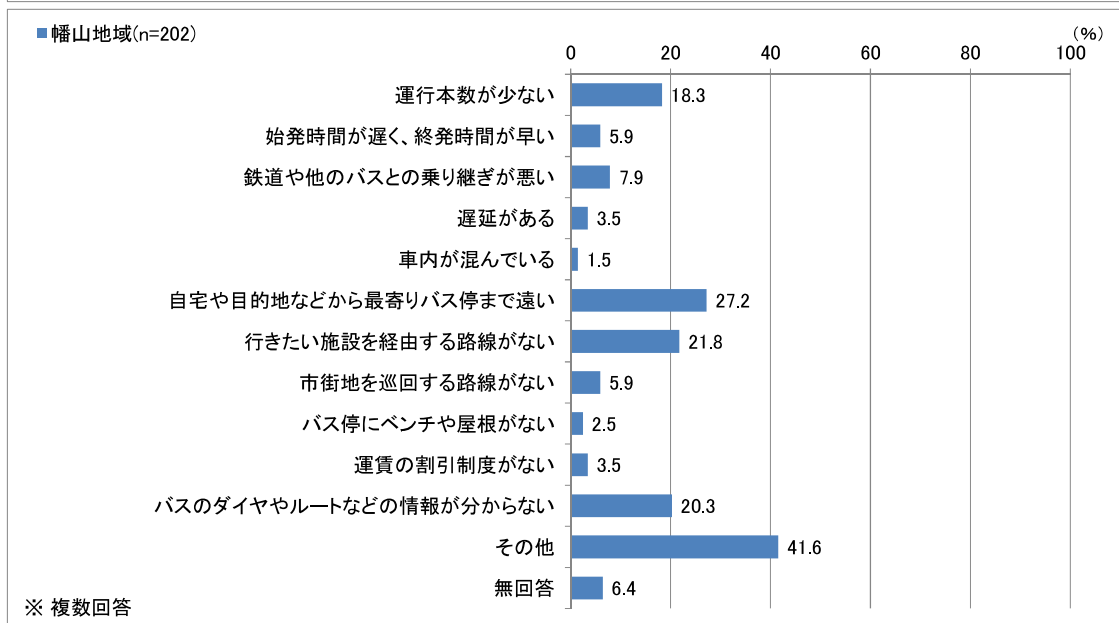
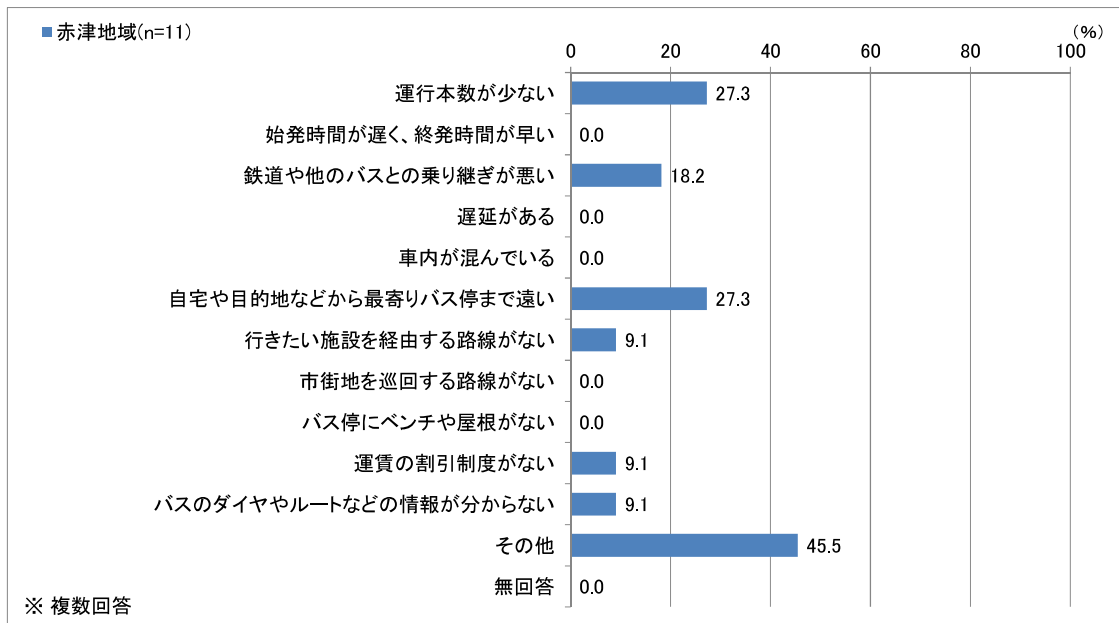


図 利用しない理由（非利用者）

<地域別>





【問 8 ①】 路線バスの不満な理由・利用しない理由に対する要望

図 希望する運行間隔

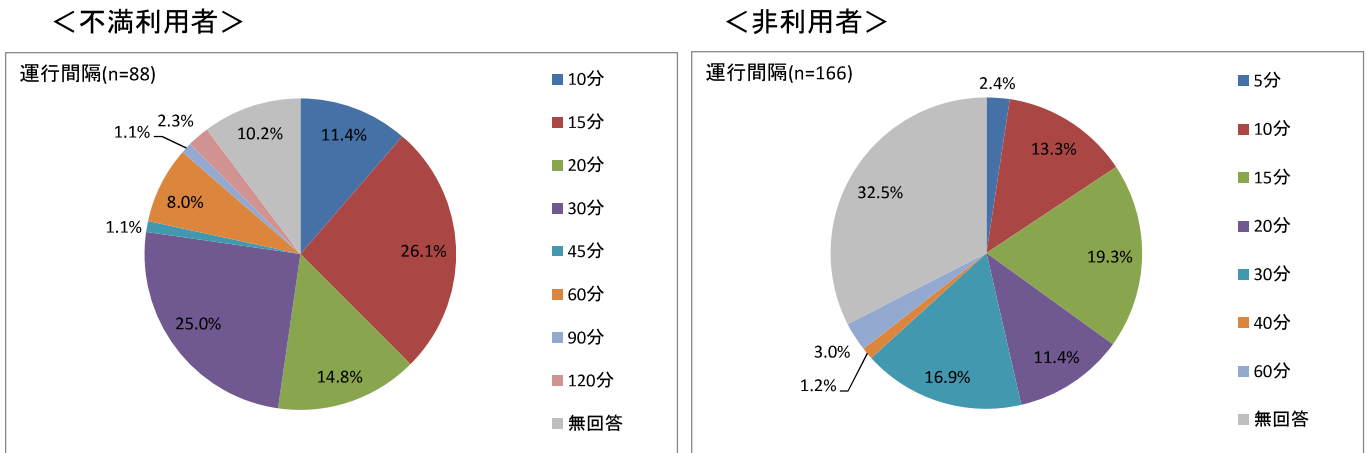


表 希望する始発時刻・終発時刻

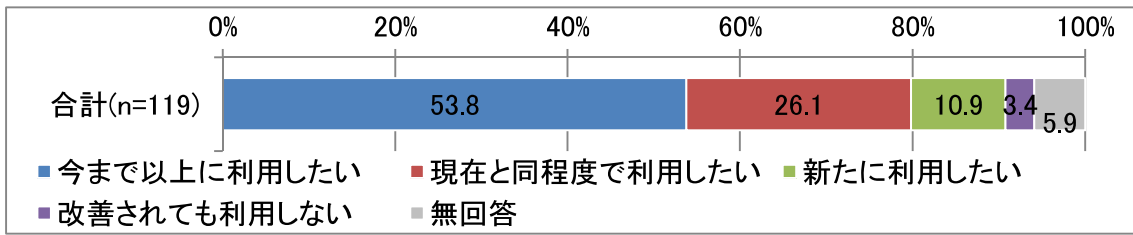
始発時刻	不満利用者数	非利用者数	小計	終発時刻	不満利用者数	非利用者数	小計
5:00	2	4	16	21:00	1	1	2
5:30	3	3		22:00	3	6	11
5:50	2	2		22:06	1	0	
6:00	3	4	8	22:30	1	0	11
6:10	0	1		23:00	3	4	
7:00	2	1	3	23:30	4	0	17
				24:00	4	5	
				24:20	2	0	
				24:30	2	0	
				24:40	1	0	
				25:00	1	2	

表 希望する乗継時間

乗り継ぎ時間	不満利用者数	非利用者数	小計
3分以内	0	2	2
5分以内	5	5	10
10分以内	13	11	24
15分以内	4	2	6
20分以内	0	2	2

【問8②】選択した条件が改善された場合の路線バスの利用意向

図 不満利用者の意向



<年齢階層別>

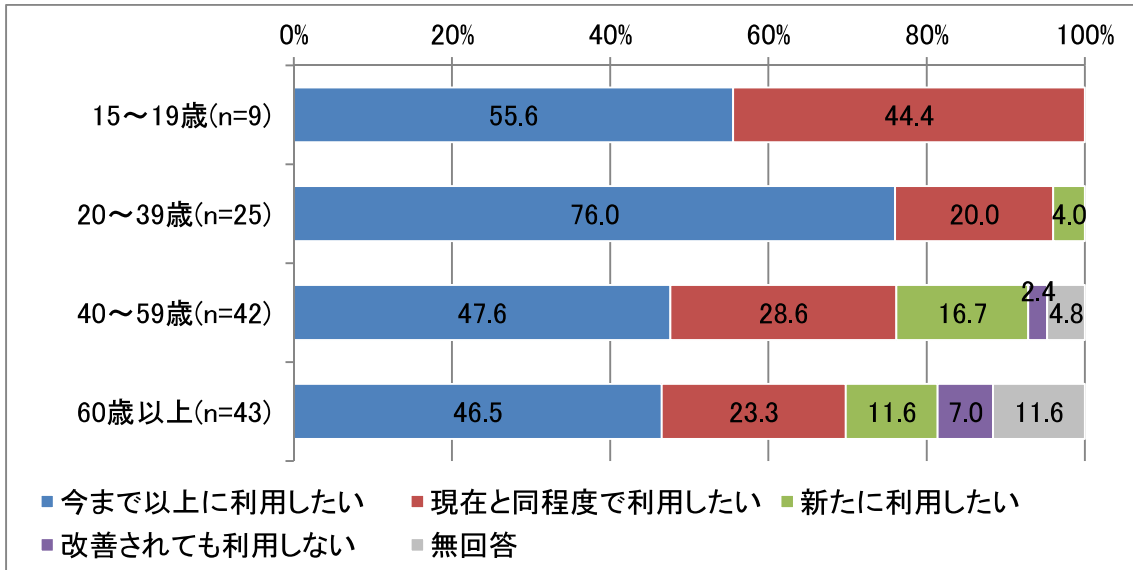
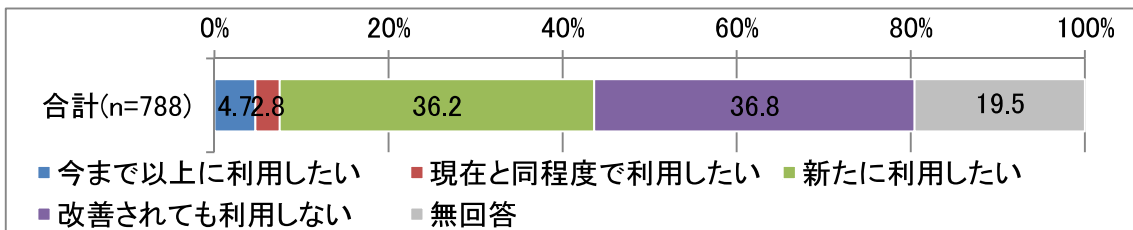
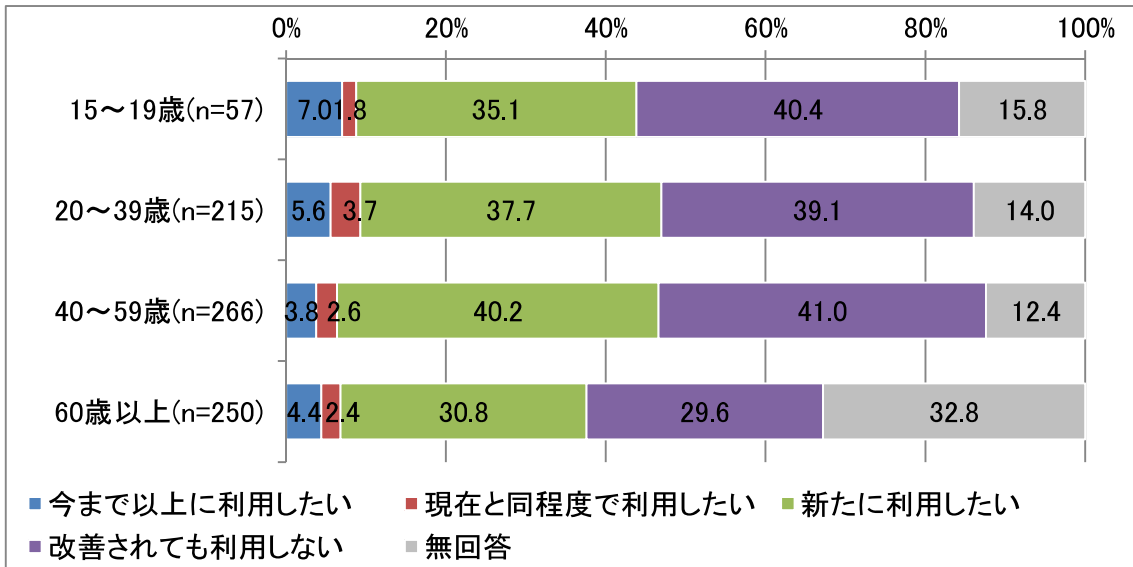


図 非利用者の意向



<年齢階層別>





## (7) コミュニティバスの利用について

### ○利用実態

#### 【問9① 利用目的】

- ・コミュニティバスについては、利用している人が約6%となっている。
- ・利用目的をみると、買物が約35%と最も多く、次いで飲食・趣味・娯楽が約22%と多い。
- ・年齢階層別にみると、路線バス同様に、年齢階層が高くなるほど利用する人が多くなる。

#### 【問9② 利用したバス停】

- ・商業施設、駅で降車する人が多い。

#### 【問9③ 最終目的地】

- ・約61%が市内であるが、市外も約17%みられる。  
市内の行き先としては、商業施設、病院が多い。

#### 【問9④ 利用頻度】

- ・路線バスと似た傾向で、「年に数日程度」の利用が約45%で最も多いが、月に数日程度も約30%となっている。

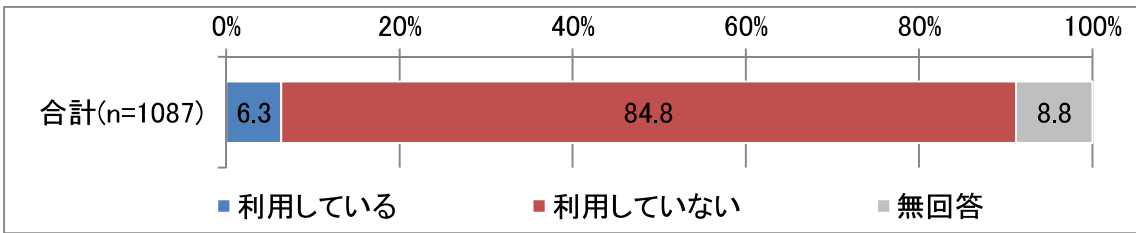
#### 【問9⑤ 自宅からバス停までの移動手段】

- ・自宅からバス停での移動手段をみると、路線バス同様にほとんどが徒歩(約81%)となっている。

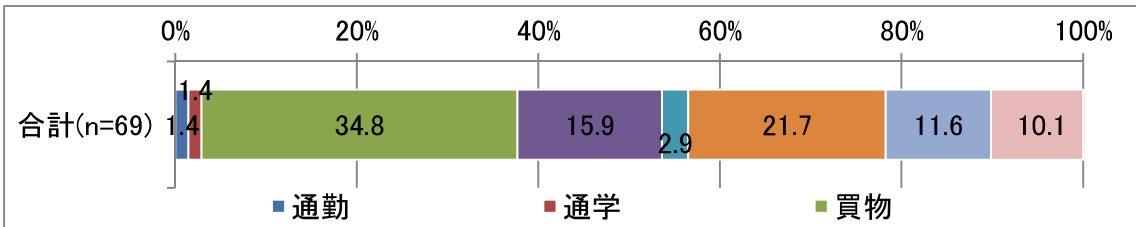
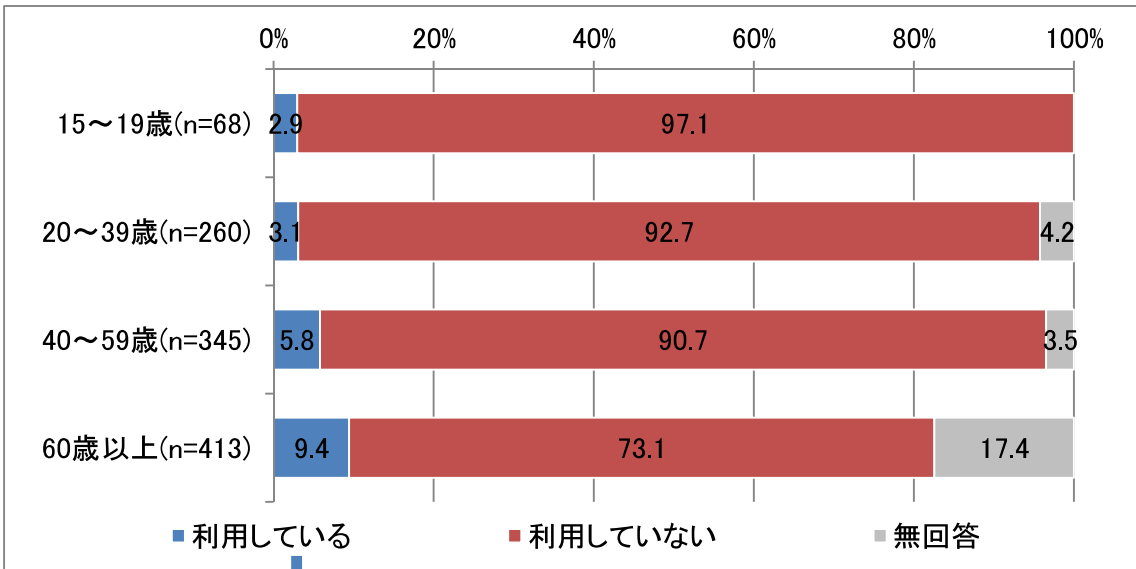
#### 【問9⑥ 他の交通機関への乗り継ぎについて】

- ・利用者のうち乗り継ぎしている人は約26%であり、路線バスより少ない。乗り継ぎ先をみると、路線バスと比べて、鉄道が少なく、バスが多い。

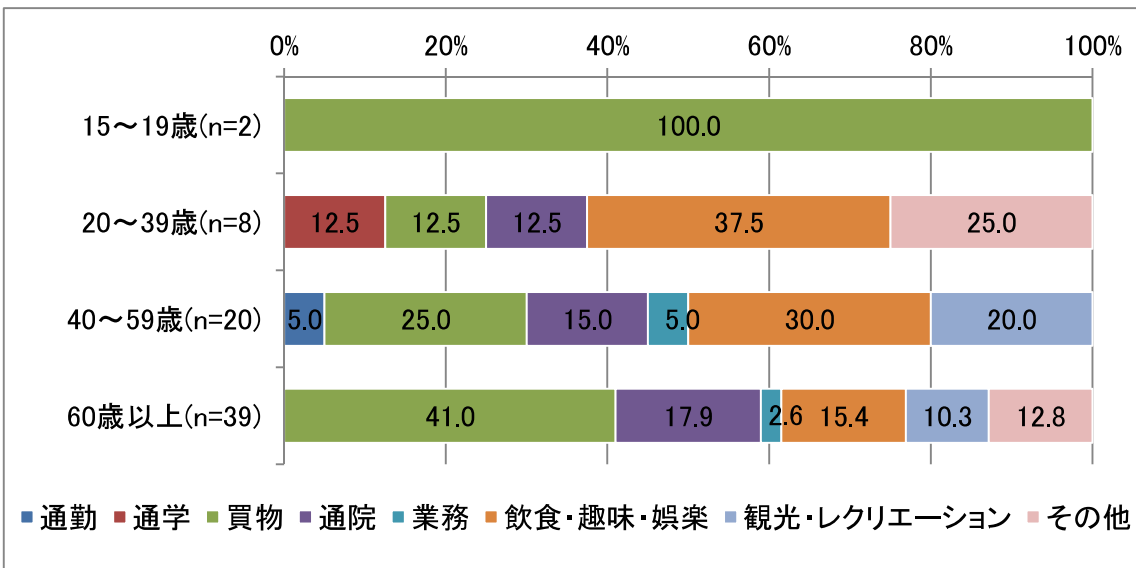
【問9①】利用目的



<年齢階層別>



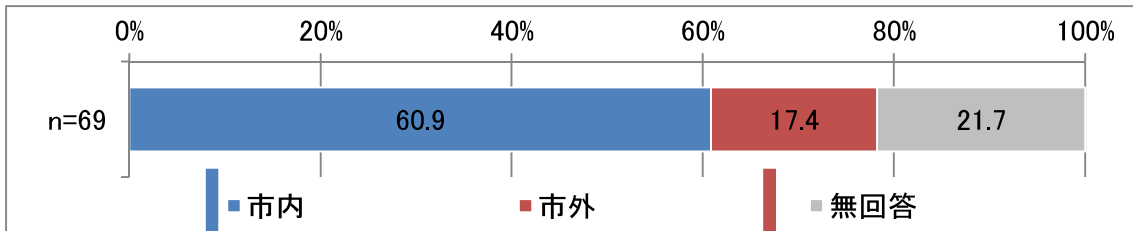
<年齢階層別>



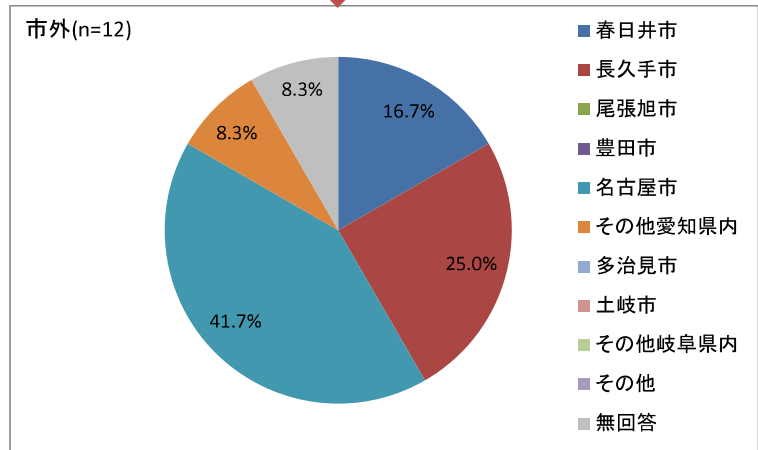
【問9②】利用したバス停（利用者のみ）（上位5位）

乗車バス停	回答者数	降車バス停	回答者数
山口駅	6	イオン瀬戸みずの店	9
中水野駅	4	新瀬戸駅	7
イオン瀬戸みずの店	3	瀬戸駅前	7
瀬戸口駅	3	八草駅	4
瀬戸駅前	2	中水野駅	3

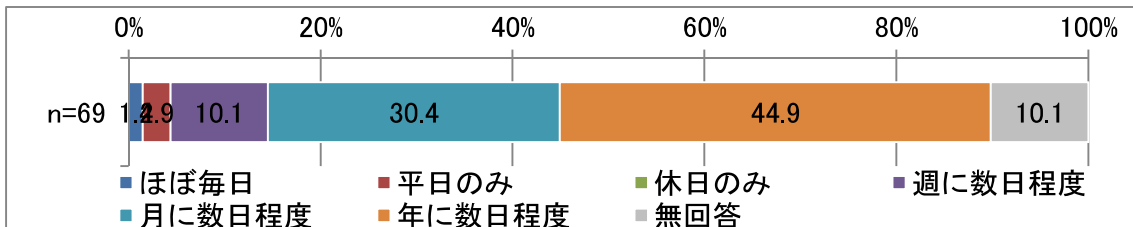
【問9③】最終目的地（利用者のみ）



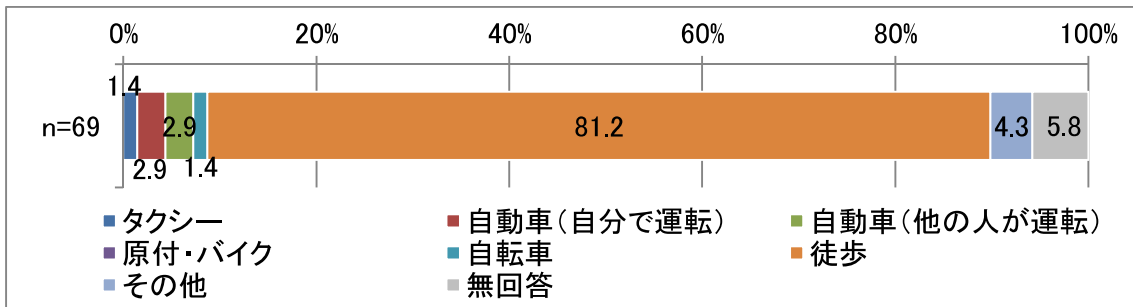
市内施設 (上位5位)	回答者数
イオン	7
陶生病院	3
あさい病院	2
アピタ	2
パルティセと	2
パロー	2



【問9④】利用頻度



【問9⑤】自宅からバス停までの移動手段（利用者のみ）



【問9⑥】他の交通機関への乗り継ぎについて（利用者のみ）

図 乗り継ぎの有無

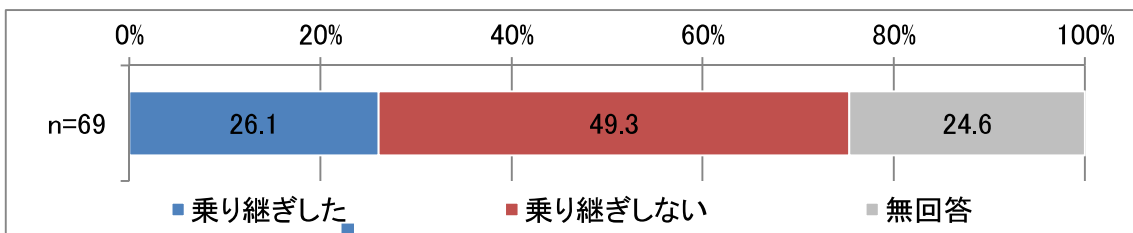
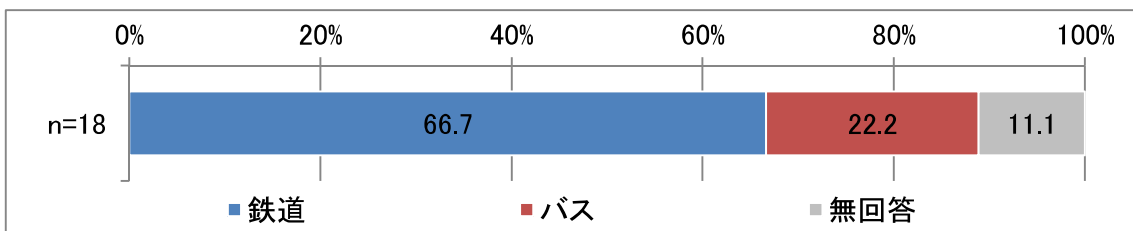


図 乗り継ぎ先の移動手段（乗継利用者）



## ○利用ニーズ

### 【問9⑦ 利用のしやすさ】

- ・満足している利用者は約40%となっている（満足+やや満足）。
- ・年齢階層別にみると、路線バス同様に、年齢階層が高くなるほど満足する人が多くなっている（サンプル数の少ない19歳以下は除く）。
- ・地域別にみると、品野地域、幡山地域で満足する人が少ない。

### 【問10① 路線バスの不満な理由・利用しない理由】

- ・利用者の不満点をみると、路線バス同様に「運行本数が少ない」ことを挙げる人が約74%で最も多い。次いで「行きたい場所を経由する路線がない」、「最短ルートで運行する路線がない」、「鉄道や他のバスとの乗り継ぎが悪い」、「始発時間が遅く、終発時間が早い」が多く、それぞれ20%を超えている。

年齢階層別にみると、60歳以上の高齢者において「予約すると自宅や目的地まで迎えに来てくれる路線がない」が約6%存在している。

- ・非利用者の利用しない理由をみると、これも路線バス同様に、「運行本数が少ない」、「最寄りバス停まで遠い」、「行きたい施設を経由する路線がない」、「ダイヤやルートがわからない」ことを挙げる人が多く、それぞれ10%を超えている。

地域別にみると、赤津地域では他の地域と比較して、「自宅や目的地などから最寄りのバス停まで遠い」が多く、幡山地域では、「行きたい施設を経由する路線がない」が多い

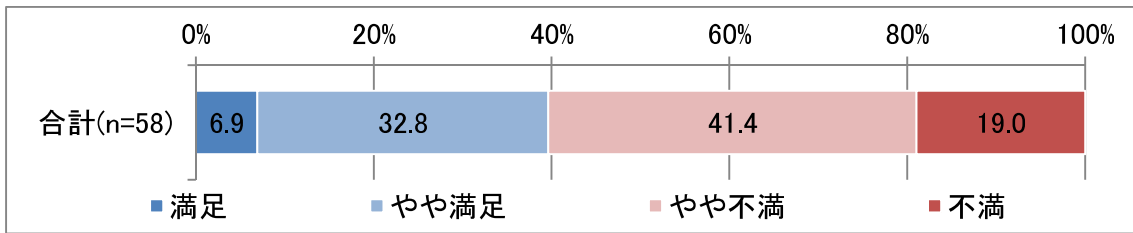
- ・運行間隔に関する希望をみると、不満利用者、非利用者とも30分間隔が最も多い。非利用者では15分間隔も多い。
- ・希望始発時間では8時以前が19人、希望終発時間では18時以降が23人みられる（不満利用者＋非利用者）。乗り継ぎ時間では10分が10人と最も多い（不満利用者＋非利用者）。

### 【問10② 選択した条件が改善された場合のコミュニティバスの利用意向】

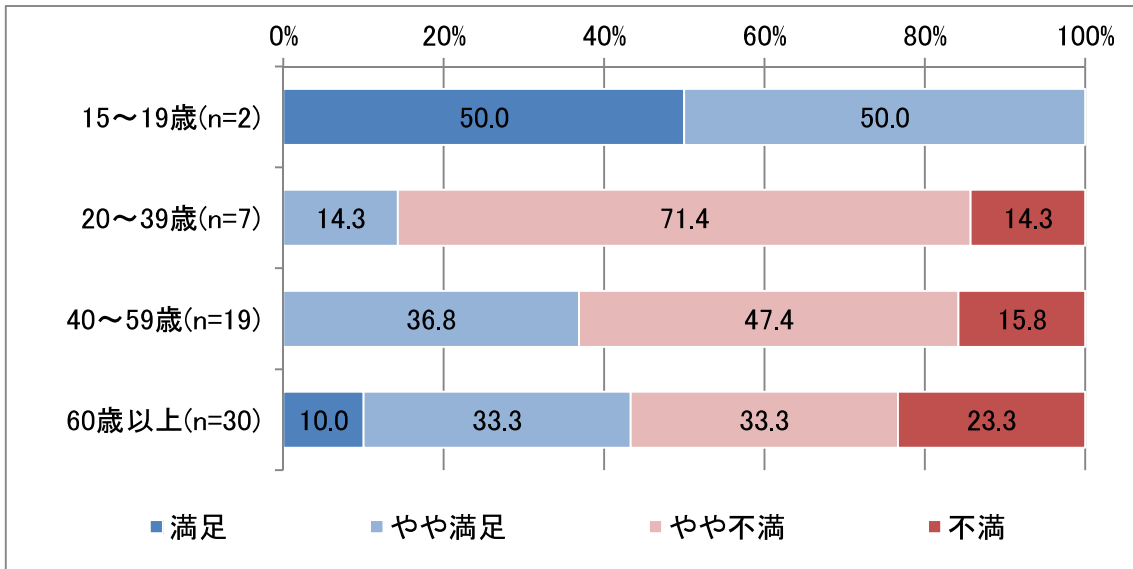
- ・不満点が改善された場合、利用者の約57%が「今まで以上に利用したい」と回答している。非利用者を見ると、条件が改善された場合、約40%の人が「新たに利用したい」と回答している。これらも路線バスと似た傾向となっている。

不満利用者、非利用者とも40～59歳において今まで以上の利用が見込まれる、あるいは利用への転換の意向が高い。

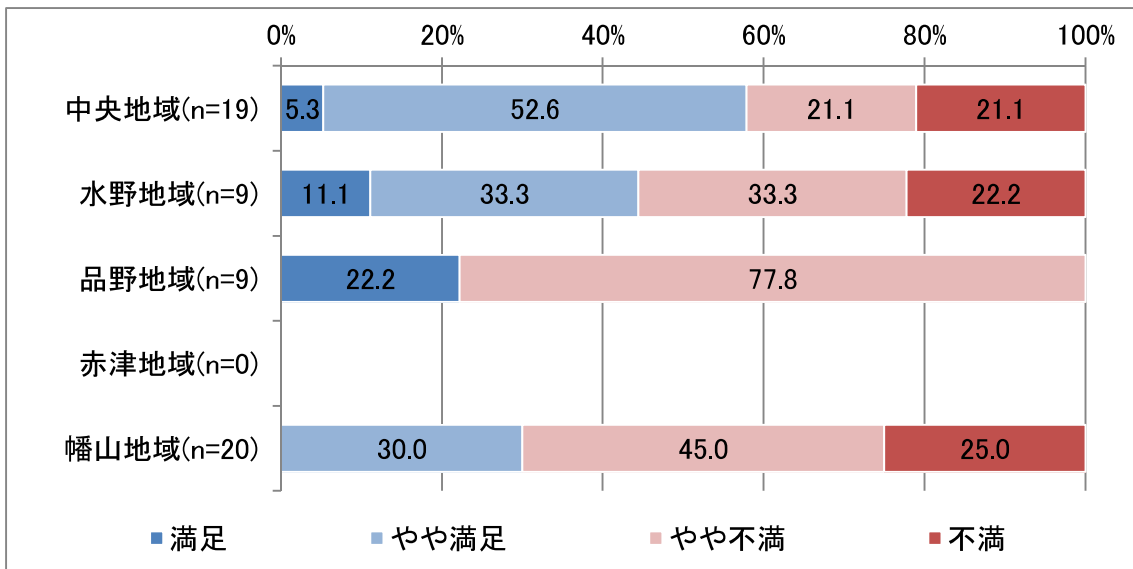
【問9⑦】利用のしやすさ（利用者のみ）（無回答を除く）



<年齢階層別>

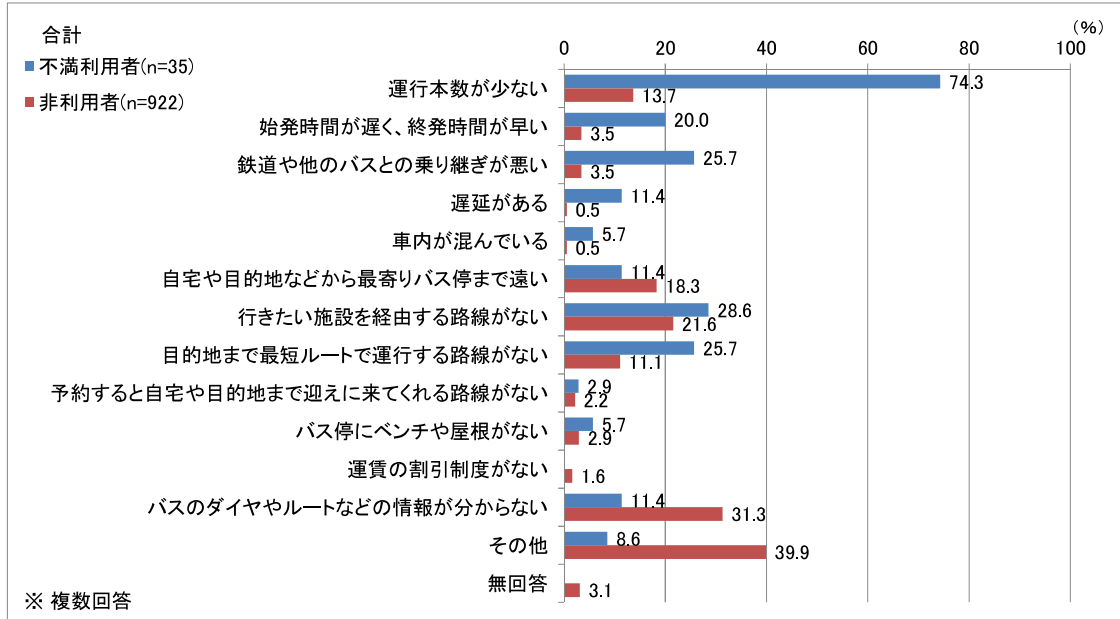


<地域別>

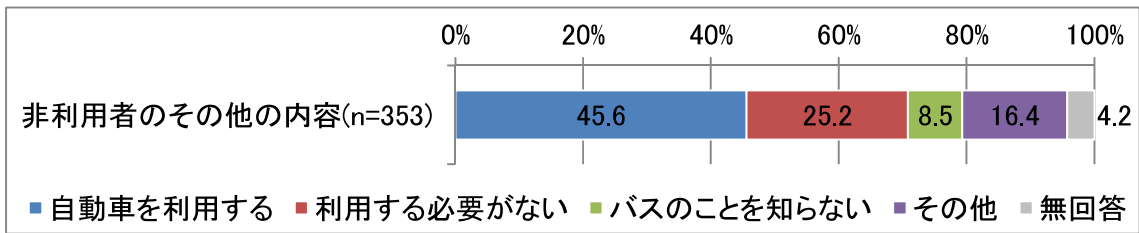


【問10①】コミュニティバスの不満な理由・利用しない理由

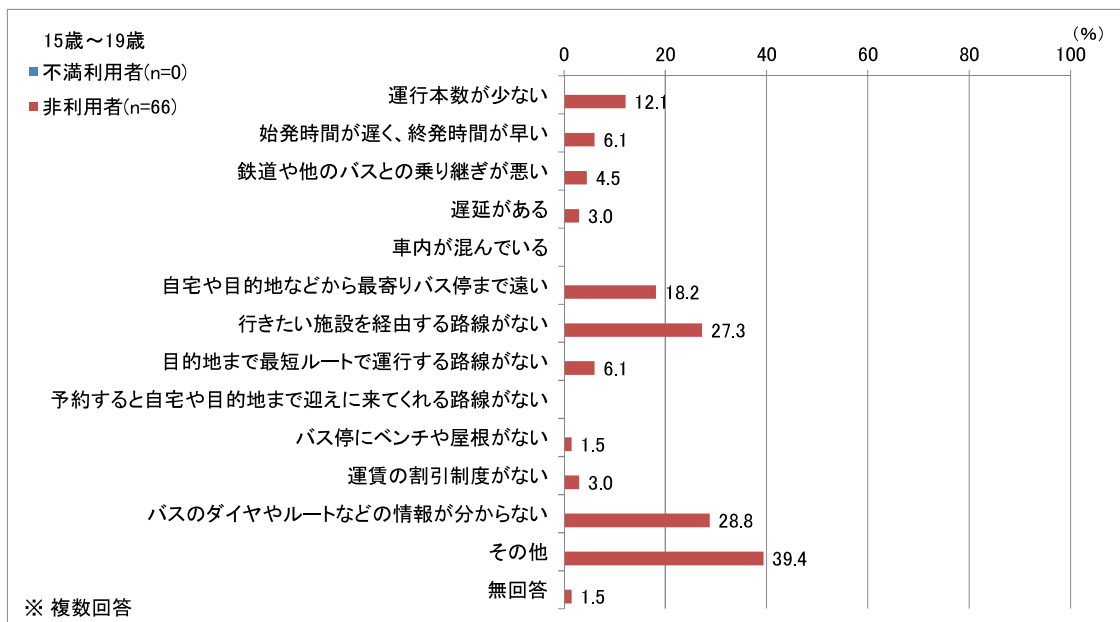
図 不満な理由（不満利用者）・利用しない理由（非利用者）



【非利用者のその他の内容】



<年齢階層別>



※不満利用者の15～19歳は該当者なし

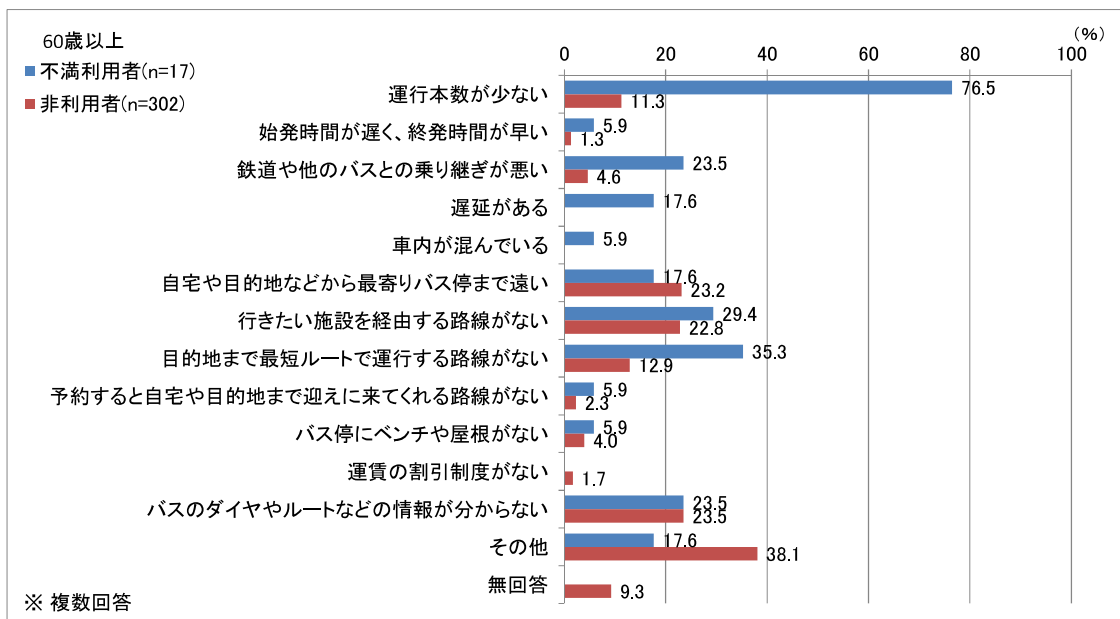
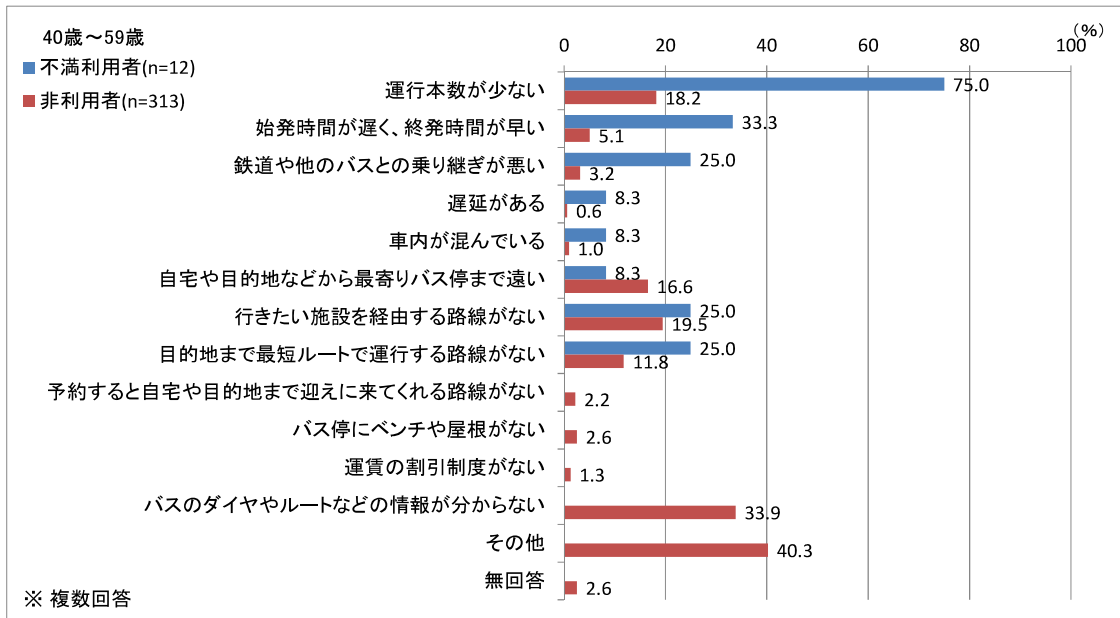
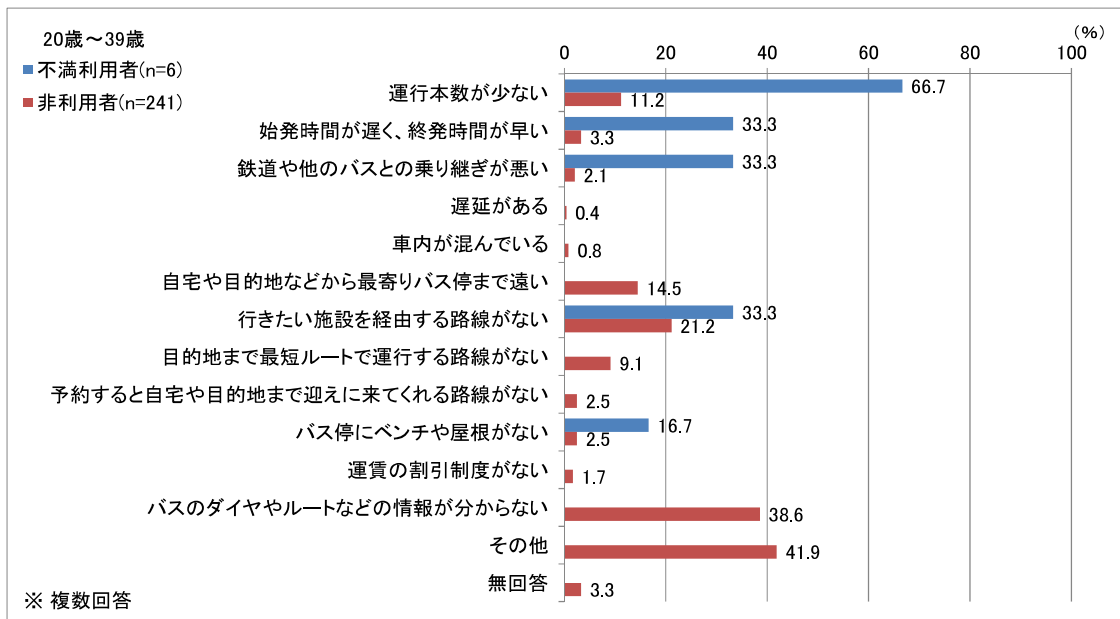
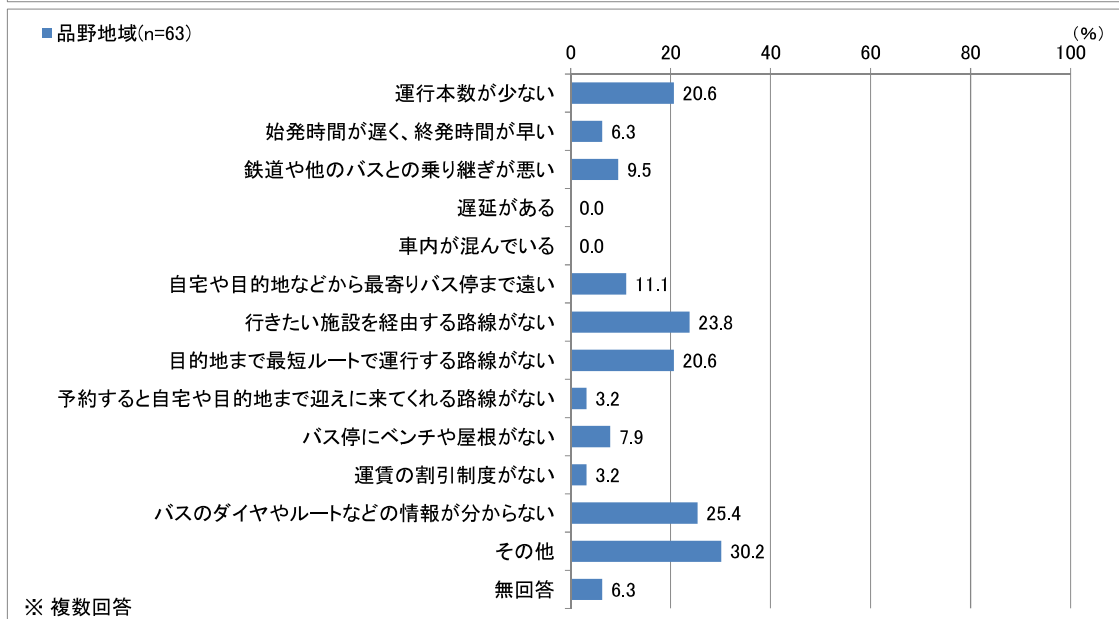
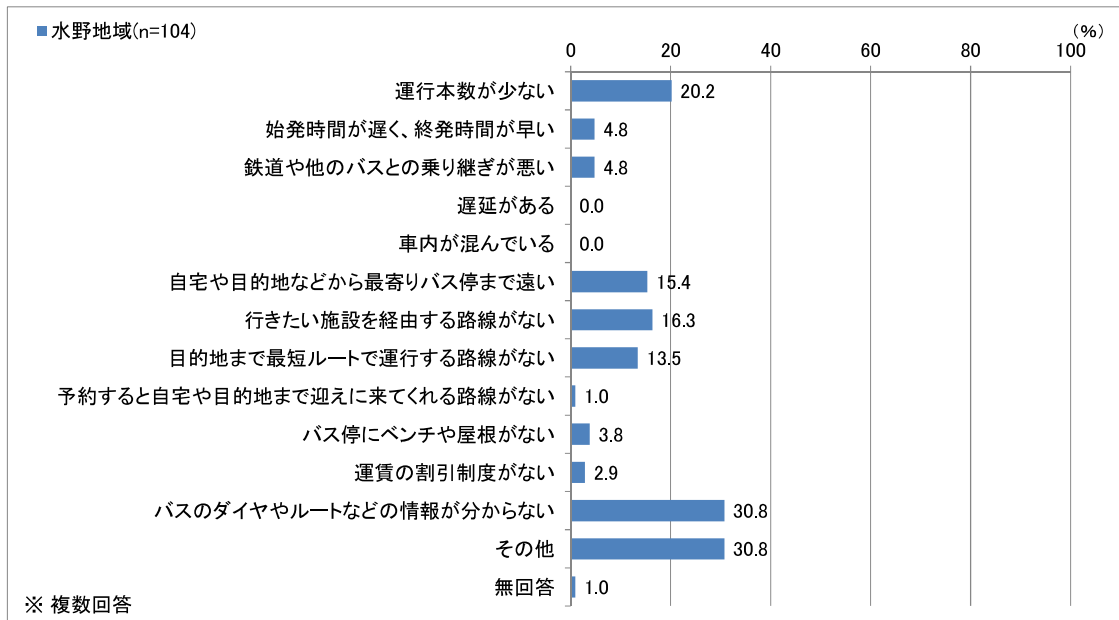
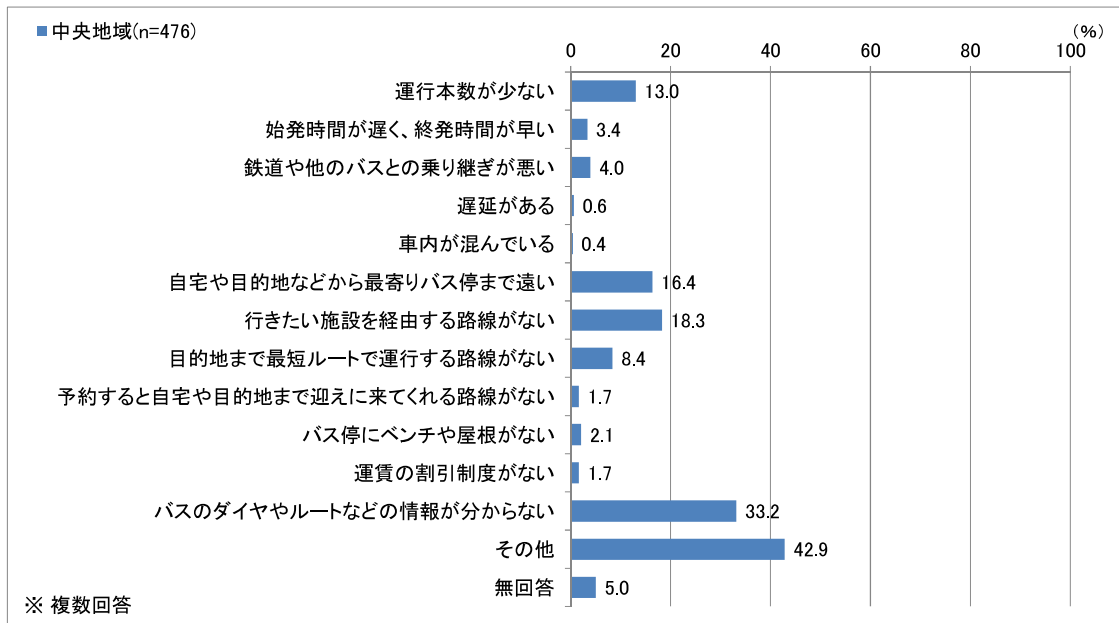
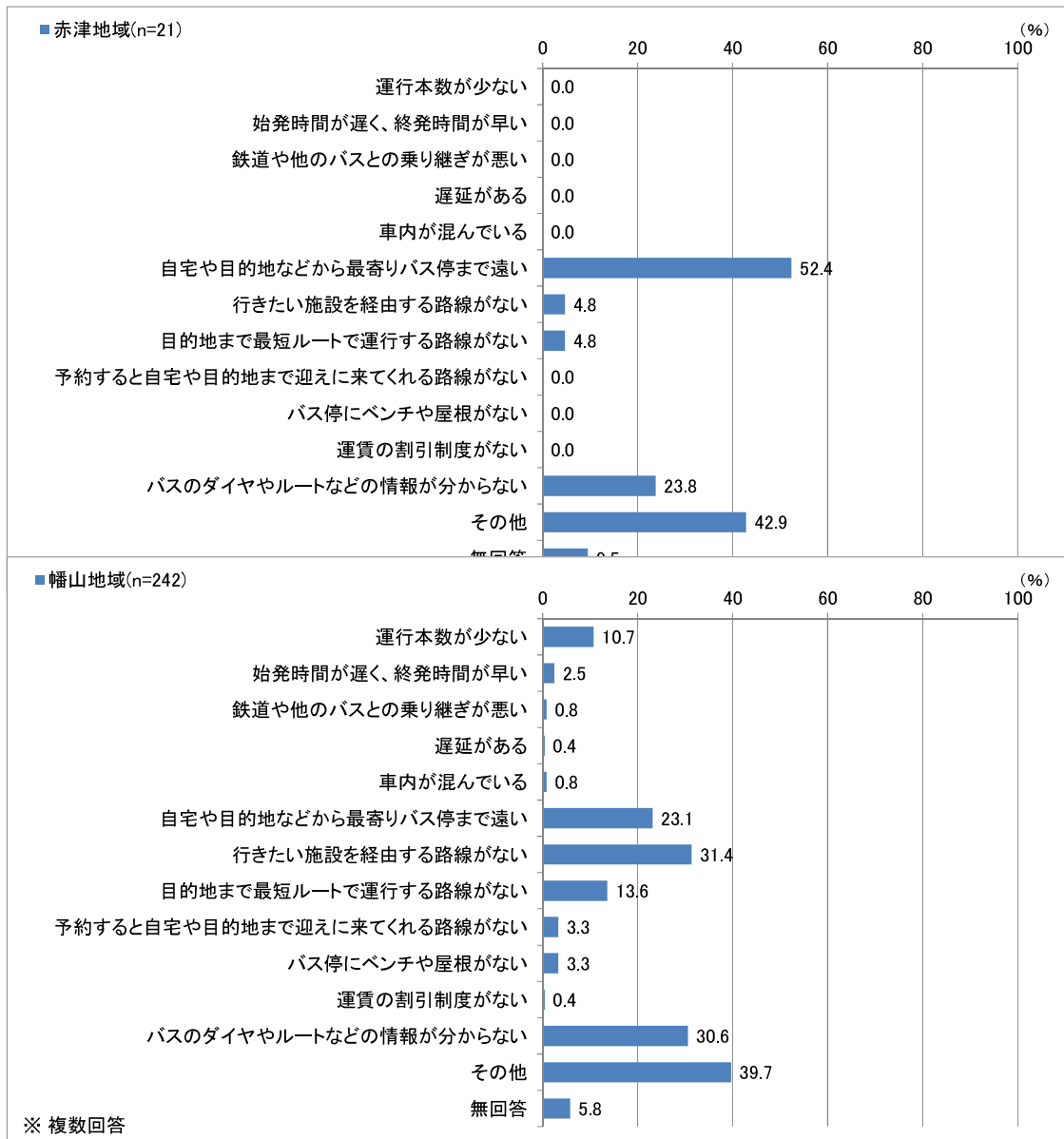




図 利用しない理由（非利用者）

<地域別>





【問10①】コミュニティバスの不満な理由・利用しない理由に対する要望

図 希望運行間隔

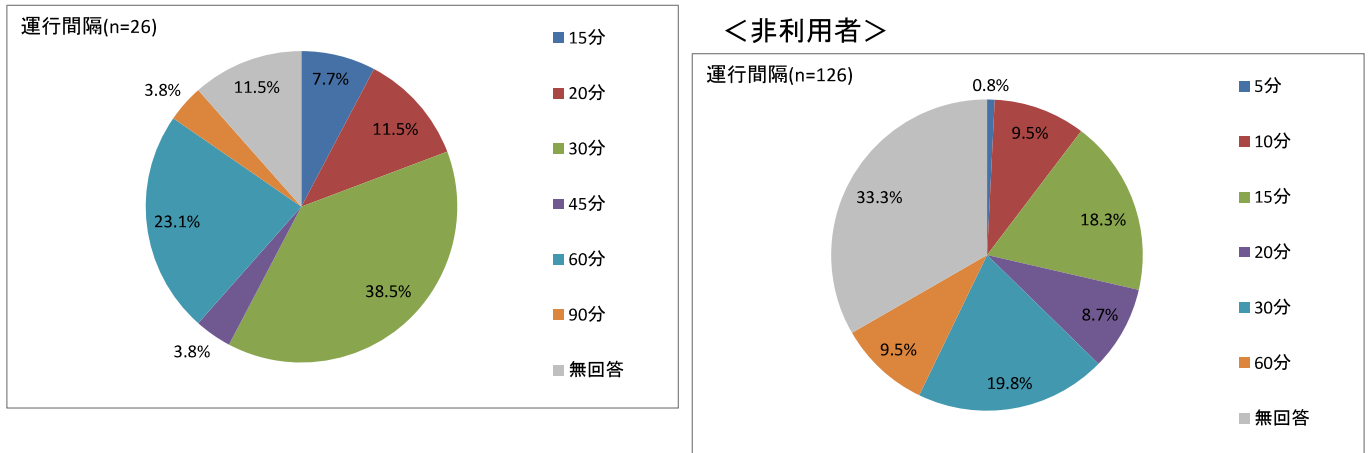


表 希望始発時刻・終発時刻

始発時刻	不満利用者数	非利用者数	小計
5:00	0	1	1
6:00	1	5	6
7:00	2	7	9
7:15	0	1	1
7:30	1	1	2
9:00	2	1	3

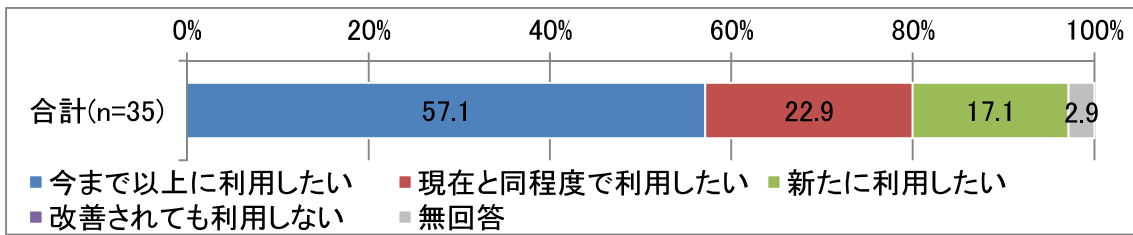
始発時刻	不満利用者数	非利用者数	小計
17:30	0	1	1
18:00	2	1	3
19:00	2	3	5
20:00	0	3	3
21:00	0	2	2
22:00	2	5	7
23:00	1	1	2
24:00	0	1	1

表 希望乗継時間

乗り継ぎ時間	不満利用者数	非利用者数	小計
5分以内	0	1	1
10分以内	4	6	10
15分以内	2	2	4
20分以内	1	1	2

【問10②】 選択した条件が改善された場合のコミュニティバスの利用意向

図 不満利用者の意向



<年齢階層別>

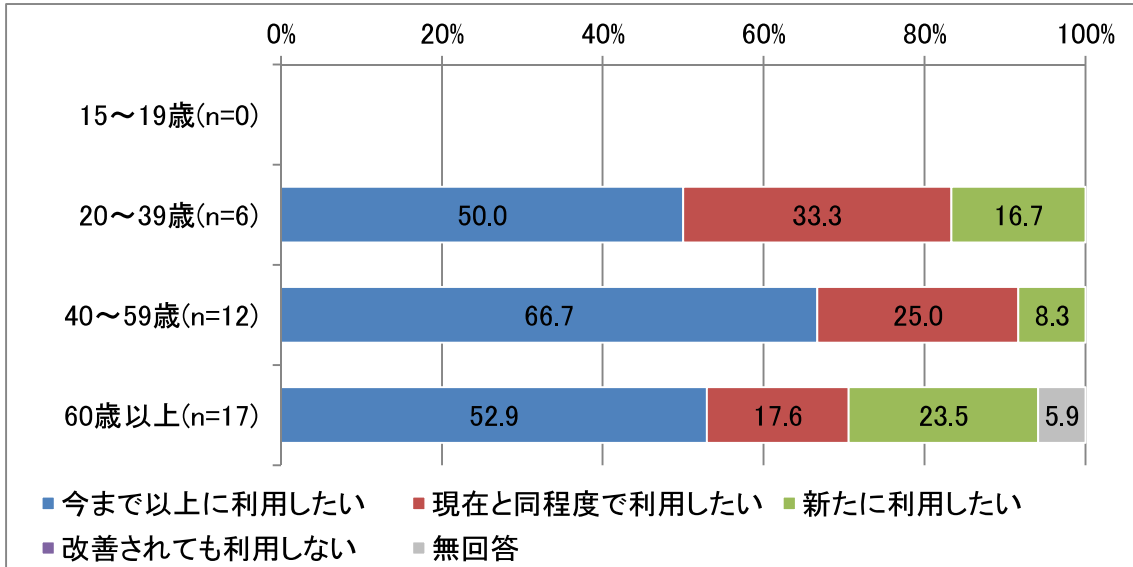
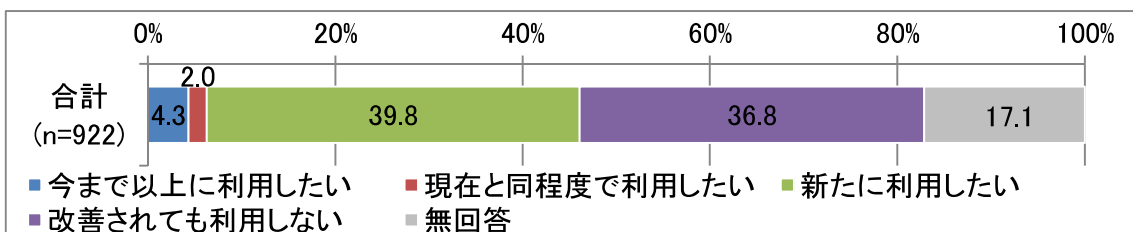
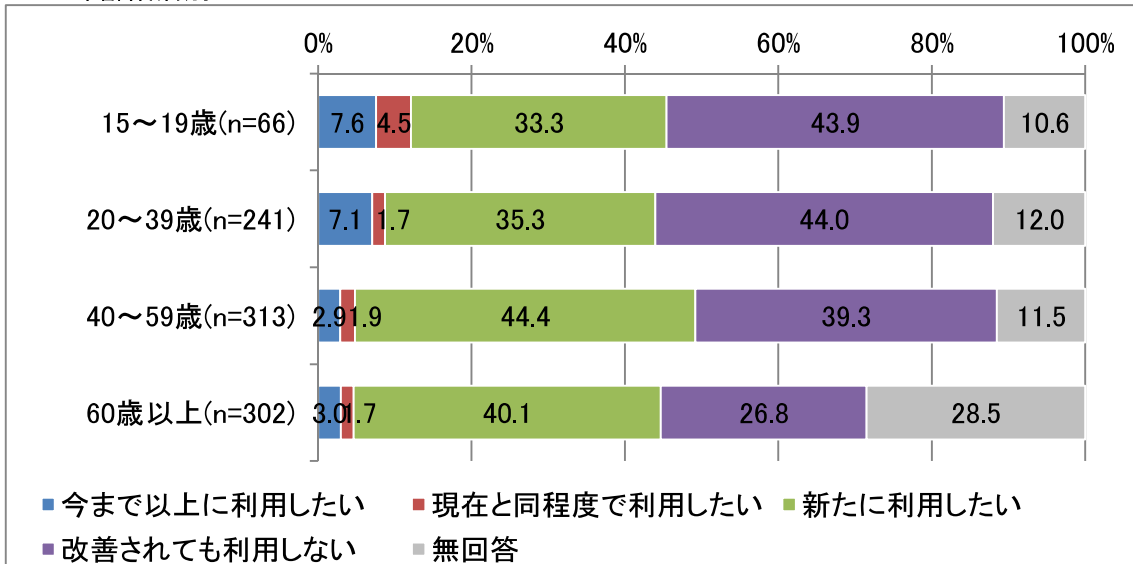


図 非利用者の意向



<年齢階層別>

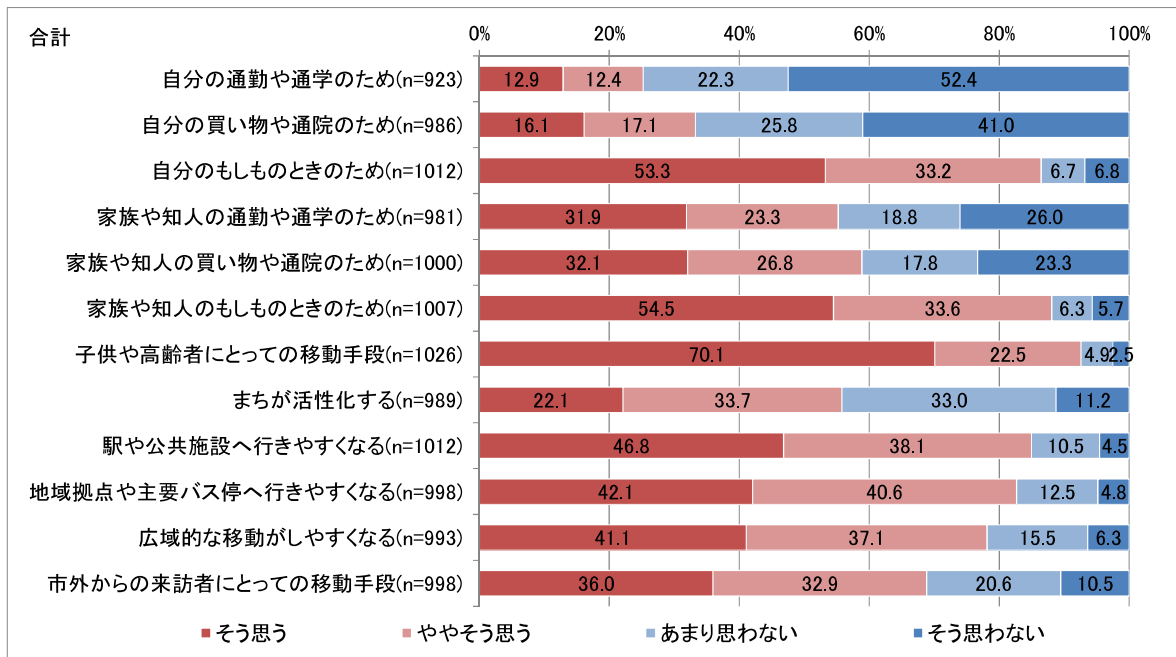


## (8) バスの意義について

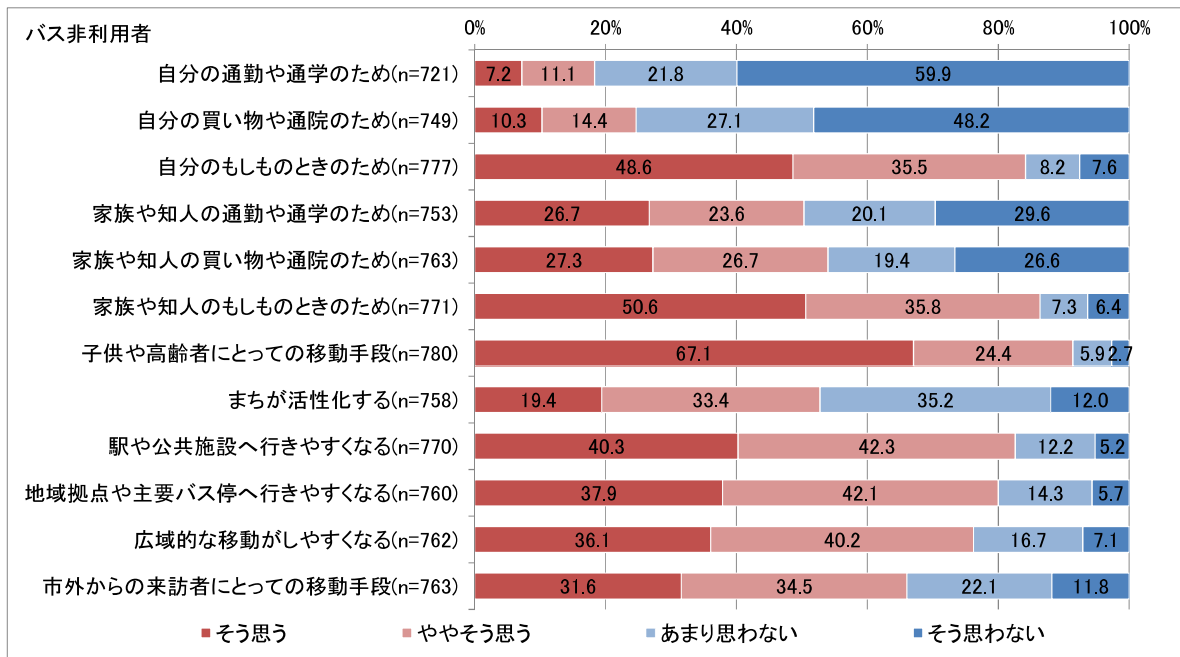
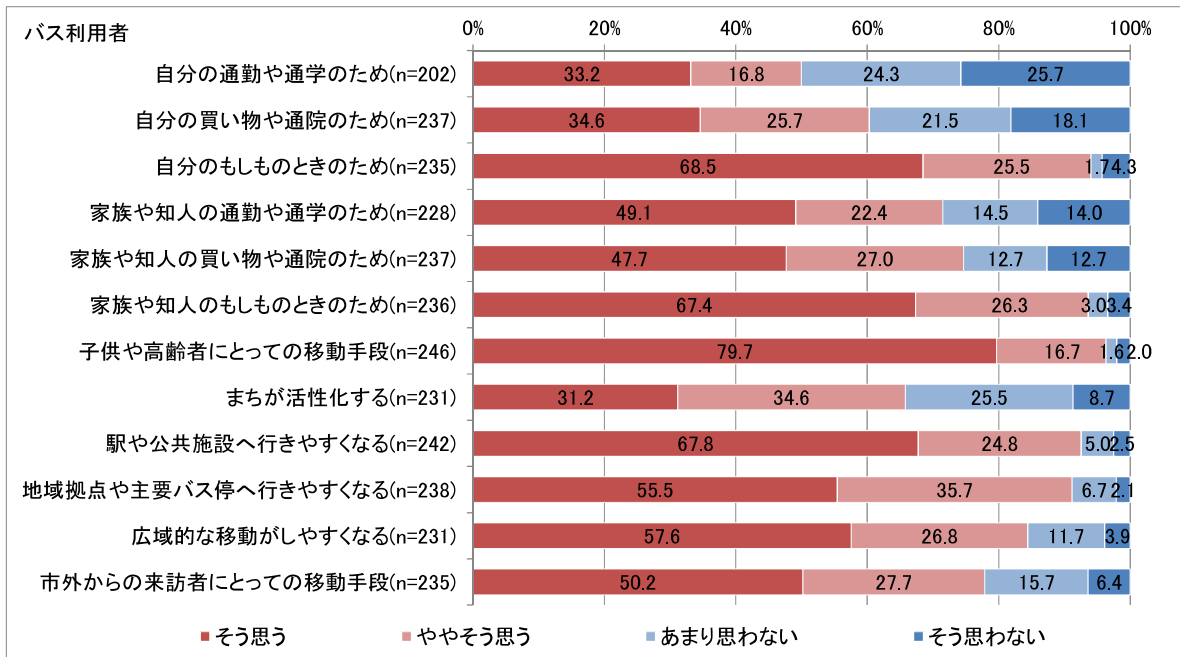
### 【問11 市内を運行するバスの意義】

- ・市内を運行するバスの意義については、「自分のもしものときのため」、「家族や知人のもしものときのため」としての意義を認める人は多い。また、「子供や高齢者にとっての移動手段」としての意義を認める人も多く、それぞれ80%を超えている。  
 「駅や公共施設へ行きやすくなる」、「地域拠点や主要バス停へ行きやすくなる」、「広域的な移動がしやすくなる」などのモビリティ向上を認める人も80%前後と多いが、バスにより「まちが活性化する」とまで考える人は多くない。
- ・年齢階層別にみると、60歳以上の高齢者において、総じてバスの意義を認める傾向が強い。項目別の傾向は各年齢階層において似た傾向を示している。

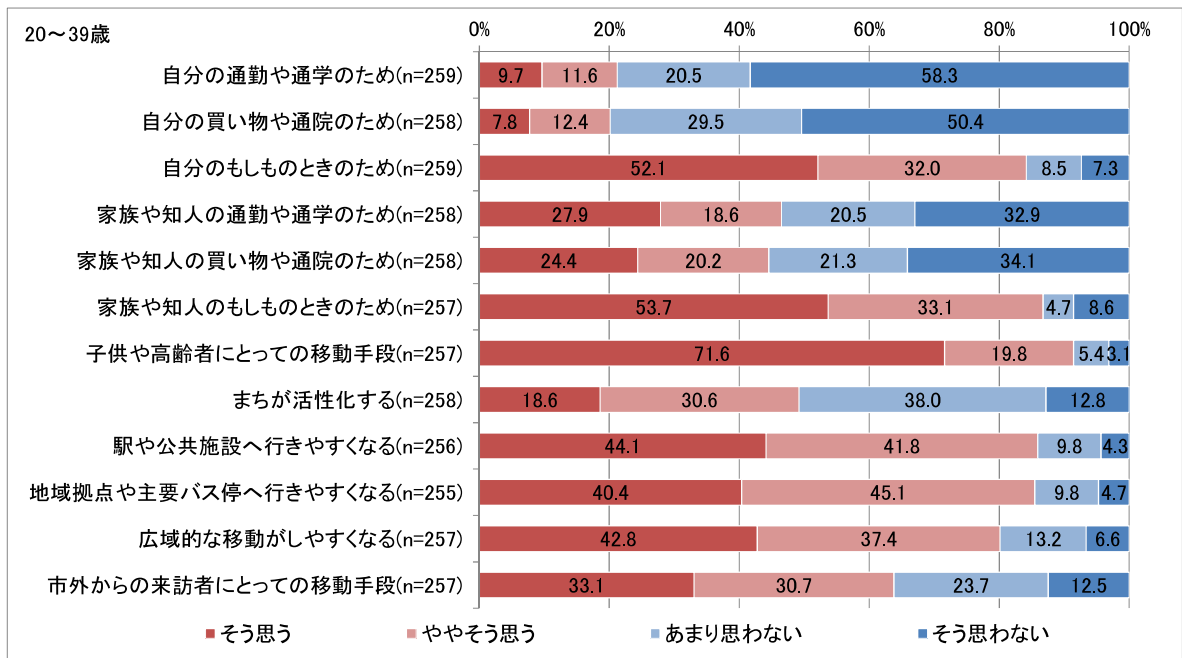
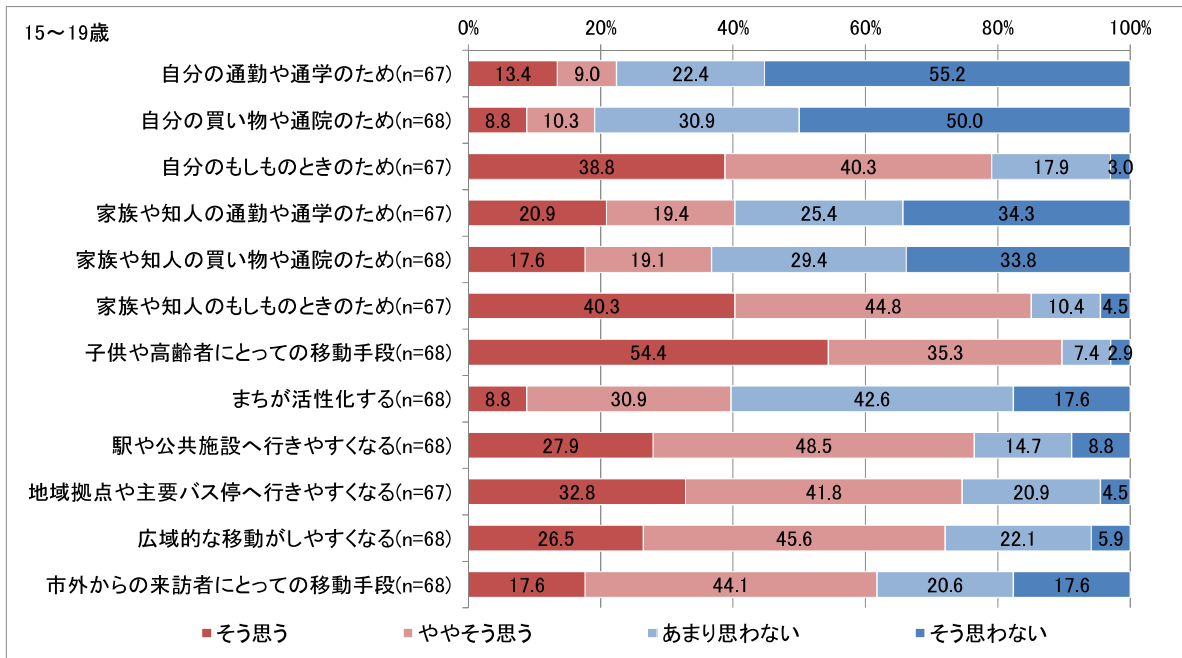
### 【問11】市内を運行するバスの意義（無回答を除く）

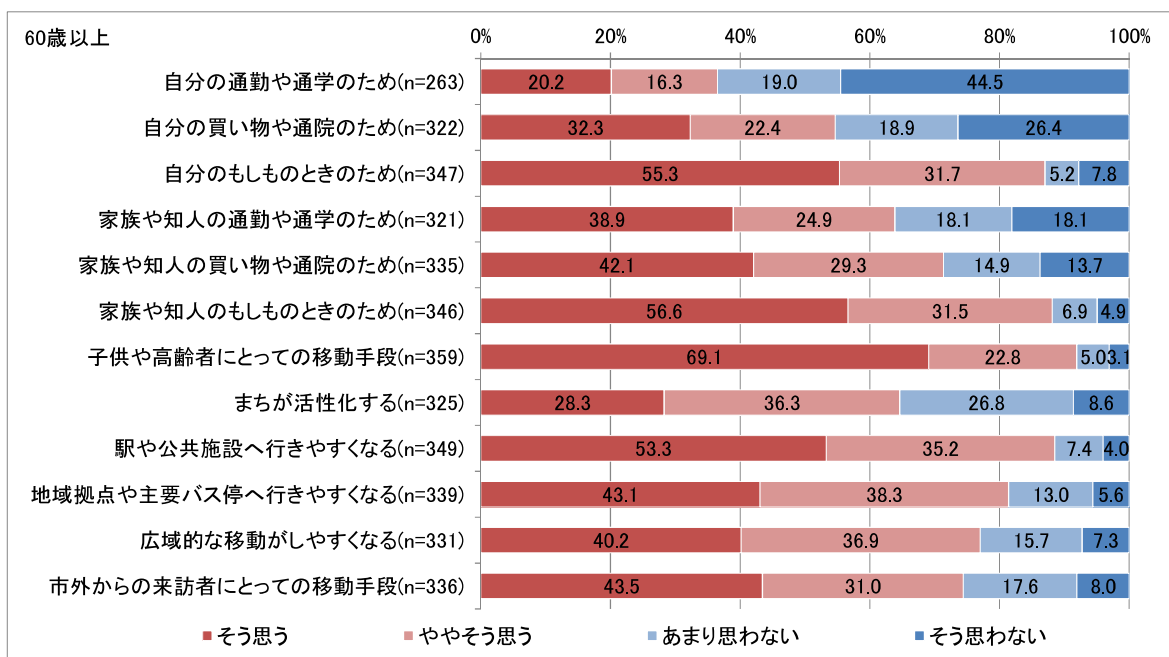
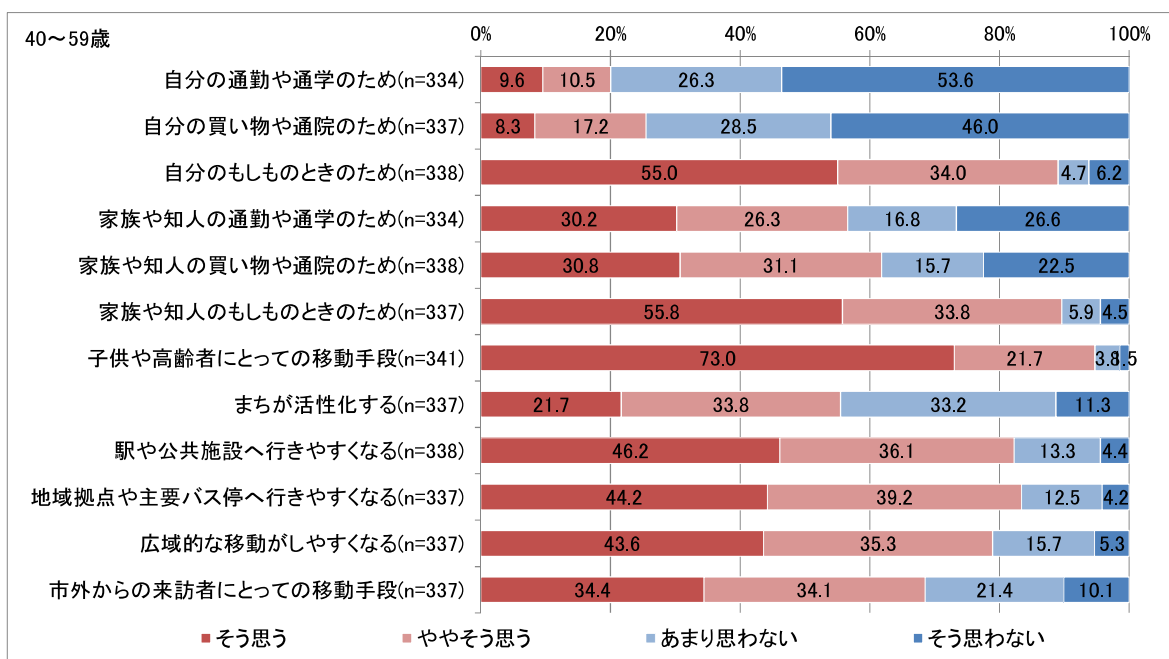


<バス利用・非利用別>



<年齢階層別>







## (9) 駅やバス停の利便性について

### 【問12 駅やバス停から歩ける距離は何分程度】※

- ・ 駅から無理なく歩ける距離をみると、10分程度の回答が約38%で最も多い。5分程度までで約27%、10分程度までで約72%となっている。

また、バス停については、5分程度の回答が約41%で最も多く、5分程度までで約52%と過半数を占めている。

上記の傾向については、年齢階層による大きな差はみられない。

### 【問13 最寄りの駅やバス停周辺にあるとよい施設やサービス】

- ・ 駅周辺にあると良いと思う施設については、「スーパーやコンビニ」、「駐輪場や駐車場の充実」が多く、1,000ポイントを超えている。また、「銀行や郵便局」、「公共交通の運行情報」、「病院や医療サービス」、「風雨が防げる待合施設」が多く、500ポイントを超えている。

地域別にみると、品野地域において第1位の「駐輪場や駐車場の充実」が第2位よりもポイントが倍以上多いのが特徴的である。

利用状況別にみると、鉄道利用者の方が鉄道非利用者よりも「駐輪場や駐車場の充実」（第2位）が上位になっているが特徴的である。

- ・ バス停周辺の施設についてみると、上位施設は駅周辺と同様であるが、「風雨が防げる待合施設」が最もポイントが高いことが特徴的である。

地域別にみても、同様の傾向となっている。

利用状況別にみると、バスの利用状況に関わらず「風雨が防げる待合施設」が第1位となっている。

### ※公共交通の人口カバー率算出時の圏域

- ・ 駅 勢 圏：半径 800m
- ・ バス停圏：半径 300m

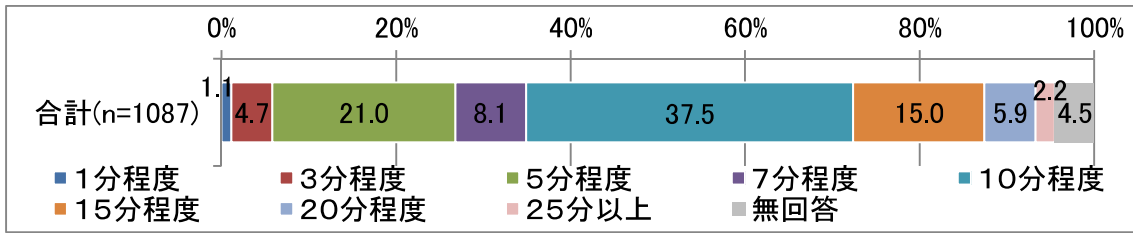
(都市構造の評価に関するハンドブック(国土交通省都市局都市計画課)を参照)

問12の回答結果については、歩行速度を分速70m程度(時速4km程度)であると仮定すると、駅から徒歩10分： $70 \times 10 =$ 約700m、

バス停から徒歩5分： $70 \times 5 =$ 約350m、となり上記の駅勢圏、バス停圏に近い値となる。

【問12】 駅やバス停から歩ける距離は何分程度

図 駅からの時間



<年齢階層別>

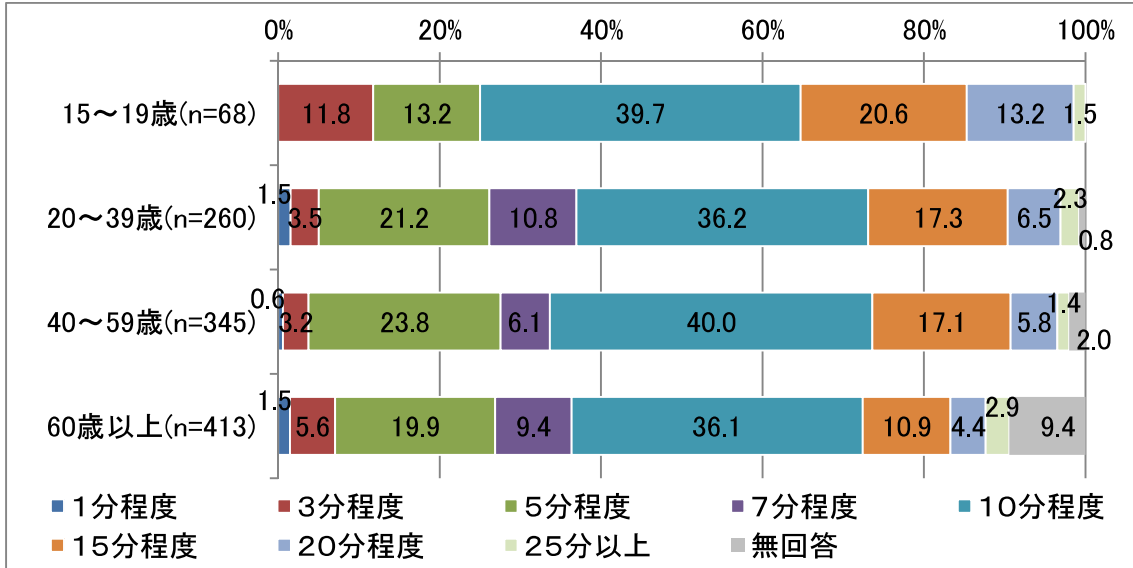
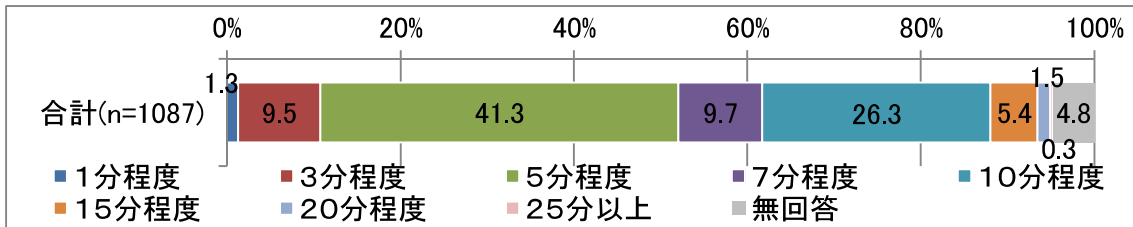
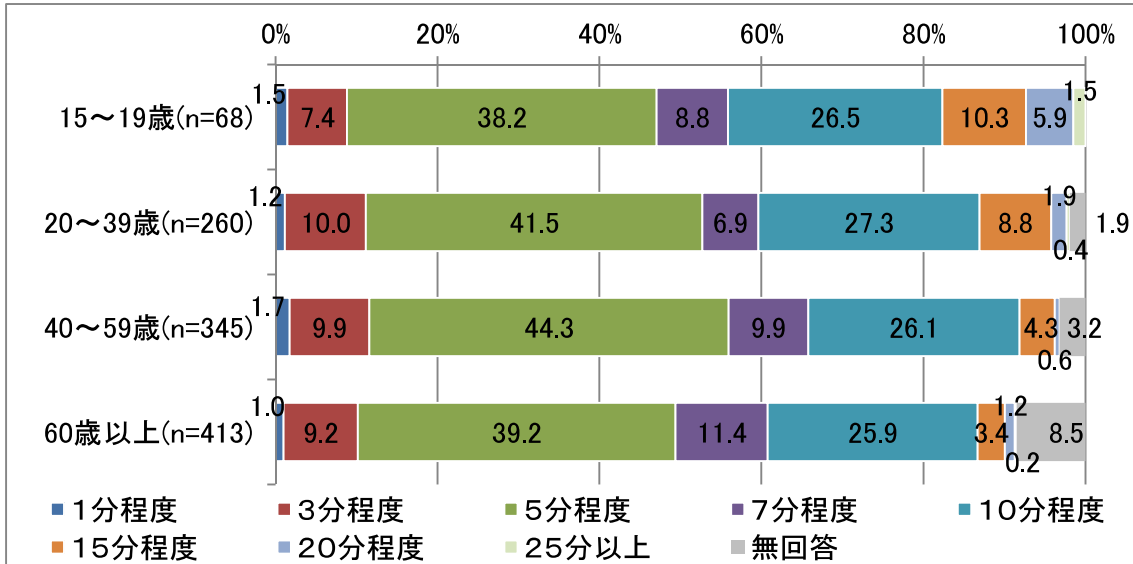


図 バス停からの時間



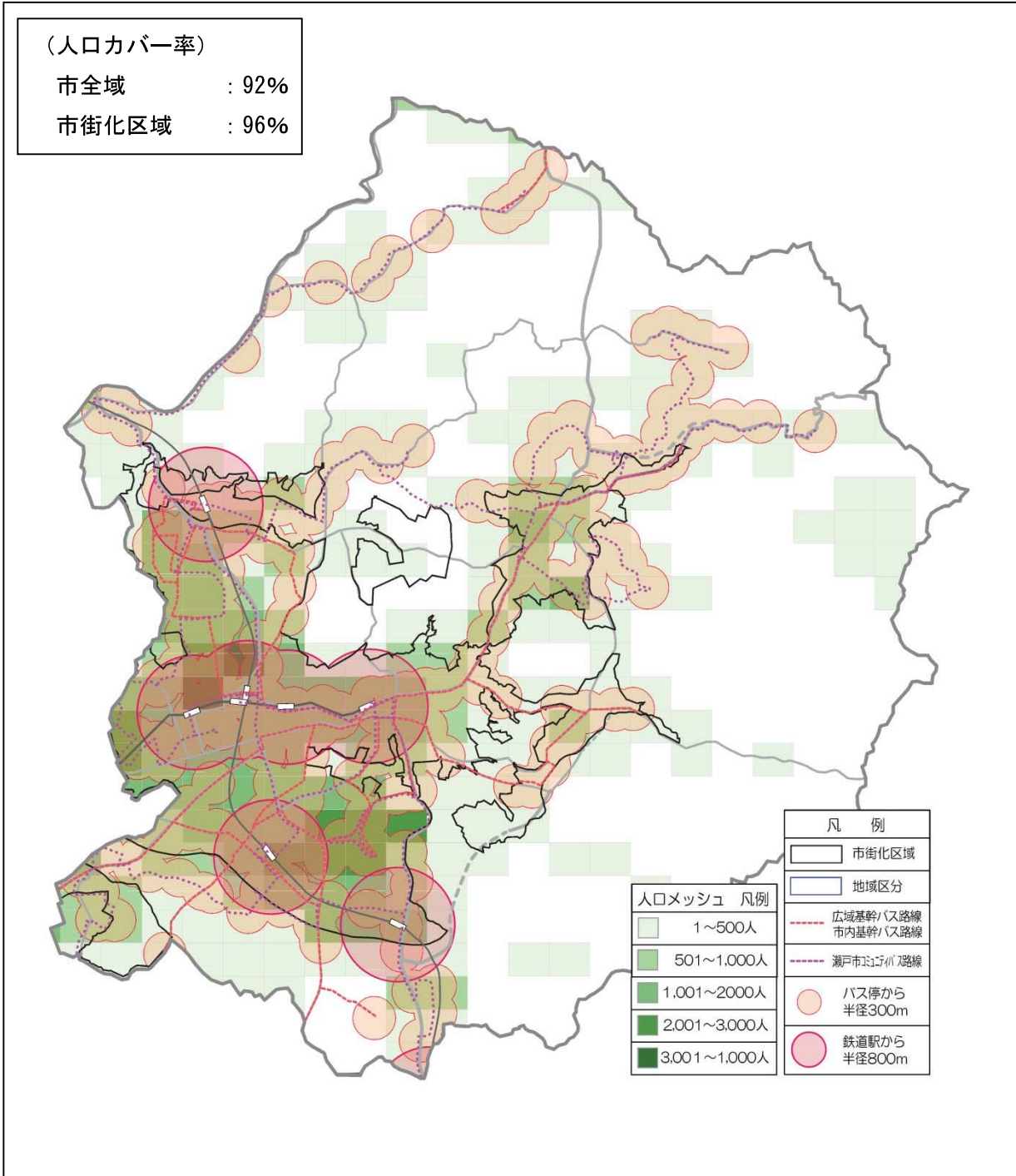
<年齢階層別>



< 参考資料 >

公共交通カバー圏域及び人口カバー率

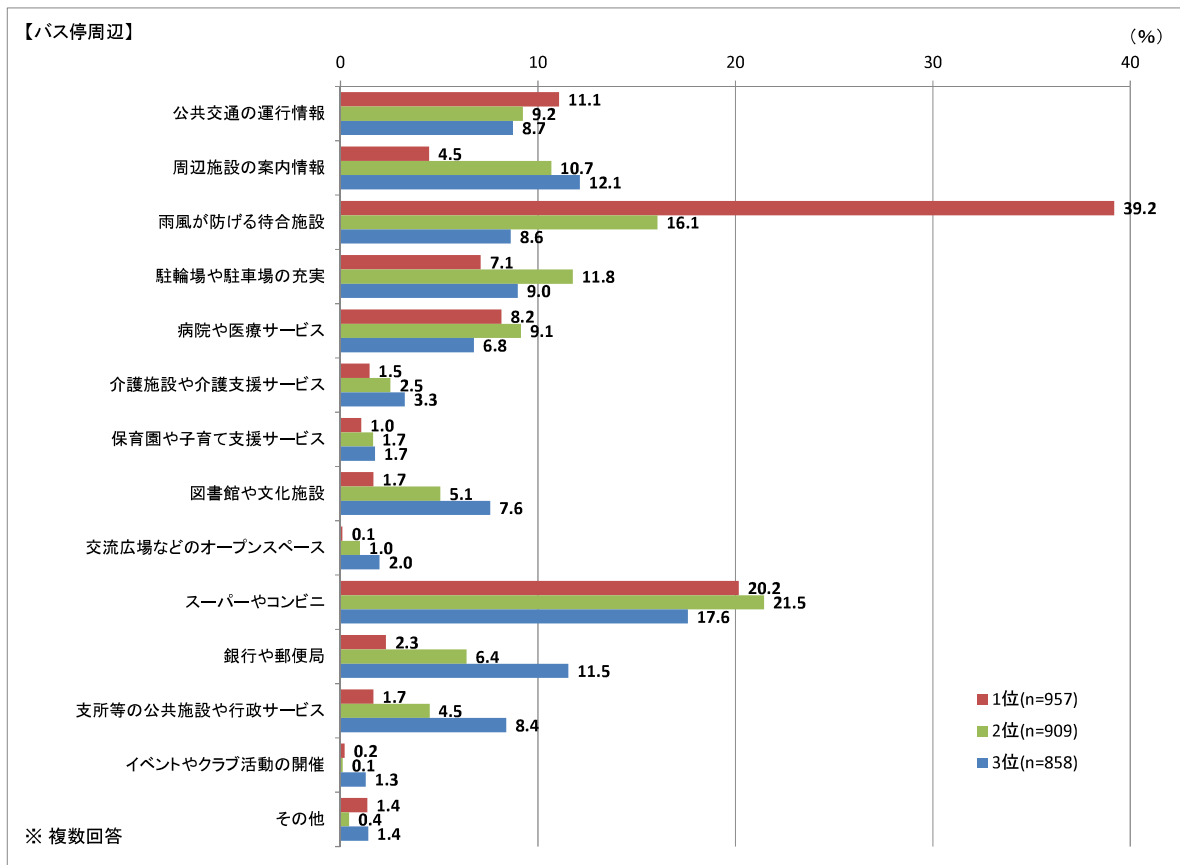
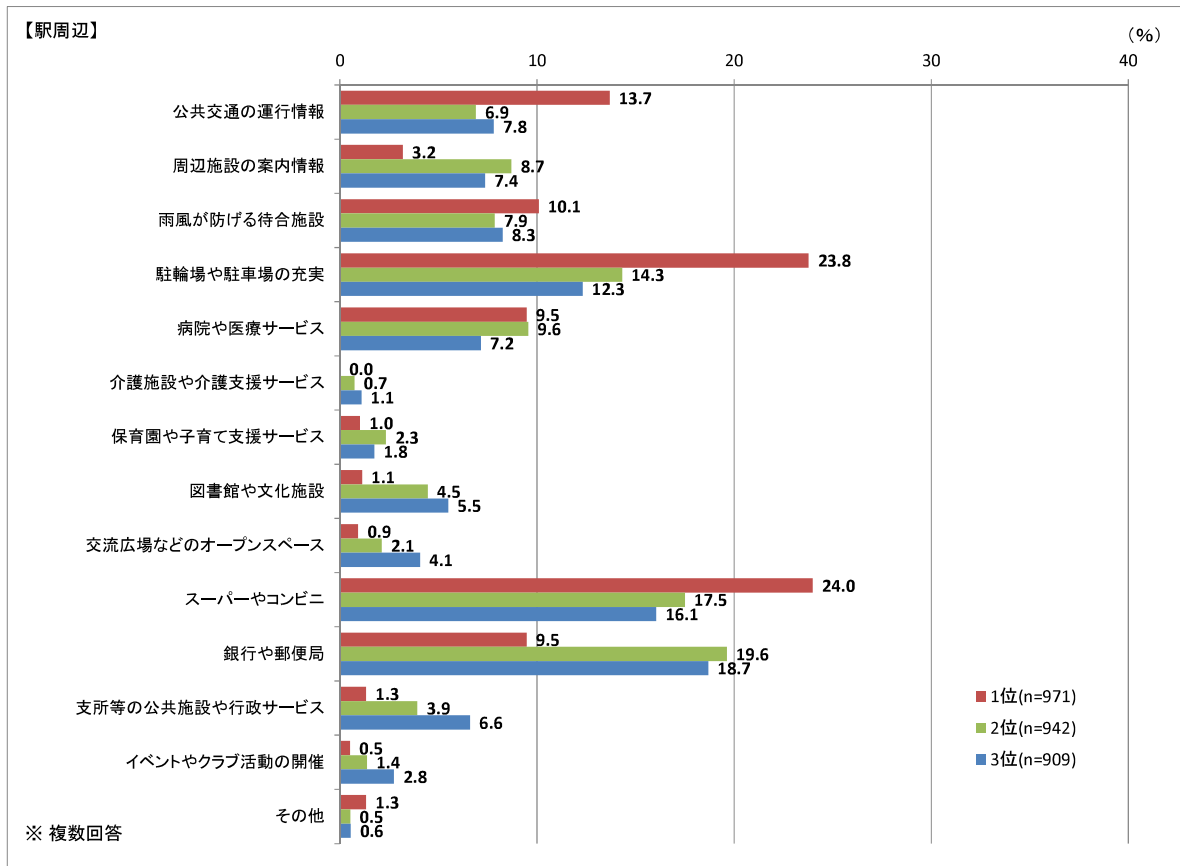
公共交通の人口カバー率は市全域を対象とした場合は 92%であり、市街化区域を対象とした場合は 96%である。



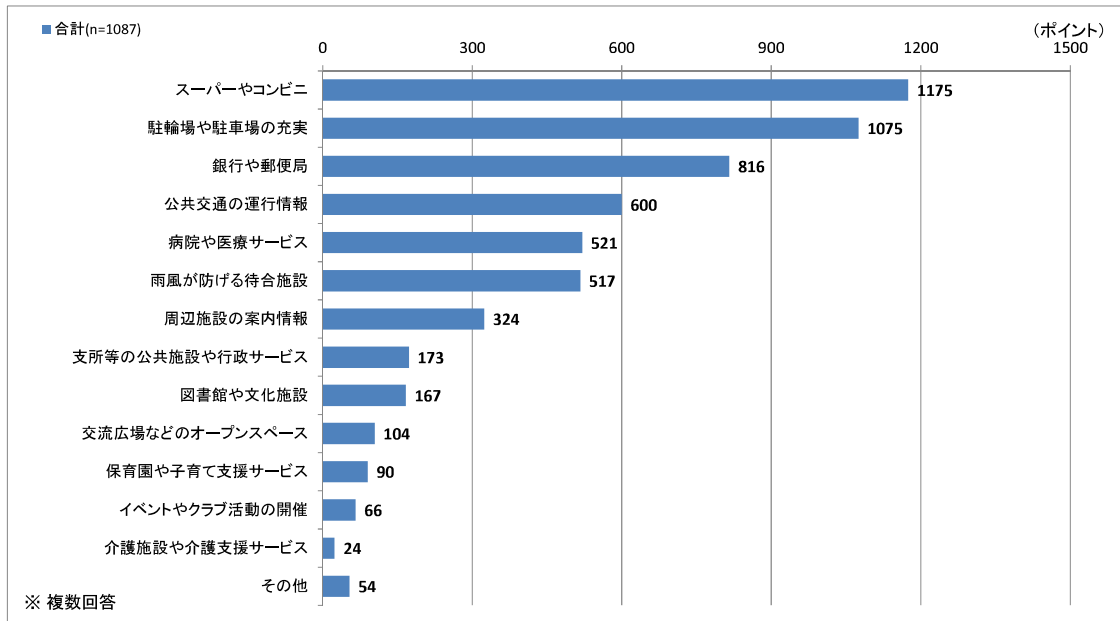
【問13】最寄りの駅やバス停周辺にあるとよい施設やサービス（上位3つ）

※1位は3ポイント、2位は2ポイント、3位は1ポイントとして集計

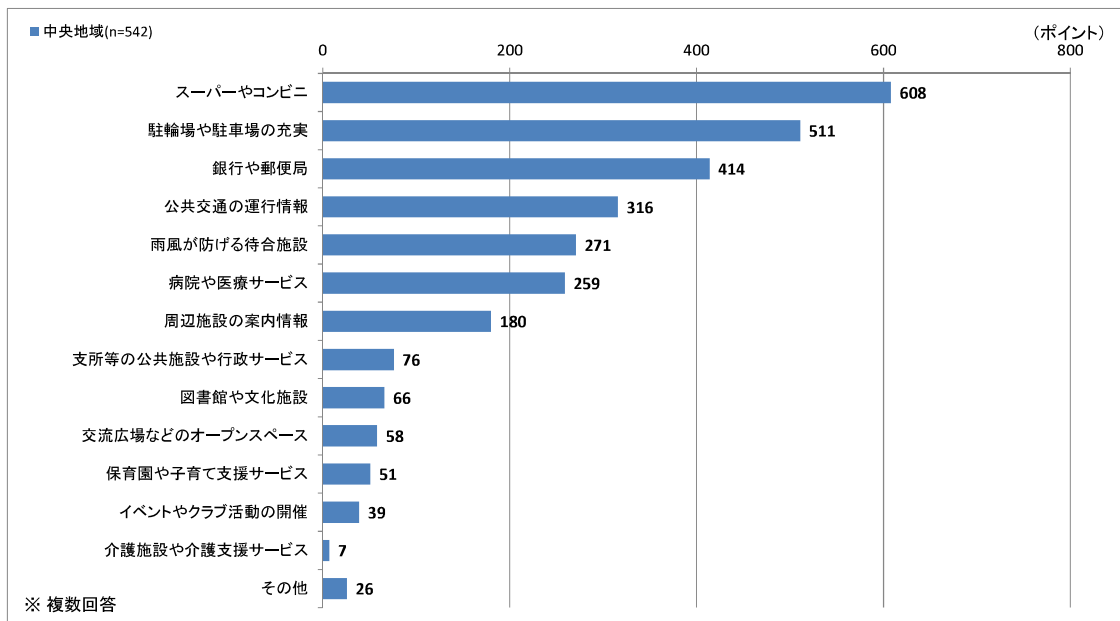
<各順位の回答割合>

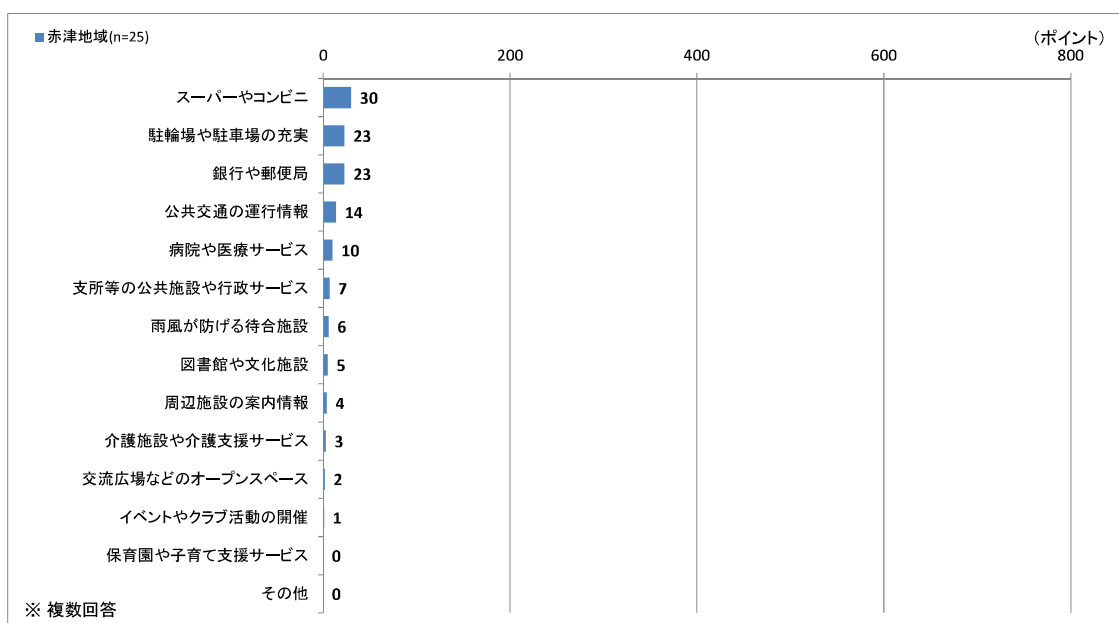
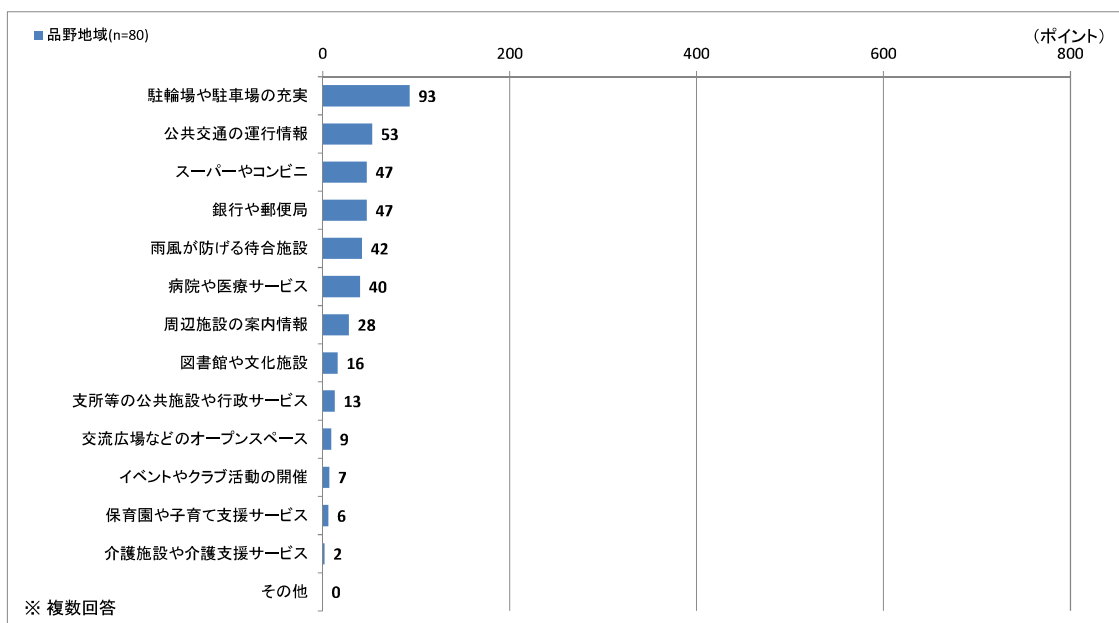
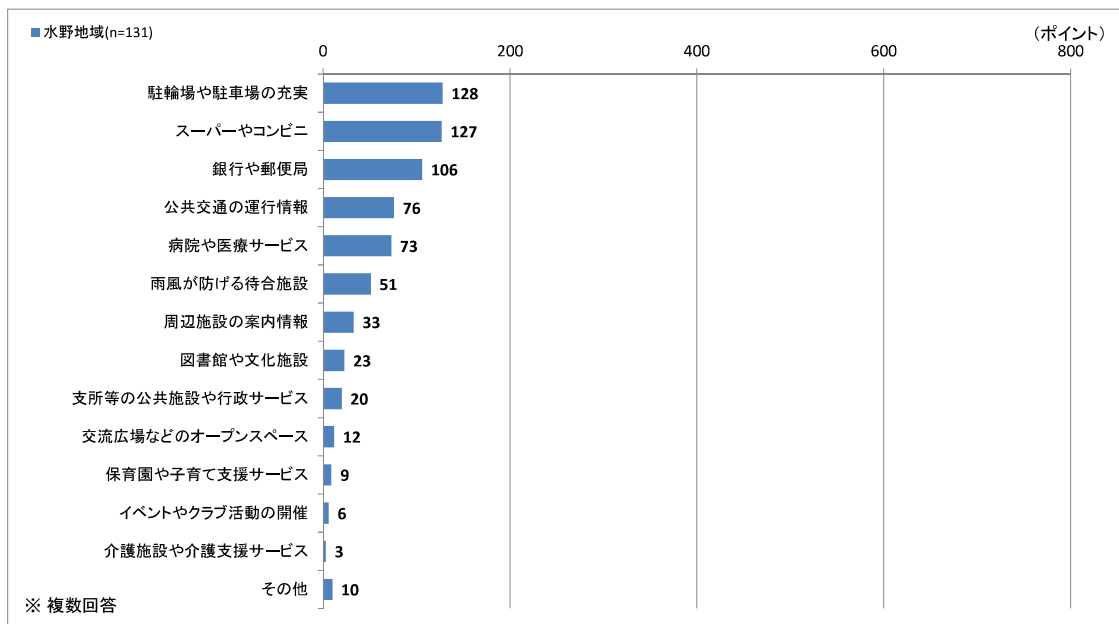


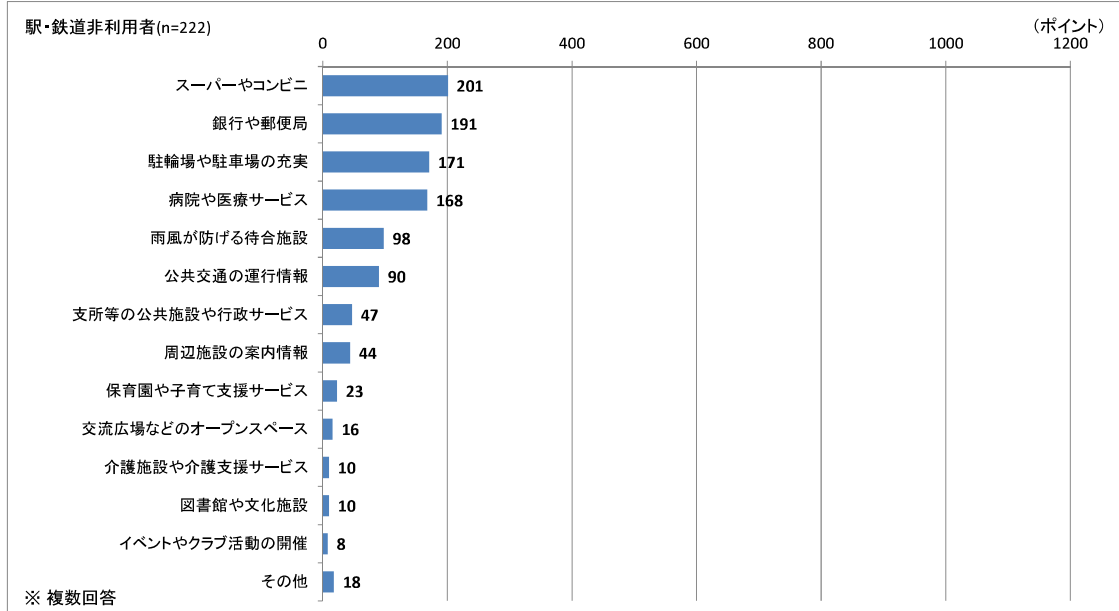
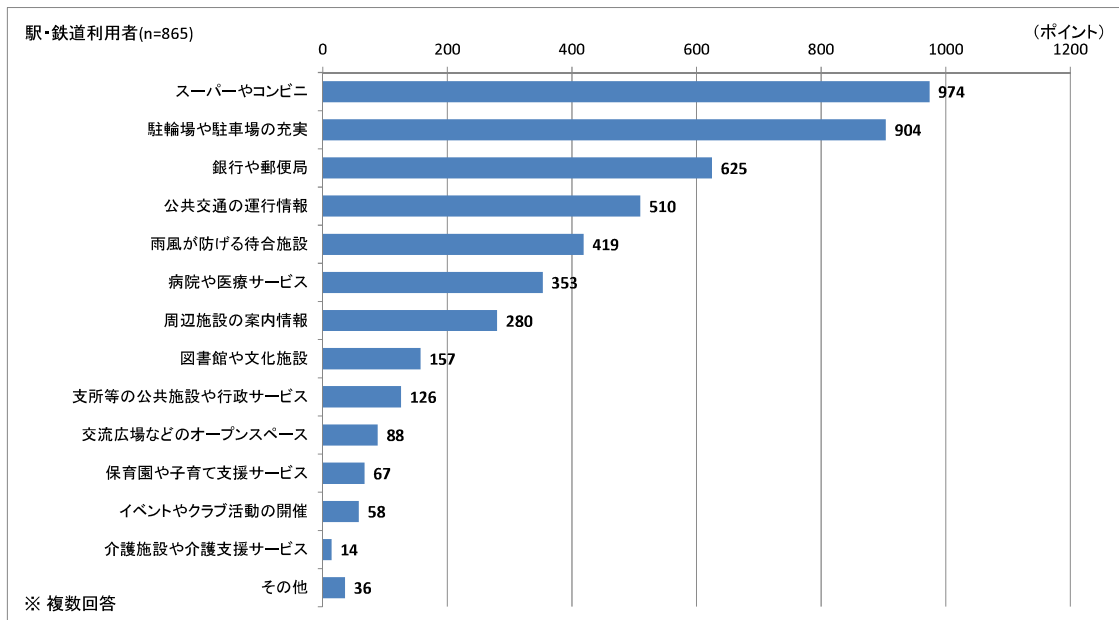
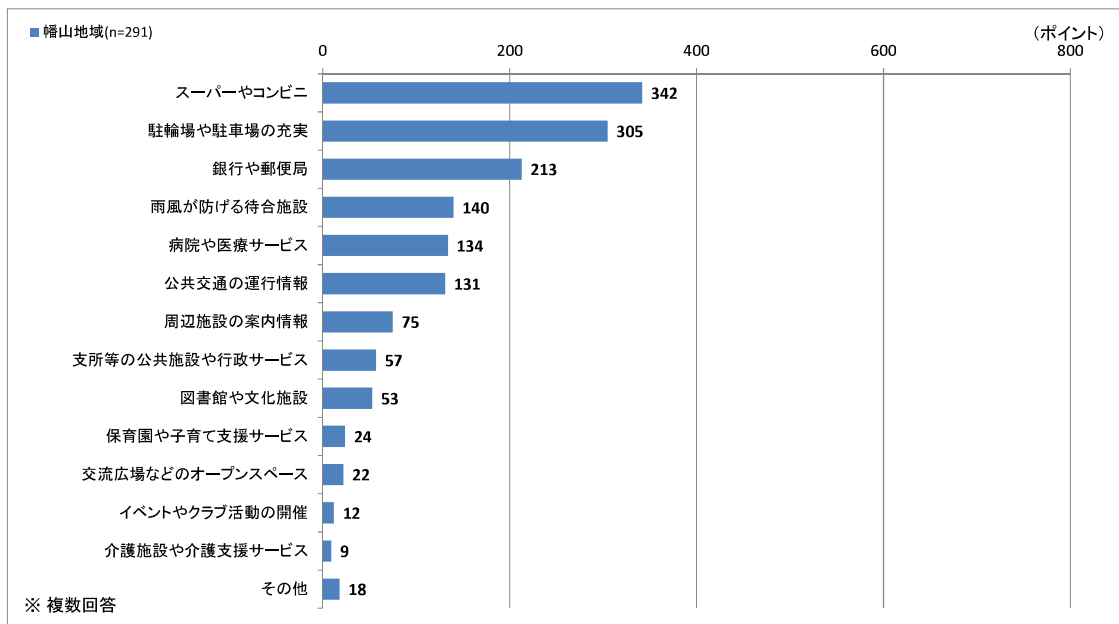
## < 駅周辺 >



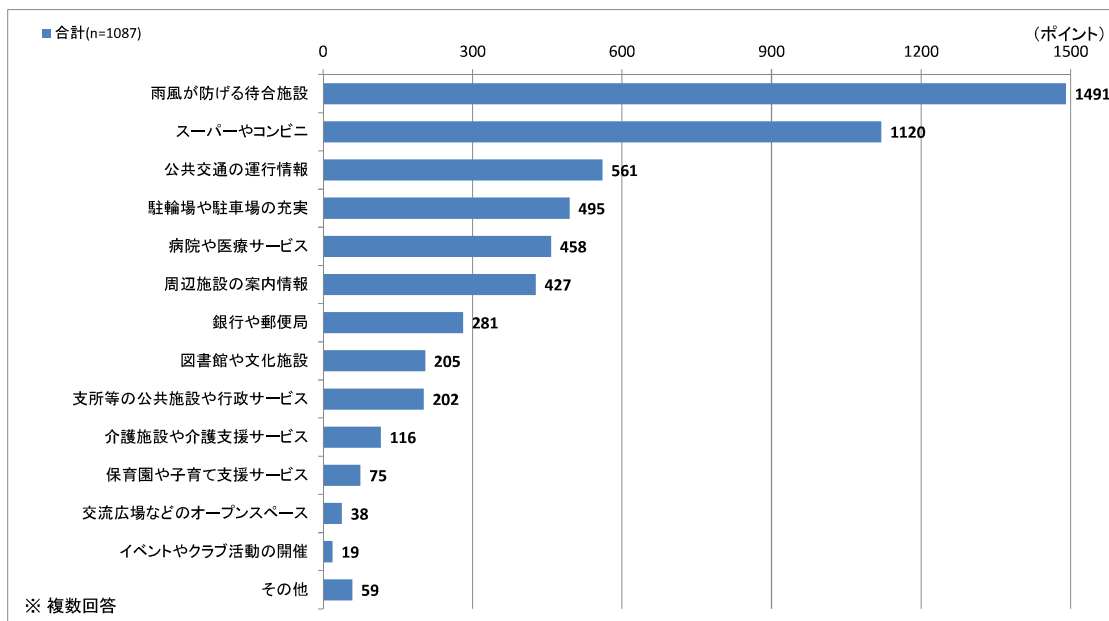
## < 駅周辺・地域別 >



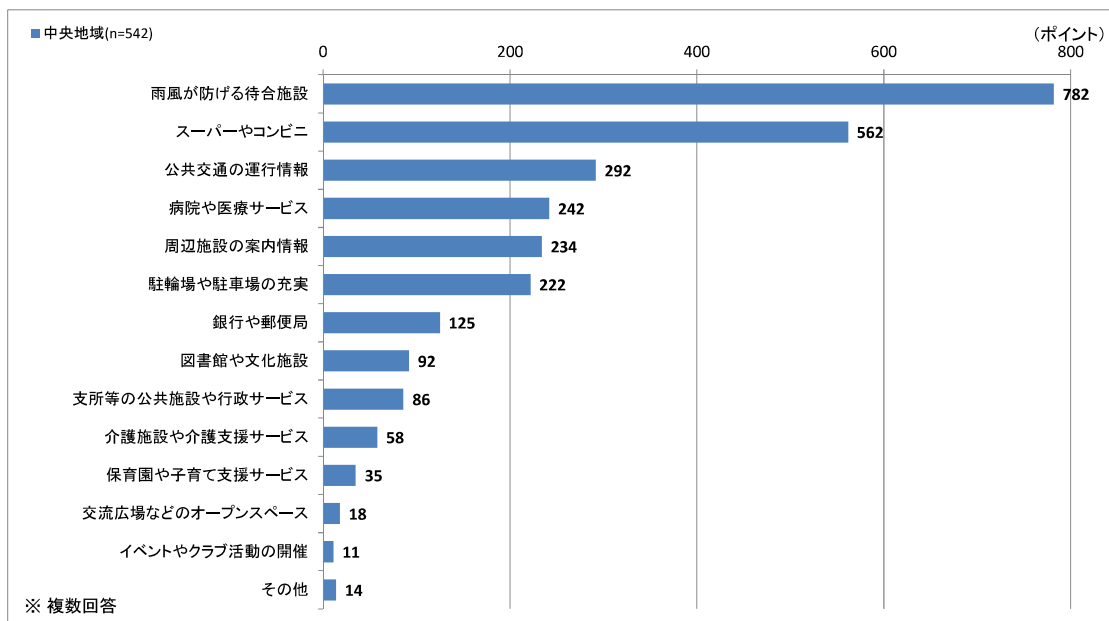




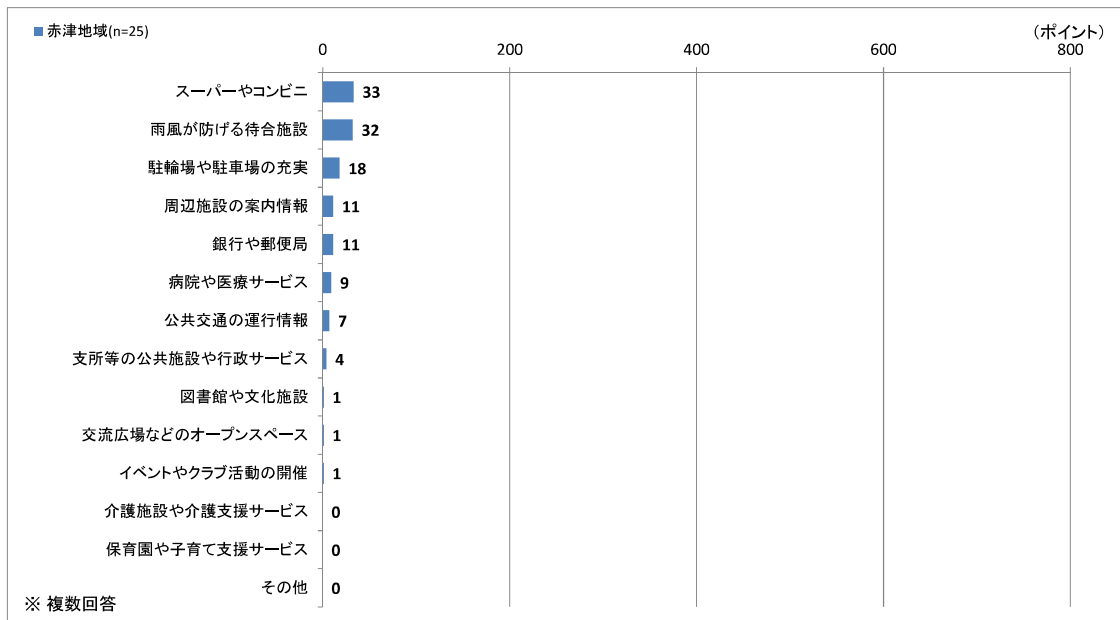
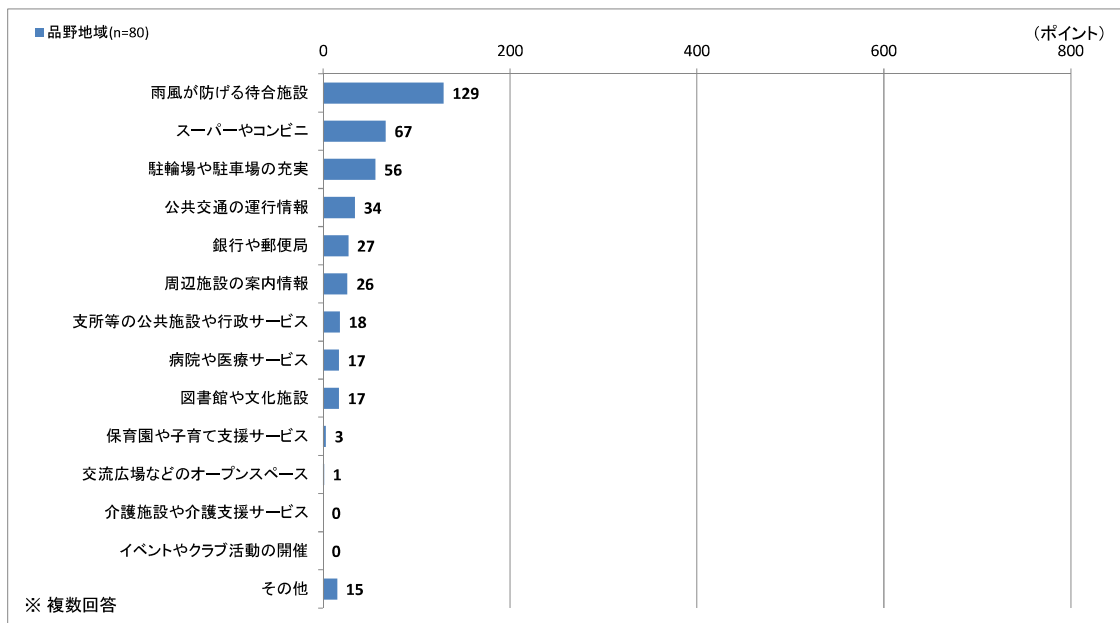
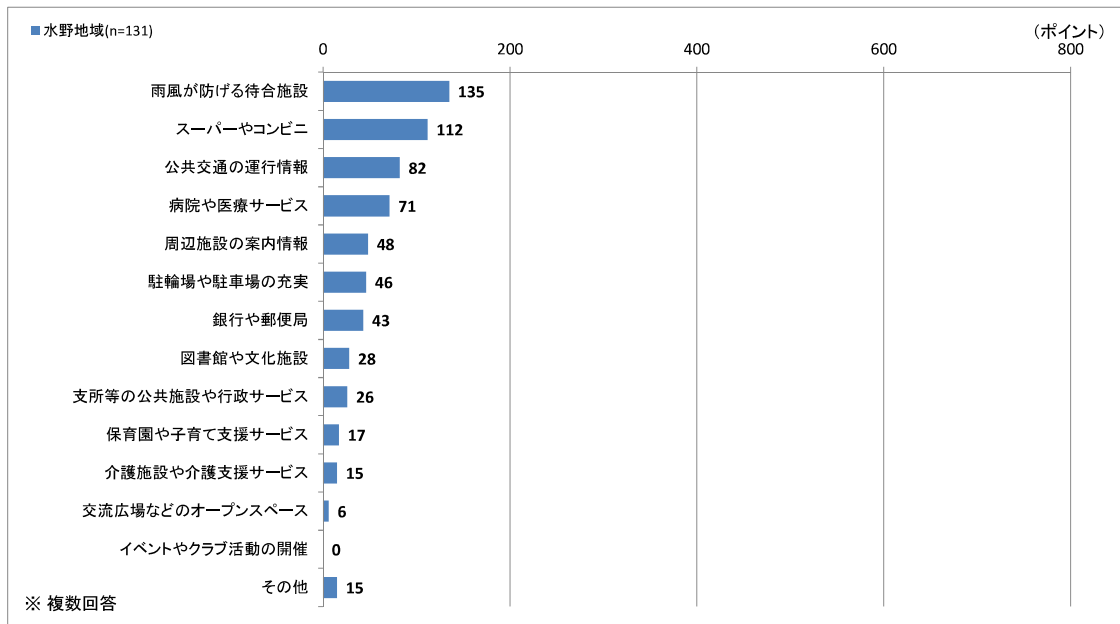
## <バス停周辺>

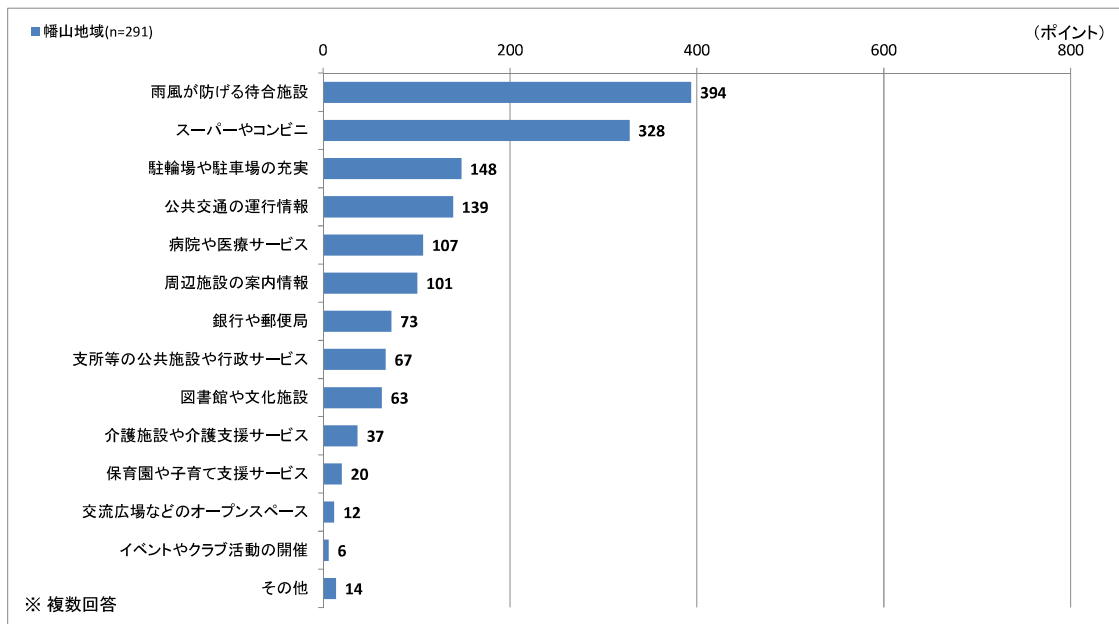


## <バス停周辺・地域別>

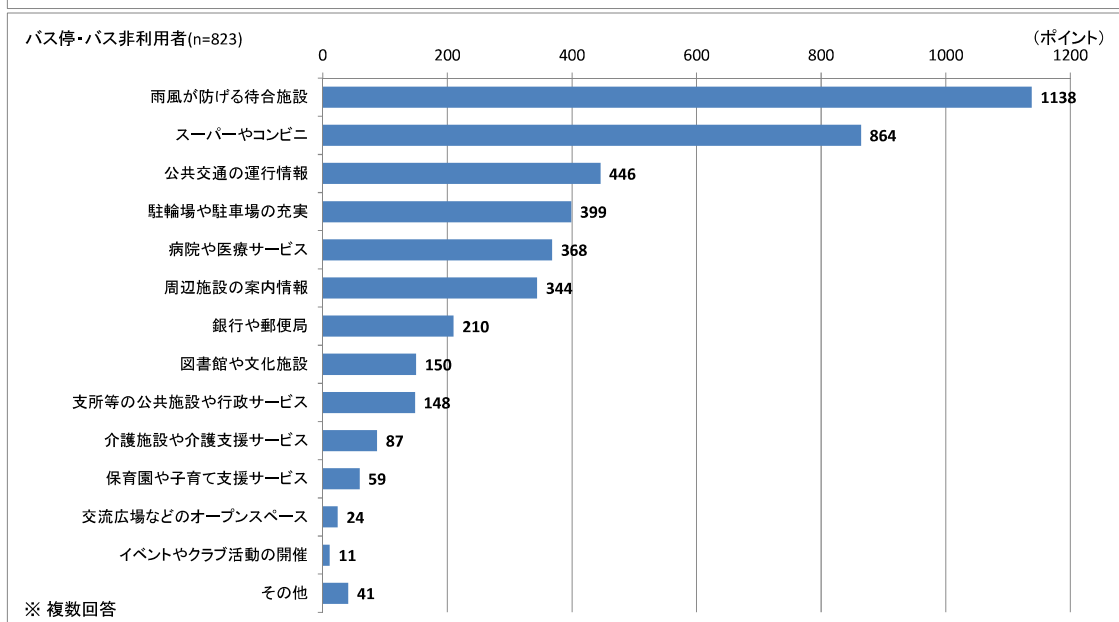
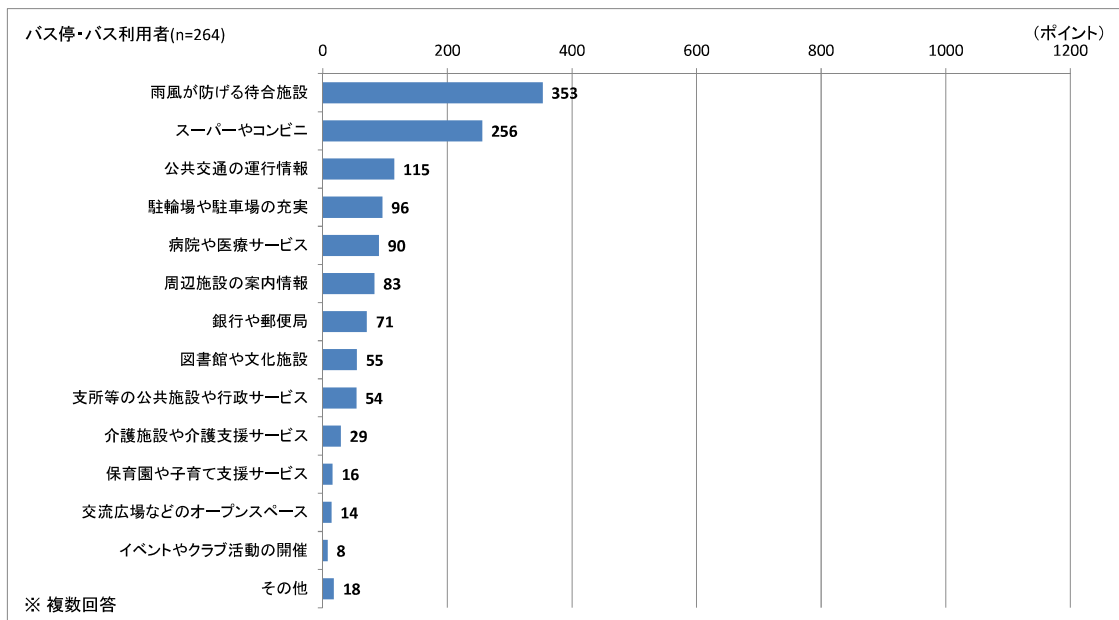








### <バス停周辺・利用状況別>



(10) バスで行きたい、または行ってほしい施設について

【問14 市内の施設】

・バスで行きたい施設をみると、市内では陶生病院が97人で最も多く、次いでアピタ瀬戸店(72人)、イオン瀬戸みずの店(65人)、市立図書館(61人)、市役所(49人)、市民公園(42人)が多い。

これらの施設付近には鉄道駅やバス停があるものの、それらを使いづらい人のニーズと考えられる。また、アピタ瀬戸店、市立図書館、市民公園については、バス停から少し離れている。

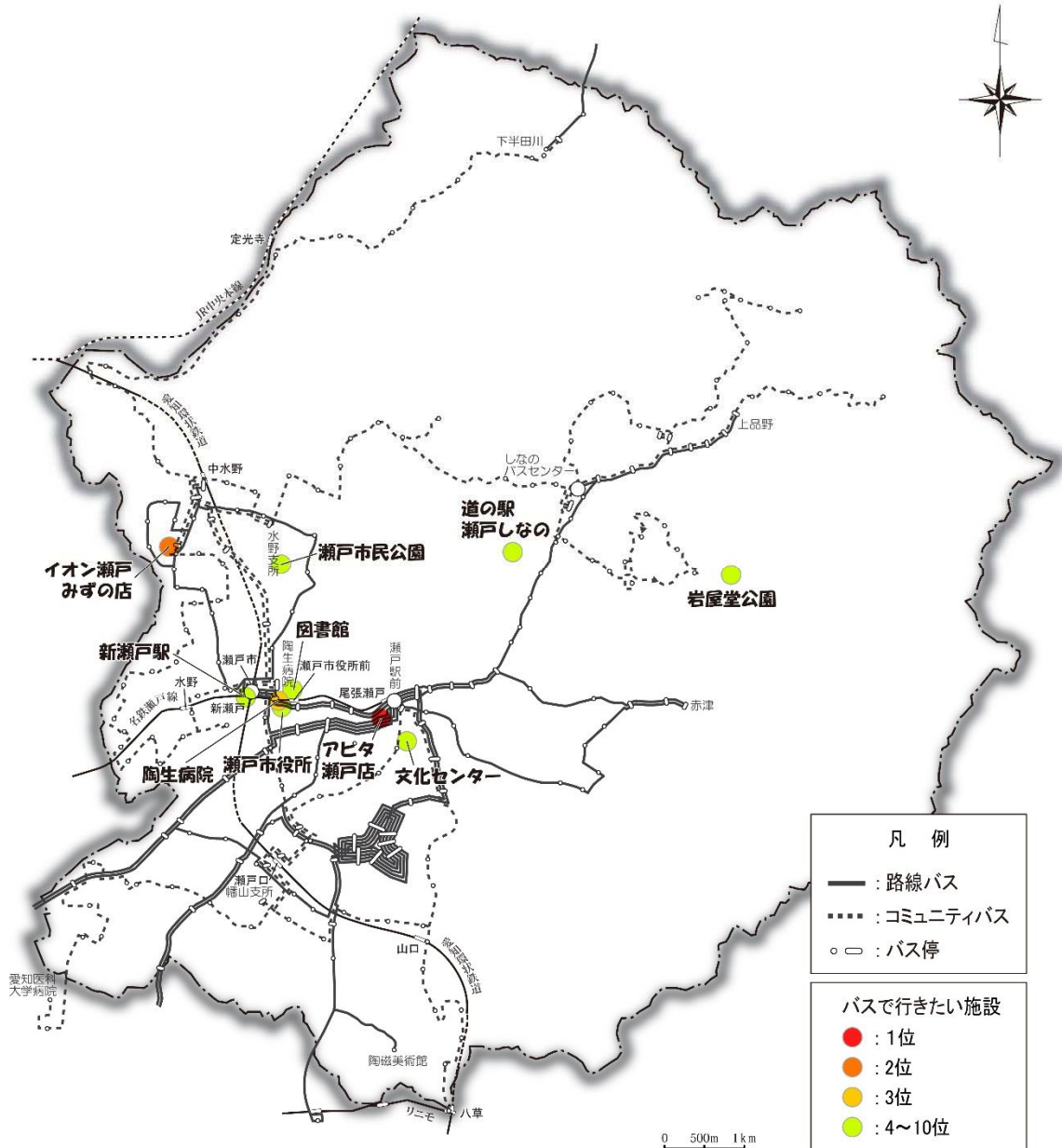
【問14 市外の施設】

・市外についてみると、長久手市、尾張旭市、名古屋市が多く、100以上の回答がある。

長久手市ではモリコロパーク、愛知医大、尾張旭市では森林公園、イトーヨーカドー尾張旭店、名古屋市では藤が丘駅を挙げる人が多い。

【問14】市内の施設

<市内の上位10施設>



【市内】施設名	回答数	【市内】施設名	回答数
陶生病院	97	アント瀬戸店	5
アピタ瀬戸店	72	瀬戸駅	5
イオン瀬戸みずの店	65	銀行	5
市立図書館	61	瀬戸口駅	5
市役所	49	バロー新瀬戸店	4
市民公園	42	飲食店	4
道の駅瀬戸しなの	25	陶磁美術館	4
岩屋堂公園	24	郵便局	4
文化センター	22	西友瀬戸店	4
新瀬戸駅	19	せとっこファミリー交流館	3
スーパー	17	バロー瀬戸店	3
瀬戸蔵	17	駅	3
パーティせと	16	海上の森	3
カーマ瀬戸店	13	山口駅	3
中水野駅	11	水野支所	3
病院	11	瀬戸市駅	3
バロー瀬戸西店	11	バロー	3
ピアゴ	10	アカバネ	2
尾張瀬戸駅	9	いまじん瀬戸店	2
あさい病院	8	ひがしの医院	2
フィール瀬戸店	8	マリア幼稚園	2
やすらぎ会館	8	穴田町工業団地	2
森林公園	7	春雨墓地	2
定光寺公園	7	瀬戸市美術館	2
ナフコ瀬戸店	7	整形外科	2
バロー品野店	6	スポーツクラブ大樹	2
水野駅	6	デジタルタワー	2
東名ボール	6	まゆ施設	2
名鉄の駅	6	定光寺	2
T S U T A Y A	6		
UFJ銀行瀬戸店、Vドラッグ、あいち海上の森センター、いこいの家、カピタニオ高校、カラオケ屋、コナミスポーツクラブ、ゴルフ倶楽部 大樹、こんどう眼科山口町、サークルK、しまむら、すきや、スポーツ施設、せともの屋、ちびっこ広場、チャレンジハウス、ナフコ水野店、ハローワーク瀬戸、メルクス東名、やまぐち病院、ヤマナカ瀬戸、ユニーブル晴丘、リニモの駅、ローソン、わたらい眼科、医療施設、運動施設、雲興寺、横山クリニック、介護施設、各交流センター、学校、観光名所、基幹道路、暁工業団地内、血液センター、公園、公立高校、高校、三洋堂ひしの店、市内、児童館、自宅近辺、社会保険事務所、職安、瀬戸信用金庫品野支店、深川神社、水南公民館、水野駅付近の塾、水野病院、水野方面、瀬戸眼科、せと赤津PA、瀬戸郵便局、西原町あたりの施設、西松屋瀬戸店、税務所、雪の聖母幼稚園、浅井病院、総合病院、葬儀場、大衆湯泉、陶原公民館、特別養護老人ホームつばき、南保育園、白山公園、幡山小学校、幡山中学校、菱野団地、百貨店、品野方面、文化会館、平町公園、保健所、名鉄スイミング、窯垣の小径			1

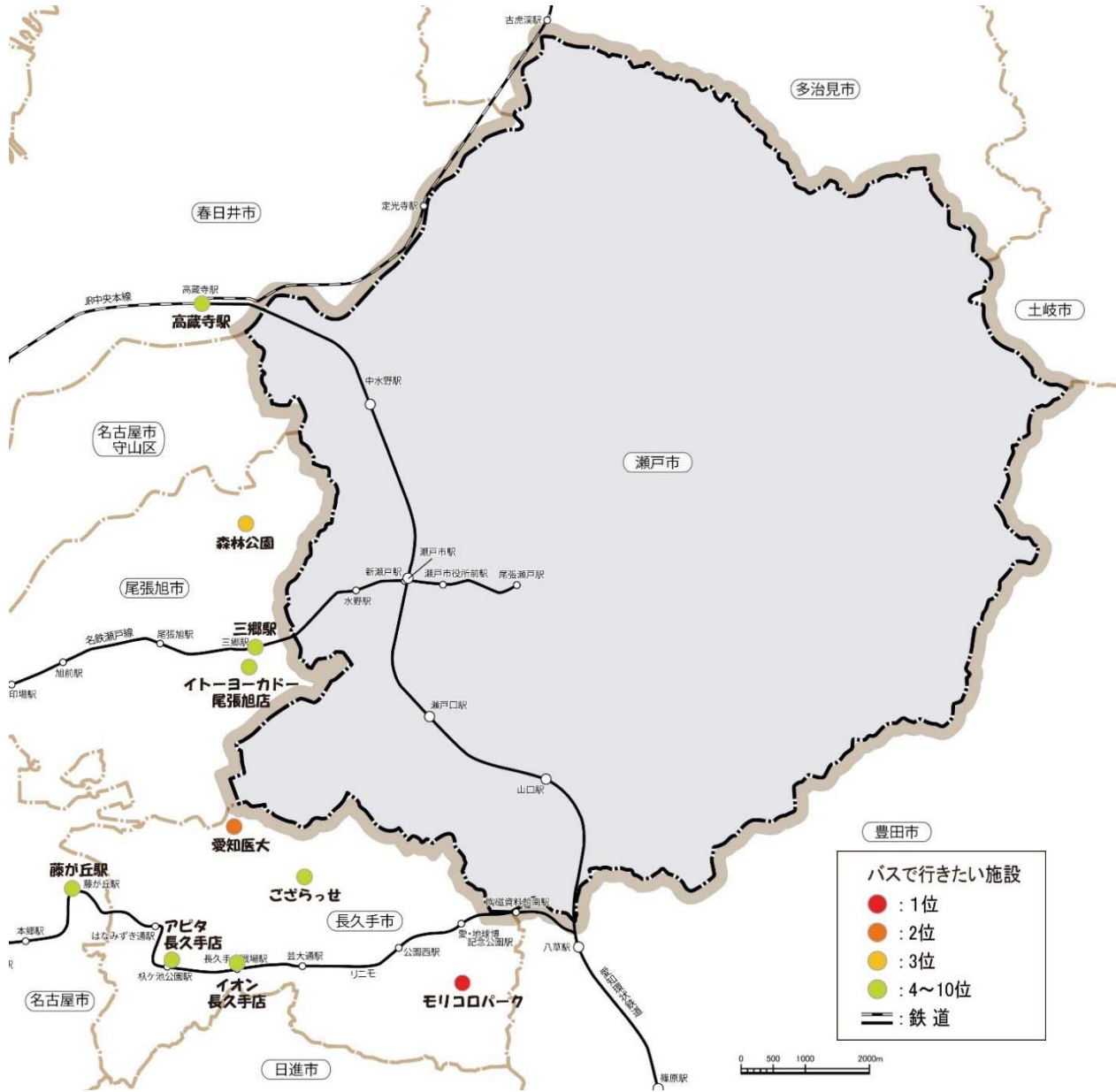
【問 1 4】市外の施設

【市外】市町村名	回答数	【市外】市町村名	回答数
長久手市	335	土岐市	7
尾張旭市	186	常滑市	3
名古屋市	160	小牧市	2
春日井市	51	知立市	1
豊田市	36	豊山町	2
日進市	12	豊明市	1
多治見市	11	桑名市	1
みよし市	10		

<市外の上位 10 施設>

【市外】施設名	回答数	【市外】施設名	回答数
モリコロパーク	97	イオン長久手店	45
愛知医大	55	藤が丘駅	43
森林公園	53	高蔵寺駅	34
アピタ長久手店	48	ござらっせ	30
イトーヨーカドー尾張旭店	48	三郷駅	21

<市外の上位 10 施設>



【長久手市】施設名	回答数	【長久手市】施設名	回答数
モリコロパーク	97	リニモの駅	5
愛知医大	55	病院	5
アピタ長久手店	48	スーパー	3
イオン長久手店	45	図書館	3
ござらっせ	30	カネスエ	2
I K E A	6	名都美術館	2
文化の家	6	愛・地球博記念公園駅	2
あぐりん村	5	長久手古戦場跡	2
G S、アオキスーパー、しまむら、ピバホーム長久手店、ブックオフ、マックスバリュ、ラウンド1、レストラン、愛知淑徳大学、花しょうぶ、古戦場、図書館通り、大学、大型ショッピングセンター、長久手古戦場跡、長久手高校、長久手市役所、長久手車庫、百貨店、文化の森、文化施設、宝島			1

【尾張旭市】施設名	回答数	【尾張旭市】施設名	回答数
森林公園	53	尾張旭駅	3
イトーヨーカドー尾張旭店	48	カーマ	2
三郷駅	21	フィール	2
城山公園	5	図書館	2
ことぶきの湯	4	文化センター	2
旭野高校	3	労災病院	2
バロー城山店	3	A S K A	2
バロー尾張旭店	3		
S E G A、あかのれん、アカバネ、アスカ、アピタ、アルペン、ゲオ、ザ・チャレンジハウス三郷店、スカイタワー、たちや、ニトリ、パークサイドチャペル、バロー、ビデオ i n アメリカ三郷店、ブックオフ尾張旭店、ふらっと交流館、ユニクロ、旭城、旭前駅、旭労災病院、印場駅、飲食店、駅、市役所、城山、城山城、晴丘方面、中央公民館、尾張旭市文化会館、病院、服部家具センター、麵喰			1

【春日井市】施設名	回答数	【春日井市】施設名	回答数
高蔵寺駅	34	アピタ	2
春日井駅	4	スーパー	2
アピタ高蔵寺店、サンマルシェ、ドンキホーテ、モール、高蔵寺ニュータウン、図書館、徳洲会病院、農協、落合公園			1

【豊田市】施設名	回答数	【豊田市】施設名	回答数
豊田スタジアム	7	豊田図書館	2
八草駅	7	松坂屋	2
豊田市駅	2	厚生病院	2
かに本屋、トヨタスタジアム、トヨタ自動車工場見学、ドンキホーテ、猿投温泉、猿投神社、浄水駅、東名高速上郷SA、藤岡飯野町役場、美術館、百貨店、文化センター、龍泉寺の湯、緑化センター			1

【多治見市・土岐市】施設名	回答数	【多治見市・土岐市】施設名	回答数
土岐プレミアムアウトレット	7	天光の湯	2
多治見駅	6		
アピタ、市之倉かさづき美術館、多治見オリベストリート			1

【名古屋市】施設名	回答数	【名古屋市】施設名	回答数
藤が丘駅	43	東山動物園	2
名古屋駅	15	映画館	2
東谷山フルーツパーク	15	県立図書館	2
藤が丘	12	守山スポーツセンター	2
栄	10	森林公園	2
ナゴヤドーム	9	清水屋	2
イオンナゴヤドーム前店	6	病院	2
イオン守山店	4	大曽根駅	2
高島屋	3	地下鉄	2
MARUEI、アピタ、オアシス21、カインズ名古屋守山店、スーパー、デパート、リニモの駅、介護、喜多山駅前、県文化会館、港サッカー場、三越、四軒家、小幡駅、瑞穂運動場、星ヶ丘、清水屋四軒屋店、ロングウッド、中央ライフカレッジ、中区、平針運転免許試験場、名古屋城、名城大学、名鉄バスセンター、竜泉寺			1

【その他市外】施設名	回答数	【その他市外】施設名	回答数
イオン三好店	7	愛知学院大学	2
セントレア	6	名古屋空港	2
イトーヨーカドー	3		
movix三好、三好ヶ丘駅、ベイシアみよし店、アオキスーパー、イオン小牧店、コストコ名古屋、ジャズドリーム長島、スーパー、ピアゴ、岩崎方面、口論義運動公園、日進駅、日進図書館、アオキスーパー日進店、文化施設、ナガシマ、三河方面、知立文化センター、市民プール、病院、市役所			1



## (11) 公共交通の費用負担と維持のあり方について

### 【問15 バス運行のための費用負担】

- ・「現在の運行を維持・市の負担は現状」が最も多く、約50%を占めている。「現在よりも便利・市の負担増加」も約25%と多い。一方、「運賃を値上げ・市の負担軽減」は約12%にとどまっている。さらに、「現在よりもサービス低下・市の負担を軽減」は約6%と少ない。  
バス非利用者において、また40歳未満において「現在よりも便利にするため、市の負担を増やすべき」の意見が少ない。

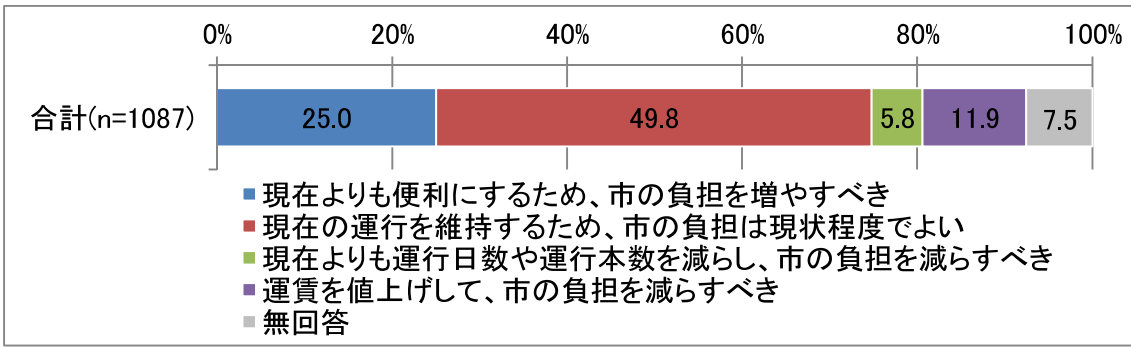
### 【問16 コミュニティバスの1乗車あたりの運賃】

- ・現行と同じ100円が約56%で最も多い。ただし、200円を許容する人も約33%存在している。  
コミュニティバス利用者の方が200円を許容する人が若干少ない。年齢階層別に大きな差はみられない。

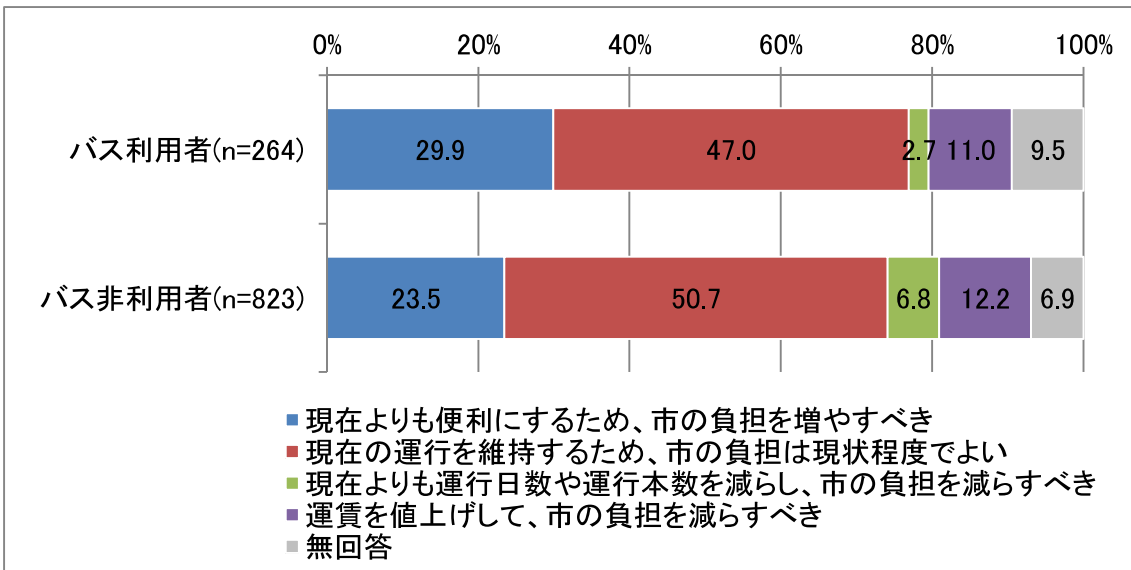
### 【問17 公共交通を維持するために取り組み参加できる活動】

- ・「公共交通を積極的に利用する」、「企業の協賛金や広告費などを募り、収入を増やす」が多く、30%を超えている。  
一方、「地域住民での協賛金や話し合う場への参加」といった取り組みに対しては消極的な傾向がうかがえる。  
年齢階層別にみると、40～59歳において「企業の協賛金や広告費などを募り、収入を増やす」、「地域が主体となり、新たな公共交通を運行する」が多いのが特徴的である。

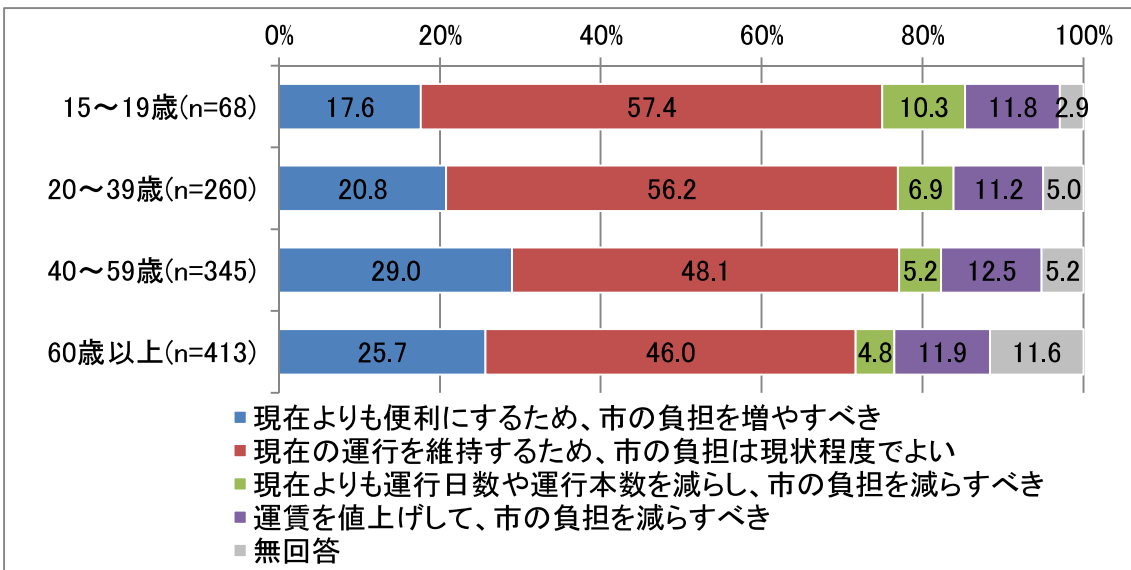
【問15】バス運行のための費用負担



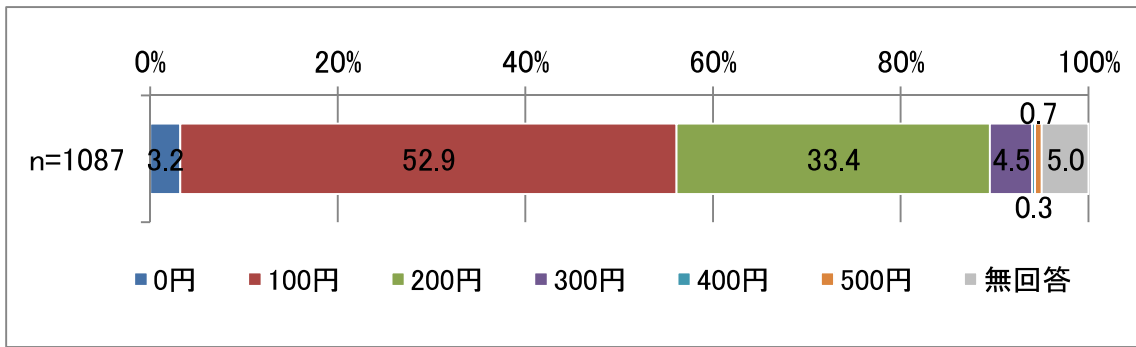
<利用状況別>



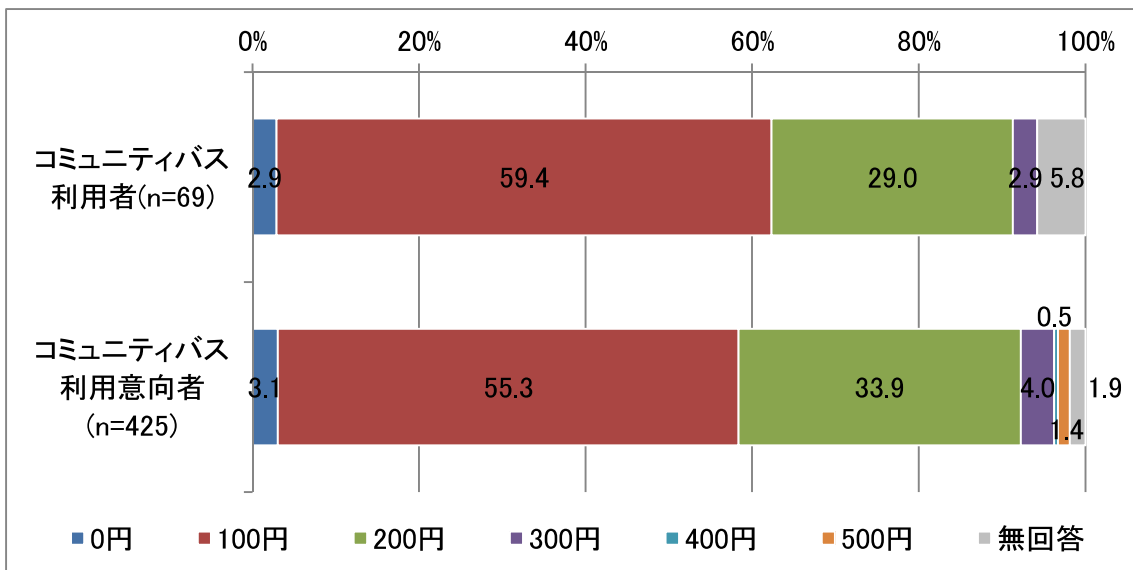
<年齢階層別>



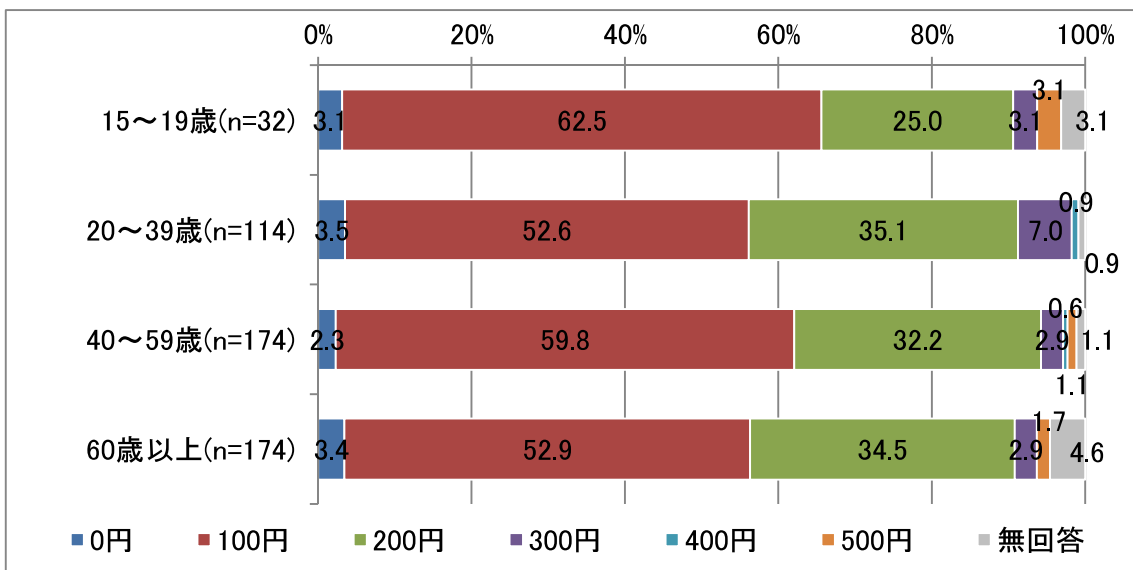
【問16】コミュニティバス1乗車あたりの運賃



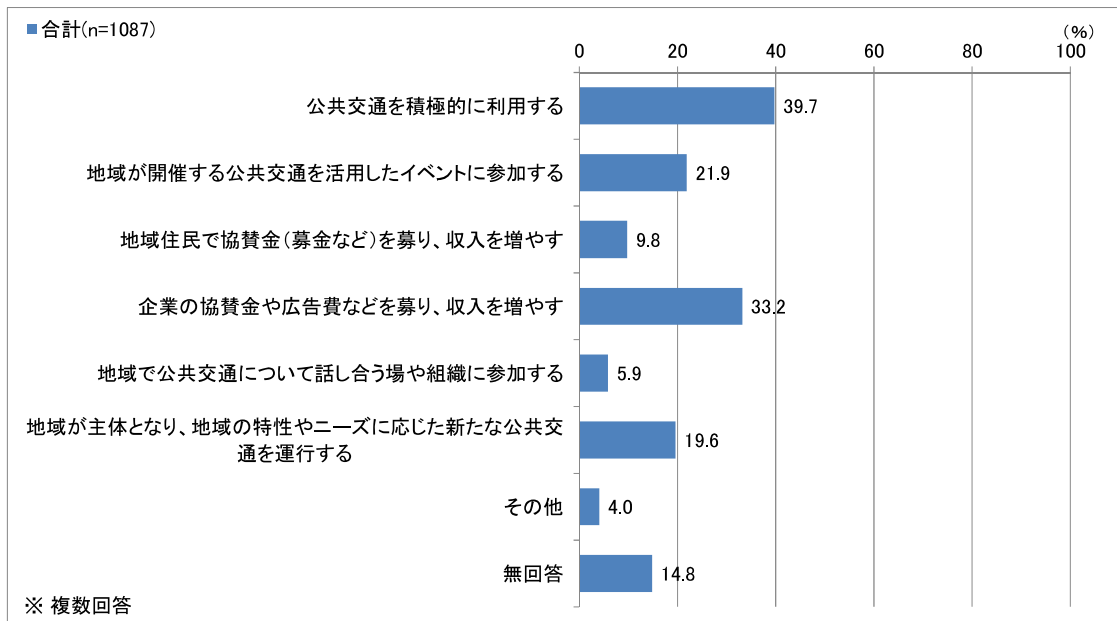
<利用状況別>



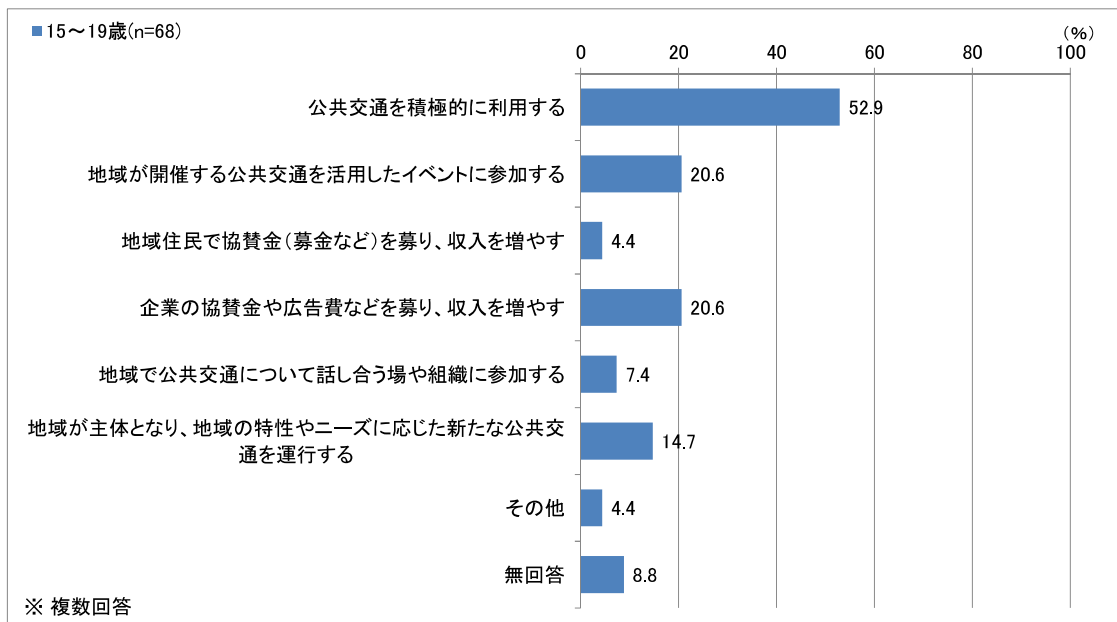
<年齢階層別>

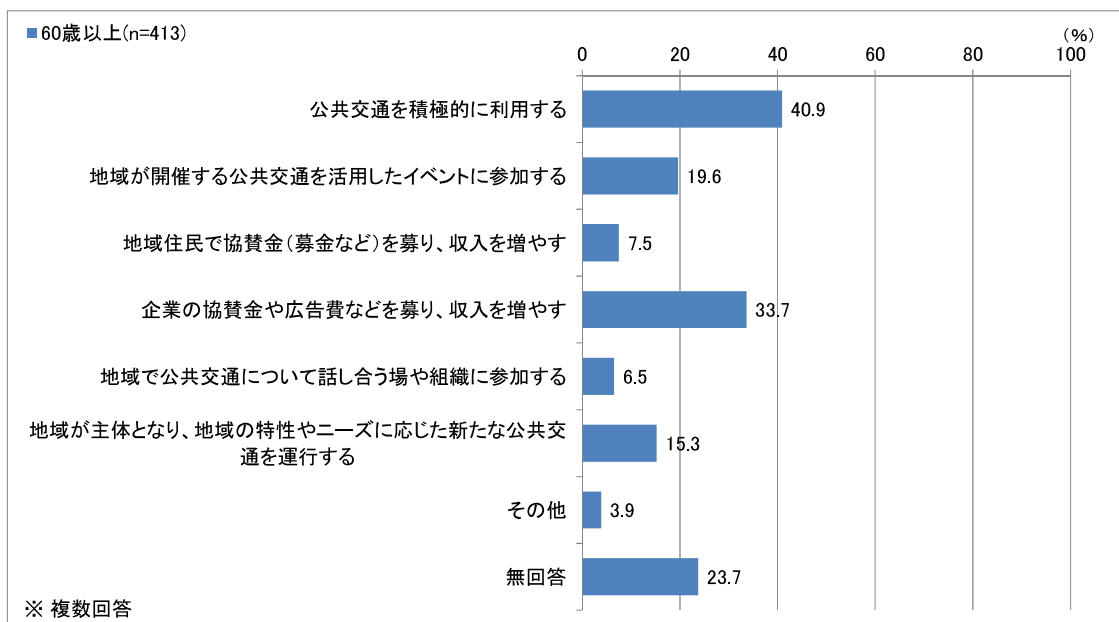
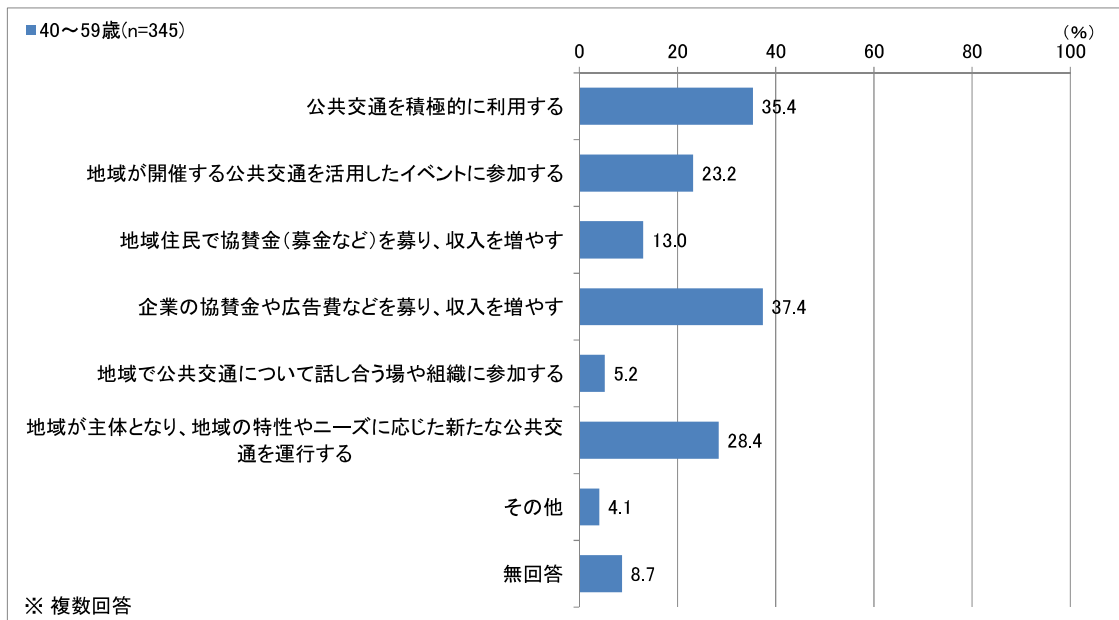
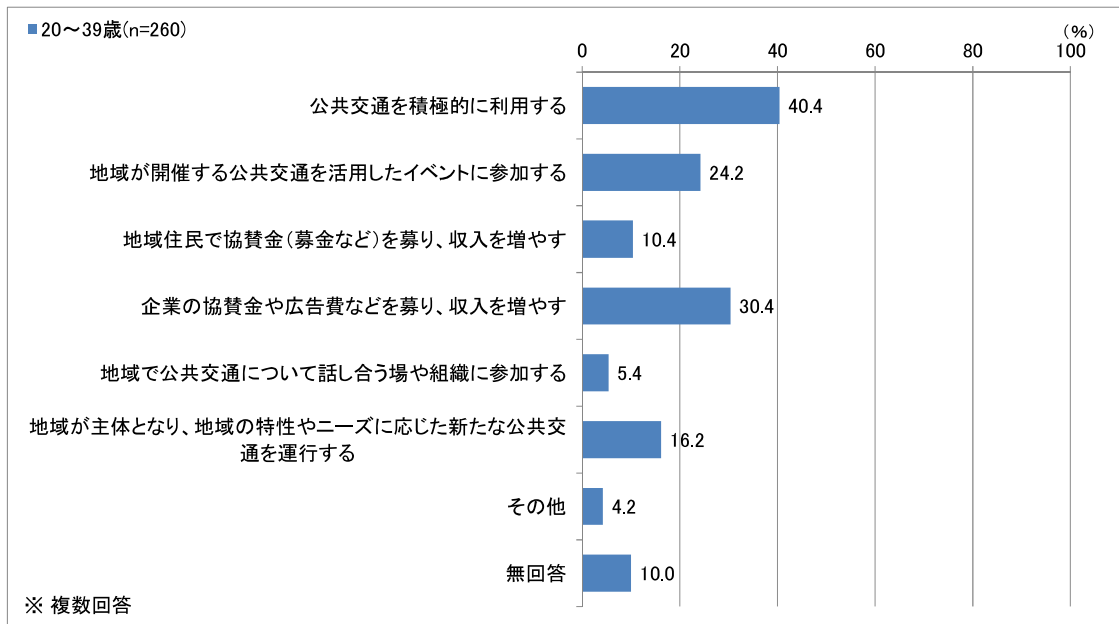


## 【問17】公共交通を維持するために取り組み・参加できる活動



### <年齢階層別>





## (12) 公共交通に対する考えやアイデアについて

### 【問18 公共交通の利便性を高めるアイデア】

- ・ 運行ルートに関するもの、利用促進に関する意見が多く、100件を超える意見が寄せられている。

#### (運行ルートに関する意見)

- ・ 休日に観光施設、レクリエーション施設（モリコロパーク、森林公園等）への運行
- ・ 大規模商業施設、病院（陶生病院、愛知医大等）、駅（藤が丘、リニモ等）、公共施設（市民ホール、図書館等）への運行
- ・ 巡回バスの運行
- ・ 名古屋市へのバス運行

等

#### (利用促進に関する意見)

- ・ イベントと連携した臨時バスの運行
- ・ 休日の割引、乗り継ぎ割引、フリーパス
- ・ 商業施設と連携した割引、車内・バス停への企業広告の掲載による収入増
- ・ バスマップ等による利用しやすさの向上
- ・ バスに限定しない新たな公共交通システムの導入（乗合タクシー、カーシェア、ウーバー的システム、SNSの活用等）

等

### 【問18】公共交通の利便性を高めるアイデア

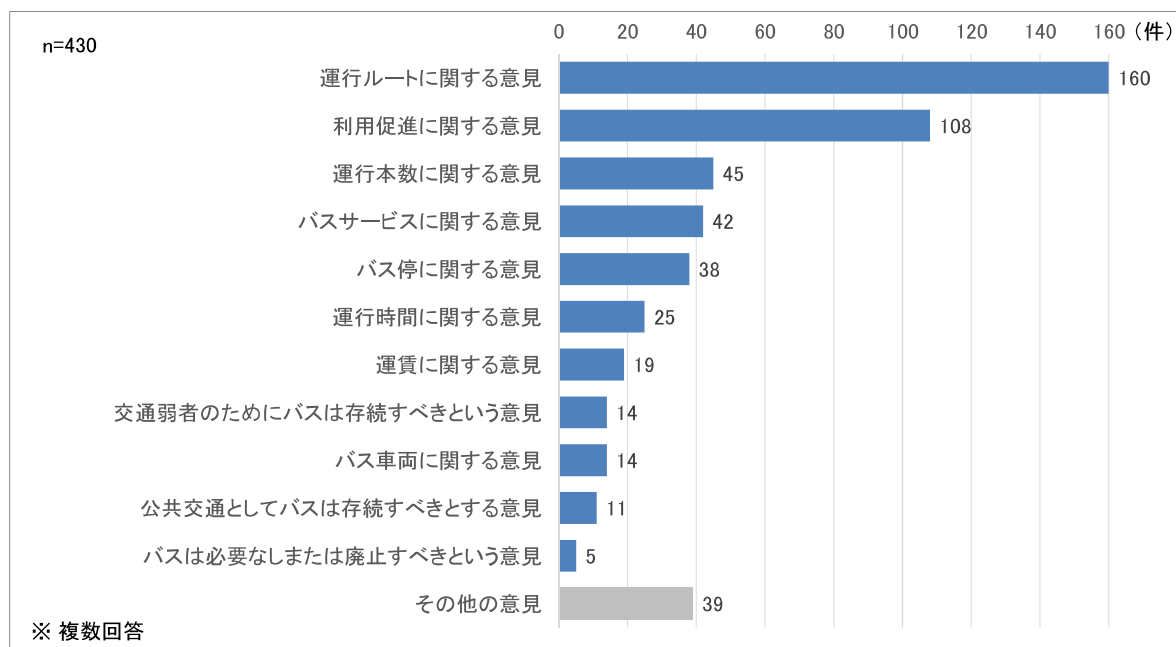


表 公共交通の利便性を高めるアイデア

運行ルートに関する意見
家の近くのバス停からモリコロパークに行けるバスがあれば良いと思います。テニスコートやプールに友達と一緒に行くから。
夏休み中は子供だけで行けるよう市民プールへのバスを運行して欲しい。
夏限定でいいので、市民公園へ行くバスが欲しい。(子どもだけでプールへ行って、帰って欲しい。)子どもの頃から、活用していると、大きくなって親しみをもって、利用しやすくなるのでは？
土・日・祝日は愛・地球博記念公園に行けるバスを運行して欲しい。(公園の駐車料金が、土・日・祝日は¥800になったためほとんど行く機会がなくなったので)
土、日曜にモリコロパークに行くバスを運行してほしい。
コミュニティバスをもっとアピール、広報してほしい。市の主要ご楽施設を巡回するバスがあると良い。
隣接する施設(ござらっせ・森林公園・東谷山フルーツパーク)に延伸もしくは経由して欲しい。
休日は、子供と遊びに行くこともあるので、森林公園や、城山公園 小幡緑地、モリコロパークなどに行けるバスがあったら、駐車場のことも気にせず、出掛けやすくなるんじゃないかと。岩屋堂とか。
行く所につれて行ってくれるバス。もっとこまかく走ってほしい。料金がいるからみんな乗らない。無料にすれば利用する人もふえる。そのくらい税金(市税)でまかなえるのではないかな。もっと市民の声をきいてほしい。市民のためにつかえば、だれも文句も言わないと思う。瀬戸と市内の方ばかりじゃなくてこっち(山の田、坊金、井戸金)など、はなれたところのこともかんがえるべきです。バスや電車なんでもってのほかで、学校に行くにも1時間も歩かなければならないどんだけイナカなのか、かんがえてほしい。
瀬戸の観光ルートをめぐるバスがほしい。EX. 尾張瀬戸→岩屋堂→道の駅→定光寺→尾張瀬戸駅前。
問. 17にも書きましたが森林公園、モリコロパーク等、どうしても車が運転しにくい状況(飲酒や、幼児、赤ちゃん、老人等)や、不特定多数の人達が集まる場所を絡めた運行本数や、ルートを検討してほしい。宝生寺の花火も含み。現在のコミュニティバスには、自分の生活には全く運営方針に理解ができません。
コミュニティバスは行く場所によって運賃を変えても良いと思います。長久手イオモールやござらっせに行けるバスを運行して欲しい。コミュニティバスですが石田町から瀬戸駅まででなく、新瀬戸駅にして欲しい。新瀬戸駅の方が施設がそろっていて便利です。新瀬戸駅だったら利用したい。
土曜日と日曜日は、森林公園に行けるバスを運行して欲しい。
高齢化社会、高齢者が買い物、イベントに外出しやすい時間帯、ルートを検討し、外出しやすい、体験しやすい環境及びサポートを市町が協力する。まずはコミュニティバスの利用を体験してもらいアンケートを取る。
東谷山の桜まつりに行けるバスを運行して欲しい。
大きなスーパーやショッピングモールに直行出来るバスがほしい。
道の駅などへ行くバス、市役所-市民公園-図書館を回る巡回バス
モリコロパークへ行けるバス運行して欲しいです。
モリコロパークでイベントが開かれる時など、駐車場がいっぱいになってしまうような場合に、シャトルバスがあると助かると思う。
せともの祭の時に会場近くまでイオンからや中水野駅など名鉄線沿い以外からのバスがあると便利。
週末～休日に瀬戸市内～藤が丘駅間で夜遅くまでバスを走らせてほしい。(最終バス24:00着頃まで)
なぜバスを使うのか、それは行き先で車が止められないから。そこに着目してもらえたらうれしいです。あとは、山手線みたいに大きな環状線があって、中身がそれぞれのニーズに沿った配置がいいのではないのでしょうか。イベントに頼っても効果は一時的です。
高齢になって来た為、健康教室に行ったり、他の人との交友を広めるためにも自宅から歩いて5分位のバス停から通える場所へ行けると便利！ 西長根町に住んでいますけれども、やすらぎ会館や公立陶生病院へ行くバスのルートがなく困っています。
菱野団地からリニモの駅に接続するバスが常時欲しい。朝活と称して、瀬戸市内の公園やパルティセなどのバスで行ける施設で、ヨガやバランスボールなどの運動のイベントを定期的に行う。老人向けのものではなく、若い主婦層向けのイベントがbest！
自宅付近にコミュニティバスの停留所(のりば)があるが運行路線に使用経路が大変面倒であるため利用価値に欠ける。その場から行きたい所へ直に行ける路線がほしい。もったいないと思う。もっと、本数をふやしてほしいとも思う(名鉄)。1時間に3～4本、日中1時～4時までの時間帯にふえると利用出来る。

土日に土岐のアウトレットに行くバス。夜中(終電後)栄、豊田市から帰れるバス、東京行きのバス(豊田や岡崎によらない)、USJ行きのバス
瀬戸市民公園でイベントがある時にはバスを運行して欲しい。品野地区から水野地区へのバスの運行を…。道の駅瀬戸しなの、企業団地、瀬戸北総合高校、イオン(瀬戸みずの店)など、行けるコースの運行して欲しい。(道の駅でのイベント、通勤、通学の足が欲しいです。)
道の駅瀬戸しなのに行く定期バスがあると良い。定光寺公園へ行くバスがほしい。(品野方面から)
瀬戸蔵やパーティセとでのイベントがある時は特別便でバスがあるといいなと思う。(北みずの坂からだと遠いので、直接いけるバスがあるとうれしい。)
名古屋市内まで行けるバスがほしい。(できれば都市部)
イベント、図書館、運動ができる場所に行けるバスを運行してほしい。
土曜日と日曜日にモリコロパークか道の駅瀬戸しなの行きのバスを運行して欲しい!
ふだん市内を車で移動しているので、市内ではバスの必要性を感じないが、名古屋方面へ出かける時は、家から地下鉄や名鉄の駅までのバスがあれば良いなど、いつも思う。子どもが、のり物が好きなので、あそびに行く時、コミュニティバスを使ってみたいが、本数が少ないのと、子どものよくあそぶ所に行かないので、まだ乗ったことがない。ノベルティ子ども創造館行きのバスがあると、うれしい。
休日に公園やイベント会場に行けるバスを運行してほしい。せともの祭等・道の駅やモリコロパークなどで御当地グルメ(瀬戸焼きそば)などのイベントを行う。市役所や公園などで防災対策や救急救命指導などの訓練。住民とハザードマップを作成する。
山手線のような市内周回バス。
選挙の投票日には投票所へ行くバスを運行して欲しい。
祝日・土・日と夏休み、冬休み等にモリコロパークに行けるバスを運行して欲しい。
土、日はモリコロパークへ行くバスを運行してほしい。
長久手エリアに商業施設(イオン)の建設がラッシュですので、長久手商業ゾーンを通り藤ヶ丘に出るバスを考えて欲しい。
平日は企業団地へ行くバスがほしい。朝と夕方だけでいいので、バスを大きいのにして、時間を朝、昼、夕にしたらいいと思う。今のバスだとお年よりが多くのもっており、きゅうくつかんがあるので若い人はのりにくい。
医院や病院地区を優先に路線を考える。
休日や、長期休暇は、モリコロパーク行きを作って欲しい。
十軒町ではコミュニティバスのみでの運行ですが、バス停が町の東外れにあり、遠い方では約1Kmの移動を余義なくされて居り、特に足腰の弱い御老人では移動に無理があります。バス経路を町内を通る様に変更され、バス停を2ヶ所程度増して頂きたい。
モリコロパークで催物がある日は瀬戸口(他でもよい)から直通バスを運行する。スタンプカードとか回数券を発行する。
買い物難民をなくすよう、スーパーを廻るバスを作る必要があると思う。
経由地に公共(施設)があると良い。バスの通り道も同じ意見です。
休日にモリコロパークに行けるバスを運行して欲しい。愛知医大に行くバスを運行して欲しい。
自家用車やタクシーしか行く手段のない、飲酒できる施設(スーパー銭湯など)の前にバス停があると助かります。平日も愛・地球博記念公園駅へ行く路線があると助かる。(土日はもっと本数があると助かる。)リニモをもっと活用したい。リニモ自体は便利だけど駅までの移動手段がない。(不便)
土、日(夏期間)岩屋堂に行けるバス。
パーティーセとでビアガーデン、休日モリコロパークに行くバスを運行しそのバスを利用した親子に児童館、プール、スケートを値引きする。
名鉄バスが1時間に1本も無い不便さで、利用者が少なくなっていく悪循環だと思います。もっと本数を増やせば、利用者も増えると思います。コミュニティバスは、家の近くを通らないので、1度も利用した事が有りません。不公平です。
土曜日と日曜日は、森林公園に行けるバスを運行して欲しい。モリコロパークも。始発時間、最終時間を役所時間から生活時間に変更。病院やスーパーあるいは市施設での滞在時間を考慮した利用しやすいダイヤ導入本数増。土日祝日には、お祭りの際の臨時バスのような運行経路導入(察めぐりや施設巡回等)。夏場の岩屋堂、秋の岩屋堂、定光寺行きなど。 ※今は、仕事や買物に徒歩や自転車でも用を足すことができるため、バスの必要度も低いが、今後、年を重ねると必要になると考える。交通弱者の視点でのコミュニティバスの運行をお願いします。(始発最終、間隔等) 路線バスとコミュニティバスの合体も検討を!



名鉄や、愛知環状鉄道の駅を、経由する路線自宅から、乗りかえをしないで、市街地へ行ける路線(1時間3本のうち1本だけ、乗りかえしなくても良い路線)があったら便利。
子供を含めた母親が子供を遊ばせる為に行く公園や施設への運行をしてほしい。
文化センター行直通バス(イベントをもっと多くして)を出す。陶生病院に直通バス(各地区から)。新瀬戸駅直通バス(各愛知環状鉄道駅へ)。
土・日曜日は森林公園に行けるバスを運行して欲しい。
問8で述べたように、名鉄バスを上半田川周辺(桑下、小学校前～北山団地)で利用できるようになるともっと助かります。しかし、今年度からコミュニティバスで自宅から近い北山団地や一ノ瀬橋を新たに利用できるようになり、とても便利で助かっています。本当にありがとうございます。私のように、自分で自動車を運転しない者にとって路線バスは大変重要な移動手段なので、これからもお世話になります。そして、幼い頃からバスや電車をよく利用させていただいています。路線バス大好きです。
土曜日と日曜日はモリコロパークに行けるバスを運行して欲しい。
地下鉄藤ヶ丘行きバスを運行して欲しい。
◎学校が休みの日にモリコロパークに行けるバスを運行して欲しい。子供だけでも分かりやすい(利用しやすい)感で。
駅から自宅近くまでのコミュニティバスがあれば今後利用したい。
休日は名古屋駅までバスを運行してほしい。
長久手にできるイオンに行けるバスを運行して欲しい。
栄までの往復バスがあればうれしい。名古屋駅～小牧空港～中部国際空港セントレアまでの往復バス、あればうれしい。
今の内は自分で運転してどこへでも行けますがこの先はやすらぎ会館とか青少年公園などへ運行して欲しい。
子供(小学生)だけでも市民プールや図書館まで行けるバス。
今年冬にオープンする、長久手のイオンに行けるバスを運行してほしい。(土日だけでも)車だと駐車場に止めるのも渋滞して大変そうなので、あれば、家族で利用したい。
長久手にできるイオンモールに行けるバスを運行して欲しい。瀬戸にイオンモールがほしい。長久手はどんどんお店も増え、遊びに行く人や住む人が増えている。イベントよりお店を増やしたら？
土曜日と日曜日にモリコロパーク行きを運行して欲しい。
スーパー等昼間の時間だけ運行でもいいので品野から水野・長久手・菱野とかあったら中・高生はうれしいかも。
夏休みは市民体育館、市民プールへの往復バスを運行すると良いと思う。万博公園への乗り入れなど。
名古屋駅に行ける直通バス。名古屋空港に行ける直通バス。
駅まで行くバスが欲しい。
野球観戦のため、ナゴヤドームへの直通便があれば利用が増えると思います。
土、日、祝祭日等に病院(特に陶生病院、愛知医大)に直接運行するバス等ができれば、運転できない人達にとっても助かると思っています。
水野団地から 尾張瀬戸駅に直通のバス。水野団地から 瀬戸市立図書館前(周辺)に直通のバス。
8の日に地下鉄駅までバスで運行して欲しい。
土・日は長久手、豊田、尾張旭市に行けるバスを運行してほしい。
春休み、夏休み、冬休みなど、子供が家にいる時期に、プールや図書館、レジャー施設に行けるバスを運行して欲しい。
愛・地球博記念公園までコミュニティバスは運行されませんか？八草まで行っているのに、回り込む事はできないのでしょうか？
コミュニティバスの経路の再検討。もっと効率の良い方法を考えてほしい。他の市町村でコミュニティバスを運行しているところを視察して、路線の決め方をゼロから考え直してほしい。
萩山台の5丁目付近はバス停がなく、坂道もきついので、高齢者のために、コミュニティバスを運行してほしい。
問14でも書きましたが、長久手市へ行く際に、一度名古屋の方へ行ってから戻らないと行けないのが不便なので直行で行けるようにしてほしいです。愛知淑徳大学や愛知学院大学、名古屋芸術大学などに通っている学生はたくさん利用してくれるようになると思います。
介護補助員が、同乗しているコミュニティバス、乗り降りが楽になるし、時間短縮にもなる。介護補助員は、シルバー人材センターから、派遣して、コストをおさえる。瀬戸駅から雲興寺経由、猿投神社行きのバス(登山ブーム)。
土曜日と日曜日に市民公園に行けるバスがあると、中学生が部活の試合に行きやすいと思います。

近年、名古屋駅に通勤する人が増えているのに、品野から中水野駅へ行く路線バスがない。コミュニティバスはあるが始発が遅すぎて朝の名古屋駅直通(中水野駅7:50発)に間に合わない。もし中水野駅7:50に乗継ぎできれば毎日、コミュニティバスを利用します。
土日は、セントレアへ行くバスがあると便利です。
子供がいる方の為に公園や育児施設を回るバスがあるといいと思います。ベビーカー利用もしやすいと嬉しいです。
土曜日と日曜日は、岩屋堂に行けるバスを運行して欲しい。
陶生病院へ菱野地域より、直接行けるバスの運行を。モリコロパーク(愛環駅)へ行く事の出来る直通のバスの運行。
文化センター(瀬戸市美術館)・陶磁美術館→モリコロパークなど、イベントの有無関係なく、いくつかの施設を経由できる、路線バスがあると、1日で色々な所へ出掛けられて楽しいのでは？その際一日乗車券があると尚更良いですね！！(名鉄バスの運賃が少々高い気がします)一日乗車券購入の場合、入館料割引や特典などあるとうれしいです。
自宅からバス停まで距離が有り、利用をためらう。ルート、バス停、時間などのPR不足。
バスを利用するのは、高齢者、小さい子供を持つ親です。コミュニケーションをとれる場に行けるバスが100円～200円であればたくさんの方が利用すると思います。池田町には大きな公園がなく、交流もできないので、モリコロ・森林公園等行けたらとてもうれしいです。
市内の大きい病院を全部回れるような路線があれば利用が増えるかもしれないと思います。
夏秋は、岩屋堂行きバスを出してほしい。(瀬戸駅から)
長久手ござらっせ、花しょうぶ等の直行便！
名鉄バス、コミュニティバスどちらでもいいですが、リノモを利用する為に、モリコロパーク行きの直行便を運行してほしい。
土・日にモリコロ行きのバス。土・日に土岐アウトレット行きのバス。
坂道のある所に小型コミュニティバスがあると高齢者や足の悪い人には(狭い道)良い。コミュニティバスを広域にほしい。タクシーは高価。
藤ヶ丘ー新瀬戸直通の電車がほしい。乗客が少ない線は、小さいバスにする。高齢者用、乗合い予約タクシー(ワゴン)病院、スーパー、市役所行。
現状、使用する人の割合多い人に向けて、市内の人→高齢者→ライフライン確保と娯楽、スーパー、病院、図書館(小牧のラピオみたいなどがほしいかも)年とったら絶対通いたい！！公共施設など。市外の人→観光客→市にお金のおちるルートづくり、瀬戸ならではのバスルートめぐり、観光客がそうなんしない路線計画を！！お願いします。
土曜日と日曜日は、森林公園に行けるバスを運行して欲しい。
岩屋堂に行くバスを春・秋のシーズン、夏休みに運行してほしい。
夏休みや、土曜日、日曜日に市民公園に行けるバスを運行してほしい。プールや、部活動の試合時があると、ありがたいです。
モリコロパーク(瀬戸市駅から直通)。
夏休み、冬休み等に青少年公園へ行けるバスの運行。
映画館、ナガシマスパーランド等。
土曜日と日曜日は、森林公園に行けるバスを運行して欲しい。
それぞれの施設の直通バス。
モリコロパーク行きのバス(土日祝、夏休みなど)子供も気軽に行けるようなのがあっていい。バスは停留所がありすぎて、つつい利用をためらうので特急や、急行(主要←→主要)があるといいと思う。
コミュニティバスの路線がかたよっているという話をよく耳にします。乗りたくても乗れない高齢者もいるそうです。
愛知県陶磁美術館に行けるバスがあると良いと思います。
ルートを片道一路線ではなく、往復にして、乗車時間の短縮をして欲しい。(コミュニティバス)行きはよいよい、帰りは長い～、どのルートでも、陶生病院へ行けるようにすれば、利用が増える。(朝、早めの始発にしないとダメ。8時前に着ける時間が必要。)
もっと多様な運行ルートを設けて欲しい。ルートが多ければ利用の利便性が増すと思います。
夏は市民プールまで行けるバスを運行する。バスチケットを作る 11回分→1000円(1回100円としてプラス1回分つける)。

バスを実際に利用している人の利用目的に合わせて運行経路や運行時間帯を絞り込んで、運行すべき。朝、夜は通勤路線のみ、昼は病院など高齢者用路線のみ運行するなど利便性で利用者を増やすことができるのは、多分通勤通学目的だけであり、それには、その時間帯の本数増と駅までの時間短縮しか、あり得ないと思う。イベントなどでバスの利用を増やすのは無理。
瀬戸市でも市役所近くや新瀬戸駅近くはバス停がたくさんありバスをひんぱんに通っていて便が良いが、少しはなれると便が悪すぎる。便が良い所は年齢の若い人が多く住んでいて車で出かけるが、年寄りの多い町内には、バスの便が悪く出かけられない。バスの本数や路線をもっと年齢の高い人よりに考えてほしい。
コミュニティバスを品野方面に運行する。
愛知医大へ何年も通院しているのでルートを増やして欲しい。
平日も1日森林公園に行けるバスを運行して欲しい。
水野駅から尾張瀬戸までのバスほしいです。
夏休み市民プールまで乗せてくれるバス(小学生だけでものれる)。
土曜日と日曜日は、森林公園に行けるバスを運行して欲しい。
実家が赤津方面にあります但しバスが通っていない為にコミュニティバスを走らせてほしい。
夏と秋は岩屋堂へ行くバスを増便しては、それと品野バスセンターからではなく尾張瀬戸駅を発着地にしてほしい。
記入例の森林公園行きは運行されるなら利用したいと思います。
長根(小学校前)から新瀬戸へ直通路線を運行して欲しい。コミュニティバスが住宅街を運行すればもっと利用者が増える。(終電対応は必ず!!)
アイデアではありませんが、今、菱野団地では、松坂屋ストアがなくなり、買い物にこまっている方がたくさんいます。近くのお店に行くのも、タクシーを使っている方を多く見ます。団地の中にコミュニティバスが通り、ピアゴ、アピタなどに行ける様になると良いですね。
品野に名古屋市内まで行ける電車の駅があって欲しい。大型複合施設があれば公共交通の利用が増えると思う。瀬戸ものをもっと広めていくようなイベントがあれば公共交通の利用が増えると思う。瀬戸ものを感じさせる駅周辺の街づくり。
土曜、日曜にモリコロパークに行けるバス。春雨墓地に行けるバス(菱野団地又は瀬戸駅より)名鉄バスとコミュニティバスの値段の差をなくして欲しい。(名鉄バスのある地域だからとコミュニティバスの運行がない。名鉄がなければコミュニティが走り、値段も安い)
土曜日と日曜日に森林公園前の朝市へ行きたい。
土曜日と日曜日は、森林公園に行けるバスを運行して欲しい。
年金のみの高齢者、70才以上とかの方を無料にしても良いかと思う。土、日は若い家族が利用出来るようモリコロパークまで行けるようにして欲しい。
路線バスが一定の場所(菱野団地だと思われる)に集中しすぎているので、市内全体へ分散すべきだと思う。
品野方面や菱野団地等線路が通っていない地所も、バスの路線図に追加してほしい。
夏は岩屋堂へ行くバスを運行して欲しい。
土曜、日曜は図書館行き、帰りを運行して欲しい。近道ですし、本を借りると、重いです。陶磁美術館。
上と同じようなものですが、小学生低学年の子達だけでもいけるように愛・地球博記念公園に直通するようなバスをつくってくれるとありがたい。特に夏のプールがある期間中や夏休みのみの運行だけでもあると助かります。
子供が行く場所(プール、公園)を通るバスがあると良い。夏休みだけでも良いが…。
敬老バスの導入(名古屋からの移住者は特に想う)。路線・運行本数の拡大。
将来的な事を考えると、スーパー等への買い物には、やはり足替わりになるものとしてはバスがあると良いとは思いますが、現在近くにはバス停が無いし、バスも走っていない状態で不安です。(タクシーを利用することになるのか?)
瀬戸の観光スポットをめぐる(巡回)ルートバスがあると良い。→「名古屋観光ルートバス メーグル」のようなもの。色々な企業と提携し、割引サービスが受けられる。→街の活性化にもなる!!
藤ヶ丘駅(名古屋市)行の定期バスの運行。
もっと、どこでも利用できる、場所、本数が必要。私共の町内にはコミュニティバスが通っていない。とても利用したくてもできない。
瀬戸駅～? ?～モリコロパーク路線。
土曜日と日曜日は、森林公園に行けるバスを運行して欲しい。

瀬戸市の各駅から長久手イオンへの直通バスなどを運行してほしい。瀬戸市自体の発展はこれ以上無理なので市外へのバスなどの移動手段を考えた方が良くと思います。
市内在住者や他地区からの来訪者の為、赤津・水野・品野等の窯元を巡る(循環)バスを運行する。
土曜日、日曜日、祝日、モリコロパークに行けるバスを運行して欲しい。週一日上品野→品野→道の駅を回るバスがほしい。バスの走ってない所へ予約でいいから回ってほしい。
森林公園に行けるバスや子供の遊ぶ所のバスをふやしてほしい！
土曜日と日曜日は、森林公園に行けるバスを運行して欲しい。
瀬戸の商店街へ行けるバスがあっても良いのでは…
駐車場の無い所等に行くバスがあれば良いかも。
菱野団地も50年前後の月日が経ち、今は住民の高齢化と共に住宅も空家が目立って来ました。それと共に路線バスも減り病院や買物も不便になり困っている人が多勢です。コミュニティバスも団地内には入っておらず利用した事はありません。団地の外周部と中心部に停留所を設けて頂ければ老人も利用しやすく人との接触も増え元気に暮せるのではないのでしょうか。医療費消滅にもつながると思います。
自宅前まで、来てくれるバス。
瀬戸市を訪れた観光客が、一日で気軽に焼き物の歴史や体験ができるルートも作ってほしい。市民の生活を重視する事は重要だが、観光客目線でも考えてほしい。
市のお金を使ってコミュニティバスを運行しているのに、コミュニティバスが通らない地域の人がいるのはおかしい。平等にするべきだと思う。採算が合わなくても運行するべき！！
海上の森へ行けるバス。一日乗車券でスタンプラリー。土、日に道の駅「瀬戸しなの」へ行く買い物ツアー。
定光寺や、岩屋堂など、瀬戸でも遊べる所で、季節によっては駐車代がかかるような所へ、バスが運行してくれるなら乗ってみたい。(せともの祭、招き猫まつりなども。)駅(三郷駅)から少し遠いので、高校生の子供の帰りが遅くなる時に利用したい。
また名鉄バスを運行してほしいです。中心外に住んでいる人達の事をもっと考えてほしいです。

利用促進に関する意見
例えば、モリコロでイベントのある日は臨時便を出し、知らせる。名古屋ドームでの野球、豊田スタジアムでのサッカーなど観戦するのに駐車場が少なかったり、乗りかえが面倒なので、直行便があったり、臨時便で本数を増やすと、うれしいです。
土曜日と日曜日の割引キップ。乗り継ぎ割引。
平日は病院や銀行・郵便局をメインにし、お買い物はその残りの日数で稼働させ週末は、なるべく家族で送迎等を行い、お祭りや、イベント事の為にバスを有効的に活用すると良いと思います。費用の事を考えるのなら月に数回は週末の利用をお休みにするなどしても良いのでは？
夏休みや日曜、土曜、祭日は、モリコロパークへ行けるバスを運行したら、子供があそびに行けると思う。
夏限定でいいので、市民公園へ行くバスが欲しい。(子どもだけでプールへ行って、帰って欲しい。)子どもの頃から、活用していると、大きくなって親しみをもって、利用しやすくなるのでは？
飲食店、スーパー、ドラッグストアなどの割引きクーポンを乗車するともらえる。
瀬戸市中心部への集客イベントへの対応。公園、運動場での集客イベント実施。
月に1回、ミステリーツアーと題して、瀬戸市内の名所へ直行便を作り、その施設で施設PRイベントを実施して、瀬戸市内の名所をPRして行く。
駅を経由してバスを利用する人も多いと思うので駅周辺の店などのクーポン券を期間で提供する。(もちろんバス利用者限定のもの)
市民公園で大会←中総体など愛日がある時(たとえば土・日)はバスを運行してほしい。コミュニティバスが尾張旭などどくらべると地味なので、もっとめだたせる。(乗ってみたいと思うバスにする。)
女性半額デー
高齢化社会、高齢者が買い物、イベントに外出しやすい時間帯、ルートを検討し、外出しやすい、体験しやすい環境及びサポートを市町が協力する。まずはコミュニティバスの利用を体験してもらいアンケートを取る。
現在は車を運転できますが将来の不安を感じます。交通手段が無ければ、より地域の過疎化が進み、少子化、瀬戸離れが進みます。雨が降ると自転車通勤通学が減りバスの乗車率が増えるので梅雨時など期間限定で通勤通学時間帯の増便、穴田地方の交通手段(公共交通)時間帯限定など応用できると使いやすい。
犬などのペットがつれていける(乗っていける)バスがあれば良い。

モリコロパークでイベントが開かれる時など、駐車場がいっぱいになってしまうような場合に、シャトルバスがあると助かると思う。
家の近くから、モリコロパーク行きのバスがあると、イベントのとき駐車場が混んでいる為。
広告料(収入増)→バス車体、車内への企業広告、バス停名称へのサブタイトルとして周辺企業名を入れ、車内アナウンスをする。規模の大きい企業や地域製造業等とタイアップし、路線の中に「見学コース」等を組み込む。商店街、地域、公共等イベントへの集客、動員への結び付け。名鉄駅とのマッチング。
せともの祭の時に会場近くまでイオンからや中水野駅など名鉄線沿い以外からのバスがあると便利。
瀬戸の名所“観光地などを巡る”「ぐるりんバス」？を！！1日観光券を発売する。どこから乗って、降りても自由なバス！！「散策コース」「体験コース」「遊びのコース」etc…。「うまいもん祭」地元のごちそうを集めたり、近隣の参加も集め集客する！！
主に、高齢者のためのカラオケ教室、大会等のイベント開催。
菱野団地からリニモの駅に接続するバスが常時欲しい。朝活と称して、瀬戸市内の公園やパルティせとなどのバスで行ける施設で、ヨガやバランスボールなどの運動のイベントを定期的に行う。老人向けのものではなく、若い主婦層向けのイベントがbest！
主要な駅(電車、バス)と住宅地を結ぶミニバス(小型マイクロ、バン)を走らせるとお年寄りの利便性が高まる。高齢化対策として必要となってくると思う。
市民は車を保有し、車社会に慣れ切っている。車を使わない社会にする為、大胆な発想(停留場と本数増大・運行表の情報等) 利便性を実感させるべきである。
ウォーキング大会あるとする。で、海上の森付近まで行くバス。(臨時バス)
夏休みのスタンプラリーなど、子どもが参加できるイベント。
せともの祭、ひなめぐりなどのイベントに協力してバスストップをふやしたりコースを変えたりする自由さがあれば良いと思う。冬の市民マラソンの時には臨時便を出したり、子供たちの遠足や、社会見学にも利用させれば良いのでは？市内でも公共交通であるバスの本数が少なく通学で大変な思いをしている学生にも利用させる事も考えるべきだと思う。
瀬戸市内に魅力的な目的地になる場所が全くない。買い物、行政機関、病院が目的になっている以上、利用客は増加しようがないのでは？
土、日は菱野からモリコロまでの本数を増やしてほしい！！良い所があるのに子供だけで行き来し、利用したい！！
学生がより便利にバスを利用できるように学生専用のバスを作る。ダイヤも多めにする！！！！今学生は税金を払っていないのでなるべくそのバスを利用して少し割高な運賃にすれば市の負担も少しはやわらぐと思う。
「バスの日」をつくり、土曜日・日祭日を中心に、バスで行きたい人気あるコースを数コース(3～5ヶ所)用意して、広報せとで紹介し募ってみる。運賃は、200円(片道)←(市内コース)。マナカカードOK、回数券の発行。瀬戸市、隣接市で、まだまだ訪れていない所が多いので、バスを利用して行ってみたいと思います！
休日に公園やイベント会場に行けるバスを運行してほしい。せともの祭等、道の駅やモリコロパークなどで御当地グルメ(瀬戸焼きそば)などのイベントを行う。市役所や公園などで防災対策や救急救命指導などの訓練。住民とハザードマップを作成する。
観光向けに歴史深い場所を巡るバス企画。
乗り合いタクシー、SNSを使って利用を促進。
大きな場所でのイベント。公演(中途半端でなく有名人にする)。
親子連れで利用し数ヶ所バス停で降りてイベント(スタンプラリー)をすると景品がもらえる。(愛環・瀬戸電・バスグッズ??)。1日乗車券を特定のスーパーや薬品で提示すると割引を対象。
菱野団地の人口が多いのは、理解できるが、運行本数も路線数もかたよってないか？いまだ、昭和の時の人の多かったイメージをひきずっていると思う。そのリソースを他に振り分けるべき。モリコロパークイベントは多く行なわれます。それを使わない手はないです。モリコロまで長久手より近いかもしれないのに、電車を乗り継ぎしないといけなくて不便。
市内循環バス 東回り(赤津)、西回り(本地)、北回り(品野)、南回り(幡山)→現在は往復だけ 新瀬戸ー水野一品野ー尾張瀬戸→新瀬戸。駅から高校に行けるバス。アンケート協力粗品として、コミュニティバス乗車券、1～2枚を同封し、乗車体験してもらうなどの発想があってもいいのではないのでしょうか。
夏フェスみたいな音楽のイベント。
モリコロパークで催物がある日は瀬戸口(他でもよい)から直通バスを運行する。スタンプカードとか回数券を発行する。

瀬戸のグルメ、名産品を扱う店を周るバス。尾張瀬戸・新瀬戸からイケア直通のバス。瀬戸のパワースポット巡りバス（ガイドは和尚さんなどで有難い話を聞きながら）。
瀬戸の観光名所を巡回するバスを複数コース作り運行し、観光客が初めて瀬戸へ来た時でもこのバスを利用してもらい瀬戸を知ってもらえるチャンスを作る。バスのボディに企業広告を掲示し、企業からの収入を得る。バスの中での企業広告アナウンスをし企業からの収入を得る。
市内（及び市外含む）のバス網と時刻表を明示した地図の発行。
少なくとも熟年世代がみえる家庭に、路線バス、コミュニティバスの運行経路、主要バス停間の所要時間、時刻表と年に1回配布して、利用を促進してはどうか？
尾張瀬戸に集中しすぎている。新瀬戸や他の場所からも、市外に行けるようにすると、雪の日の渋滞緩和に役立つと思う。広報等で、路線図や運行表を掲示することで、周知され、利用を検討する人がいると思う。引越したばかりで地名がわからず利用が遠のいている。
私は、菱野住宅自治会の会長です。高齢者が買物難民になっています。各スーパーと提携して、1日2回位の巡回バスは？ ハイエース（高齢ドライバーの雇用増）→ピアゴ→原山→八幡台→萩山→菱野→緑町ピアゴ→菱野 バスの運賃は…50円位！！ スーパーの広告バスなので、企業イメージもUP！！
パーティーせとでビアガーデン。休日モリコロパークに行くバスを運行しそのバスを利用した親子に児童館、プール、スケートを値引きする。
道の駅やスーパーなど、「コミュニティバスで来ました」と証明できたらスタンプがもらえて、一定のポイントがたまったら割引券や金券として使えるようにする。
バスに広告をはって、駅でイベント（青空市場）とか割り引きサービスとか。（運行中にイベント案内外に放送）
バス居酒屋。
子供向け 市内をめぐるスタンプラリー（瀬戸の歴史やいいところを学べる）。バスで行く 定光寺ホテル観賞会。
子供達が安心・安全に公園などに行けるようなバスがあったら良いと思う。モリコロパーク限定で、ダイヤは少なくとも良いので。（行き3本、帰り3本とか）市内の施設も子供だけでバスで行ければ、もっと活用すると思う。
イベント開催にあわせ、運行本数を増やす。（広報「せと」に告知）
休日、祝日の特別ダイヤ、ルート。（公園、イベント会場など）
飲酒運転をなくす為に、鉄道等の駅からアルコールを提供する店舗の集まるエリアを経由する夜間のルート（運賃設定はupしても良いと思う）で運行し、しっかり広報すれば利用する人も増えそう。
ラッピングしたバス、電車を運行して人目を引き、マスコミ等に取り上げられると集客に繋がるのではと思います。広告費にもなる場合も考えられます。
長久手にできるイオンモールに行けるバスを運行して欲しい。瀬戸にイオンモールがほしい。長久手はどんどんお店も増え、遊びに行く人や住む人が増えている。イベントよりお店を増やしたら？
月に1回は、愛・地球博記念公園に直通で行くバスがあるといい。それを広報で前もって予告して、利用者をふやすといいと思う。
海上の森へ行けるバス。一日乗車券でスタンプラリー。土、日に道の駅「瀬戸しなの」へ行く買い物ツアー。
コミュニティバスを利用したウォーキング。
バスはのらない人や誰もものらないのに走らないといけないため、病院や、やすらぎ会館などから、イベントや、予約制のタクシー（ジャンボ？）に替えてはどうか？ 子供の行く施設には、土日や長期休みのみ、バスを運行させるのはどうか？
間14でも書きましたが、長久手市へ行く際に、一度名古屋の方へ行ってから戻らないと行けないのが不便なので直行で行けるようにしてほしいです。愛知淑徳大学や愛知学院大学、名古屋芸術大学などに通っている学生はたくさん利用してくれるようになると思います。
定光寺の労働研修センターを有効活用する！何かスポーツ（野球やラグビーなど）の合宿や試合が出来るようにして…県外からも人が集まる場所にしてバスを有効に運行させる！
モリコロパークへ行ける山口駅からの100円バス。
テレビ等の放映。
皆だれでも参加が出来るイベント。
空きタクシーの効率的な利用。シェアCar・シェアパーキングの活用（インセンティブの導入）。電話で駅や主要施設までの安価な利用ができるシステム（一人一人にあわせた場所へ定額で）公共交通インコール“バス”という考え方もとても大切だと思います！でも、交通弱者にあわせたあわせられるシステム作りを！ 会員制のウーバーのようなシステムの活用、全回路線バス、貸切バスのデザインを競うイベント。バスのデザインの募集・公募。瀬戸には公営バス発祥の地があるので、バスはなくさないでほしい。

車のボディを利用し、ルートや運賃を大きく標示し、走らせれば市民にもしっかりPRできると思います。MKタクシーみたいに、金色のコミュニティバス(幸せを呼ぶバス)を1台つくる。平日、昼間は、子供が多い地域にせとこまくんをバスに乗車させ、小さい子に乗ってもらえるようにする。お盆休みやお正月近くには、モリゾーが山に帰る風にする。
バブルランなど楽しめるイベントを行ってほしい。
イベントがある場合 無料バスを。
地域住民や隣接地より瀬戸市へ人々が行動可能な交通網を構築する為せともの祭に次ぐ観光客を呼べる(年間通じ)企画充実を図ってほしい。名鉄電車に犬山観光吊広告をみて感じた。
1日乗車券、週間乗車券、月間乗車券(定期券)年間定期券(乗り放題)。
月一、市内外周周遊バス(未知の道バス)。
コミュニティバスにイベント情報などもっと宣伝して利用したくなる情報を知らせられたら良いかな!
観光客向けの市内バスツアー。
乗り換えが必要にならない 同一線上で運行するバス。
乗り継ぎ割引。駐車場割引。商業、公共施設による「バス割り」チケット。警察による違反車(スピード、駐禁等)の取締り強化。
通勤に公共交通機関を使うように企業にはたらきかける。それに対応した路線の設定や、各企業の通勤バスを共同運行することが、一般人にも開放する等の取組みが、有っても良いと思います。
土曜日、日曜日等、瀬戸市内で開かれるイベント会場へのアクセスがあったら良いと思う。
障害者は無料、高齢者は無料、瀬戸でイベントをやる。
路線図(分かりやすいもの)や時刻表が配布されると、バスの存在も認識してもらえるし、使いやすいと思います。
普段バスを利用しない人にとって電車と違い乗ったらどこに向かうのか不安な乗り物だと思います。自分の家の住所、乗車地、目的地を入力するとどれくらい歩いてバス停に着き、何時のバスに乗れば目的地にどれくらいの時間に着くか教えてくれるサイトや、主要な(駅等に隣接する)バス停に検索機械が出来るとバスの利用が市民の生活にもっと入り込めると思います。
会社員をターゲットに、金曜日の夜だけ長距離バスを運行する。大型施設と提携し、土日の午前(行き)午後(帰り)を運行する。
近くにバス停がない人達のために、人数がある程度あれば自宅付近で利用者の人達をひろってそれぞれの目的地をまわって降ろしてもらえるようなタクシーとバスの中間のようなワゴン車のようなシステムがあると便利なのではないか…。
バス車内で著名人・市民の写真・絵画展をすると楽しい雰囲気になると思います。
居酒屋などへの直通バスがあれば飲酒をする人には便利。
窯めぐりツアー。
車を持っている世代はバスには興味がないので子供に媚びたイベントをやれば良い。バスと子供が好きそうなのをタイアップしたイベント等、トミカ、トーマス、ポケモン等 せともの祭のテナント料を下げて出店数を増やしてみようとする陶器屋に媚びない10代や20代がまた来たいかと思う店やイベントをすれば良い。
せともの祭の日等は人が多くさん出るので何か、公共の乗物で来た人へのイベントなど有ったら良いと思います。
品野に名古屋市内まで行ける電車の駅があって欲しい。大型複合施設があれば公共交通の利用が増えると思う。瀬戸ものをもっと広めていくようなイベントがあれば公共交通の利用が増えると思う。瀬戸ものを感じさせる駅周辺の街づくり。
バスツアー、日帰り、近場、安値。
路線図がわかりづらい。よってバス停も路線もわからない。普段使わないので路線を積極的に調べる。アパート暮らし。上記を踏まえ、チラシ、アパートの連絡板などでシンプルでわかりやすい路線図の案内があれば、バスを交通手段として、意識すると思います。
サッカー教室送迎、市民グラウンド、プール利用とか子供だけでも利用出来ると便利。
バスコン 市内在住の男女を募って市内の名所や食べ物屋を回る。移動中は車内の2人掛けシートを活かして隣り同士で仲を深める(時間を区切って入れ替わる)、ミステリーバスツアー など…。
土、日、はフリーきつぷを発行する。
夏休み、土、日と平日で運行数などを変更。スタンプラリー的イベントを行えば、家族層?通学、通勤利用につながるような路線とダイヤで家←→駅をつなぐバス。
乳児を育てているママのためのイベント。バスに乗せてあげたいが周りが気になり必要最低限で利用するのが現状。小さい子連れのママが、子どもと楽しめるイベントはどうか。

婚活パーティーなどをするバスなどがあれば、楽しいかも。1人2000円ぐらいでバスでデートがあれば、いいかも。男性(20代～60代)女性(20代～60代)。
一日バス乗り放題のスタンプラリーで瀬戸市内散策。
名古屋市の様にフリーパスがあると、皆が外へ出かける様にバスを運行してほしい。
ビアガーデンへ行けるバスの運行。(道の駅)飲んで帰れる時間までであると良い。
バスの中でしか出現しないレアなポケモンGO。
本数が少ないのは、生活手段にいれないのでは。系統を増し、左、右廻、隣接市のコミュニティバスと連携した乗継可能にする。昔の市電を購入し、タイヤによる路面バス改良で主路線を走らず観光に人をよべるのでは。
瀬戸の観光スポットをめぐる(巡回)ルートバスがあると良い。→「名古屋観光ルートバス メーグル」のようなもの。色々な企業と提携し、割引サービスが受けられる。→街の活性化にもなる！！
健康な人ばかりがのれるバスではなく、車イスやベビーカーが気がねなく乗車出来るスペースのある、またリフトカーみたい安全に配慮できるバスがあったらうれしい。
市民公園で月1～2回フリーマーケットの様な物を行い子ども用品、老人用品、不用品等の出店を募集して市内各所からバスを運行して利用者に1割引の券など発行してできるだけバス利用を呼びかける。
瀬戸市を訪れた観光客が、一日で気軽に焼き物の歴史や体験ができるルートも作ってほしい。市民の生活を重視する事は重要だが、観光客目線でも考えてほしい。
市内に魅力ある施設がない。又は知らない。もっとPRが必要では。
以前は名古屋市に住んでいましたが、名古屋市と比べて瀬戸市は規模が小さいので無理ありませんが、敬老パスの必要性が全く感じられません。敬老パスの受給年齢になったら名古屋へ転居しようと思っています。(老後の生活に魅力を瀬戸では感じられません。)もう少し改善されていくと良いのですが、魅力ある施設など。

<b>運行本数に関する意見</b>
例えば、モリコロでイベントのある日は臨時便を出し、知らせる。名古屋ドームでの野球、豊田スタジアムでのサッカーなど観戦するのに駐車場が少なかったり、乗りかえが面倒なので、直行便があったり、臨時便で本数を増やすと、うれしいです。
尾張旭の城山公園で夏祭りのある8月の下旬には臨時バスを運行して欲しい。
問. 17にも書きましたが森林公園、モリコロパーク等、どうしても車が運転しにくい状況(飲酒や、幼児、赤ちゃん、老人等)や、不特定多数の人達が集まる場所を絡めた運行本数や、ルートを検討してほしい。宝生寺の花火も含み。現在のコミュニティバスには、自分の生活には全く運営方針に理解ができません。
本数と時間帯の幅。
現在は車を運転できますが将来の不安を感じます。交通手段が無ければ、より地域の過疎化が進み、少子化、瀬戸離れが進みます。雨が降ると自転車通勤通学が減りバスの乗車率が上がるので梅雨時など期間限定で通勤通学時間帯の増便、穴田地方の交通手段(公共交通)時間帯限定など応用できると使いやすい。
自宅付近にコミュニティバスの停留所(のりば)があるが運行路線に使用経路が大変面倒であるため利用価値に欠ける。その場から行きたい所へ直に行ける路線がほしい。物体ないと思う。もっと、本数をふやしてほしいとも思う(名鉄)1時間に3～4本、日中1時～4時までの時間帯にふえると利用出来る。
65才以上と小学生迄の利用とし、もっと近くのバス停とコミュニティバスの本数をふやしてほしい。
瀬戸市民公園でイベントがある時にはバスを運行して欲しい。品野地区から水野地区へのバスの運行を…。しなの道の駅、企業団地、瀬戸北総合高校、イオン(瀬戸みずの店)など、行けるコースの運行して欲しい。(道の駅でのイベント、通勤、通学の足が欲しいです。)
土、日は菱野からモリコロパークまでの本数を増やしてほしい！！良い所があるのに子供だけで行き来し、利用したい！！
バス停(水南町)にとまるバスの本数を増やしてほしい。娘がマリア幼稚園に通っていますが、イベント時などは、公共交通機関で来るよう要望があります。(駐車場に限りがあるため。)しかしバスの本数が少なく、帰り1時間近くバスを待たなければいけない時があり、乳幼児をつれてそれだけの時間を待つのは厳しいです、もっと本数があれば、利用者も増えるのではと思います。(特に午前中)
ふだん市内を車で移動しているので、市内ではバスの必要性を感じないが、名古屋方面へ出かける時は、家から地下鉄や名鉄の駅までのバスがあれば良いなど、いつも思う。子どもが、のり物が好きなので、あそびに行く時、コミュニティバスを使ってみたいが、本数が少ないのと、子どものよくあそぶ所に行かないので、まだ乗ったことがない。ノベルティ子ども創造館行きのバスがあると、うれしい。



施設(病院、学校、金融機関、ショッピングモール)から、駅に向かう(または、その反対)バスが3~5分間隔で出ていると、非常に便利です。極端かもしれませんが、中途半端な便利さは、かえって利用しづらいです。
菱野団地の人口が多いのは、理解できるが、運行本数も路線数もかたよってないか? いまだ、昭和の時の人の多かったイメージをひきずってると思う。そのリソースを他に振り分けるべき。モリコロパークイベントは多く行なわれます。それを使わない手はないです。モリコロパークまで長久手より近いかもしれないのに、電車を乗り継ぎしないといけないって不便。
現在は土日祝のみ名鉄バスがモリコロパークまで運行していますが、高齢者にとっても利用しやすいように、毎日運行を望みます。リニモも利用できるし行動範囲がグーッと広まり大変便利になると思います。瀬戸市内だけにとどまらず身近なすばらしい施設は大いに利用して健康的に過ごしたいと思います。
自家用車やタクシーしか行く手段のない、飲酒できる施設(スーパー銭湯など)の前にバス停があると助かります。平日も愛・地球博記念公園駅へ行く路線があると助かる。(土日はずっと本数があると助かる。)リニモをもっと活用したい。リニモ自体は便利だけど駅までの移動手段がない。(不便)
名鉄バスが1時間に1本も無い不便さで、利用者が少なくなっていく悪循環だと思います。もっと本数を増やせば、利用者も増えると思います。コミュニティバスは、家の近くを通らないので、1度も利用した事が有りません。不公平です。
長期の休み(子供の夏休みなど)や土日はモリコロパーク行きの本数を増やしてほしい。
市内の病院に勤めております。当院の患者様たちがよくバスを利用している声を聞きます。その際「本数が少ない」とか「1時間に1本しかない」とあせっている患者がいます。患者の為に本数を増やしていただくと、うれしいです。そして、バスの路線はわからない人がかなり多いので、なにか冊子を作って市民や病院などの施設に配布すると、便利かなと思います。
森林公園、モリコロへのバスの本数が少ない。
利用者が安定しているルートは毎日運行してほしい。
土日祝 市民公園へ行くバス(本数をふやして)。
土日・祝日は公共施設の近くのバス停の本数を増やす。
通勤通学の時間バス増やす。
今は車を運転しているが、高齢化して運転しなくなる人が急激に増えると思う。その時の為に存続して、利用に応じて本数を増やす方向でいてほしい。
平日、日中の各方面からの運行回数を増やしてほしい。(陶生病院に通院している患者さん達からよく聞きます。)陶生病院を行き来するのにバスの数が足りないそうです。
瀬戸市などの都市ですと、成人1人当たりの自動車保有台数が多いので大抵の地域へは、車で移動してしまいます。ですので、車を使えない移動、名古屋市への移動のため、駅へ向かうコミュニティバスの本数が多くなればと思います。
イベントの時に、バスの本数を増し、10分に1本バスが出るとかなら、待ち時間も少なく乗車率も上るのではないのでしょうか?
コミュニティバスの本数を増やす。バス停を増やす。
徒歩5分圏内にバス停が有り、10分に1本運行があれば利用すると思う。
瀬戸市でも市役所近くや新瀬戸近くはバス停がたくさんありバスをひんぱんに通ってて便が良いが、少しはなれると便が悪すぎる。便が良い所は年齢の若い人が多く住んでいて車で出かけるが、年寄りの多い町内には、バスの便が悪く出かけられない。バスの本数や路線をもっと年齢の高い人よりに考えてほしい。
根本を見直すべきです→路線バスとの折りあいはずかしいと言われるかもしれませんが、そこは行政の仕事です。結局困るのは高齢の弱者の方々ですので。コミュニティバスを利用したいのですが、一番のネックは本数が少ないことです。本数をふやすなら利用者ふえます。路線バスがあるのでは?と言われますが、路線バスの利用者は朝、夕のみ(ほとんどが)です。昼間の路線バスはやめて、そのかわり、コミュニティバスを増発するなら利用しやすいです。←昼間に路線バス経路をふやすといいと思います。私たちのニーズは、そこです。毎日の利用をふやすことが大切です。イベントもいいけど、イベントは、年に何回かのことなので…。→長久手(Nバス)や、あさび一号は、その点、上手に考えています。(結局、生活に密着してないとダメです。)瀬戸も、路線バスがあるからではなく、折あいつけて運行するしかないのでは?
休日にバスや電車の本数を増やす。
通勤・通学の時間帯だけで良いので、上品野(発)行きの名鉄バスの本数を増やしてほしい。6~8時まで、17時~程度で良いので。
夏休み、土、日と平日で運行数などを変更。スタンプラリー的イベントを行えば、家族層? 通学、通勤利用につながるような路線とダイヤで家←→駅をつなぐバス。

15分に一本バスを運行してください。
愛・地球博記念公園へのバスの本数をふやして欲しい。今は自動車を運転して買物や病院、公共施設などに行けるけど、いつかは運転出来なくなります。その時にはバスは利用すると思います。
瀬戸蔵などでイベントがある時に臨時で運行する。スーパーなどが近くにない地域は週一くらいでスーパーや病院(陶生病院など)に行けるバスの運行。
年間を通じて近隣市などの臨時運行してほしい。例えば花火とかお祭りとかの行事などの時。
本数が少ないのは、生活手段にいれないのでは。系統を増し、左、右廻、隣接市のコミュニティバスと連携した乗継可能にする。昔の市電を購入し、タイヤによる路面バス改良で主路線を走らず観光に人をよべるのでは。
こうはん線が4月から新しくなったので、自宅近くにバス停もでき、車の免許返上した場合とても助かると思う。先月も陶生病院まで家族が利用したが、まるでタクシーのように快適だったと言う。帰りのバスが14時台しかなかったので暑いなか新瀬戸駅まで歩き、電車に乗ってまた水野駅から20分歩いてきつかったそう。高齢者のために1時間に1本はがあると助かる。
敬老バスの導入(名古屋からの移住者は特に想う)。路線・運行本数の拡大。
車の運転が出来なくなるとバスを利用するので今より本数を増してほしい！！
もっと、どこでも利用できる、場所、本数が必要。私共の町内にはコミュニティバスが通っていない。とても利用したくてもできない。
市内への路線をもっとふやしてほしい。
最高でもバスの料金を400円以内におさえてほしいです。本数も、昼間は1時間に1本しかないの、朝夕は10分～15分に1本、昼間は20分に1本は運行して下さい。

バスサービスに関する意見
時刻表、路線図を分かりやすくする。バス停に現在のバスの位置情報を表示。京都のバス路線は分かりやすいので参考にする。
コミュニティバスを最もアピール、広報してほしい。市の主要ご楽施設を巡回するバスがあると良い。
どんな施設が近くにあるかアナウンスしてくれるバス。尾張瀬戸駅で行われる祭を増やす。バスの時刻表(よく見えるもの)を駅に設置してほしい。尾張瀬戸駅についたら次の電車の時刻をアナウンスしてくれるバス。
コミュニティバスを団地の外周でなく公民館前等団地内に2～3ヶ所バス停を作れば高齢者の方達をもっと利用すると思う。
名古屋市、長久手市、などと組んで、コミュニティバスなどを運行してほしい。ブザーを押したら降りたいところで降りしてほしい。手を上げたら路線上の乗りたい所で乗車したい。(昔の田舎バスのように)
コミュニティバスについて、マナカを利用したサービスを提供して欲しい。利用する毎にポイントを付与して、貯まったらバス代を無料にするとか、商品に交換できるようにするとか…。
せともの祭、ひなめぐりなどのイベントに協力してバスストップをふやしたりコースを変えたりする自由があれば良いと思う。冬の市民マラソンの時には臨時便を出したり、子供たちの遠足や、社会見学にも利用させれば良いのでは？市内でも公共交通であるバスの本数が少なく通学で大変な思いをしている学生にも利用させる事も考えるべきだと思う。
ふだん市内を車で移動しているので、市内ではバスの必要性を感じないが、名古屋方面へ出かける時は、家から地下鉄や名鉄の駅までのバスがあれば良いなど、いつも思う。子どもが、のり物が好きなので、あそびに行く時、コミュニティバスを使ってみたいが、本数が少ないのと、子どものよくあそぶ所に行かないので、まだ乗ったことがない。ノベルティ子ども創造館行きのバスがあると、うれしい。
タクシーの様に簡単に止めて乗車できるバス。
市内の病院に勤めております。当院の患者様たちがよくバスを利用している声を聞きます。その際「本数が少ない」とか「1時間に1本しかない」とあせっている患者がいます。患者の為にも本数を増やしていただけると、うれしいです。そして、バスの路線はわからない人がかなり多いので、なにか冊子を作って市民や病院などの施設に配布すると、便利かなと思います。
地域が開催する行事に運行して欲しい。
自由な所で乗降が出来る。
自宅前もしくは近くの施設前にて、手を上げれば乗れるバス。
個々の家にバス停の位置及び現状運行時刻表を配付し、時間内に必ずバス停に到着するようにする又、停止から2～3分位たいきして欲しい。

バス停でなくても、乗り降りできる(バス停～次のバス停迄の間があきすぎのため)路線ならどこでも乗り降りできれば、利用者増えると思いますが。
バスでは無いですが、シルバーさんが体の不自由な方や高齢の方への送迎サービスなどがあると良いと思います。
コミュニティバスが1日5往復で路線バスとの接続があまりよくないので大変利用しづらい。特に品野は、1台の車で三方向に運行し、始発と終点の場所が入りみだれていて時間のロスも多い。特にバスセンターへの回送はやめられないか。また、できればAM8:00～10:00とPM3:00～6:00ごろまでは1時間に1本運行できないでしょうか。岩屋堂線での下車のみ、希望する所で下車させてほしい。
自動運転バスの導入、自宅近くでの乗降を可能とする。各施設の玄関まで送る。
介護補助員が、同乗しているコミュニティバス、乗り降りが楽になるし、時間短縮にもなる。介護補助員は、シルバー人材センターから、派遣して、コストをおさえる。瀬戸駅から雲興寺経由、猿投神社行きのバス(登山ブーム)。
バスを利用する方に手荷物の確認をしてほしい。よくバス停に忘れ物があるから(つえなどわすれ物)アナウンスなど。
公共交通(バス)などが運行している地域はコミュニティバスは運行されないですか。
子供がいる方の為に公園や育児施設を回るバスがあるといいと思います。ベビーカー利用もしやすいと嬉しいです。
事前に連絡がしてあれば自宅付近の目印になるような施設に迎えに来てもらえると、不自由のある方や、高齢者は利用しやすいのでは？もちろんタクシーではないので障害者手帳などを持っている、月に2回までなどの制限は必要だが。交通手段が無く、自宅にこもっているような方は、外に出るきっかけになりそう。基本的に瀬戸に住んでいる若者は(22才以上)車を利用するので、利用を促すのはなかなか難しい。なので、通勤や高齢者に密着したサービスが必要かと思います。休日には家族向けの行き先付近に行くようなルートがあると、小さな子供のいる家族には楽しみになると思います。
バス停がじみすぎて分かり辛い。バスの全体の運行ルートなど経由地までの案内表示がなく、どこから乗れば良いのか分かり辛い。目的地まで行けるのか定かでない為各バス停にルート案内板の表示。曜日別運行のバスの廃止。近くに勤務先があつてバスを利用したくても毎日運行していないと利用できない。
市内にアクセスする名鉄、コミュニティバス、愛環線等全ての交通機関について、65才以上の年齢者は年間5000円を払い、フリーパス券を発行し、市内に準ずる一定の区間を設け、フリーパス範囲を設定して、自由に乗降できる制度を設ける。
今は、まだ大丈夫ですが、年令が行き病院通いが出るとバスがないと、不便だと想います。今住んでいる所は、バス停も近いし、便利です。出来たら、コミュニティバスのバス停も近くだったら利用したいですが…。どこを走ってるかも、知りません。
運行状況がわかるようにする。
巡回バスでいつでも、どこでも、手を上げ乗れる事。
子供達が利用出来る様にして欲しい。
利用者が、実際どれ位あるのか？常に乗客がいる状態であるなら意味があるとは思いますが、ガラガラでただグルグル回っているだけであるならば、タクシーのように利用したい人が呼んで、目的地まで行く等、ムダを省いて更にきめ細かなニーズに対応できたりしたらどうか？
現在コミュニティバスは運行されていますが、ルート、乗車位置、時刻がわからないようになってるので利用したくても利用できません。もっとオープンにして誰でも利用し易くするようにしてほしいです。
高齢者、独居老人、傷害者の方々の為にスーパー等への買物往復バス運行或はスーパーへの宅配サービス依頼などいかがでしょうか。
学生の頃スクールバスを利用するため藤が丘まで行って使っていたが遠まわりになるため古戦場から出ているのを利用できればいい(後輩たちのため)。
夜、飲食店から帰宅するバスがあれば利用したい。バス、電車は路線が定まっっていて、不便な面がある。乗合タクシーのようなものはあるのか？
乗車した時に下車するバス停を入力できるシステム欲しい。(タクシーの様に～でおりますみたいな。アナウンスを聞き逃さないかと緊張してなくて良い。)バス停でバスを待つ間に入力できるシステムでも良い。
利用することでポイントがたまり、市内のスーパー、ドラッグストアでポイントが使える。→そのためにはスーパーなどにバス停があると良い。
コミュニティバスが通っている事を多くの人に知ってもらうべきで、自分の住所が通っているかもわからなければ利用しようがない。地区や住民が協力してもっとハッキリわかる用にしていけば、老人がもっと助かると思う。
路線バス、コミュニティバスの路線図、運賃、時刻表その他交通の乗継ぎ案内が分かりやすく調べられるようなインターネットサービスやアプリ。分かりやすくまとめたものを広報に入れてほしい。バス停にある施設の紹介。
インターネットで予約で運行。

予約制で、自宅の近くまで来て頂けると有り難い。(コミュニティバスの本数が一日一、二本では利用したくても、できないので。)
自宅前まで、来てくれるバス。
男女別バス(男女間のトラブルが起こる可能性を無に近くまで無くせると思う)。

バス停に関する意見
バス停の区間をもっと、みじかくしても良いと思う。郊外に出たら、自由に乗り、降りが出来たらと思う。もう少し、小型のバスでも良いと思う。
名古屋市、長久手市、などと組んで、コミュニティバスなどを運行してほしい。ブザーを押したら降りたいところで降ろしてほしい。手を上げたら路線上の乗りたい所で乗車したい。(昔の田舎バスのように)
買い物に行きやすいようスーパー・商店街近くで乗降できるとありがたい。曜日設定でかまわない。
高齢になって来た為、健康教室に行ったり、他の人との交友を広めるためにも自宅から歩いて5分位のバス停から通える場所へ行けると便利！ 西長根町に住んでいますけれども、やすらぎ会館や公立陶生病院へ行くバスのルートがなく困っています。
色々なところを通り、手軽に乗れると良い。家から近いと良い。
65才以上と小学生迄の利用とし、もっと近くのバス停とコミュニティバスの本数をふやしてほしい。
上記例のバス、切実です。新郷町からはかなりのりかえをするしかないので自分で運転して行きますが…。路線バスの赤重と赤重北はすごく短い距離、その次の幡野がとても遠い…。コミュニティバスのバス停がたしか歯医者さんか家電屋さんの近くにあったと思うのですが、その辺りにバス停を作るか赤重北を移動してほしい。遠いし、坂の上の方(幡野町+新郷町エリア)の人からすると赤重北は「？」と思います。赤重からわずか1分ですけど？って。信号1つ越えてすぐって歩けるし割とまだ平坦ですよ？ちゃんと土地見てバス停もうけてます？地図だけ見たんじゃないの？と。まあ、バスは坂道やカーブだと困るでしょうけど、それは利用者としてもあれば「ありがたい！」「助かる！」「自動車・自転車・徒歩が難しい時(ケガや雪など)に使えるルートがある。」の安心や不便解消の一つです。上り坂、下り坂実際に体感して頂きたいです。
停留所ではなく、区間内であればどこでもピンポイントで停まってくれるバス・終電後に運行している深夜バスがあると良い。
自宅は坂の上ですので、坂の上まで上がって来てもらおうと便利になる。
十軒町ではコミュニティバスのみの運行ですが、バス停が町の東外れにあり、遠い方では約1Kmの移動を余義なくされて居り、特に足腰の弱い御老人では移動に無理があります。バス経路を町内を通る様に変更され、バス停を2ヶ所程度増して頂きたい。
自家用車やタクシーしか行く手段のない、飲酒できる施設(スーパー銭湯など)の前にバス停があると助かります。平日も愛地球博記念公園駅へ行く路線があると助かる。(土日はもっと本数があると助かる)リニモをもっと活用したい。リニモ自体は便利だけど駅までの移動手段がない。(不便)
通る道だったら、途中でおろしてくれるバスがほしい。
孫といっしょにあいち海上の森センター主催のイベントに参加したいのですが、とても不便です。直近に停留所をもうけて欲しい。公共の文化施設前には止まるべきです。
萩山台の5丁目付近はバス停がなく、坂道もきついので、高齢者のために、コミュニティバスを運行してほしい。
コミュニティバスは一度も利用した事がありません。何故かというバス停がどこにあるか分かりません。原山台から離れた所とか遠くにあるので利用しにくいです。出来れば団地の中に入って来てほしいです。
バス停がじみすぎて分かり辛い。バスの全体の運行ルートなど経由地までの案内表示がなく、どこから乗れば良いのか分かり辛い。目的地まで行けるのか定かでない為各バス停にルート案内板の表示。曜日別運行のバスの廃止。近くに勤務先があってバスを利用したくても毎日運行していないと利用できない。
自宅からバス停まで距離が有り、利用をためらう。ルート、バス停、時間などのPR不足。
ベンチや雨風を防げる屋根をバス停の近くに設置して欲しい。
バス停以外の場所で下車出来る様にする。
近くにバス停がない人達のために、人数がある程度あれば自宅付近で利用者の人達をひろってそれぞれの目的地をまわって降ろしてもらえようようなタクシーとバスの中間のようなワゴン車のようなシステムがあると便利なのではないか…。
全ての路線を乗り降りを自由にした方が、足の悪い方、老人、子供達の使いやすくなると思います。家から遠いバス停だと負担になりますし。

モリコロパーク行きのバス(土日祝、夏休みなど)子供も気軽に行けるようなのがあっていい。バスは停留所がありすぎて、つつい利用をためらうので特急や、急行(主要←→主要)があると良いと思う。
コミュニティバスの本数を増やす。バス停を増やす。
徒歩5分圏内にバス停が有り、10分に1本運行があれば利用すると思う。
バス停以外でも降りれると良い。
前もって予約すれば、もっとすみずみの箇所を回ってくれる。高齢になればなる程バス停が近くにないと利用できないので、そういう人達の為にバスを走らせて欲しい。
通勤・通学で使える時間帯から近くて、バス停がたくさんあるコミュニティバスみたいなのがあってうれしい。
夏と秋は岩屋堂へ行くバスを増便しては。それと品野バスセンターからではなく尾張瀬戸駅を発着地にしてほしい。
とりあえずバスのダイヤとルートってどこにありますか。
団地などの中ではバス停の間かくをもっと短くして欲しい。
バス停以外でも、下車、降車ができる交通バスが来てほしい。
菱野団地も50年前後の月日が経ち、今は住民の高齢化と共に住宅も空家が目立って来ました。それと共に路線バスも減り病院や買物も不便になり困っている人が多勢です。コミュニティバスも団地内には入っておらず利用した事はありません。団地の外周部と中心部に停留所を設けて頂ければ老人も利用しやすく人との接触も増え元気に暮せるのではないのでしょうか。医療費削減にもつながると思います。
宝ヶ丘から萩殿間で、乗降できるようにしてほしいです。団地のバス停までが遠い(坂道が多いため、大変です)。
バス停がなくても、手を上げれば乗れる様になれば良い。
アピタ前にバスの駅がほしい。
ルート内なら手を上げたら止まってくれると良い。
・コミュニティバスを団地の外周でなく公民館前等団地内に2~3ヶ所バス停を作れば高齢者の方達がもっと利用すると思う。
益利目的の商業施設にバス停をおくとき協賛金をとる。そのことでバスの運行費の市の負担を減らす。

運行時間に関する意見
本数と時間帯の幅。
高齢化社会、高齢者が買い物、イベントに外出しやすい時間帯、ルートを検討し、外出しやすい、体験しやすい環境及びサポートを市町が協力する。まずはコミュニティバスの利用を体験してもらいアンケートを取る。
週末~休日に瀬戸市内~藤が丘駅間で夜遅くまでバスを走らせてほしい。(最終バス24:00着頃まで)
自宅付近にコミュニティバスの停留所(のりば)があるが運行路線に使用経路が大変面倒であるため利用価値に欠ける。その場から行きたい所へ直に行ける路線がほしい。物体ないと思う。もっと、本数をふやしてほしいとも思う。(名鉄)1時間に3~4本、日中1時~4時までの時間帯にふえると利用出来る。
通勤、通学のアクセスに重点を置いてほしい。
通勤、通学の時間帯、朝6時~8時、夕方5時~8時台のバスを充実して欲しい。電車とバスの乗り継ぎを考えて欲しい。電車が到着する時間帯に、バスが発発するのはどうかと。乗車拒否しているかの様な現状です。
時間の早い出発がほしい。(たとえば、7:30出発など。)仕事へ行く人にはちょっと遅いのでは?
運行本数は少なめで深夜に運行をして欲しい。飲酒運転を無くするのが目的。
土曜日と日曜日は、森林公園に行けるバスを運行して欲しい。モリコロパークも。始発時間、最終時間を役所時間から生活時間に変更。病院やスーパーあるいは市施設での滞在時間を考慮した利用しやすいダイヤ導入本数増。土日祝日には、お祭りの際の臨時バスのような運行経路導入(窯めぐりや施設巡回等)、夏場の岩屋堂、秋の岩屋堂・定光寺行きなど。今は、仕事や買物に徒歩や自転車でも用を足すことができるため、バスの必要度も低いですが、今後、年を重ねると必要になると考える。交通弱者の視点でのコミュニティバスの運行をお願いします。(始発最終、間隔等) 路線バスとコミュニティバスの合体も検討を!
スーパー等昼間の時間だけ運行でも良いので品野から水野・長久手・菱野とかあったら中・高生はうれしいかも。
金、土、日だけでも終バス時間を終電に合わせてほしい。
コミュニティバスが1日5往復で路線バスとの接続があまりよくないので大変利用しづらい。特に品野は、1台の車で三方向に運行し、始発と終点の場所が入りみだれていて時間のロスも多い。特にバスセンターへの回送はやめられないか。また、できればAM8:00~10:00とPM3:00~6:00ごろまでは1時間に1本運行できないでしょうか。岩屋堂線での下車のみ、希望する所で下車させてほしい。

近年、名古屋駅に通勤する人が増えているのに、品野から中水野駅へ行く路線バスがない。コミュニティバスはあるが始発が遅すぎて朝の名古屋駅直通(中水野駅7:50発)に間に合わない。もし中水野駅7:50に乗継ぎできれば毎日、コミュニティバスを利用します。
自宅からバス停まで距離が有り、利用をためらう。ルート、バス停、時間などのPR不足。
高校生が部活後に利用する為、遅い時間の運行も考えてほしい。
会社員をターゲットに、金曜日の夜だけ長距離バスを運行する。大型施設と提携し、土日の午前(行き)午後(帰り)を運行する。
ルートを片道一路線ではなく、往復にして、乗車時間の短縮をして欲しい。(コミュニティバス)行きはよいよい、帰りは長い〜。どのルートでも、陶生病院へ行けるようにすれば、利用が増える。(朝、早めの始発にしないとダメ。8時前に着ける時間が必要。)
バスを実際に利用している人の利用目的に合わせて運行経路や運行時間帯を絞り込んで、運行すべき。朝、夜は通勤路線のみ、昼は病院など高齢者用路線のみ運行するなど利便性で利用者を増やすことができるのは、多分通勤通学目的だけであり、それには、その時間帯の本数増と駅までの時間短縮しか、あり得ないと思う。イベントなどでバスの利用を増やすのは無理。
通勤・通学で使える時間帯家から近くて、バス停がたくさんあるコミュニティバスみたいなのがあってほしい。
とりあえずバスのダイヤとルートってどこにありますか。
土・日は、早い便を出す。
通勤・通学の時間帯だけで良いので、上品野(発)行きの名鉄バスの本数を増やしてほしい。6〜8時まで、17時〜程度で良いので。
バスの集合乗換を連結よくして下さい。一方向だけではね…長久手市のように市役所とか瀬戸駅とか…で乗替えられる、もっと考えて下さい 一路線では?もう少し自分達で使ってみて下さい!
金曜日は、終電で帰ってきて乗れるバスがあってほしい。
個々の家にバス停の位置及び現状運行時刻表を配付し、時間内に必ずバス停に到着するようにする又、停止から2〜3分位たいきして欲しい。

運賃に関する意見
行く所につれて行ってくれるバス。もっとこまかく走ってほしい。料金がいるからみんなのらない。無料にすれば利用する人もふえる。そのくらい税金(市税)でまかなえるのではないかな。もっと市民の声をきいてほしい。市民のためにつかえば、だれももんくも言わないと思う。瀬戸と市内の方ばかりじゃなくてこっち(山の田、坊金、井戸金)など、はなれたところのこともかんがえるべきです。バスや電車なんでもってのほかで、学校に行くにも1時間も歩かなければならぬいどんだけイナカなのか、かんがえてほしい。
名鉄瀬戸線の乗車賃より安くして栄まで1週間に1回位バスを運行してほしい。
バス路線で自由に乗り降りできる。(バス停以外)でも駐車場の確保。
コミュニティバスは行く場所によって運賃を変えても良いと思います。長久手イオンモールやござらっせに行けるバスを運行して欲しい。コミュニティバスですが石田町から瀬戸駅まででなく、新瀬戸駅にして欲しい。新瀬戸駅の方が施設がそろっていて便利です。新瀬戸駅だったら利用したい。
名古屋の市バスみたいに運賃が決まっているとバスも乗りやすい。どこまでがいくらなのか乗らないとわからないからバスはキライです。ストップボタンもおしにくいし前にいないとおりる時もたつきます。
目的地へ行くために乗りかえが必要になりますが料金は乗りかえるたびに100円ではなく目的地まで100円で行けると良いと思います。
未成年の乗車料金を割安にする。
名古屋市のように老人割引をしてほしい(瀬戸市美術館のように65才以上)。
文化センター(瀬戸市美術館)・陶磁美術館→モリコロパークなど、イベントの有無関係なく、いくつかの施設を経由できる、路線バスがあると、1日で色々な所へ出掛けられて楽しいのでは?その際一日乗車券があると尚更良いですね!!(名鉄バスの運賃が少々高い気がします)一日乗車券購入の場合、入館料割引や特典などあるとうれしいです。
バスを利用するのは、高齢者、小さい子供を持つ親です。コミュニケーションをとれる場に行けるバスが100円〜200円であればたくさんの方が利用すると思います。池田町には大きな公園がなく、交流もできないので、モリコロパーク・森林公園等行けたらとてもうれしいです。
数百円で1日バス乗りほうだいキップetc。

障害者は無料、高齢者は無料、瀬戸でイベントをやる。
名古屋市のよう、半年or一年間乗車できるフリーパスがあると良いと思う。
回数券制度。コミュニティバスに体重制限(飼い主のヒザにのる程度)をもうけ、犬の散歩帰りに乗る人をつくってもよいと思う。(もちろん、犬も100円とる。)
土曜、日曜にモリコロパークに行けるバス。春雨墓地に行けるバス。(菱野団地又は瀬戸駅より)名鉄バスとコミュニティバスの値段の差をなくして欲しい。(名鉄バスのある地域だからとコミュニティバスの運行がない。名鉄がなければコミュニティバスが走り、値段も安い。)
年金のみの高齢者、70才以上とかの方の無料にしても良いかと思う。土、日は若い家族が利用出来るようモリコロパークまで行けるようにして欲しい。
コミュニティバスは必要でしょうか。市役所、支所、病院、瀬戸蔵を利用する足ならともかく、スーパーめぐり、食堂めぐりシニアの遊びのバスなら100円では安くないですか。先日は満員で乗れなかった人のために運転手さんがタクシーをよばれたそうですそれも100円ですか。
敬老パスの導入(名古屋からの移住者は特に想う)。路線・運行本数の拡大。
最高でもバスの料金を400円以内におさえてほしいです。本数も、昼間は1時間に1本しかないので、朝夕は10分～15分に1本、昼間は20分に1本は運行して下さい。

<b>交通弱者のためにバスは存続すべきという意見</b>
やすらぎ会館への運行バスは、手続き済の条件のようですが、福祉についての思いやりから遠く感じています。如何でしょうか。図書館が坂の上であり、文化不毛都市になりかねます。市内の平地に移転予定を考え、その上でバス運行を希望・バス運行は弱者いじめにつながらないような配慮を！車運転者を中心とした考えが多分にあると思われしますが…。
高齢化の今、とりわけ市の巡回バスの意義は、大きくなっています。中心部からはなれたところまで、網の目のように配置されることを望みます。そのための税負担があっても、それは必要なことと考えます。たとえ、赤字路線があっても簡単には廃止することなく、存続の方法を考えたいと思います。郵便がへき地も都会も同等のサービスがあるのと同じだと思います。瀬戸市の発展のため、いっしょに考えたいと思います。ご苦労さまです。
高齢者にやさしいバスの導入。
私は、菱野住宅自治会の会長です。高齢者が買物難民になってます。各スーパーと提携して、1日2回位の巡回バスは？ハイエース(高齢ドライバーの雇用増)→ピアゴ→原山→八幡台→萩山→菱野→緑町ピアゴ→菱野 バスの運賃は…50円位！！スーパーの広告バスなので、企業イメージもUP！！
土曜日と日曜日は、森林公園に行けるバスを運行して欲しい。モリコロパークも。始発時間、最終時間を役所時間から生活時間に変更。病院やスーパーあるいは市施設での滞在時間を考慮した利用しやすいダイヤ導入本数増。土日祝日には、お祭りの際の臨時バスのような運行経路導入(窯めぐりや施設巡回等)、夏場の岩屋堂、秋の岩屋堂、定光寺行きなど。今は、仕事や買物に徒歩や自転車でも用を足すことができるため、バスの必要度も低いですが、今後、年を重ねると必要になると考える。交通弱者の視点でのコミュニティバスの運行をお願いします。(始発最終、間隔等) 路線バスとコミュニティバスの合体も検討を！
将来、車にもものれず、自転車にも乗れなくなった場合の事を考えると、お買物難民になりかねませんので、スーパーまで短時間で運行して頂けるバスが欲しい。
現時点では、公共交通機関が大変使いづらい為に自家用車の利用が多いですが、子供が通学時に使えるバスがあったらいいなどは思った事があります。又、自分達が年をとった時に車の代わりとなる手段は必須かと存じます。車社会からの脱却は難しい事と思いますが、少しずつでもうまく移行できていけたらと希望をたくしたいと思います。バスであちこち活発に移動する高齢者が増える事で医療費が抑える事につながればいいなと期待したいです。皆が年をとるのでありますから。
今は、まだ大丈夫ですが、年齢が行き、病院通いが出るとバスがないと、不便だと想います。今住んでる所は、バス停も近いし、便利です。出来たら、コミュニティバスのバス停も近くだったら利用したいですが…。どこを走ってるかも、知りません。
今は車を運転しているが、高齢化して運転しなくなる人が急激に増えると思う。その時の為に存続して、利用に応じて本数を増やす方向でいてほしい。
近い将来(免許)返納する時期が来ます。そのあとは、やはり公共の乗物がないと生活が成り立たないように思うので、なくなってほしくはないです。

これから高齢者の方や、運転免許証を返納した方が増えていくと思うので、その方々の利用しやすいバスならば利用が増えてくると思います。
高齢者にはバスは最高の足です。私はまだ自家用での移動ですので瀬戸市がアイデアを出して下さっても利用する事はないでしょう。
現在移動は一番目に自家用車です。でもこの先高齢になり必要になると思います。
今は、まだ自分で車も運転でき、出かけられますが、何十年かしたら、お世話になると思う。廃線にならぬよう、維持について、もっと考えていかなければならないと思う。一番は利用する事です。

### バス車両に関する意見

コミュニティバス(こうはん線)の花柄の模様を少なくして、もっと外が見えるようにしてほしい！車内が暗く、外が見えないので、車酔いしてしまいます。広々明るい車内希望！！
バス停の区間をもっと、みじかくしても良いと思う。郊外に出たら、自由に乗り、降りが出来たらと思う。もう少し、小型のバスでも良いと思う。
平日は企業団地へ行くバスがほしい。朝と夕方だけで良いので。バスを大きいのにして、時間を朝、昼、夕にしたらいいと思う。今のバスだとお年よりが多くのもっており、きゅうつかんがあるので若い人はのりにくい。アンケート答えた人に粗品プレゼントしてほしいです。答える意欲が違うと思います。
坂道のある所に小型コミュニティバスがあると高齢者や足の悪い人には(狭い道)良い。コミュニティバスを広域にほしい。タクシーは高価。
藤ヶ丘―新瀬戸直通の電車がほしい。乗客が少ない線は、小さいバスにする。高齢者用、乗合い予約タクシー(ワゴン)病院、スーパー、市役所行。
他の市では、ワゴン車ではなく、ミニバスで各市のゆるキャラをアピールしているので、スポンサーをつけてバスをアピールすると良い。ワゴン車は、狭くてのる気になれない。子供たちの部活の試合に活用できるような運行も希望します。
コミュニティバスでも午前中、2本、中間より乗りたくても9名で乗れなかったらタクシーですけど20分程は待っていないではいけませんので20名～25名乗りのバスにしてほしいです。
路線バスを大型から中型にすれば、経費節減になりませんか。
市のコミュニティバスは他の都市(春日井、小牧、長久手等)と比し地味で小さい。もっとカラフルなカラーにしたらと思います。
コミュニティバスをもっとバスらしいものにしてほしい。バスなのか普通のどこかのワゴンなのか区別つかないため、乗るのが抵抗ある。尾張旭市のコミュニティバスの様に明るく清けつ感のあるバスだと、もっと便利に積極的に利用出来ると思う。
コミュニティバスを中型にして、もっと(外観など)目立つようにしてください。
ラッピングバスを走らせて広告収入を得る。
コミュニティバスに降車ブザーを付けて欲しい。
コミュニティバスがバスっぽくなく、年寄りくさいので人気がないと思う。

### 公共交通としてバスは存続すべきとする意見

現在は車を運転できますが将来の不安を感じます。交通手段が無ければ、より地域の過疎化が進み、少子化、瀬戸離れが進みます。雨が降ると自転車通勤通学が減りバスの乗車率が増えるので梅雨時など期間限定で通勤通学時間帯の増便、穴田地方の交通手段(公共交通)時間帯限定など応用できると使いやすい。
運転できなくなった時、近くのバス停からコミュニティバスの運行があるならば是非乗ってみたい。
間8で述べたように、名鉄バスで上半田川周辺(桑下、小学校前～北山団地)で利用できるようなるともっと助かります。しかし、今年度からコミュニティバスで自宅から近い北山団地や一瀬橋を新たに利用できるようになり、とても便利で助かっています。本当にありがとうございます。私のように、自分で自動車を運転しない者にとって路線バスは大変重要な移動手段なので、これからもお世話になります。そして、幼い頃からバスや電車をよく利用させていただいています。路線バス大好きです
1億3780万円といきなり言われても市の財政に比べてどうなのか全くわからない。利用したことは一度もないがすくなくとも市内をバスが走っているということは今後自分が年齢を重ねたときに安心があるかもしれない。バスはあるというだけでないより安心。



コミュニティバスについては現状利用していないのでわかりませんが路線バスについては最低限、現状維持をお願いします。
品野から瀬戸市街地へのバス路線は、なくてはならないものです。通勤・通学に必要です。
将来的な事を考えると、スーパー等への買い物には、やはり足替わりになるものとしてはバスがあると良いとは思いますが、現在近くにはバス停が無いし、バスも走ってない状態で不安です。(タクシーを利用することになるのか?)
車の運転が出来なくなるとバスを利用するので今より本数を増してほしい!!
自分自身たまに瀬戸電を使う程度で(年に1、2回)バスは一度も利用した事がないので必要性は感じません。しかし、車の免許を持っていない人などには、必要ではあるが、子供が通学などに使う際、バス停が遠い。運行本数が少ない(せめて利用者が多い時間は増やすなど)、路線の変更・廃止やダイヤの変更など利用者が非常に利用しにくい。利用しなくなった自分の周囲にとって不用であり、その分、税負担を減らしてほしい。もしくは、道路渋滞がひどいのでそちらに回して何とかするべきだと思う。
愛・地球博記念公園へのバスの本数をふやして欲しい。今は自動車を運転して買物や病院、公共施設などに行けるけど、いつかは運転出来なくなります。その時にはバスは利用すると思います。
今は車メインの生活のため、バス利用について、あまり考えることができません。年をとり自分での運転が困難になった時。子供が通学などで必要となった時に、新たな希望が出てくるかもしれません。継続したアンケート調査を行ってもらいたいと思います。

<b>バスは必要なまたは廃止すべきという意見</b>
コミュニティバスは利用率の低い路線を廃止し、低所得、資産の無い独居老人のみタクシーの利用補助をしては? コミュニティバスは廃止し、年間の予算分で名鉄バスの路線を増やして欲しい。(瀬戸街道に名鉄バスを運行して下さい。)
自分自身たまに瀬戸電を使う程度で(年に1、2回)バスは一度も利用した事がないので必要性は感じません。しかし、車の免許を持っていない人などには、必要ではあるが、子供が通学などに使う際、バス停が遠い。運行本数が少ない(せめて利用者が多い時間は増やすなど)、路線の変更・廃止やダイヤの変更など利用者が非常に利用しにくい。利用しなくなった自分の周囲にとって不用であり、その分、税負担を減らしてほしい。もしくは、道路渋滞がひどいのでそちらに回して何とかするべきだと思う。
バスの運行日数、本数を減らして、市の負担を減らすべき(多すぎる)。目的地は電車の駅でよい。八幡に集中しすぎ、もっと分散すべき。路線バスは黒字路線以外は全て廃止すべき。
市役所にタクシーを導入して、目的地へ直接運んで頂けたらと思う。(人材をふやして増収を?) コミュニティバスを運行しても8.7万利用(870万)支出が5,388万では赤字になっている状態であれば廃止してもと思います。
人口が極少地区は、コミュニティバスをやめてタクシー券の発行にした方が経費節減になるのではないかと。(老人のための通院、買物等)

<b>その他の意見</b>
水上バス。
尾張旭市さんは、市民のためにひるがみ温泉利用のバスを出しているそうです。瀬戸市も市民のための市政をしっかりと実行してほしいです。
中部国際空港。
公園等にてB級グルメ他食物フェスタ。
行政が頭を使うべき。
瀬戸市は税金が高い割に、バス運行への支出は高いと言いたげな様に感じる(このアンケートについても同様)。無駄な支出を減らして、現状のバス運行を維持すべきだと考えます。
値段の内容が理解しにくい。コミュニティバス、路線バスは長久手市を参考にしては? コミュニティバスは尾張旭市も参考に?
仮に、イベント等を行っても、利用が増えることは、瀬戸市においてはありえない。
車いすは乗れるのか? 他市へのイベントでは無く瀬戸として何か考えたら? 暇そうな男性職員がもっと頭をひねった方がよい。給料は無駄に高いんだから。
支払い料金を百円単位にする(両替小銭の準備が手間)。多くの人がのる為においが色々するので、香りがあるといい。バス停に日かげをつくる。ゴミがおちていないせいけつなバス。ベビーカーを置く場所設置。シートの色や内装色を明るいい色にする。せとちゃんなどのキャラクターバス。

少々若い方々は、公共交通まで自転車を使いたいと思う。自転車の走りやすい道や、自転車置き場を整備すれば、公共交通を使いやすくなる。
通院・通学・通勤等、バス使用の目的を明確したバス運用をしてほしい。
利用者が増加しないとね。むずかしいね…。
岩屋堂を県外からも観光客がくるように大々的に整備して欲しい。観光ツアーで瀬戸物の買物と岩屋堂観光コースが出来る位整備して欲しい。
タクシーの補助券がほしいです。
私は公共交通はほとんど利用していない。移動は自家用車で移動。
このアンケートが有意義に生かされる事を希望します。3000人×郵便料金×2+印刷代+人権費をムダにしてほしくない。
市役所を何十億で建て替えておいてバスの予算が年間1.3億だから削るためのアンケート？市民のためのお金をつかって下さい。
コミュニティバスと、補助タクシーの併用するとどうなるか。
踏切による渋滞が多いように思います。線路を高架にするなど、自動車の交通の利便性を高めてほしいと思っております。
市民税が高いのに税金が増えるようなことはしないでほしい。
イベントにお金を使うよりも、地域の身近な便利な交通手段を住民がかかわって、運営できると良いと思う。それには住民が受け身でなく、主体的になる事が大切、それにはリスクも、みんなで背負う、まかなう覚悟ができるか否か…ある程度のお金は必要と思う人で担うくらいの気持ちで。
受益者負担の度合いは高めるべきと思う。主要施設との距離、居住者数に応じた運行等財政負担軽減策はあると思う。
登校中の子どもたちを見ていると、危なっかしい瞬間がたまにあります。バスなどで安全に登校してくれたらな、と思います。
現状なし。改善しようと思われていることには、非常に感謝しています。
コミュニティバスを利用するコースにない。利用者を対象としている質問が多く、実感が無い。質問事項の意味がよく判らない。もっと判りやすい質問にしてはどうか。
コミュニティバス運行会社に支払う費用を本市もしっかりと話し合う。経費を支払いすぎ、良い思いは業者だけ。運行会社にも市の負担を理解してもらうこと。一人勝はゆるさんよ。
山口駅をもう少し綺麗にしてほしい。山口駅の近くにAコープに代わるコンビニなり作ってほしい。ゴミの収集場所をわかりやすく、綺麗にしてほしい。山口町全体にももう少し施設(大型ホームセンターなど)を作ってほしい。よろしくお願いします！
良い方向に向かうよう多くの人の参加が出来るよう希望する。
愛知環状鉄道の本数を増やすと使いやすいと思う。愛知環状鉄道の運賃を安くしてほしい。
住みにくい瀬戸市と言われていますよ。知っていますか？
市民の為にお金はもっと別な所に使うべきだと思います。
山手町に住んでいますが坂上り下りが多く、老人には外出は大変です。何か助けて下さい。瀬戸市はどこも坂の多い所だと思いますが何か良い考えはないかしら？
名古屋市内のお年寄りが無料バスで(年間少し負担はあるが)生き生きと活動行動しているのがうらやましい。
年齢の割にあまり利用する事が無いので、○×の付け方がいいかげんですが、ごめんなさい。ご苦労様です。
年を重ねて外出は毎日の食事の準備位です。自分で運転して交通機関の利用はしません。少しの買物等はウォーキングで行きます。夕食後毎日4,000歩のウォーキングを続けています。いただいたこのアンケートにお答え出来ずほんとうに申し訳ございません。
災害時の避難運行バスがあると良いかも。
市役所の建物や市長の給与ばかり豊かで、どっち向いて仕事をしているのかと思います。各保育園は耐震は大丈夫？保育士は？アルバイトばっか!!!バスでなく次の子供を大切にしませんか。
食べ物がほしいので車で来てほしい

## 2. 公共交通の課題整理

### 1) 瀬戸市の公共交通利用実態・ニーズのまとめ

アンケート調査結果について、以下のように総括する。

#### 【 アンケート調査結果の総括 】

##### ① 普段の移動状況・公共交通に関する意識

###### (自動車の利用状況)

- ・高齢者でも自分で自動車を運転する人が多い。50歳以上の方において、運転免許を返納しようと思う年齢は75～80歳頃が多く、免許返納後はバスを主な移動手段として考えている。

###### (普段の移動状況)

- ・普段は、通勤・通学や買物目的での外出が多く、約80%の人が自動車（自分で運転約61%、他の人が運転約19%）で移動している。名鉄瀬戸線、愛知環状鉄道、路線バス、コミュニティバス、タクシーといった公共交通を利用する人は約3～26%となっている。
- ・市内の移動が約51%、市外が約35%で、市外への移動の約43%が名古屋市への移動である。

###### (公共交通に関する意識)

- ・約49%の人が公共交通に満足（満足+やや満足）している。
- ・市内をバスが走っていることや自宅近くのバス停の位置を知っている人は70%以上を占めているが、自宅近くを走るバスのダイヤ、運賃といった実際にバスを利用するために必要な情報を知っている人は20%前後と少ない。また、バスのことは何も知らない人も約8%存在している。

##### ② 公共交通の利用実態

###### (鉄道の利用実態)

- ・名鉄瀬戸線を利用している人は約73%、愛知環状鉄道は約46%である。
- ・名鉄瀬戸線、愛知環状鉄道ともに飲食・趣味・娯楽、通勤・通学での利用が多い。
- ・市外への移動が70%を超え、名鉄瀬戸線はほとんどが名古屋市、愛知環状鉄道は名古屋市と豊田市への移動が多い。
- ・日常的に利用（ほぼ毎日、平日のみ）する人は名鉄瀬戸線で約16%、愛知環状鉄道で約14%である。一方、日常的ではない利用（年に数日程度）をする人が名鉄瀬戸線で約50%、愛知環状鉄道で約63%と大半を占める。
- ・自宅から駅までの移動手段は徒歩が40%前後、次いで自動車が30%強（自分で運転+他人が運転）。路線バスは名鉄瀬戸線で約10%、愛知環状鉄道で約5%に留まっている。

###### (バスの利用実態)

- ・路線バスを利用している人は約21%、コミュニティバスは約6%である。
- ・路線バスは飲食・趣味・娯楽、通勤、買物での利用が多く、コミュニティバスは買物、飲食・趣味・娯楽、通院の利用が多い。
- ・路線バスは市外の利用も約50%と多く、ほとんどは名古屋市への移動である。
- ・バス停までの移動手段は80%以上が徒歩で、鉄道への乗り継ぎが多い。

### ③公共交通に関するニーズ

#### (満足度・不満点)

- ・名鉄瀬戸線利用者の約 68%、愛知環状鉄道利用者の約 53%、路線バス利用者の約 46%、コミュニティバス利用者の約 40%が満足（満足+やや満足）している。
- ・名鉄瀬戸線利用者の不満理由は、「自宅や目的地などから最寄り駅まで遠い」、「駅までのバスが不便」、「運行本数が少ない」が多い。
- ・愛知環状鉄道利用者の不満理由は、「運行本数が少ない」、「運賃が高い」、「自宅や目的地などから最寄り駅まで遠い」が多い。
- ・路線バス利用者の不満理由は、「運行本数が少ない」、「鉄道や他のバスとの乗り継ぎが悪い」、「遅延がある」が多い。路線バス非利用者の利用しない理由は「バスのダイヤやルートなどの情報がわからない」「自宅や目的地などから最寄りバス停まで遠い」「運行本数が少ない」が多い。
- ・コミュニティバス利用者の不満理由は、「運行本数が少ない」、「行きたい施設を経由する路線がない」、「鉄道や他のバスとの乗り継ぎが悪い」、「目的地まで最短ルートで運行する路線がない」が多い。コミュニティバス非利用者の利用しない理由は「バスのダイヤやルートなどの情報がわからない」「行きたい施設を経由する路線がない」「自宅や目的地などから最寄りバス停まで遠い」が多い。
- ・利用しない理由が改善された場合、路線バス非利用者の約 44%、コミュニティバス非利用者の約 46%は利用意向が確認できる。

#### (バス利用のための条件)

- ・駅から無理なく歩ける距離は、10分程度までで約 72%、バス停から無理なく歩ける距離は、5分程度までで約 52%となっている。
- ・駅周辺ではスーパーやコンビニ、駐輪場や駐車場、バス停周辺では特に雨風が防げる待合施設のニーズが高い。
- ・バスで行きたい施設は、市内では陶生病院や大型商業施設、市外では長久手市や尾張旭市のレクリエーション施設や総合病院へのニーズが多い。

#### (バスの意義)

- ・バス利用の有無にかかわらず、もしものときのためや子供や高齢者にとっての移動手段としてバスの意義を認める人が多い。

#### (バスの運営のあり方)

- ・現状の市の負担のまま、現在の運行を維持することを望む人が約 50%であるが、市の負担を増やしてもサービス向上を望む人も約 25%となっている。
- ・コミュニティバスの運賃として 100 円（現行）が約 56%である一方、200 円への値上げを認める人が約 33%となっている。
- ・「公共交通を積極的に利用する」、「企業の協賛金や広告費などを募り、収入を増やす」が多く、30%を超えているが、「地域住民での協賛金や話し合う場への参加」といった取り組みに対しては消極的な傾向がうかがえる。

#### (公共交通に関するアイデア)

- ・運行ルート、利用促進に関する意見が多い。

## 2) 瀬戸市の公共交通の課題と対応方針

アンケート調査結果の総括で示したとおり、①普段の移動状況・公共交通に関する意識、②公共交通の利用実態、③公共交通に関するニーズを把握した。その結果、公共交通の利用状況による公共交通に関する意識の違いや公共交通に対するニーズと実際の利用実態の違いが明らかとなった。持続可能な公共交通の維持活性化にあたっては、市民や利用者のニーズに合致した公共交通サービスの提供が重要である。

そこで、瀬戸市民の公共交通に対するニーズと実際の公共交通の実態の差異を公共交通の課題と捉え、以下に整理する。また公共交通の課題に対する改善策として検討すべき、今後の施策の展開方針を次頁にまとめる。

### 【 瀬戸市の公共交通の課題 】

#### 現状 1 公共交通の満足度

主なアンケート結果		公共交通の課題 1
公共交通の利用実態	・鉄道と比較してバスの満足度が低い。	地域や利用実態に応じたサービス提供によるバスの利便性向上
公共交通に関するニーズ	・運行本数、始発・終発時間、鉄道や他のバスとの乗り継ぎ、最寄りバス停までの距離、ルートに関する不満が多い。 ・サービス改善による一定の利用者増加が期待できる。	

#### 現状 2 公共交通の乗り継ぎ

主なアンケート結果		公共交通の課題 2
公共交通の利用実態	・路線バスから鉄道への乗り継ぎが多い。	乗継利便性向上のための交通結節点における交通結節機能の強化及び拠点としての機能集積
公共交通に関するニーズ	・駐車場・駐輪場整備やバス停周辺における雨風が防げる待合施設のニーズが高い。 ・乗り継ぎに関する不満が多い。	

#### 現状 3 公共交通の認知度

主なアンケート結果		公共交通の課題 3
公共交通の利用実態	・自宅近くを走るバスのダイヤ、運賃を知っている人が少ない。 ・バスのことは何も知らない人も約8%存在している。	公共交通の利用機会の創出に向けたわかりやすい情報提供
公共交通に関するニーズ	・バス非利用者の利用しない理由として「ダイヤやルートがわからない」を挙げる人が多い。	

#### 現状 4 公共交通へのさまざまなニーズ

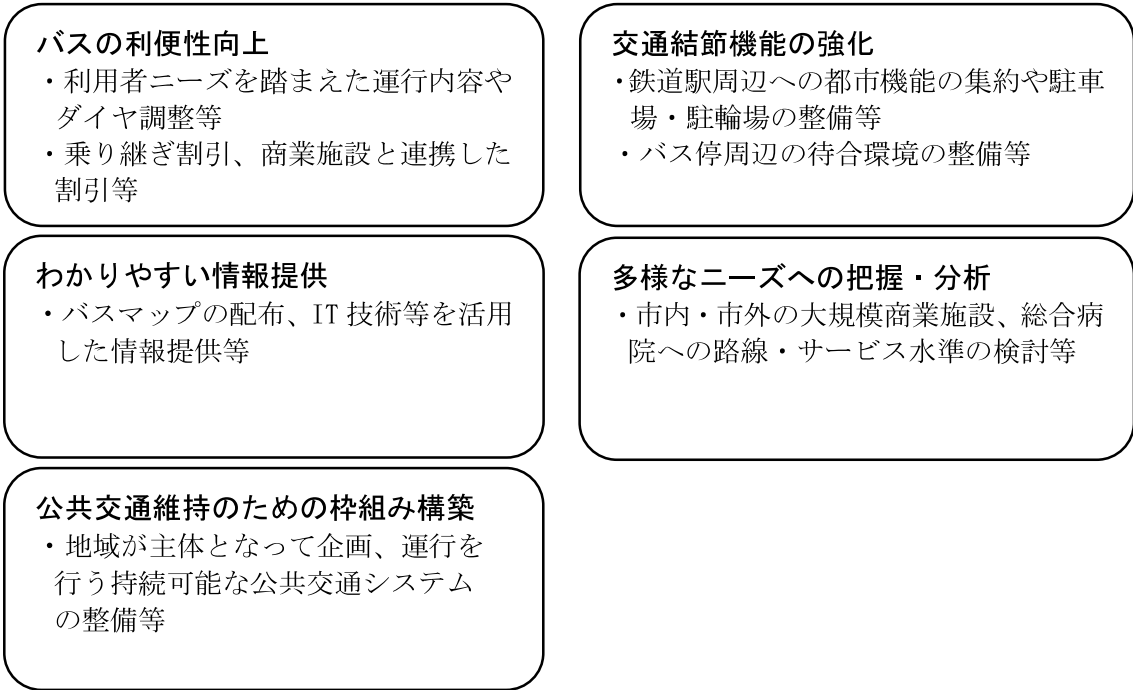
主なアンケート結果		公共交通の課題 4
公共交通に関するニーズ	・商業施設、病院（陶生病院、愛知医大等）、休日の観光施設（モリコロパーク、森林公園等）駅（藤が丘、リニモ等）へのバスのニーズが高い。 ・商業施設との連携等も含めた割引制度のニーズがみられる。 ・デマンド交通、IT 技術も活用し新たな交通システムへのニーズもみられる。	地域、年代等が異なる幅広い公共交通利用者の確保に向けた多様なニーズへの対応

現状5 公共交通の維持

主なアンケート結果		公共交通の課題5
公共交通の利用実態	<ul style="list-style-type: none"> <li>バスを運行するため、市は年間約1億3,780万円を負担している。</li> <li>現行のコミュニティバスの運賃は1乗車あたり100円である。</li> </ul>	効率的で効果的な公共交通サービスの提供と適正な受益者負担を考慮した公共交通維持のための枠組み構築
公共交通に関するニーズ	<ul style="list-style-type: none"> <li>現状の市の負担のまま、現在の運行を維持することを望む人が多い</li> <li>コミュニティバスの200円への運賃値上げを認める人も比較的多い。</li> </ul>	

瀬戸市の公共交通の課題の解決に向けて

【 今後の施策展開の方針 】



瀬戸市地域公共交通網形成計画（平成30年度策定予定）

今年度実施した公共交通に関する市民アンケートやコミュニティ交通市民ワークショップ等の結果を踏まえ、平成29年度、コミュニティ交通社会実験の企画、実施、検証を行い、平成30年度、地域公共交通網形成計画を策定し、公共交通ネットワークの再構築を進める。

# 参考 菱野団地に関するアンケート結果詳細分析

## 1) 対象地域

### (1) 詳細分析の対象地域

菱野団地（原山台連区、萩山台連区、八幡台連区）を対象として詳細分析を行う。



## 2) アンケートの集計結果

### (1) あなた自身のことについて

#### 【問1① 性別】

・男性より女性がやや多い。

#### 【問1② 年齢】

・70歳以上が約31%と最も多く、60歳代と合わせて約59%となっている。

#### 【問1③ 職業】

・専業主婦（主夫）が約32%と最も多い。

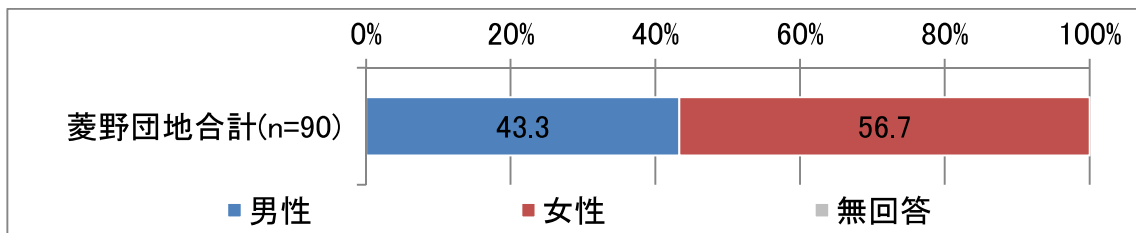
#### 【問1⑤ 自動車の利用状況】

・ほとんどの人が「自分でよく運転」している（約67%）。

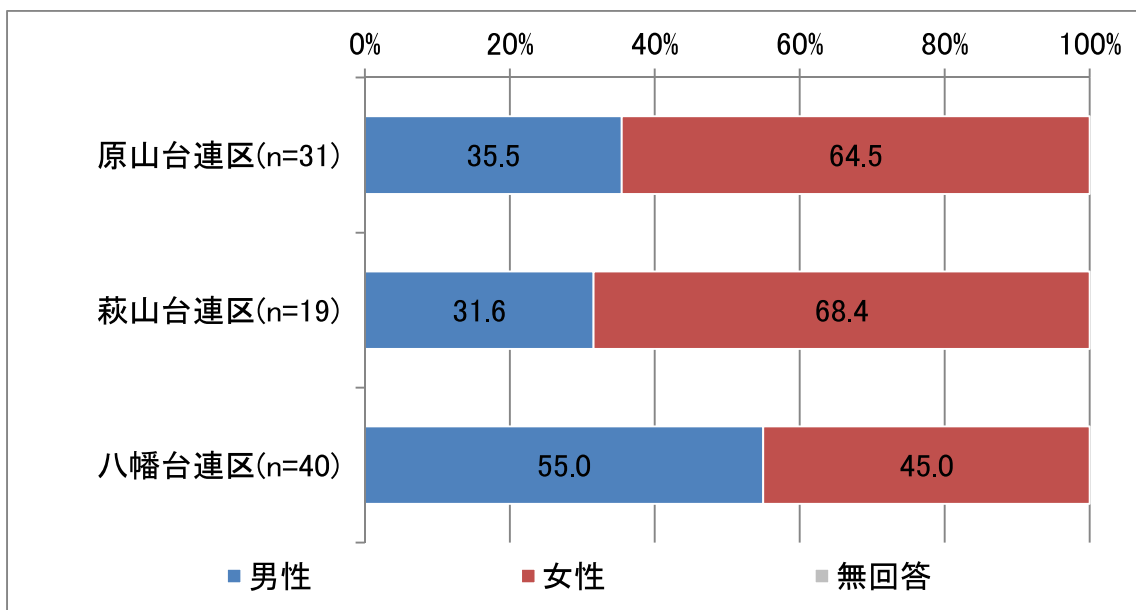
・萩山台連区では、「家族等が送迎する自動車をよく利用している」と回答した方はいない。

・60歳以上の人も「自分でよく運転」している（約57%）。

#### 【問1①】性別

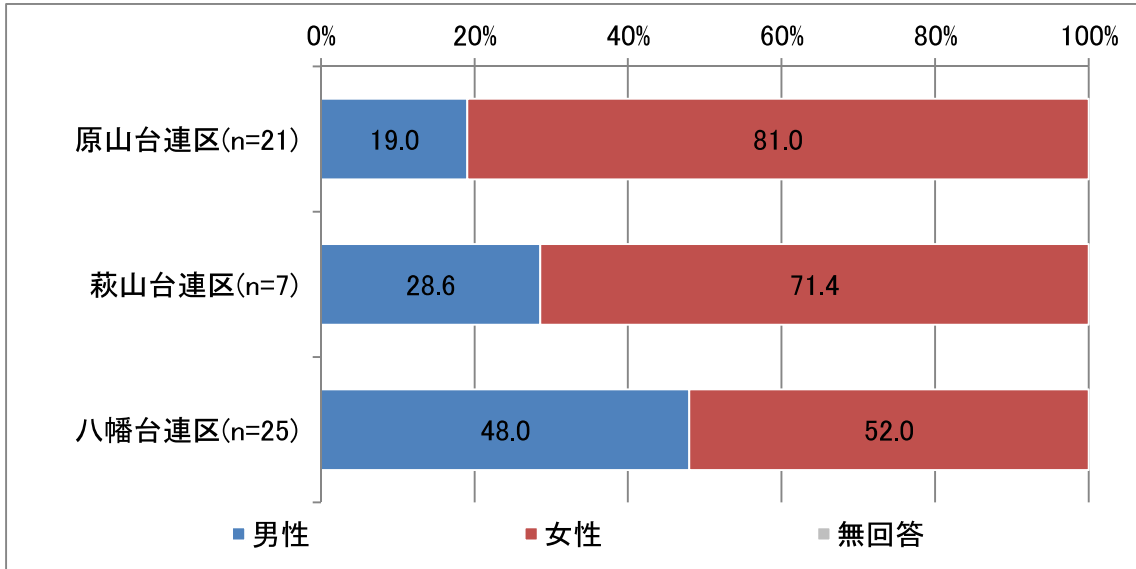
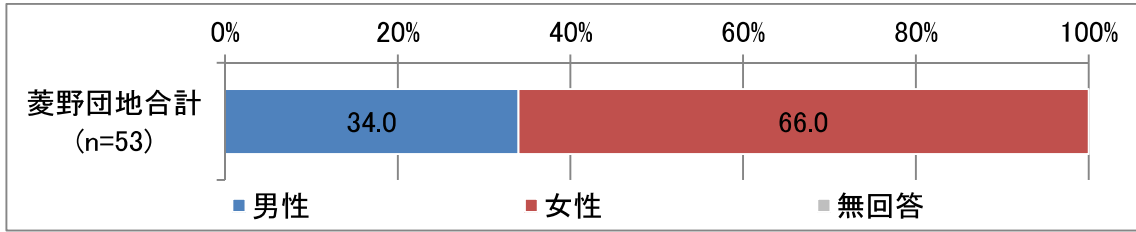


#### <連区別>

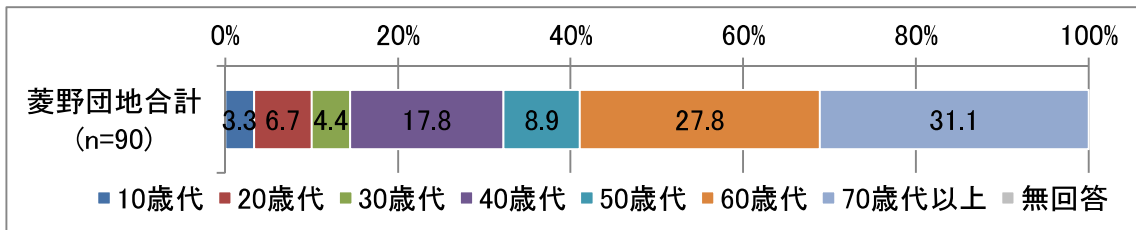




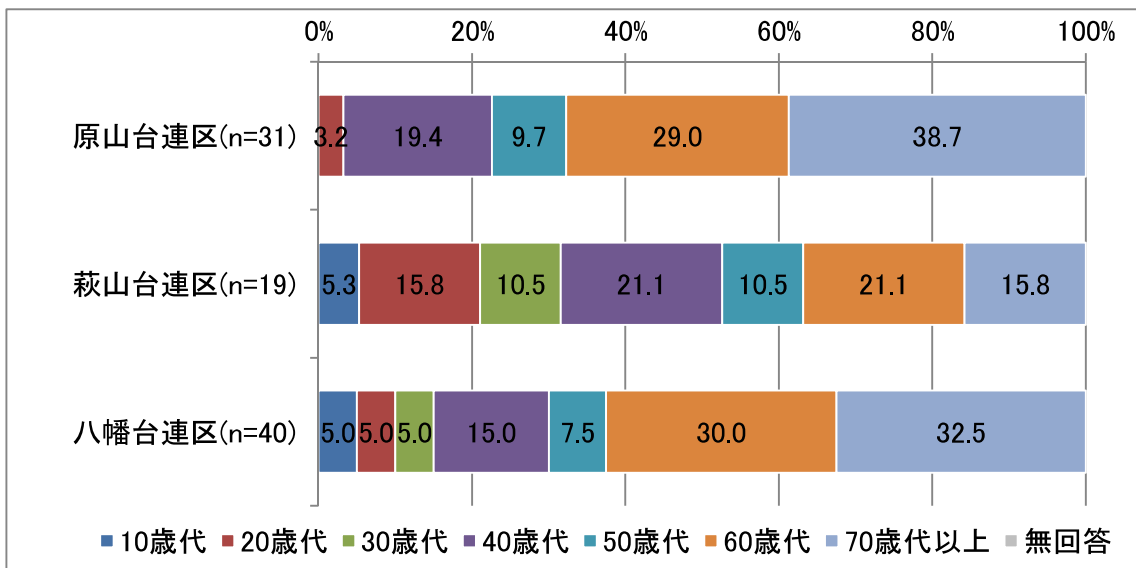
<60 歳以上>



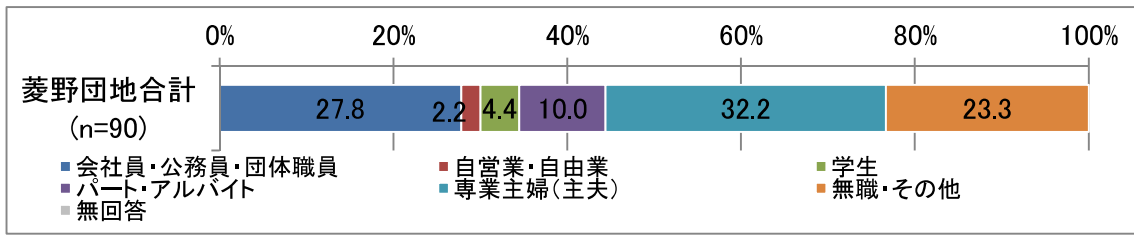
【問 1 ②】 年齢



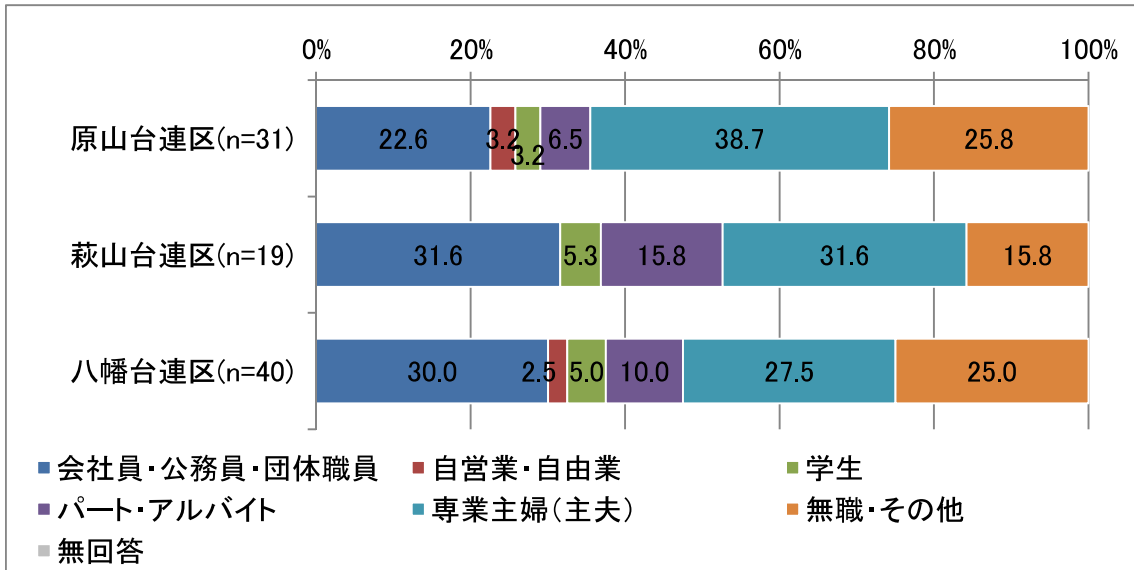
<連区別>



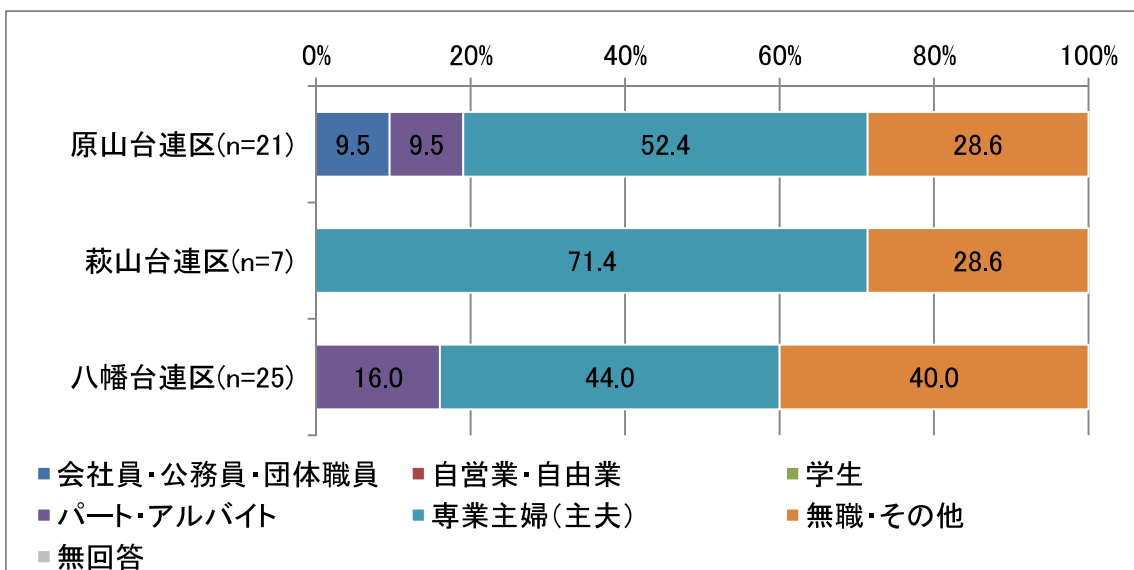
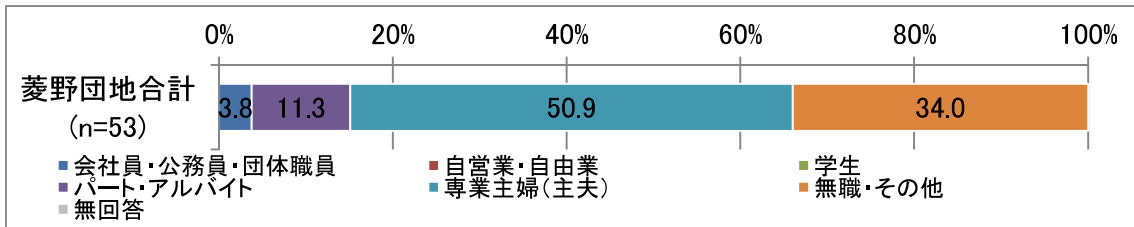
【問1③】職業



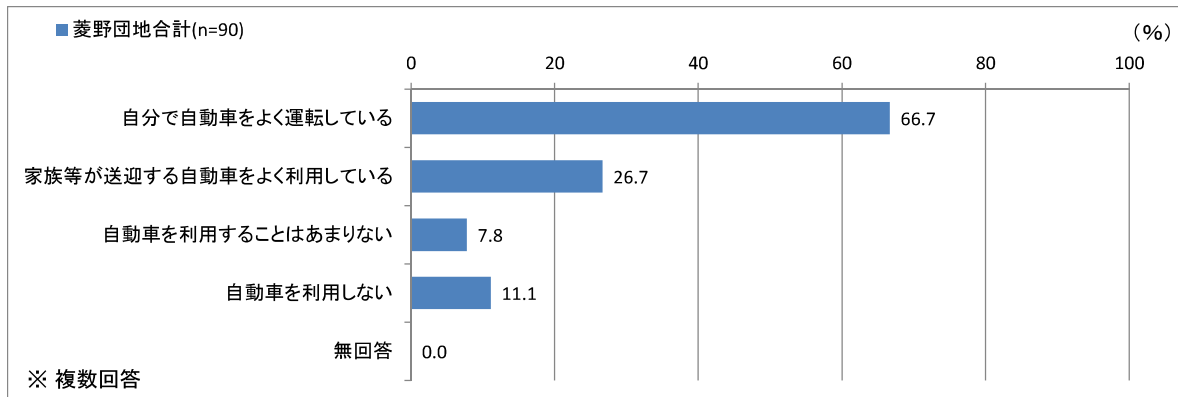
<連区別>



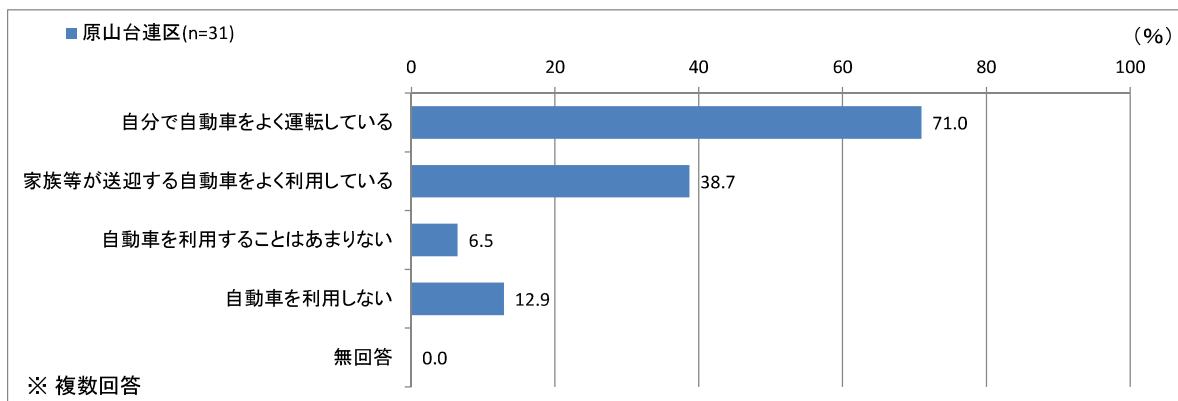
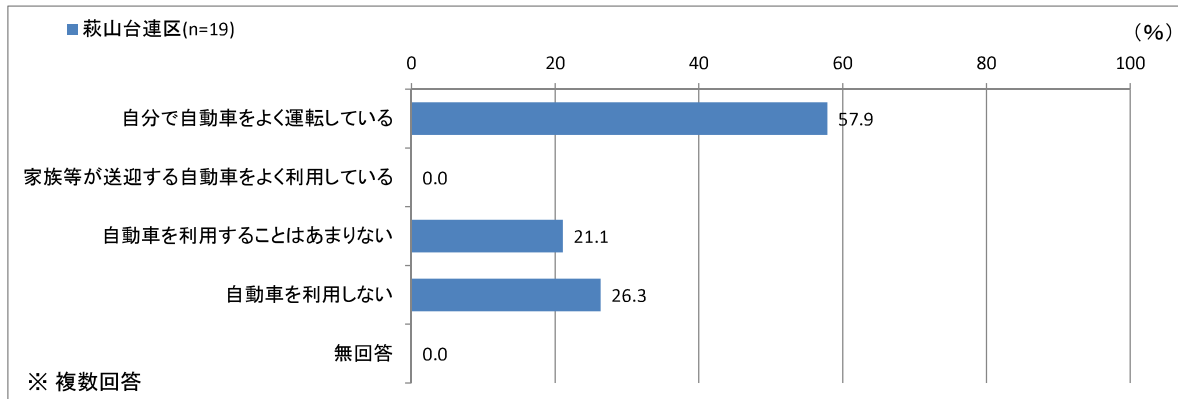
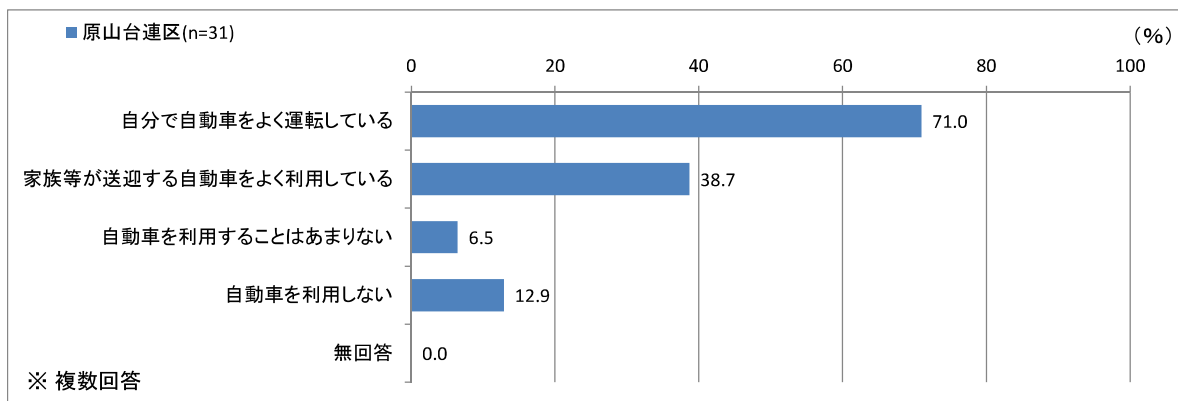
<60歳以上>



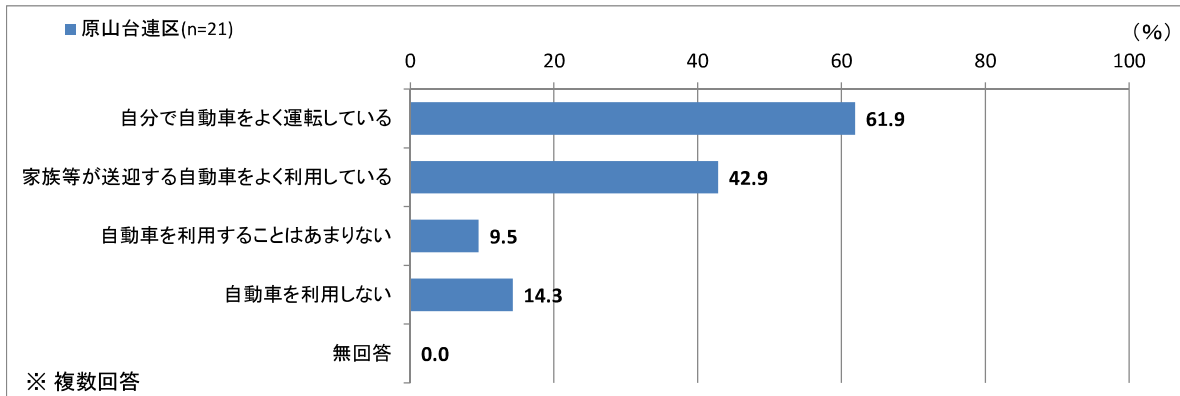
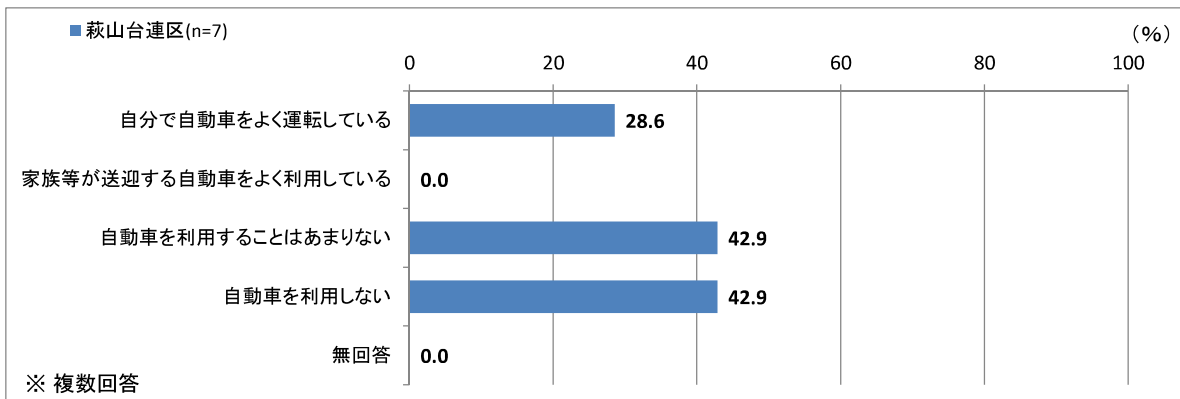
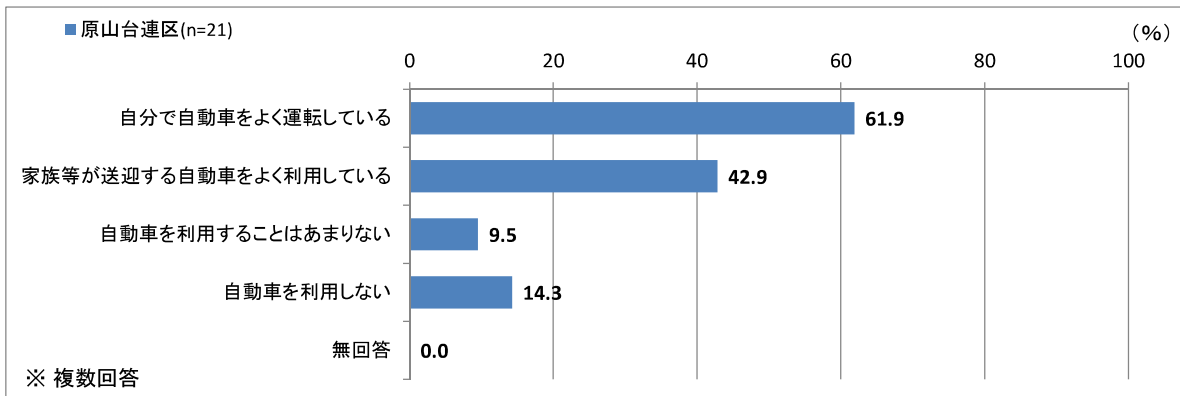
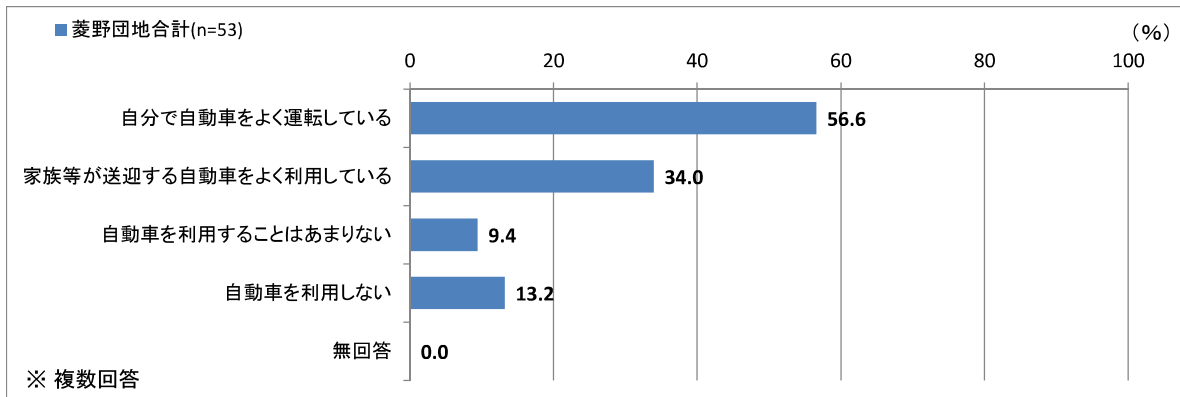
### 【問1⑤】自動車の利用状況



#### <連区別>



<60 歳以上>



## (2) 普段の外出について（※最大2つの目的について回答）

### 【問3① 外出する主な目的】

- ・買物が約37%で最も多く、次いで通勤が約20%となっている。
- ・60歳以上では、買物、通院、飲食・趣味・娯楽の割合が、全年齢より多くなっている。

### 【問3② 目的地】

- ・市内が約54%、市外が約27%となっている。
- ・市内の行き先施設は商業施設、医療施設、公共施設が多い。
- ・市外の外出先は名古屋市が約33%と最も多く、次いで長久手市と尾張旭市（ともに約16%）となっている。
- ・60歳以上では、市内の割合が、全年齢より多くなっている。

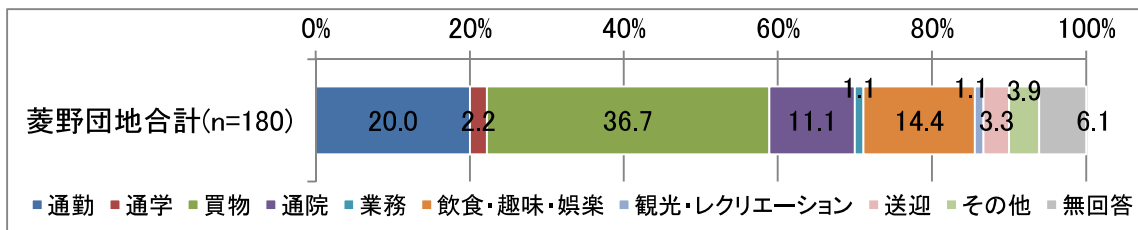
### 【問3③ 外出頻度】

- ・約29%が「ほぼ毎日」外出している。次いで「週に数日程度」の外出も約22%と多い。
- ・60歳以上では、「週に数日程度」と「月に数日程度」の割合が、全年齢より多くなっている。

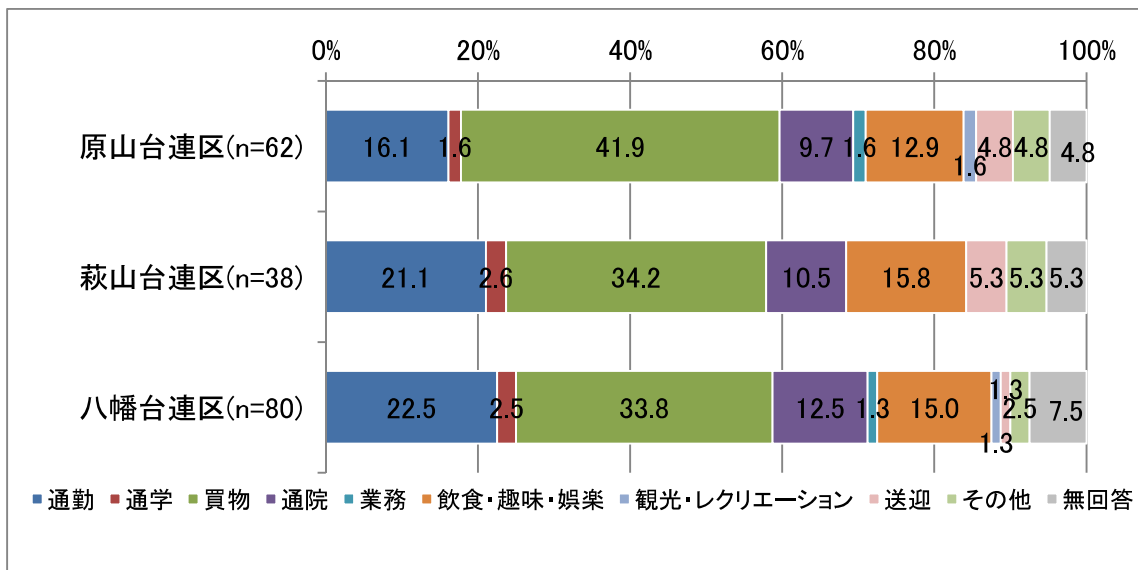
### 【問3④ 外出する際の移動手段】

- ・約80%が自動車（自分で運転+他の人が運転）を利用している。
- ・公共交通では、名鉄瀬戸線（約21%）、路線バス（約18%）、愛知環状鉄道（約11%）、コミュニティバス（約2%）の順となっている。
- ・60歳以上では、約69%が自動車（自分で運転+他の人が運転）を利用している。

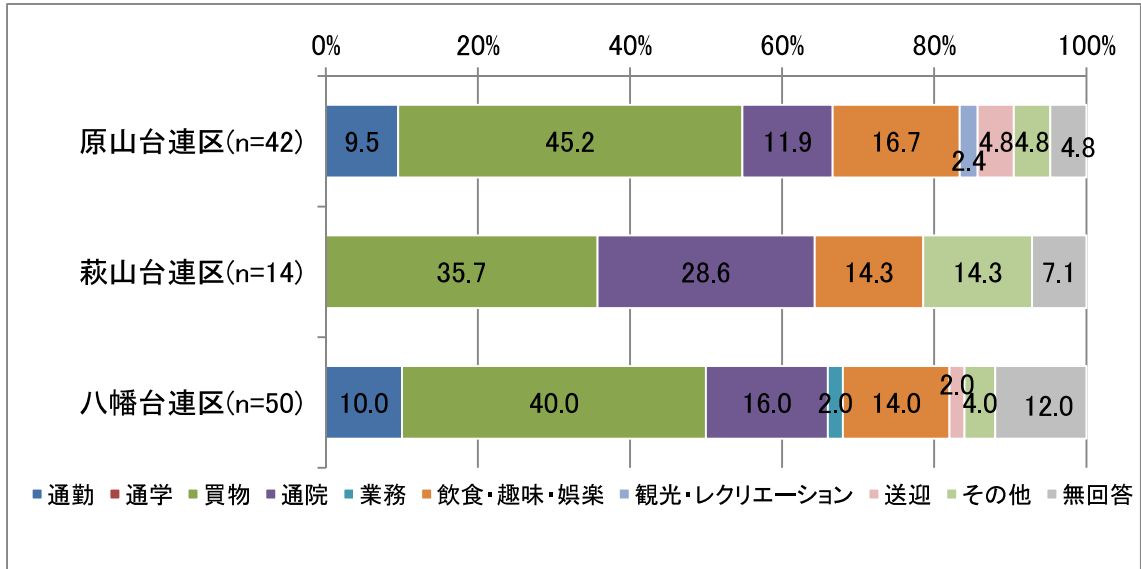
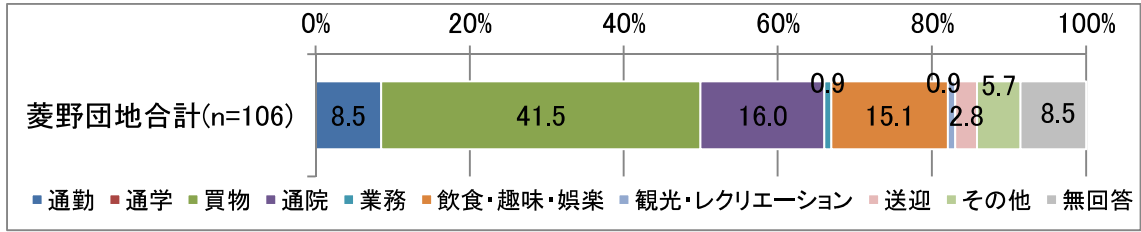
### 【問3①】外出する主な目的



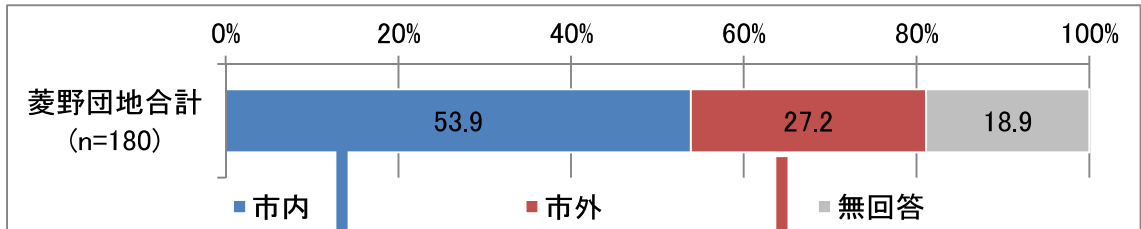
#### <連区別>



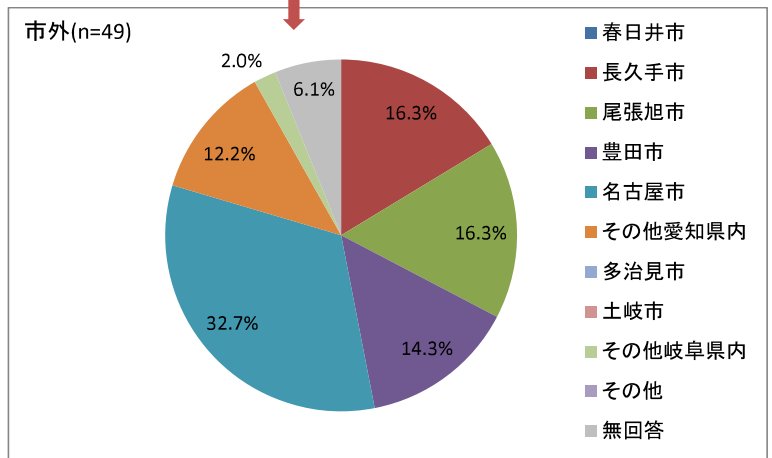
<60歳以上>



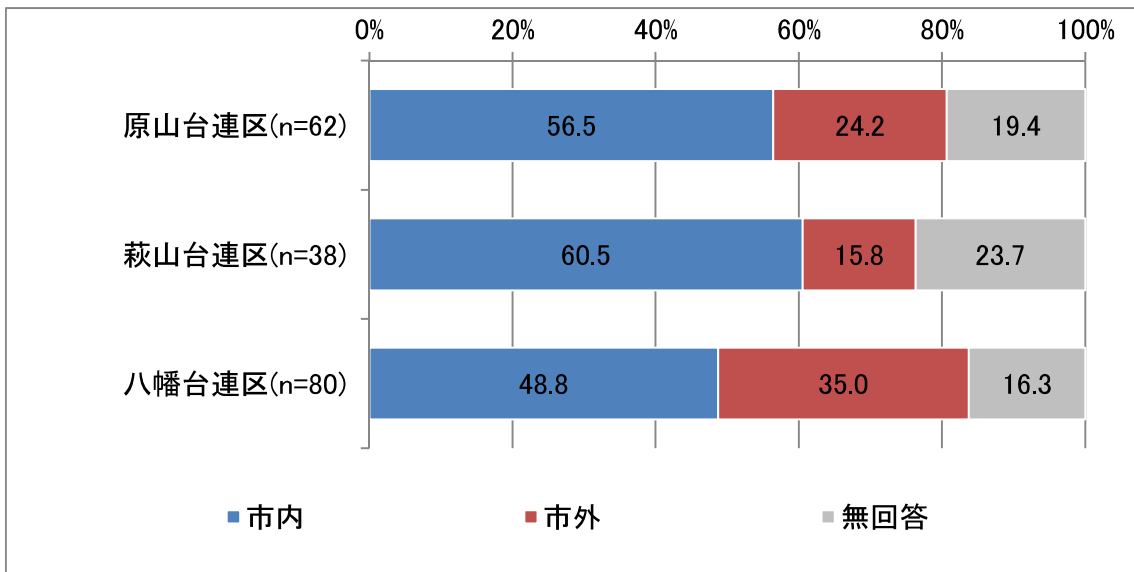
【問3②】目的地



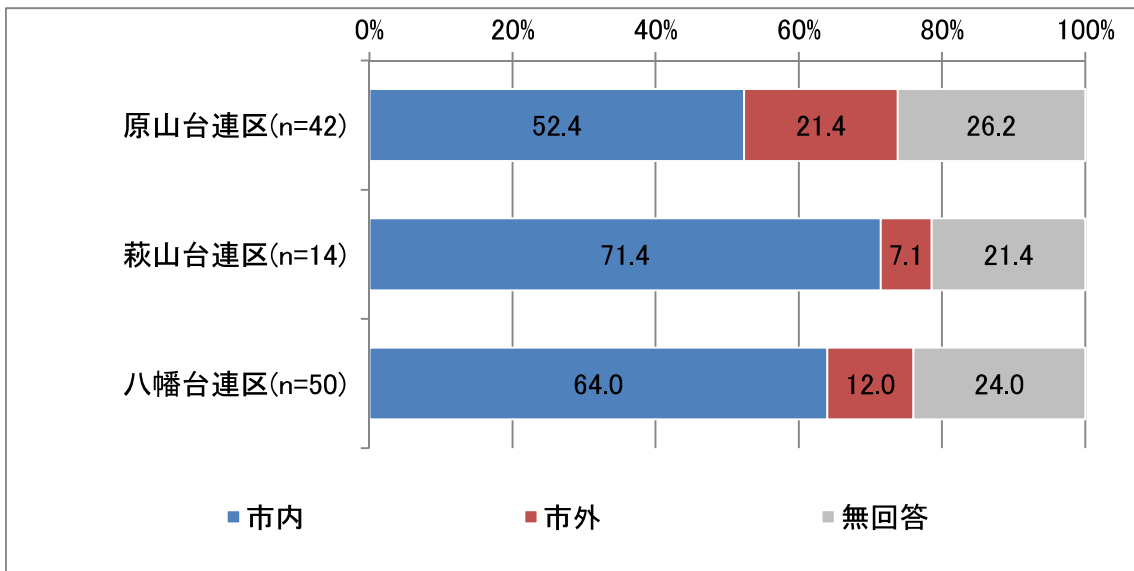
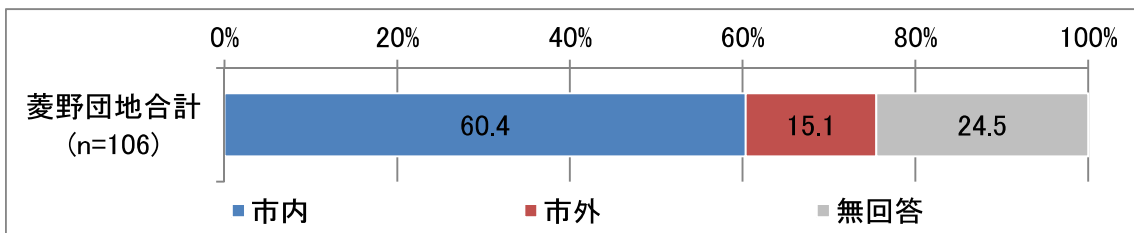
市内施設(上位5位)	回答者数
アピタ瀬戸店	12
陶生病院	8
スーパー	7
ピアゴ	6
公民館	3



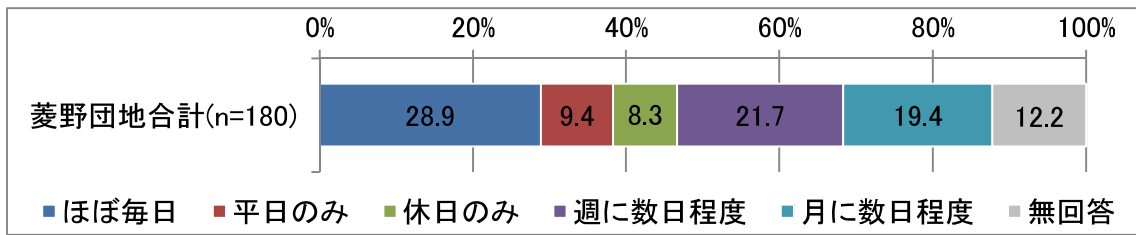
<連区別>



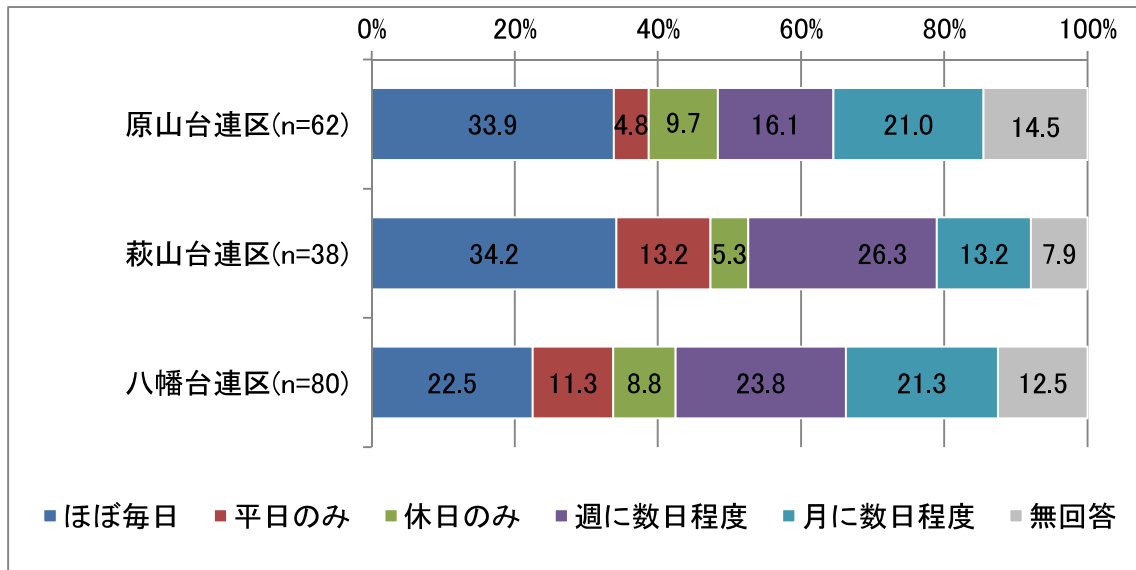
<60歳以上>



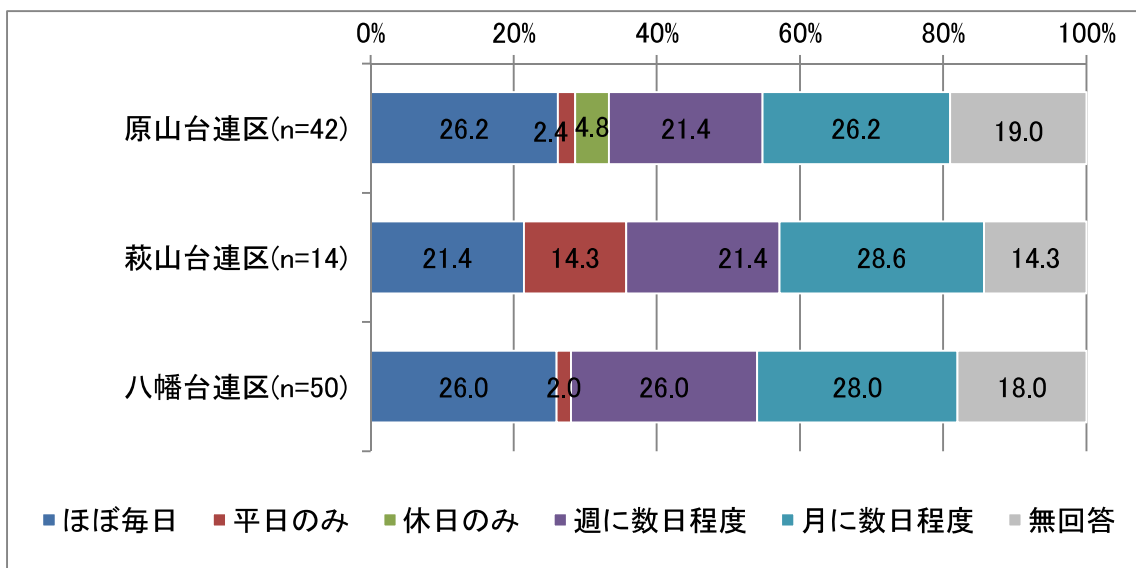
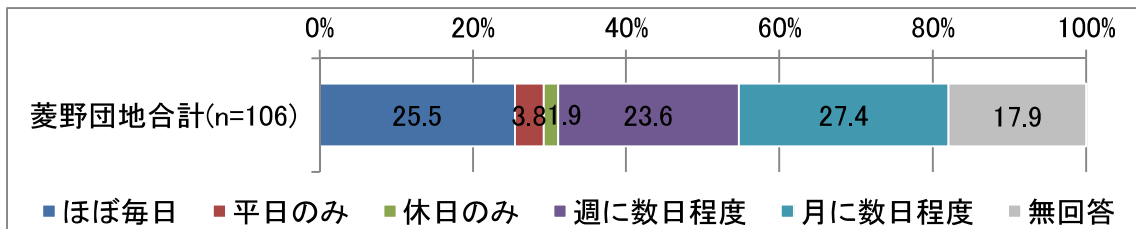
【問3③】外出頻度



<連区別>

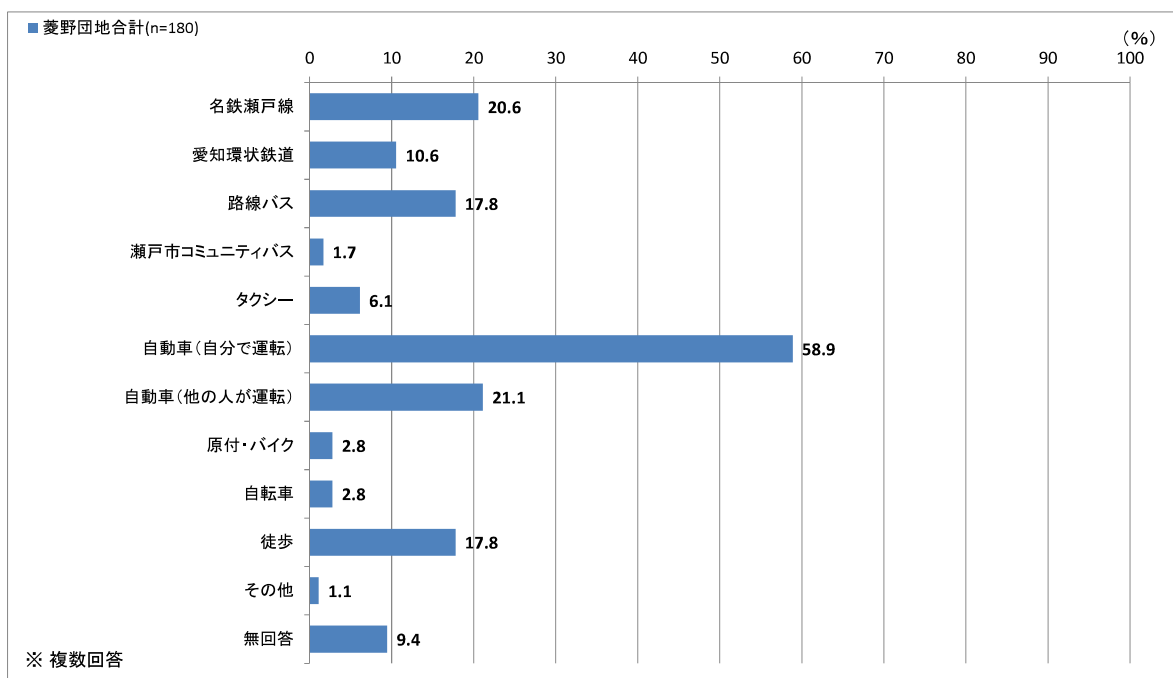


<60歳以上>

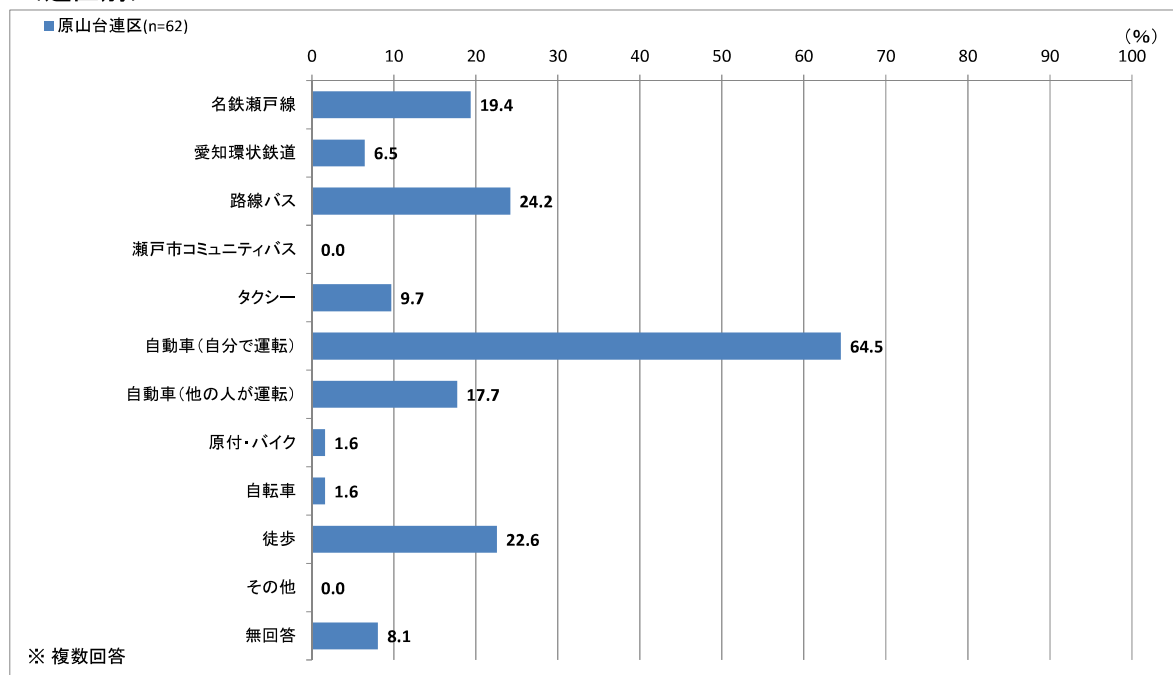


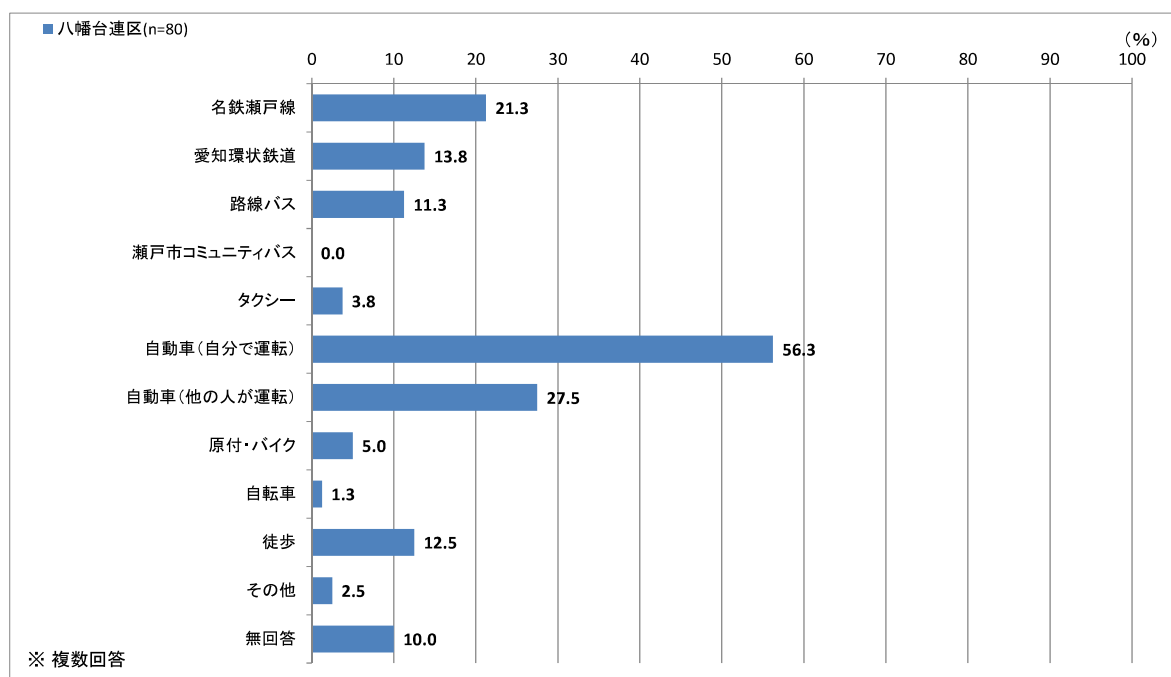
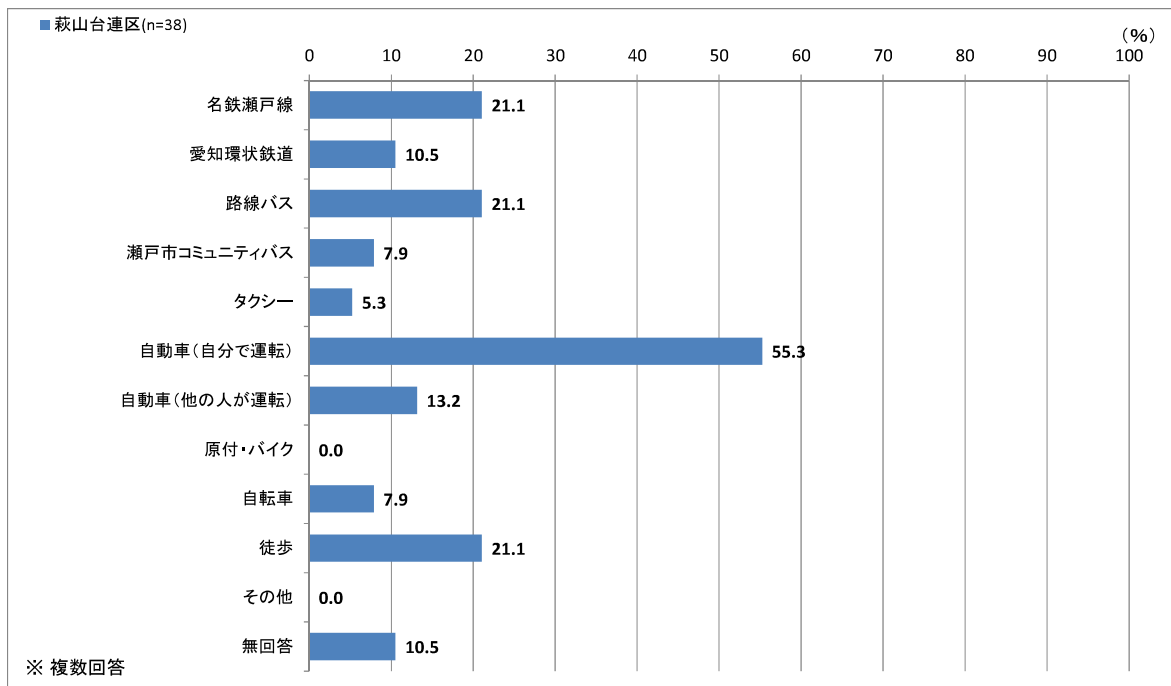


### 【問3④】外出する際の主な移動手段

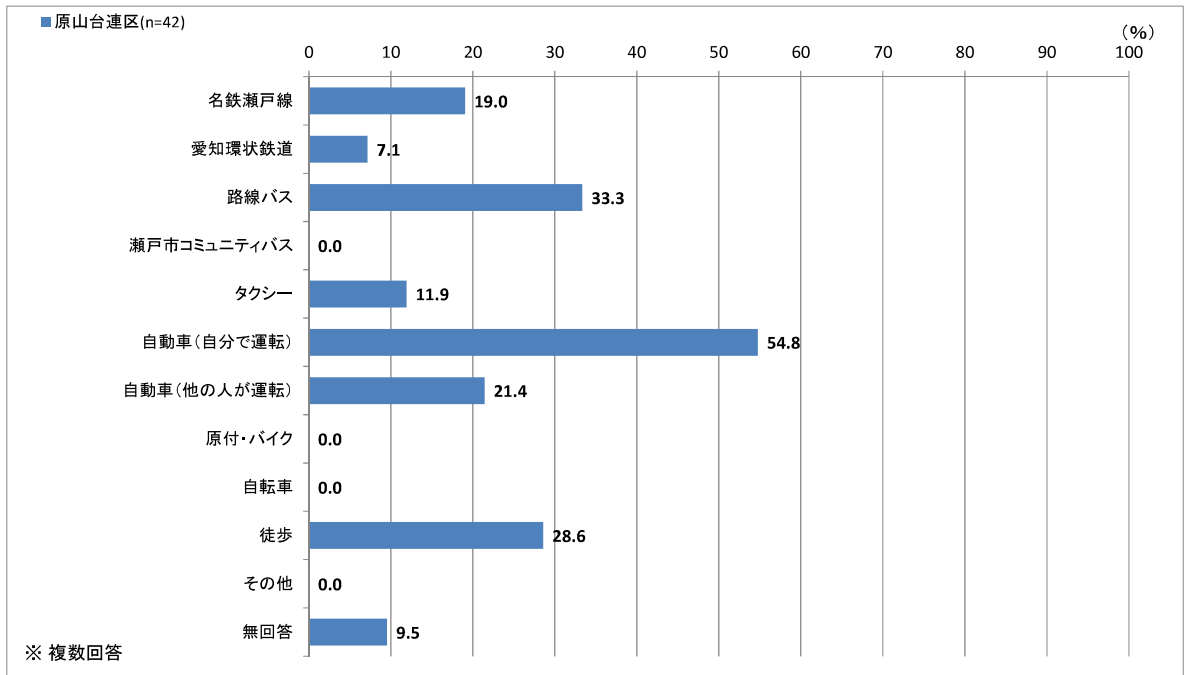
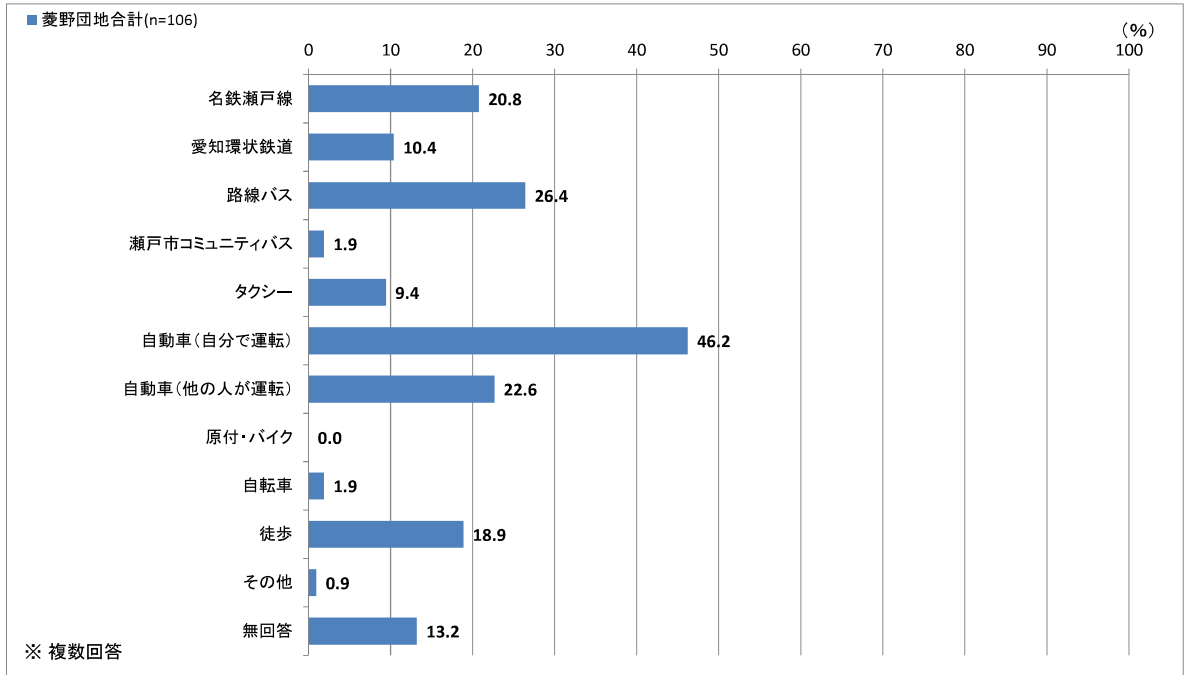


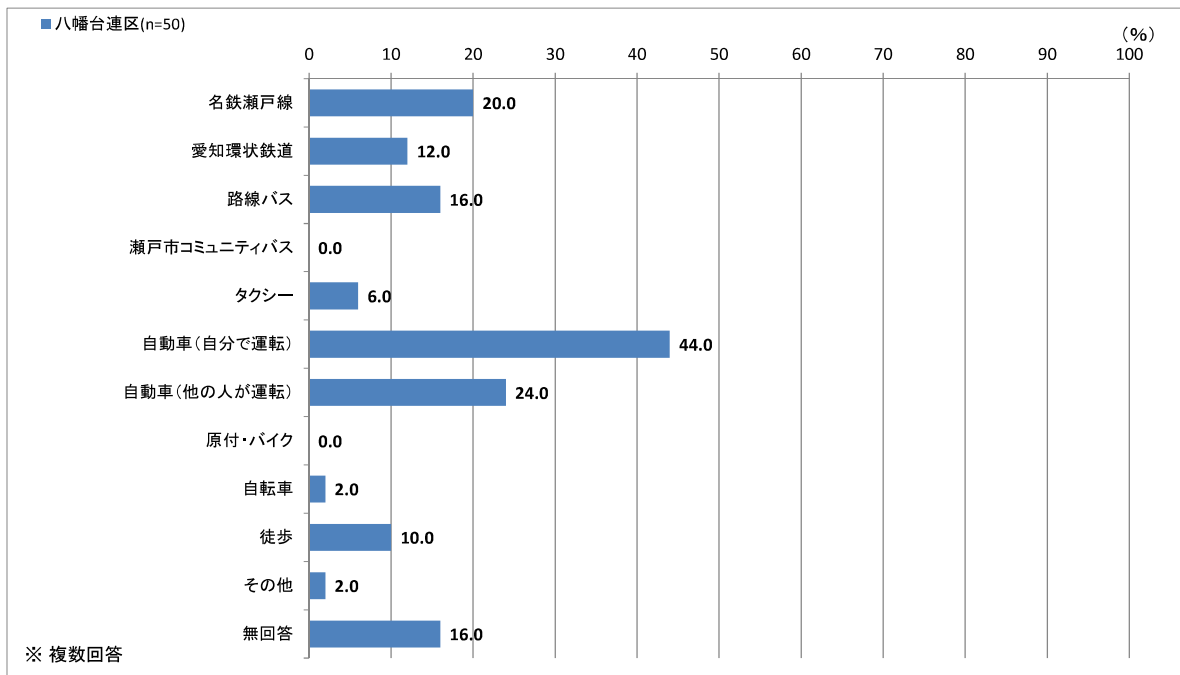
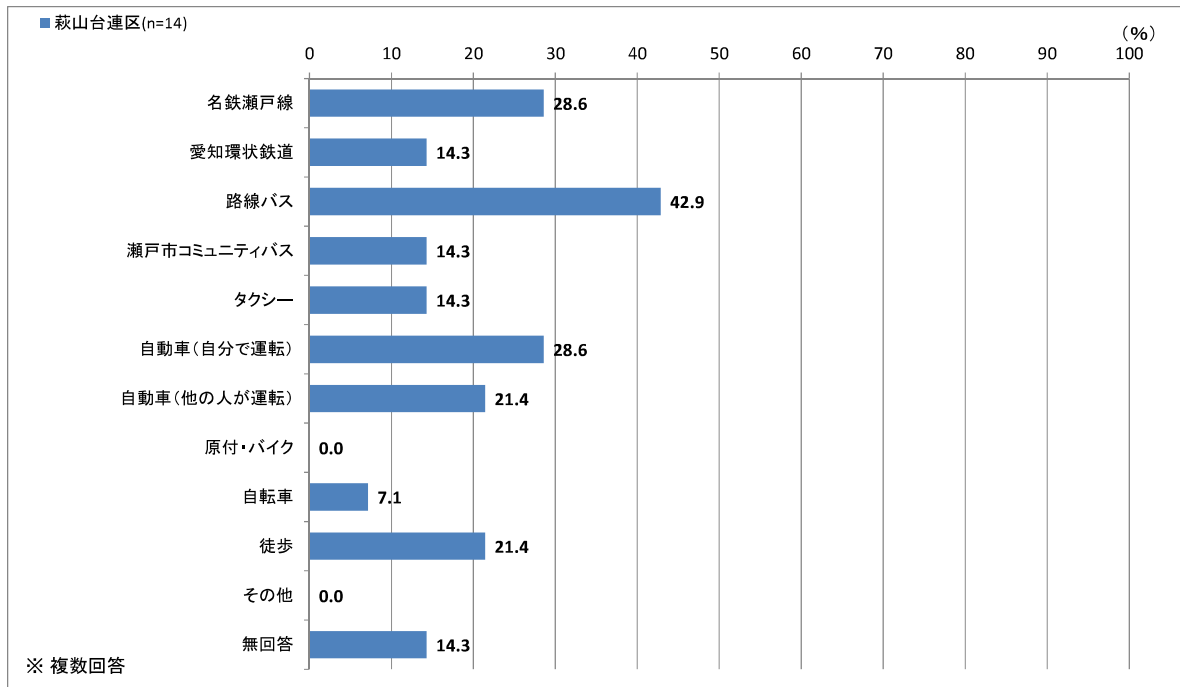
### <連区別>





<60 歳以上>



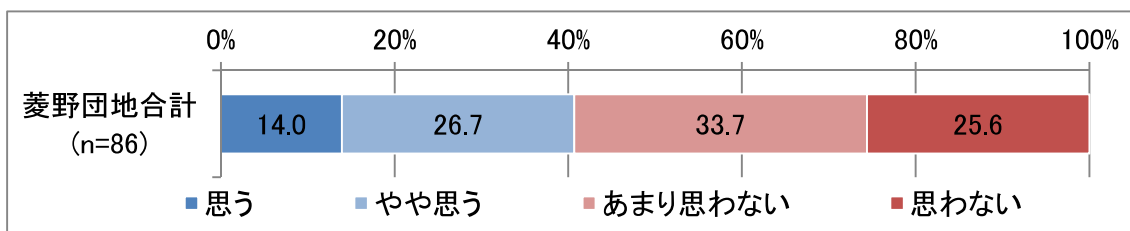


### (3) 公共交通に対する満足度について

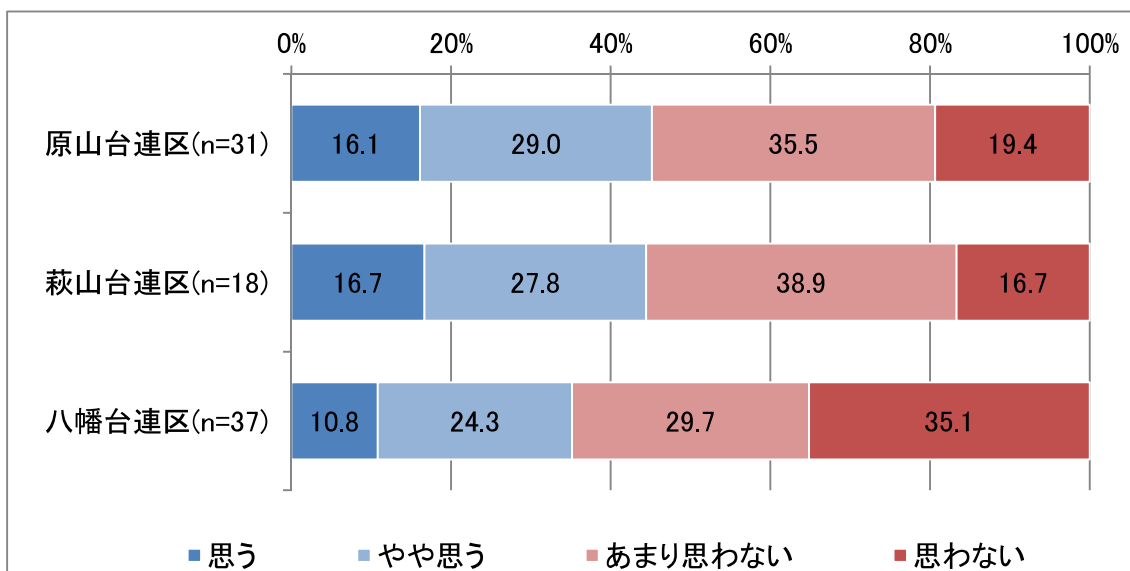
#### 【問4】公共交通に対する満足度

- ・菱野団地全体で約41%の人が満足している（思う+やや思う）。
- ・連区別にみると、八幡台連区の満足度が約35%と他の連区より低い。
- ・60歳以上では、約47%の人が満足している（思う+やや思う）。

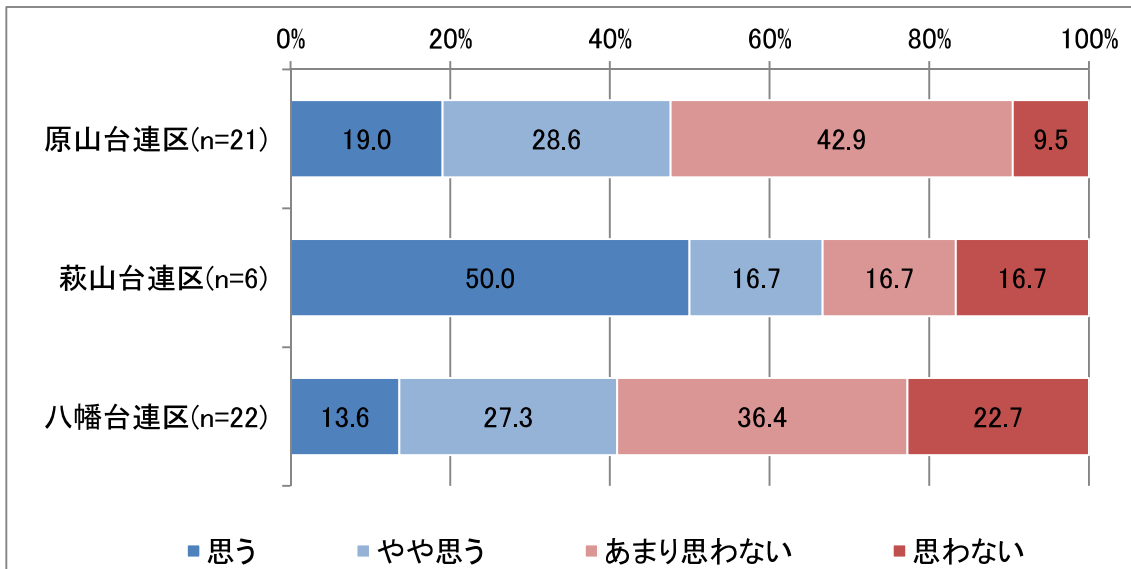
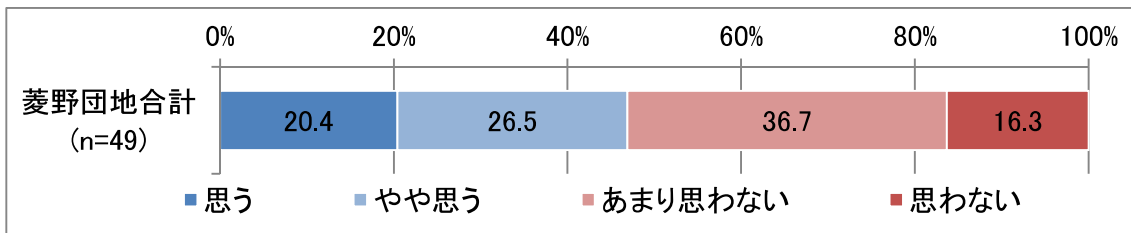
#### 【問4】公共交通に対する満足度（無回答を除く）



#### <連区別>



<60 歳以上>



## (4) 路線バスの利用について

### ○利用実態

#### 【問7① 利用目的】

- ・路線バスについては、利用している人が約42%となっている。  
飲食・趣味・娯楽が最も多く、次いで買物、観光・レクリエーションが多い。
- ・60歳以上では、利用している人が約45%となっている。

#### 【問7② 利用したバス停】

- ・駅で降車している人が多い。特に、尾張瀬戸駅（瀬戸駅前）での降車が多い。

#### 【問7③ 最終目的地】

- ・約50%が市外である。
- ・60歳以上では、市内が市外より多くなっている。

#### 【問7④ 利用頻度】

- ・「年に数日程度の利用」が約50%で最も多い。
- ・60歳以上では、「週に数日程度」以上の利用が、全年齢より多くなっている。

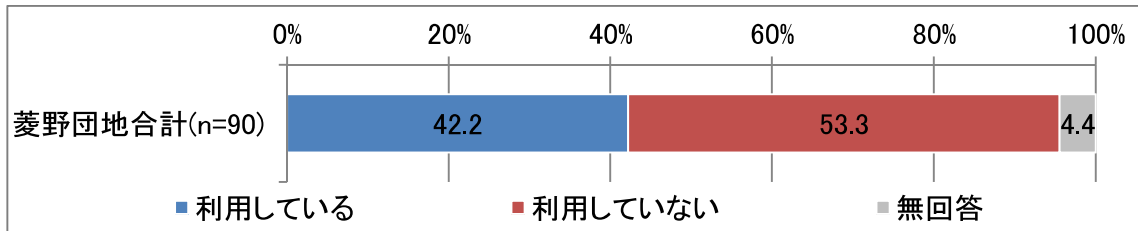
#### 【問7⑤ 自宅からバス停までの移動手段】

- ・ほとんどが徒歩（約90%）となっている。
- ・60歳以上においても、全年齢と傾向は変わらない。

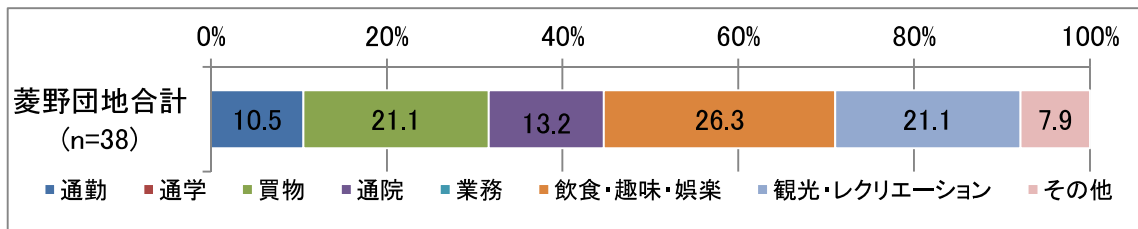
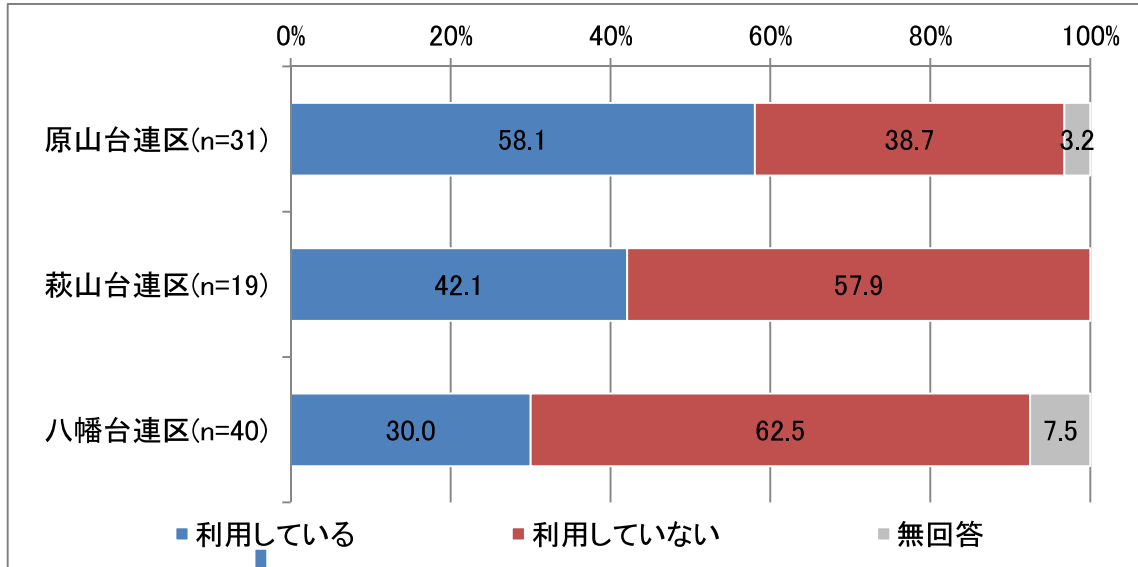
#### 【問7⑥ 他の交通機関への乗り継ぎについて】

- ・利用者の約42%が乗り継ぎをしており、乗り継ぎ先の約75%は鉄道となっている。
- ・60歳以上では、乗継しない人の割合が、全年齢より多くなっている。

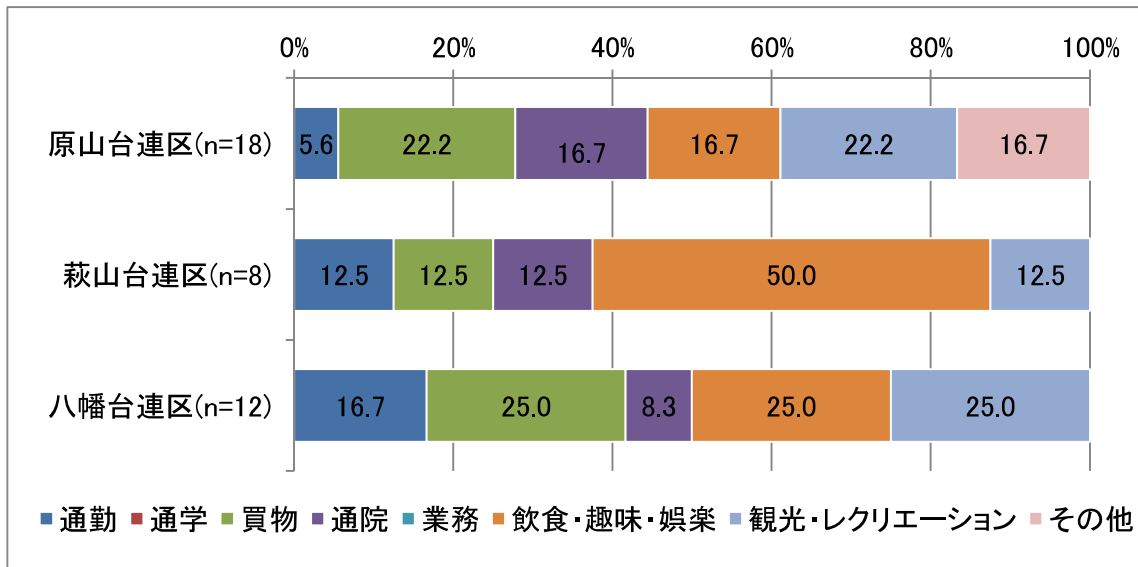
【問7①】利用目的



<連区別>

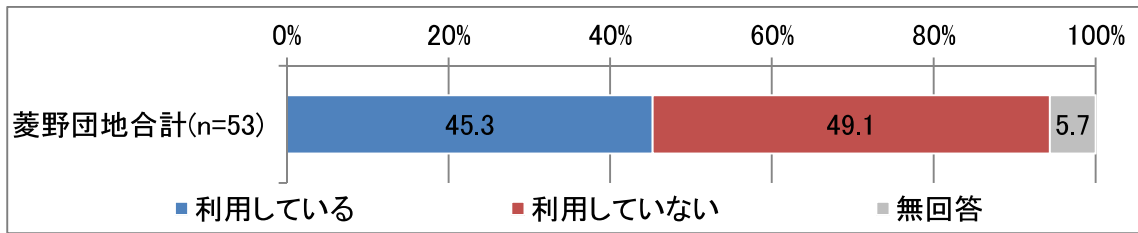


<連区別>

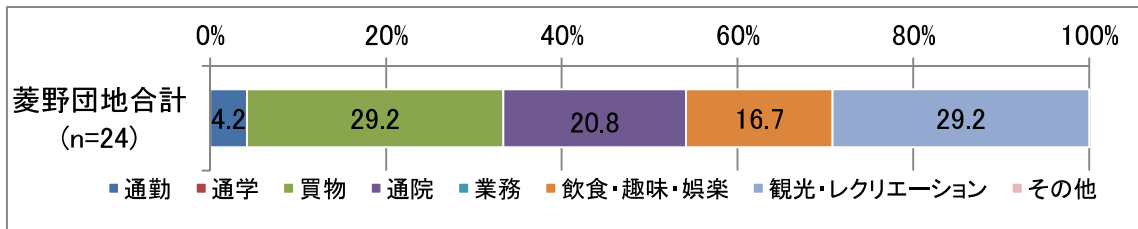
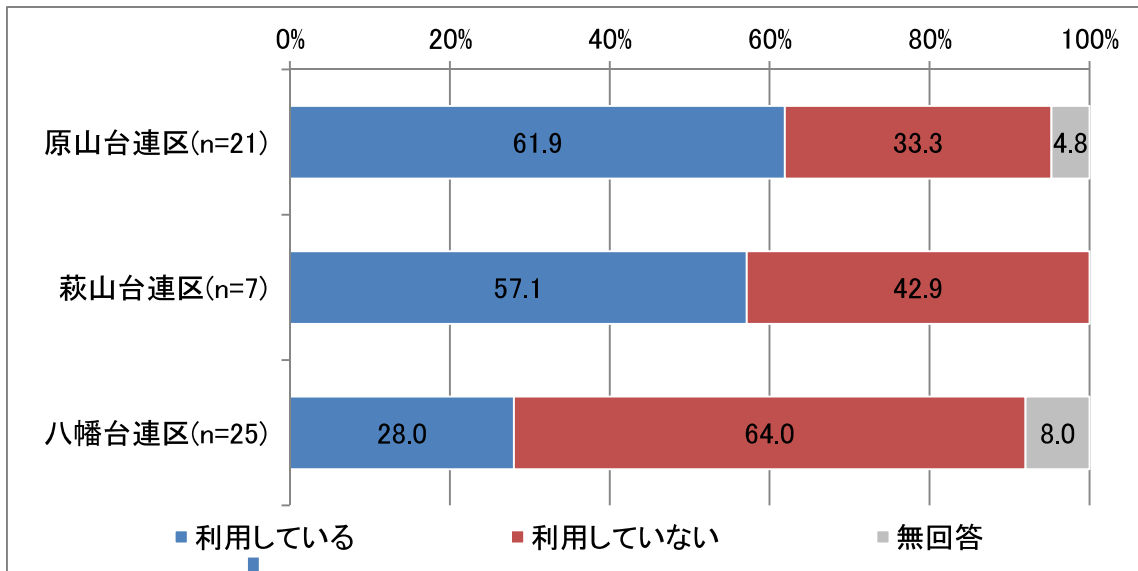




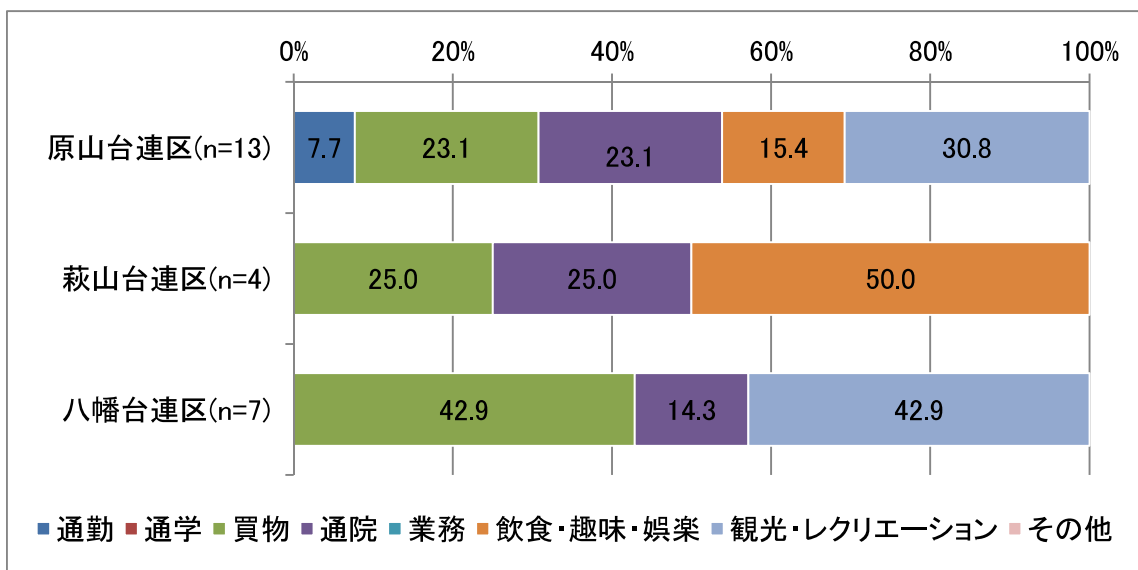
<60 歳以上>



<連区別>



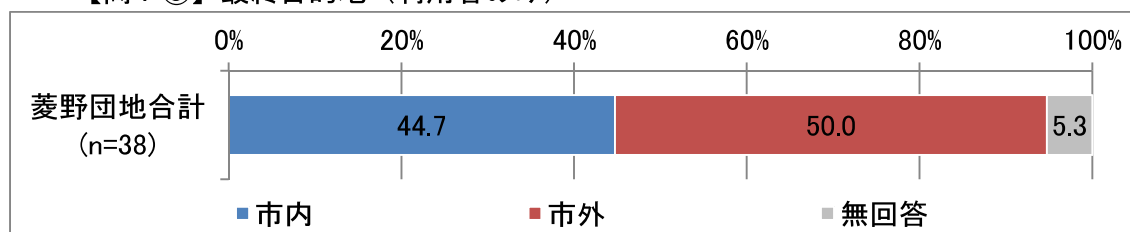
<連区別>



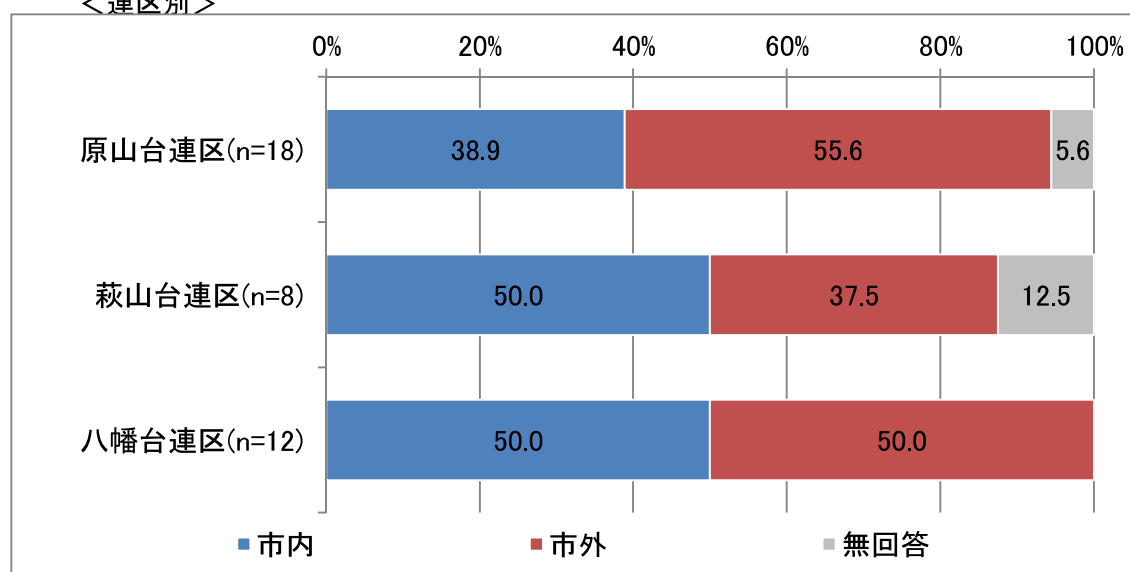
【問7②】利用したバス停（利用者のみ）（上位3位）

乗車バス停	回答者数	降車バス停	回答者数
原山台西	6	瀬戸駅前	22
原山台東	6	藤が丘	5
八幡台西	5	陶生病院前	3

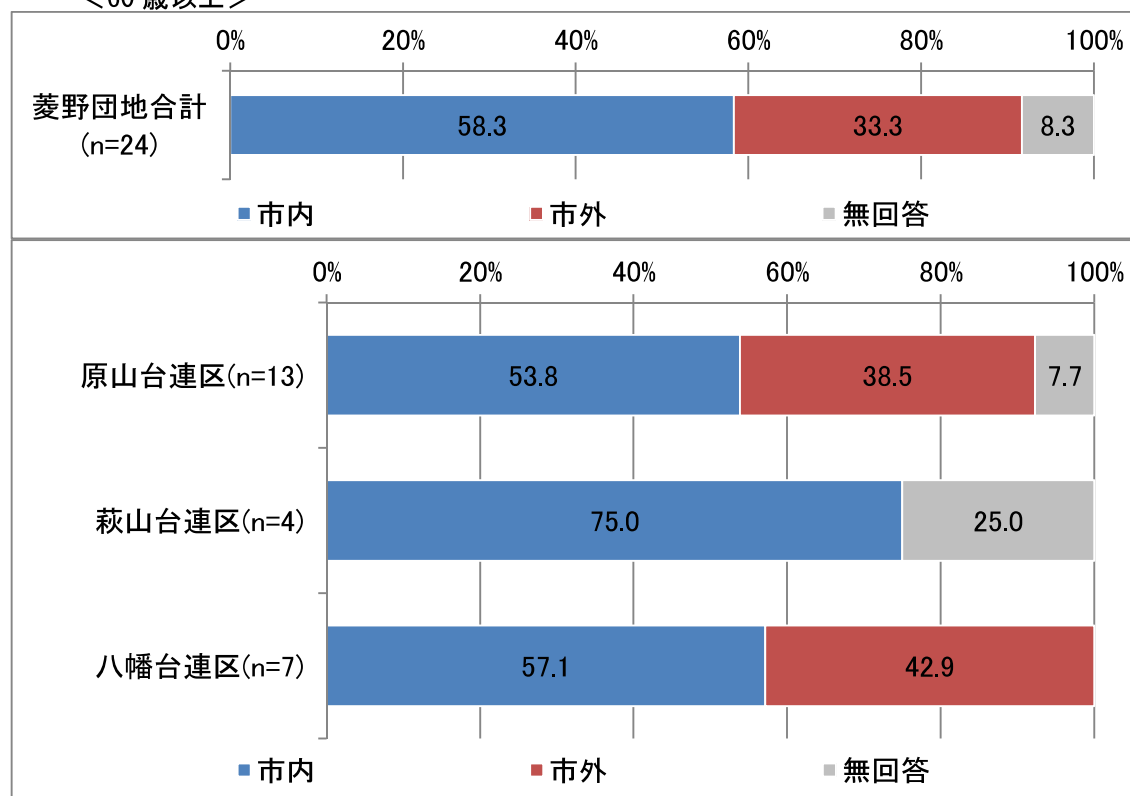
【問7③】最終目的地（利用者のみ）



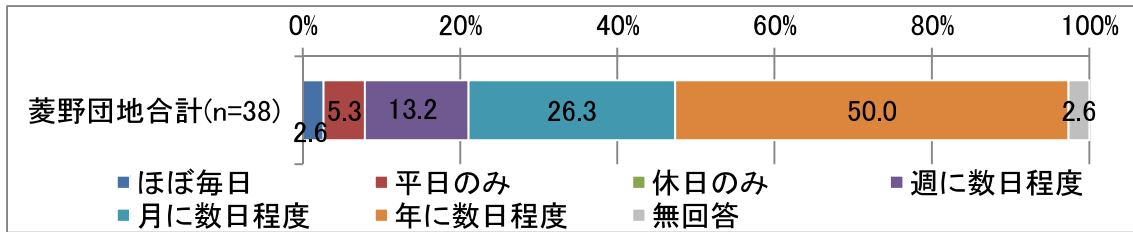
<連区別>



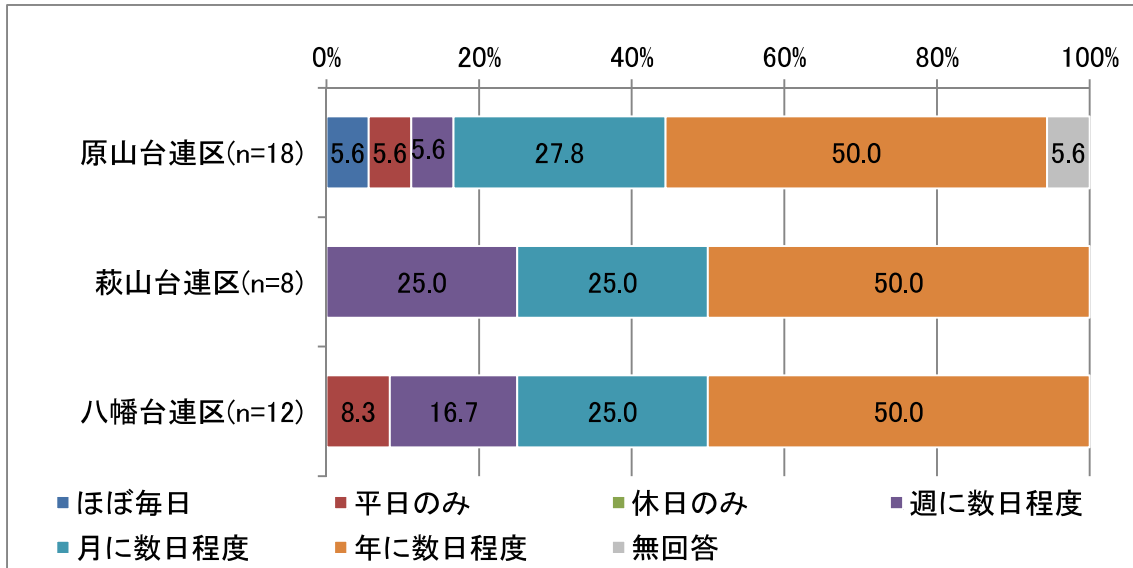
<60歳以上>



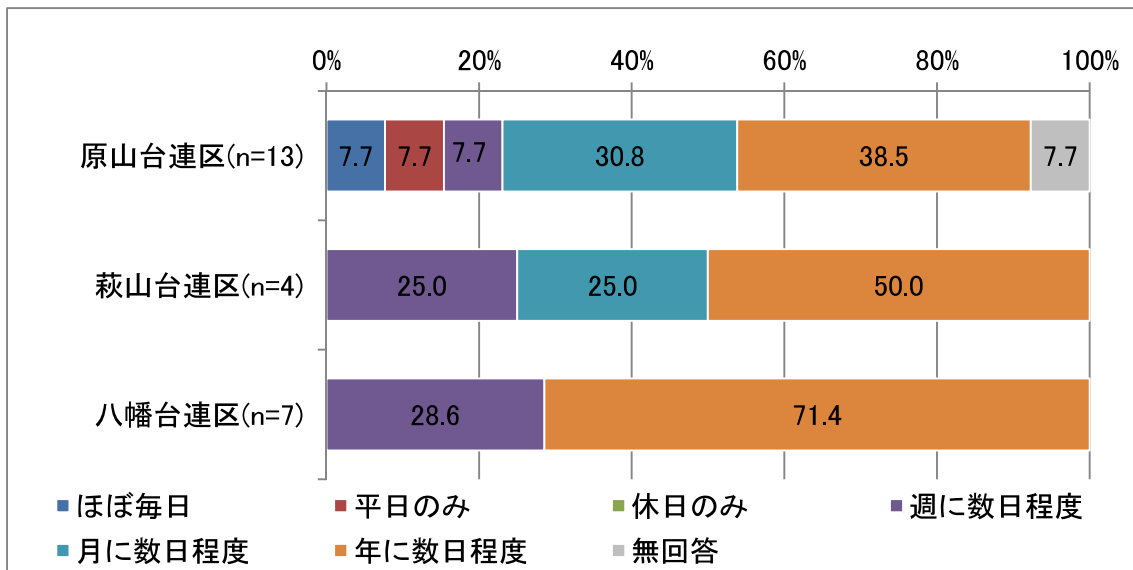
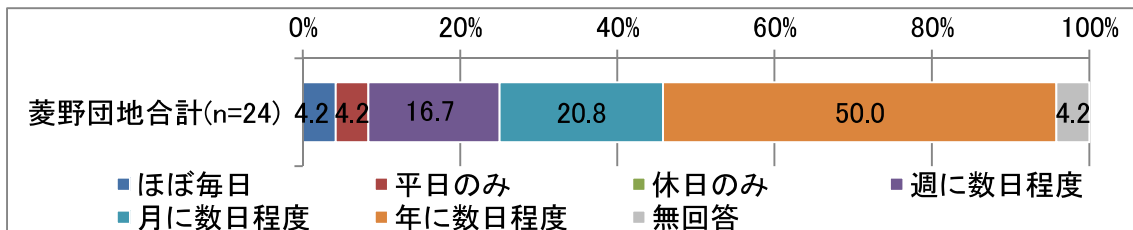
【問7④】利用頻度（利用者のみ）



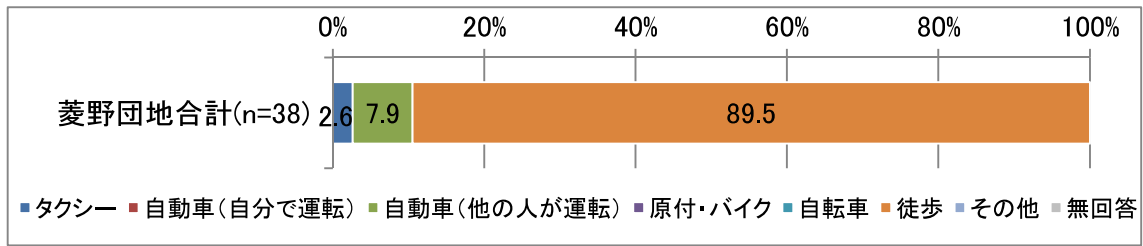
<連区別>



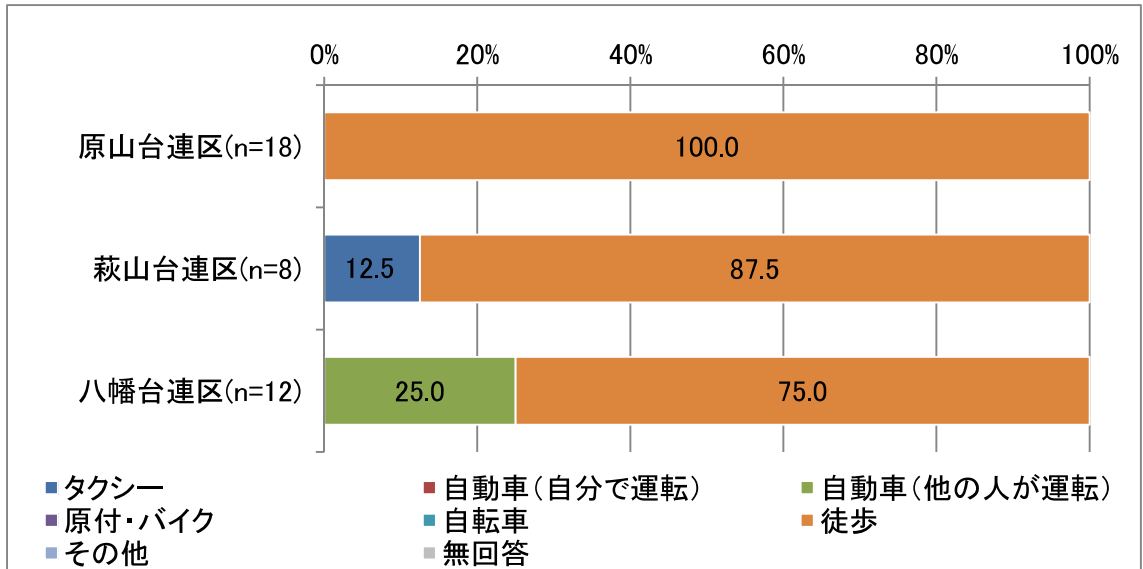
<60歳以上>



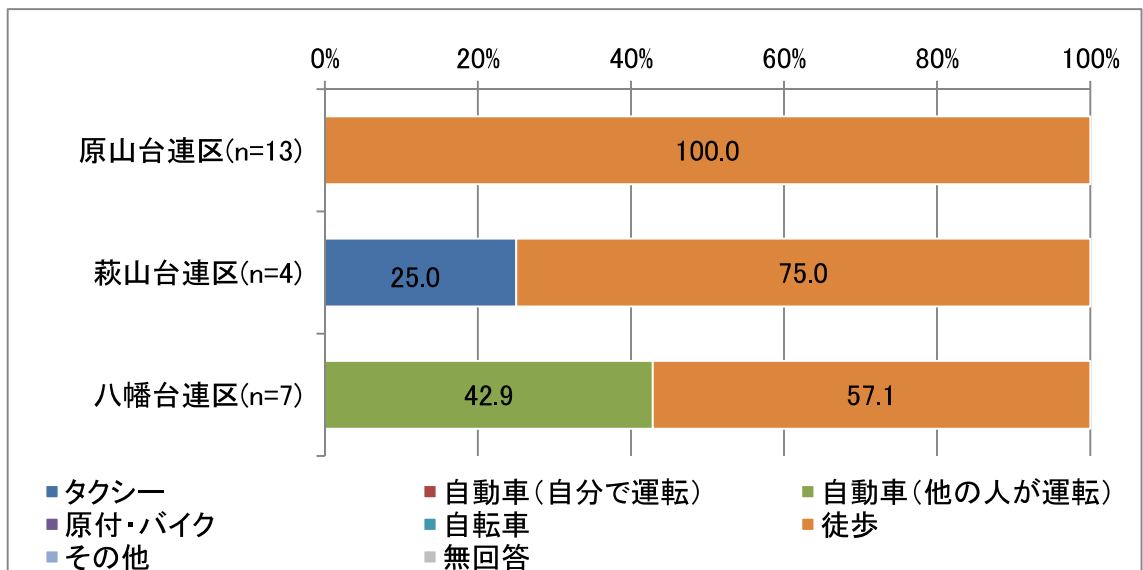
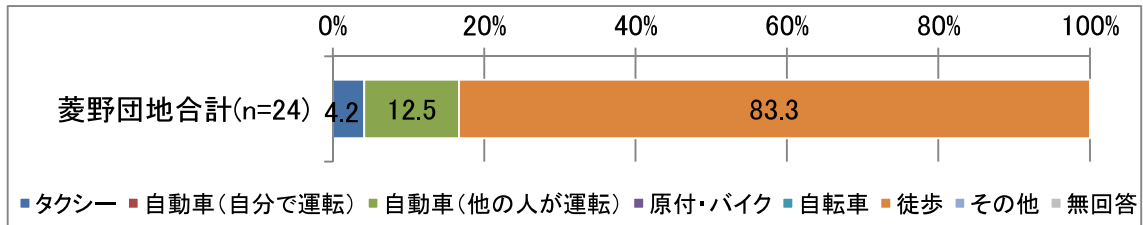
【問7⑤】 自宅からバス停までの移動手段（利用者のみ）



<連区別>



<60歳以上>



【問7⑥】他の交通機関への乗り継ぎについて（利用者のみ）

図 乗り継ぎの有無

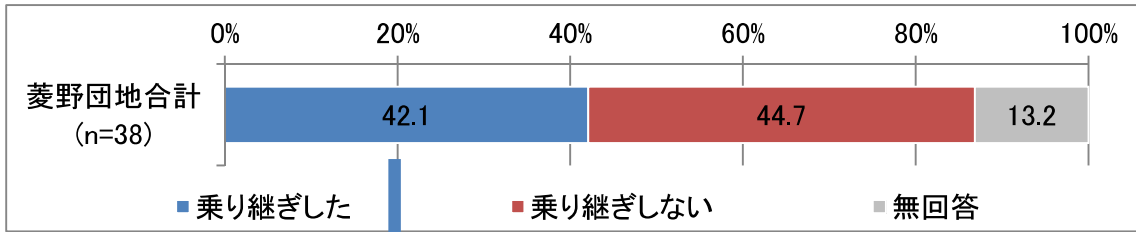
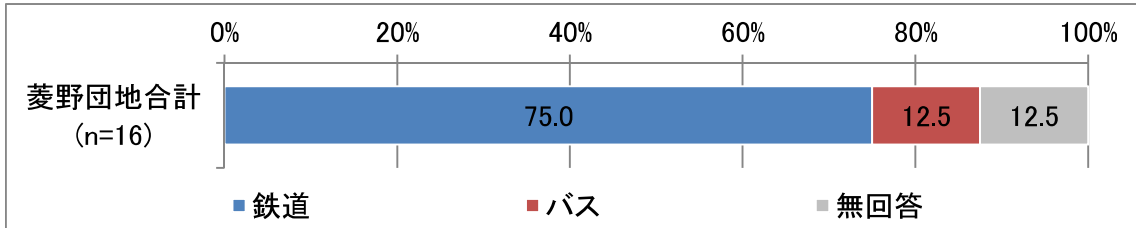


図 乗り継ぎ先の移動手段（乗継利用者）



<連区別>

図 乗り継ぎの有無

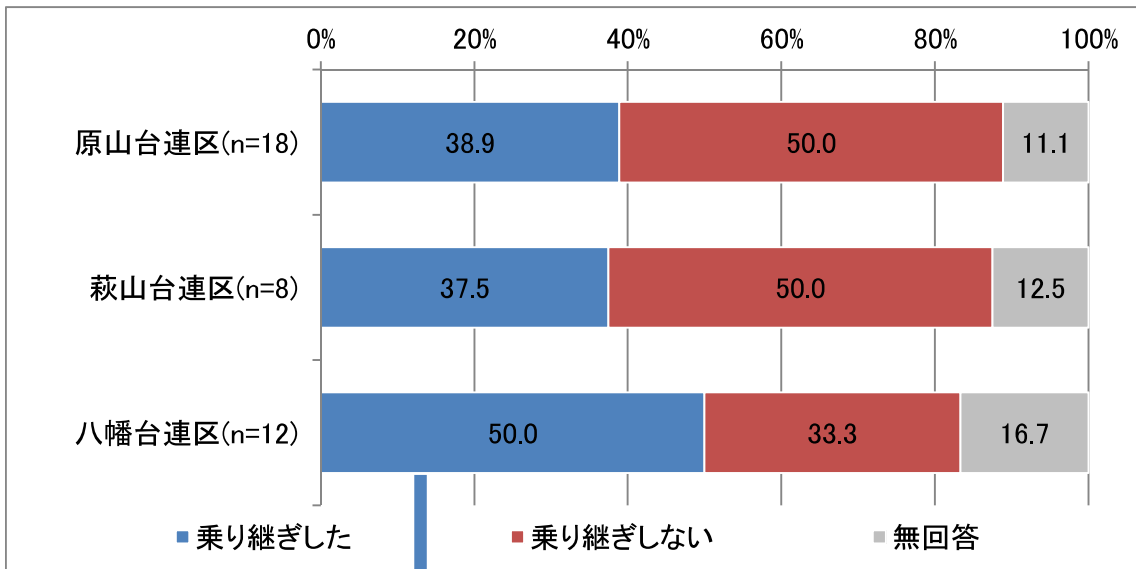
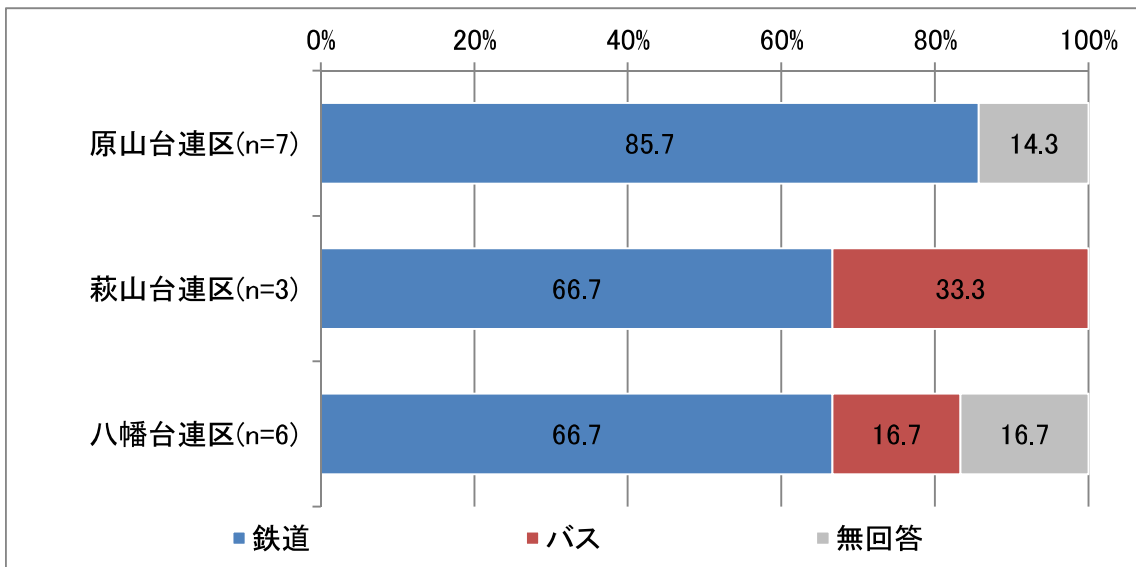


図 乗り継ぎ先の移動手段（乗継利用者）



<60 歳以上>

図 乗り継ぎの有無

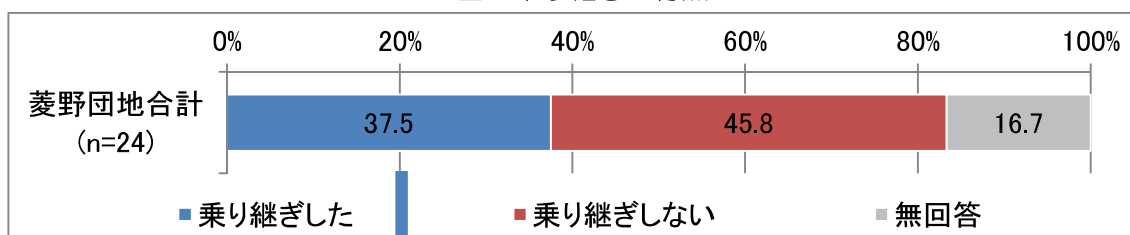


図 乗り継ぎ先の移動手段 (乗継利用者)

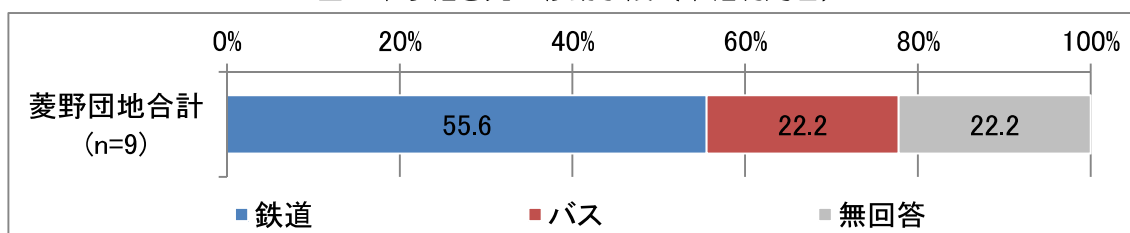


図 乗り継ぎの有無

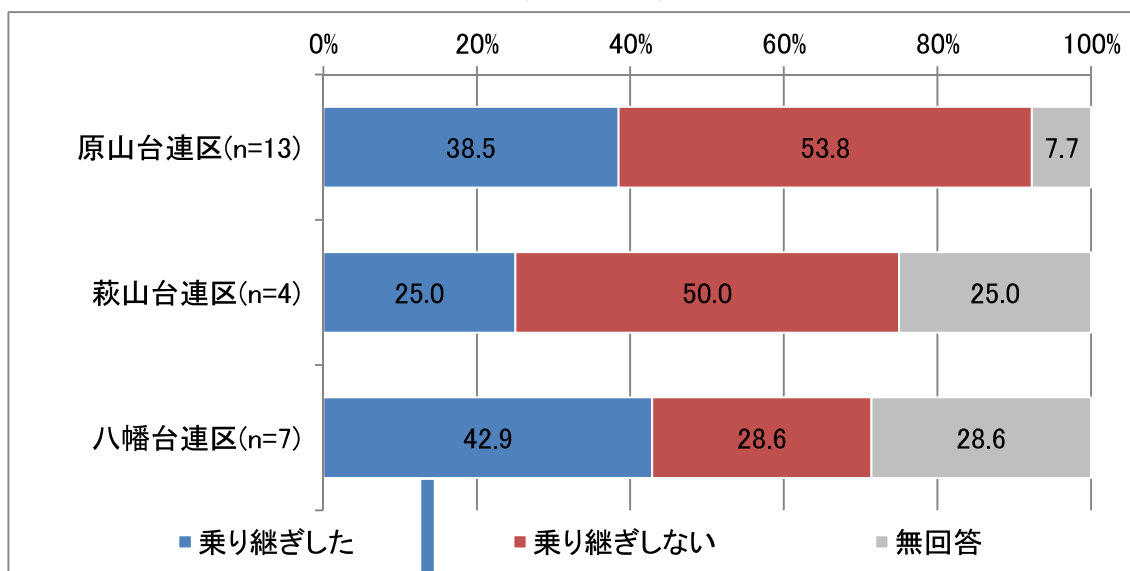
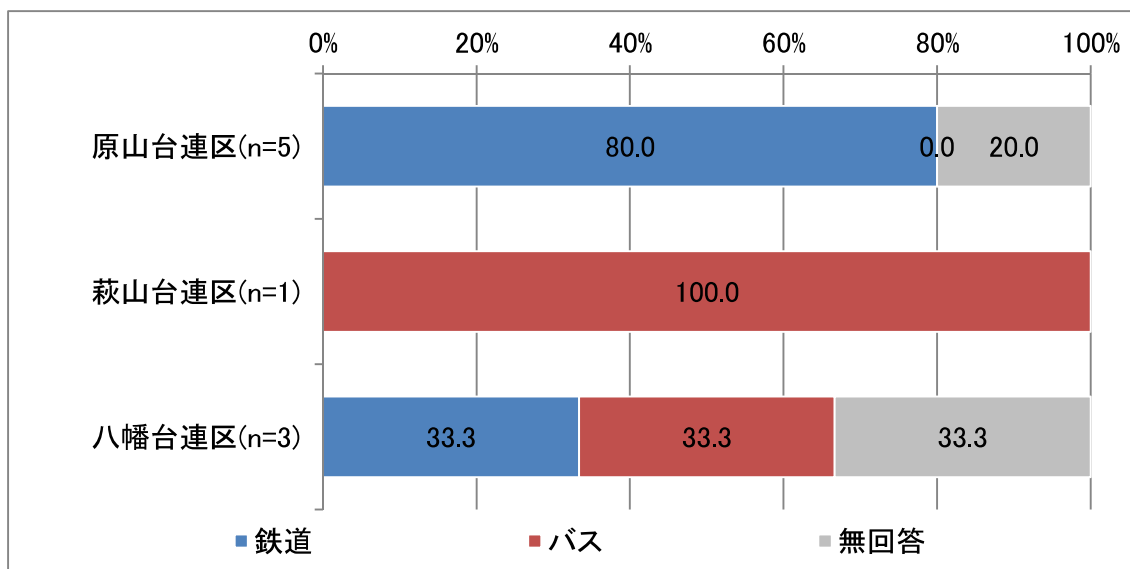


図 乗り継ぎ先の移動手段 (乗継利用者)



## ○利用ニーズ

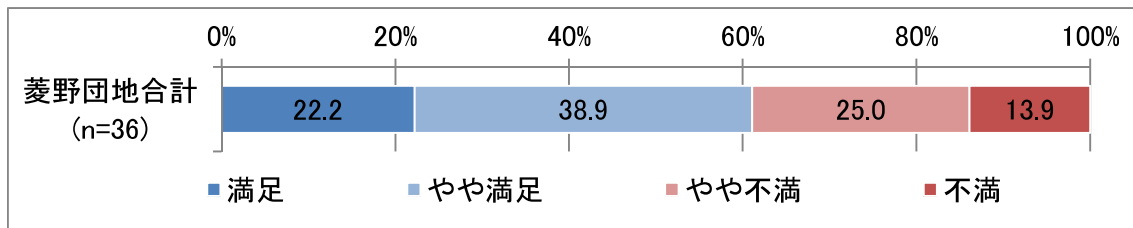
### 【問7⑦ 利用のしやすさ】

- ・満足している利用者（満足+やや満足）は約61%となっている。  
連区別にみると、八幡台連区は満足している利用者（満足+やや満足）が約36%となっており、他の連区より低くなっている。
- ・60歳以上では、満足している利用者（満足+やや満足）は約68%となっている。

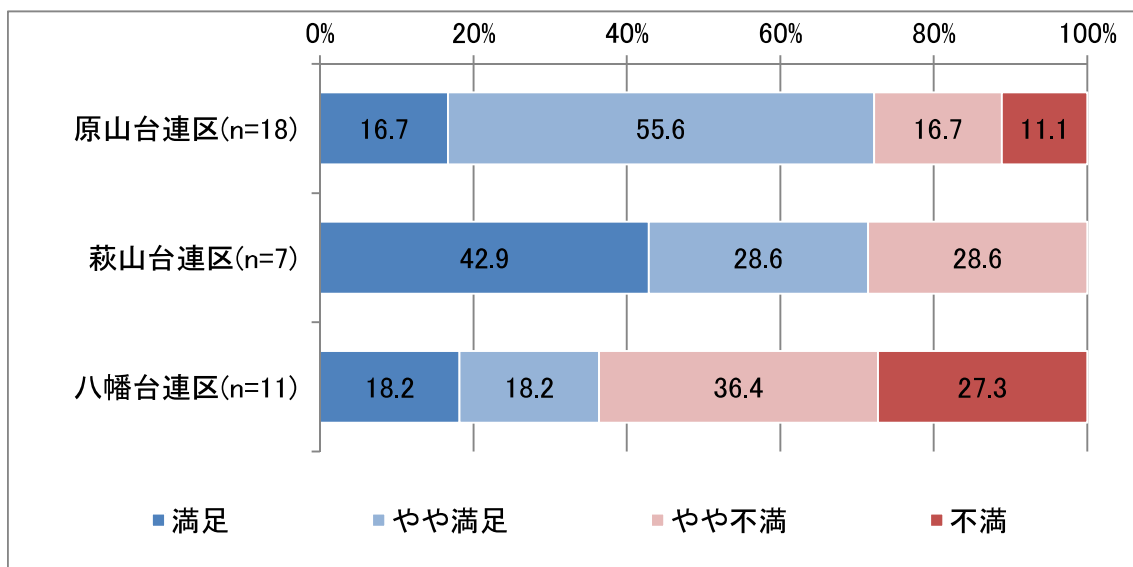
### 【問8① 路線バスの不満な理由・利用しない理由】

- ・利用者の不満点を見ると、「運行本数が少ない」を挙げる人が約71%で最も多い。次いで、「鉄道や他のバスとの乗り継ぎが悪い」、「行きたい施設を経由する路線がない」が多く、30%を超えている。
- ・一方、非利用者の利用しない理由をみると、「運行本数が少ない」ことに加えて、「最寄りバス停まで遠い」、「行きたい施設を経由する路線がない」を挙げる人が多く、20%を超えている。  
連区別にみると、原山台連区では「鉄道や他のバスとの乗り継ぎが悪い」、萩山台連区では「最寄りバス停まで遠い」、八幡台連区では「行きたい施設を経由する路線がない」が他の連区より多くなっている。
- ・60歳以上では、不満利用者、非利用者ともに「最寄りバス停まで遠い」と「行きたい施設を経由する路線がない」の割合が、全年齢より多くなっている。
- ・不満点が改善された場合、利用者の約21%が「今まで以上に利用したい」と回答している。
- ・非利用者を見ると、条件が改善された場合、約44%の人が「新たに利用したい」と回答している。
- ・60歳以上では、不満利用者の「今まで以上に利用したい」と非利用者の「新たに利用したい」の割合が、全年齢よりともに少なくなっている。

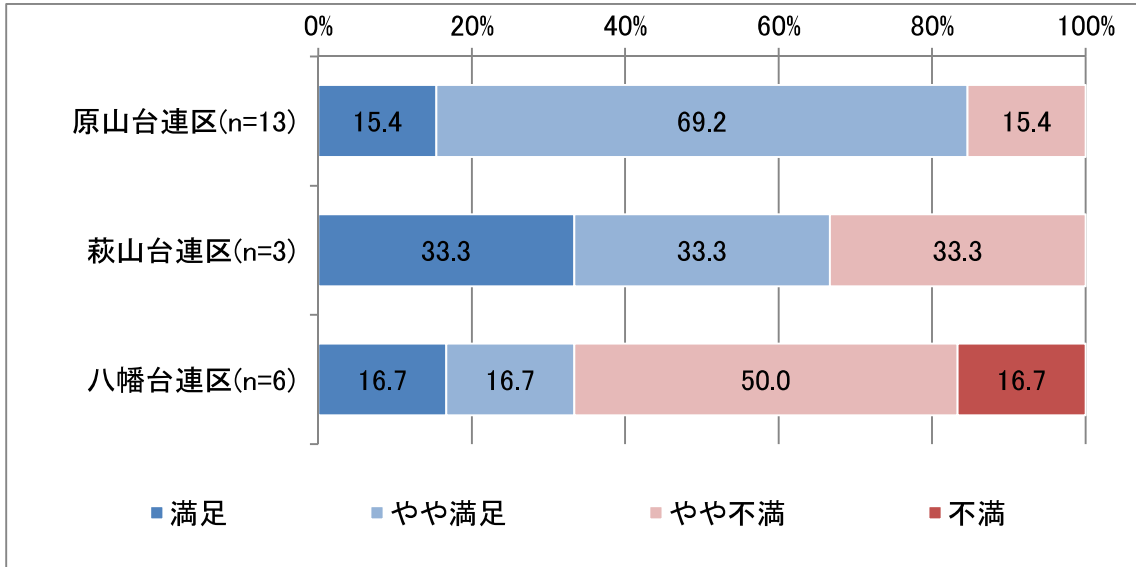
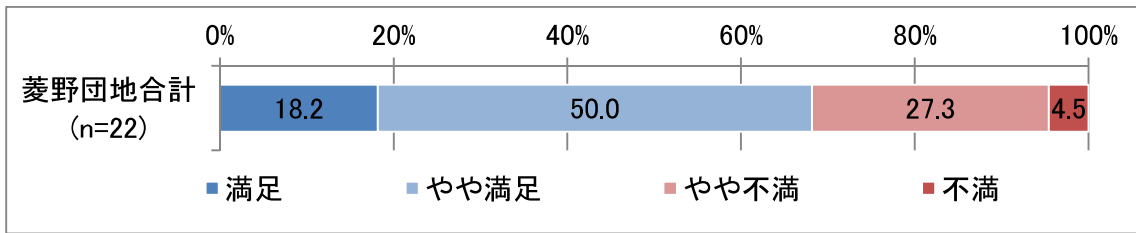
### 【問7⑦】利用のしやすさ（利用者のみ）（無回答を除く）



### <連区別>



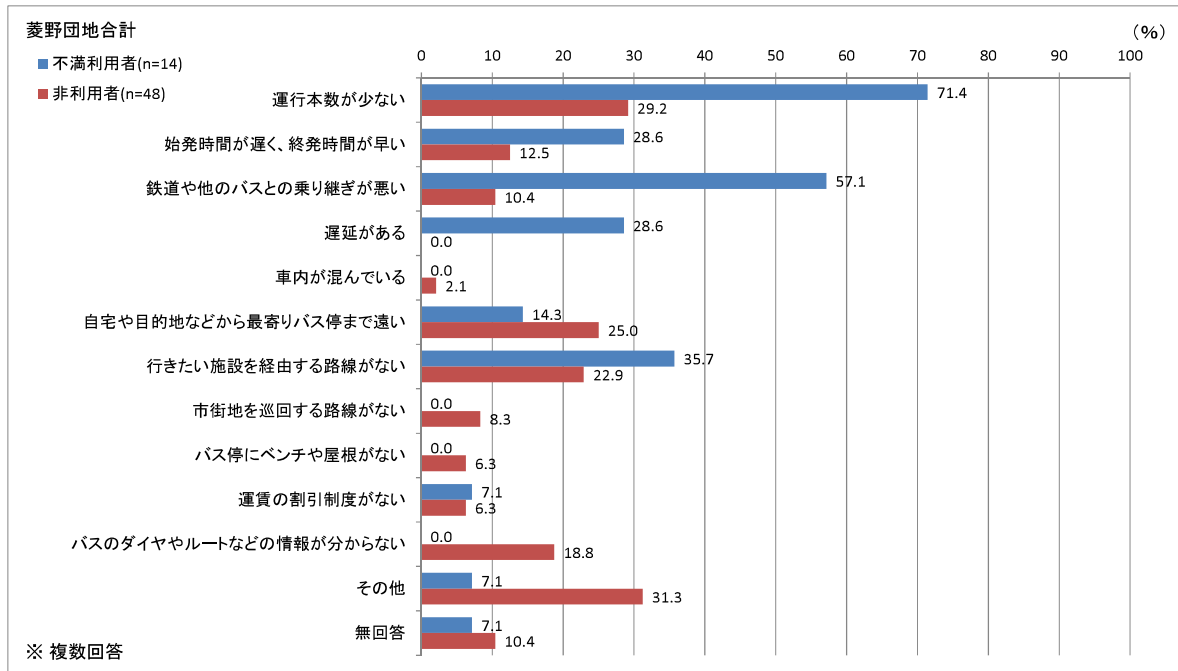
<60 歳以上>



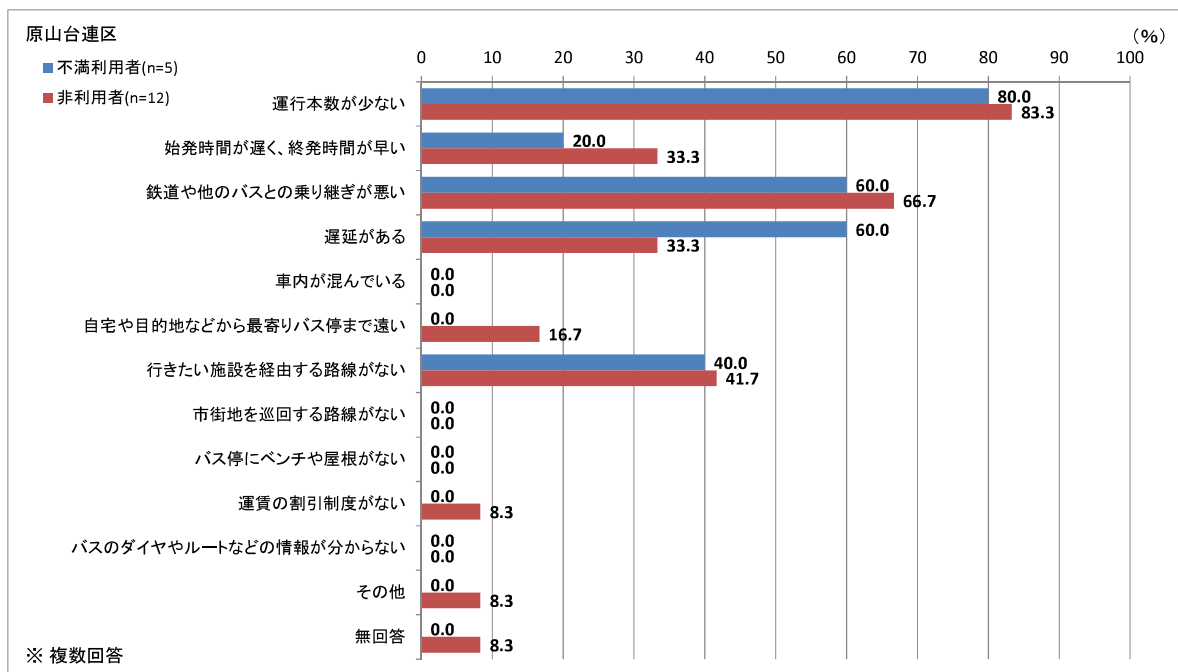


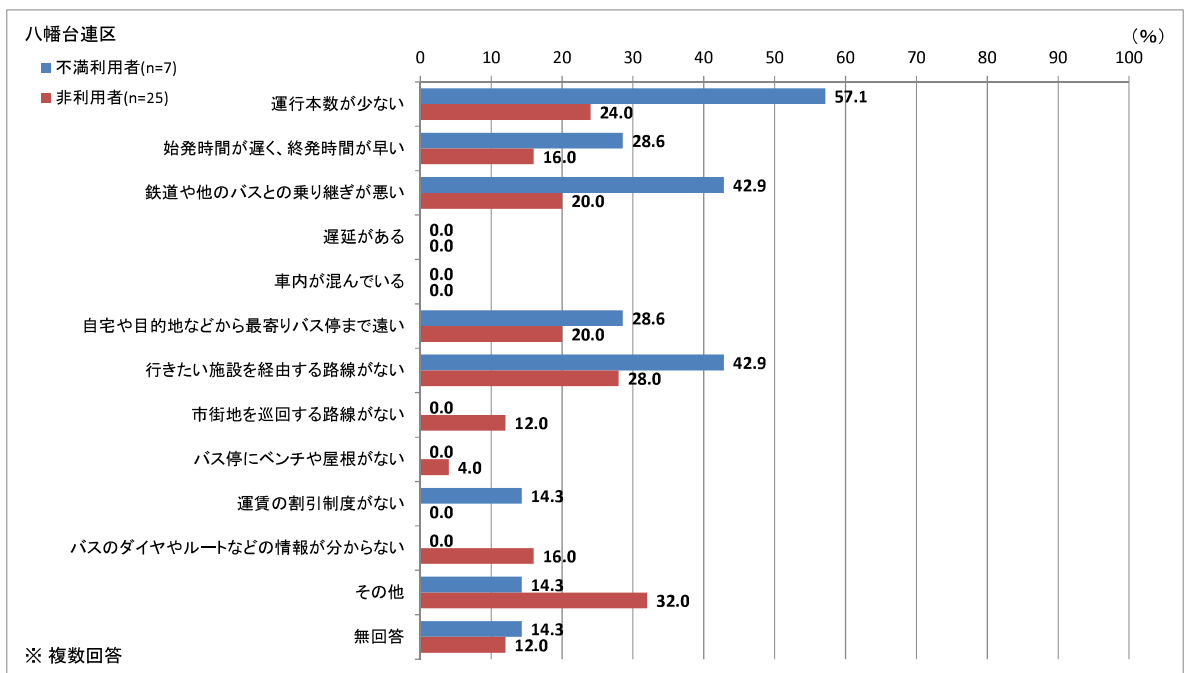
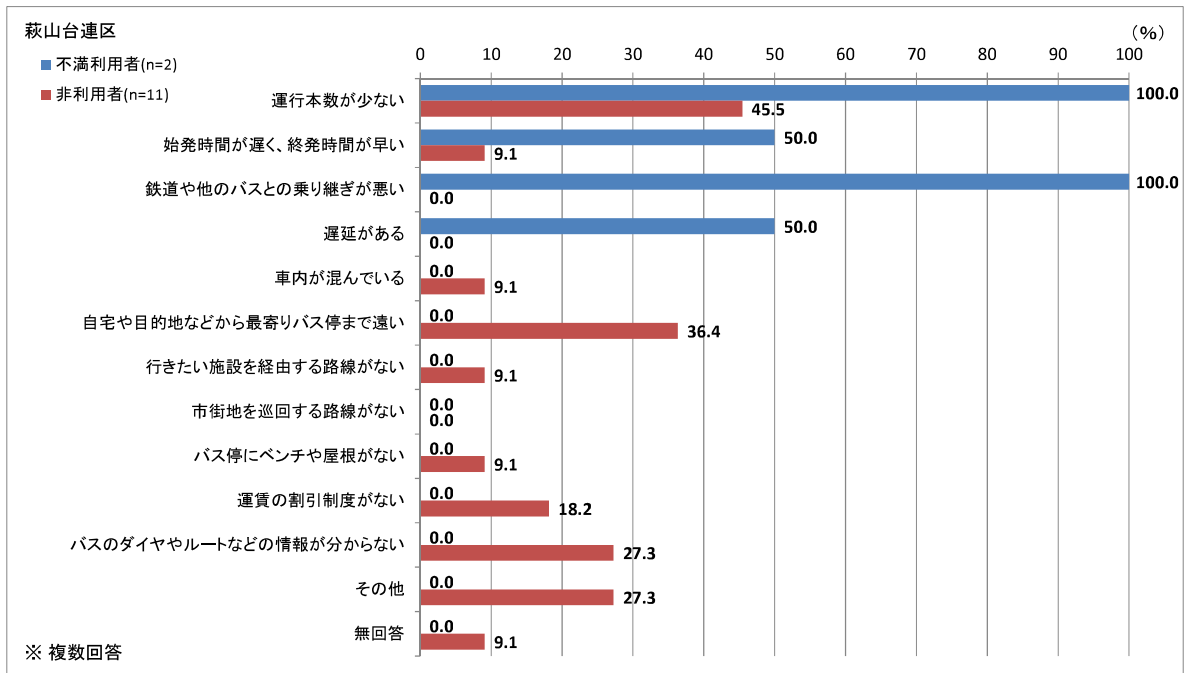
## 【問8①】路線バスの不満な理由・利用しない理由

図 不満な理由（不満利用者）・利用しない理由（非利用者）

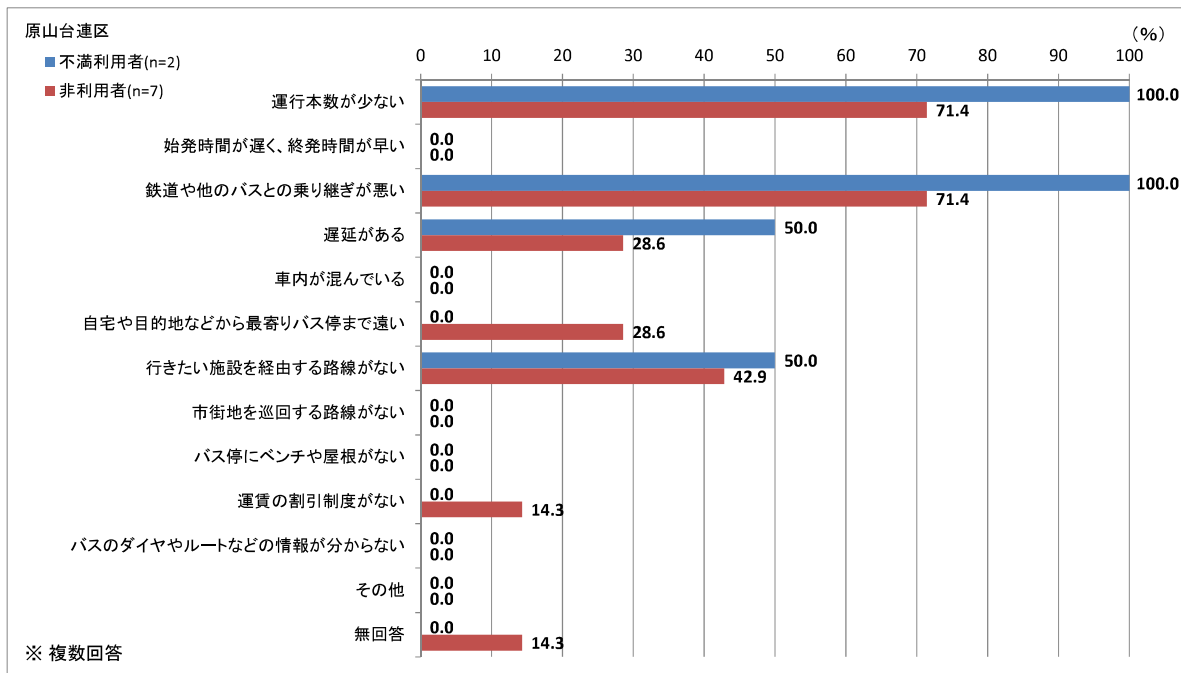
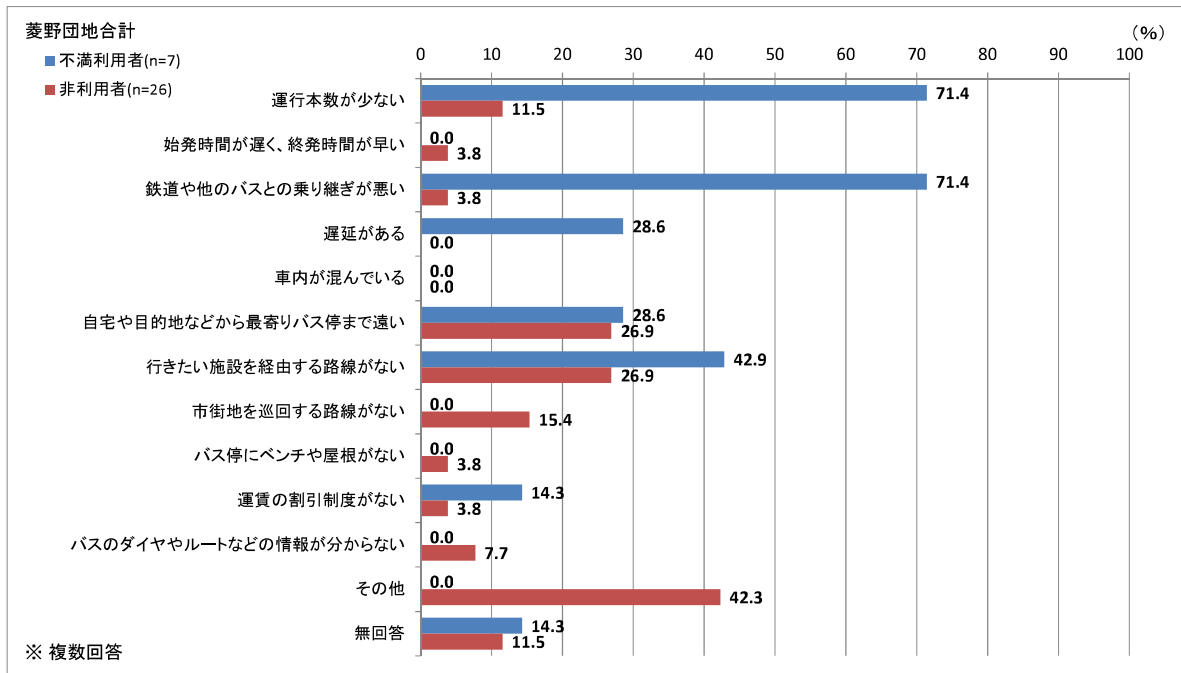


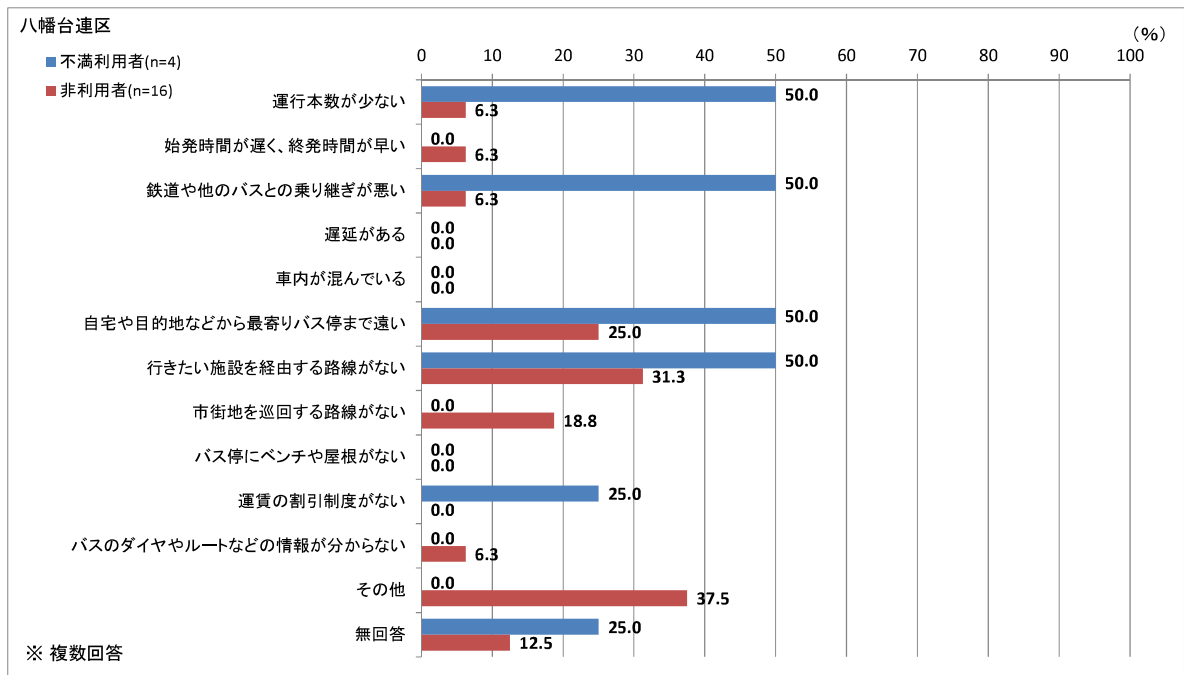
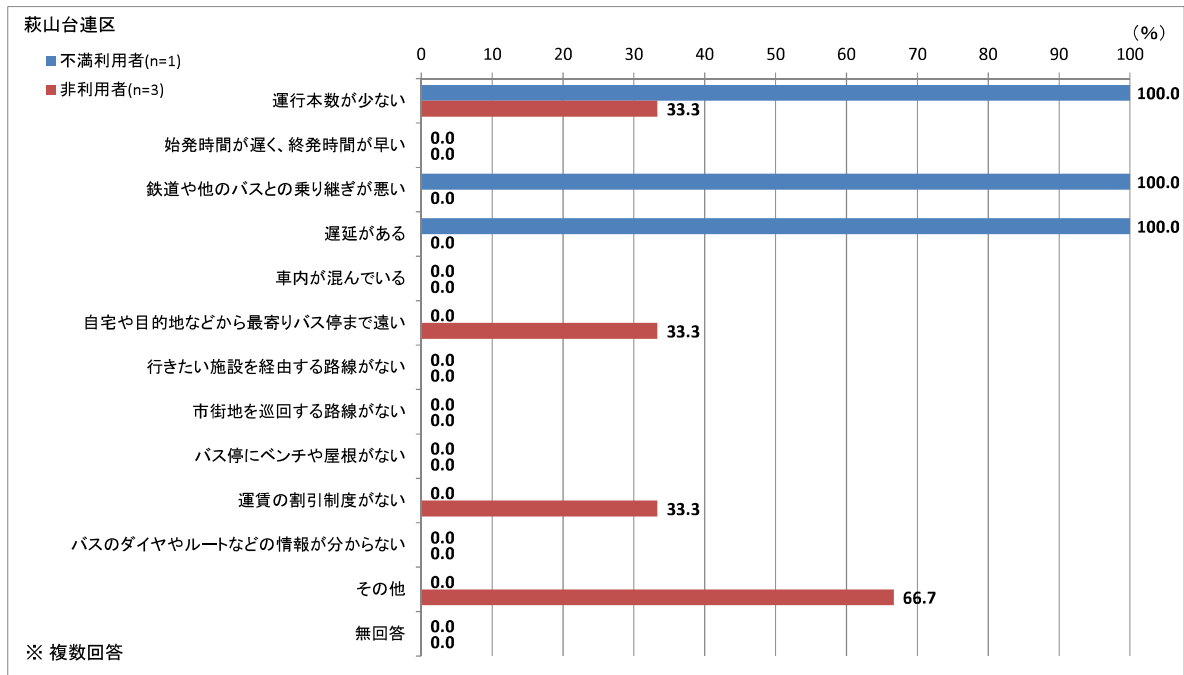
### <連区別>





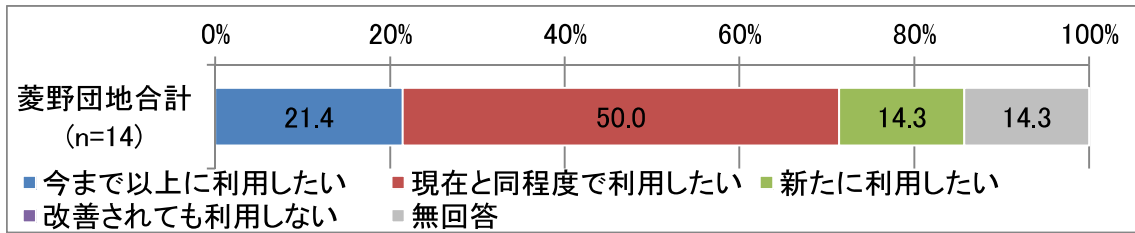
<60 歳以上>





【問8②】 選択した条件が改善された場合の路線バスの利用意向

図 不満利用者の意向



<連区別>

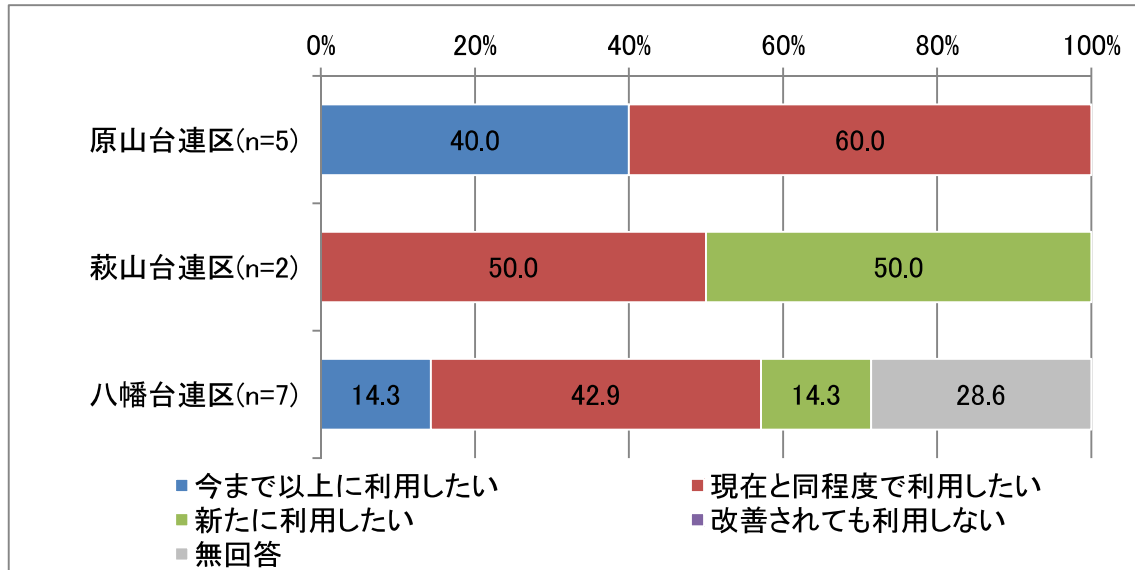
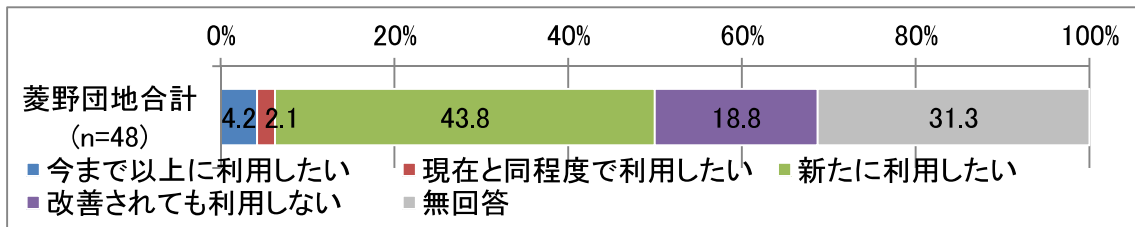
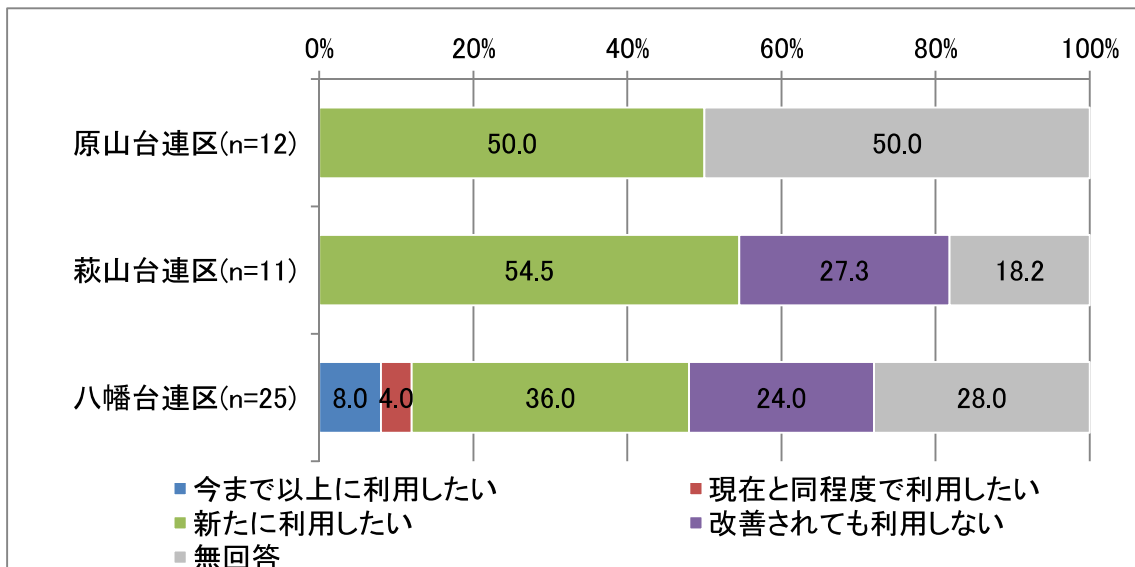


図 非利用者の意向



<連区別>



<60 歳以上>

図 不満利用者の意向

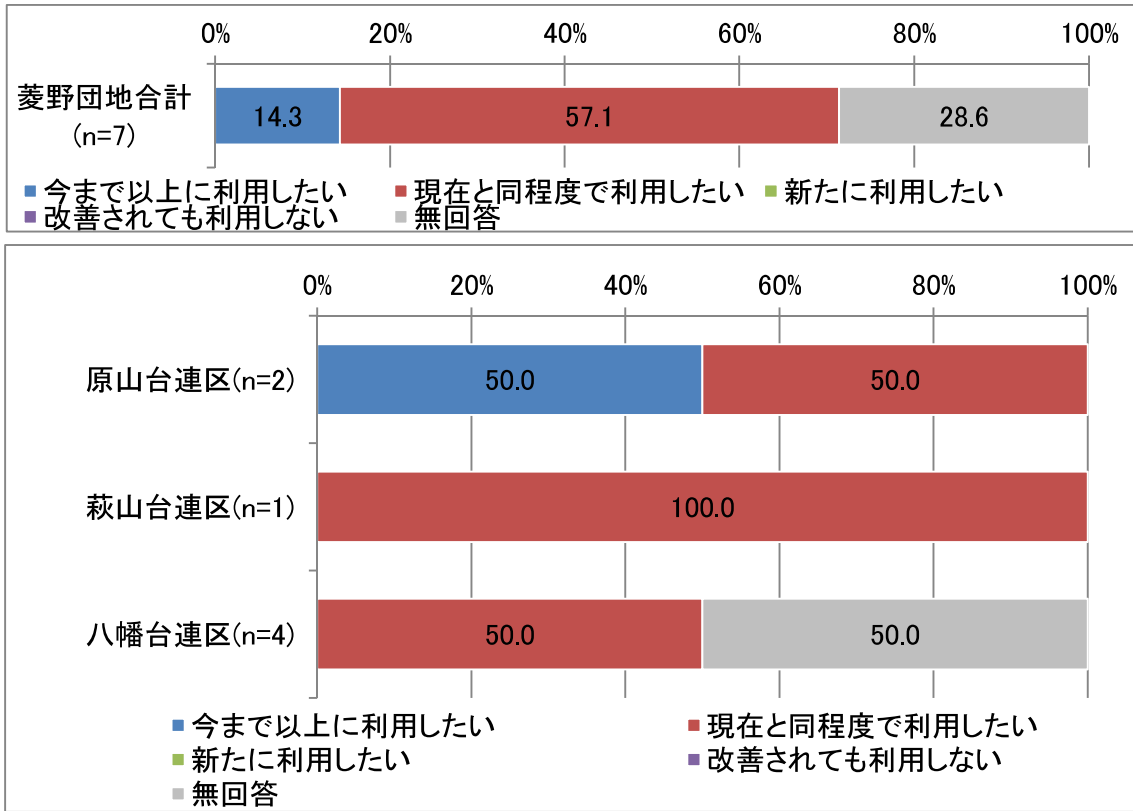
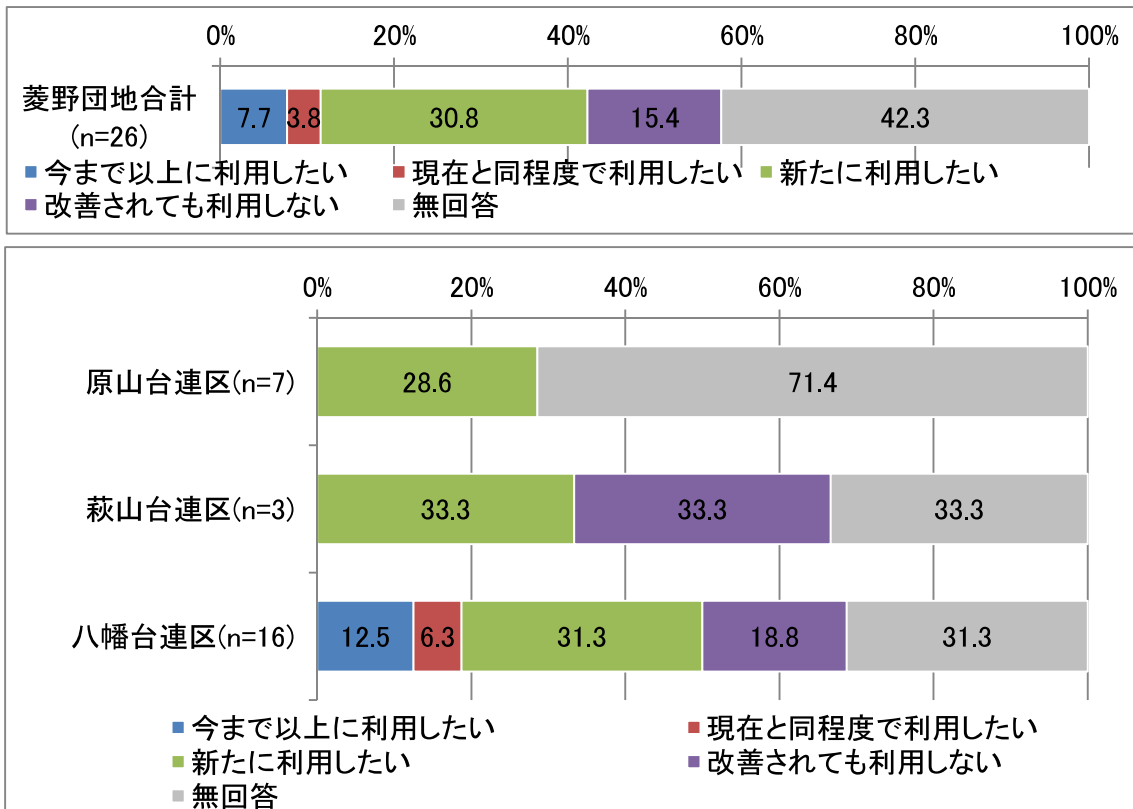


図 非利用者の意向



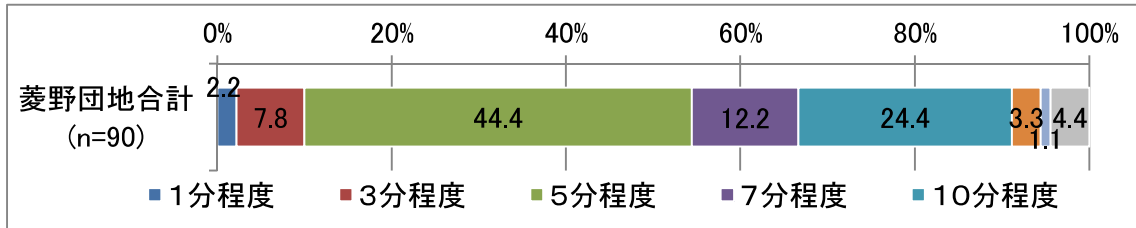
## (5) 駅やバス停の利便性について

### 【問 1 2 駅やバス停から歩ける距離は何分程度】

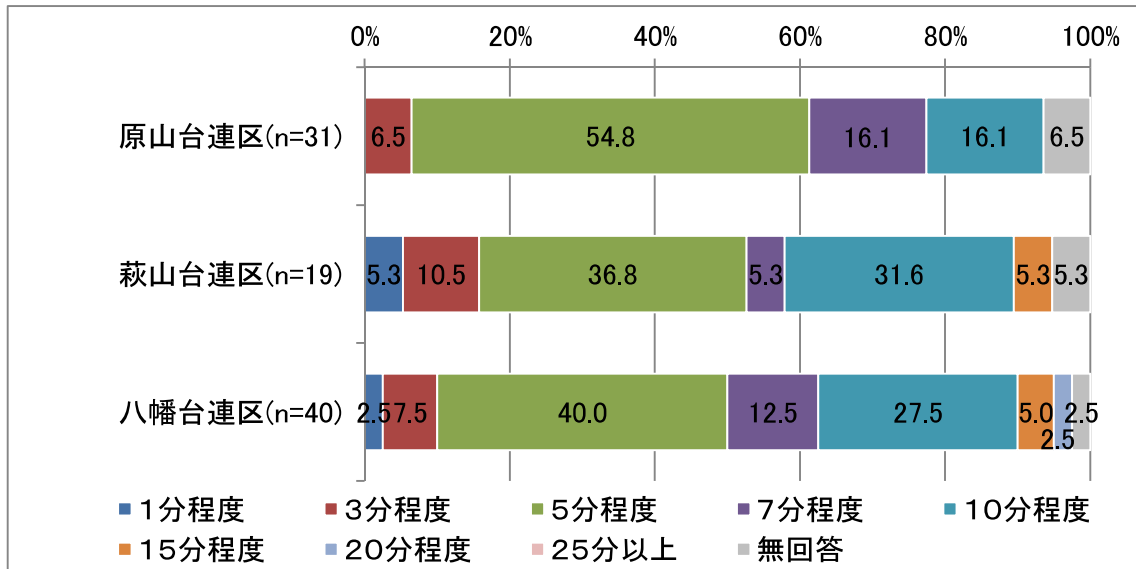
- ・バス停から無理なく歩ける距離をみると、5分程度の回答が約44%で最も多くを占めている。
- ・60歳以上においても、全年齢と傾向は変わらない。

### 【問 1 2】 駅やバス停から歩ける距離は何分程度

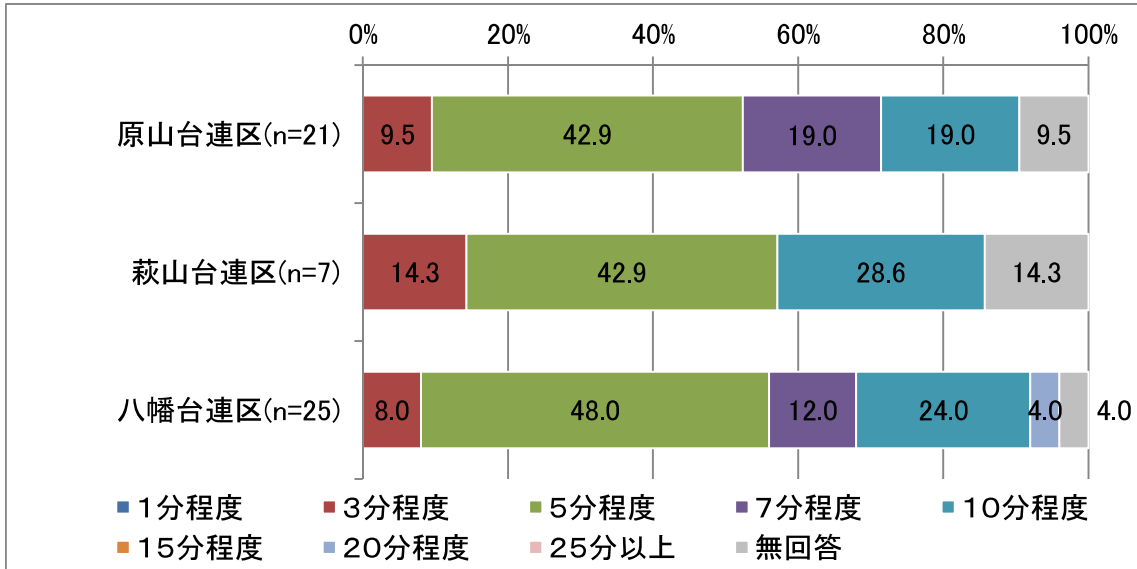
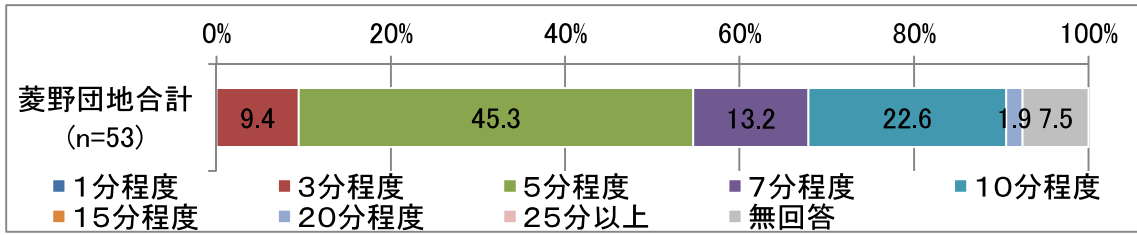
図 バス停からの時間



#### <連区別>



<60 歳以上>





## (10) バスで行きたい、または行ってほしい施設について

### 【問14 市内の施設】

- ・バスで行きたい施設をみると、市内では陶生病院が10人で最も多く、次いでアピタ瀬戸店(7人)、市役所(6人)、図書館(4人)、文化センター(3人)の順に多い。

### 【問14 市外の施設】

- ・市外の施設についてみると、アピタ長久手店(長久手市)と愛知医大(長久手市)が6人で最も多く、次いで、モリコロパーク(長久手市)(5人)、イオン長久手店(長久手市)(4人)、イトーヨーカドー尾張旭店(尾張旭市)(4人)の順に多い。

### 【問14】市内の施設

＜市内の上位5施設及び市外の上位5施設＞

【市外】施設名	回答数	【市外】施設名	回答数
陶生病院	10	アピタ長久手店	6
アピタ瀬戸店	7	愛知医大	6
市役所	6	モリコロパーク	5
図書館	4	イオン長久手店	4
文化センター	3	イトーヨーカドー尾張旭店	4

